

浦安市
高齢者等実態調査
報告書

平成23年3月



目次

第1章 調査実施の概要

1. 調査実施の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 調査の実施方法と回収状況	3
4. 調査結果を見る上での注意事項	4
5. 調査結果から得られた現状と課題	5

第2章 一般高齢者に関する調査結果

1. 調査結果の概要	9
2. 基本属性について	11
3. 家計について	15
4. 介護保険について	17
5. 健康について	19
6. 社会参加・地域とのふれあいについて	42
7. 日常生活で困っていることや将来の不安について	52
8. 保健・福祉サービスの利用状況や利用意向について	56

第3章 若年者に関する調査結果

1. 調査結果の概要	63
2. 基本属性について	65
3. 健康について	70
4. 日常生活について	78
5. 介護保険について	83
6. 保健・福祉サービスについて	86
7. 地域における福祉について	90

第4章 ひとり暮らし高齢者に関する調査結果

1. 調査結果の概要	101
2. 基本属性について	103
3. 家計について	109
4. 介護保険について	111
5. 健康について	113
6. 社会参加・地域とのふれあいについて	136
7. 日常生活で困っていることや将来の不安について	146
8. 保健・福祉サービスの利用状況や利用意向について	151

第5章 高齢者世帯に関する調査結果

1. 調査結果の概要	159
------------	-----

2. 基本属性について	161
3. 家計について	168
4. 介護保険について	170
5. 健康について	172
6. 社会参加・地域とのふれあいについて	194
7. 日常生活で困っていることや将来の不安について.....	204
8. 保健・福祉サービスの利用状況や利用意向について.....	209

資料編

調査票

第1章 調査実施の概要

1. 調査実施の目的

浦安市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成23年度に策定を予定しております「浦安市高齢者保健福祉計画」の基礎資料とするため、下記の調査を実施しました。

2. 調査の設計

このアンケート調査では、4種類の調査票を作成し、調査を実施しました。

(1) 調査対象者

■ 一般高齢者

調査対象者：65歳以上の市民（無作為抽出）

調査人数：2,000人

■ 若年者

調査対象者：40～64歳の市民（無作為抽出）

調査人数：2,000人

■ ひとり暮らし高齢者

調査対象者：65歳以上のひとり暮らしの市民（悉皆調査）

調査人数：2,282人

■ 高齢者世帯

調査対象者：65歳以上の方のみの世帯の市民（悉皆調査）

調査世帯数：2,788世帯

3. 調査の実施方法と回収状況

(1) 調査時期と調査方法

調査の配布・回収方法は、次の通りです。

調査対象者	調査期間	調査方法
一般高齢者	平成22年10月1日～11月1日	郵送による配布・回収
若年者	平成22年10月1日～11月1日	郵送による配布・回収
ひとり暮らし 高齢者	平成22年10月1日～11月15日	民生委員による配布・ 郵送による回収
高齢者世帯	平成22年10月1日～11月15日	民生委員による配布・ 郵送による回収

(2) 回収状況

調査によるそれぞれの回収状況は、以下のとおりです。

調査対象者	配布数	回収数	回収率
一般高齢者	2,000件	1,458件	72.9%
若年者	2,000件	1,223件	61.2%
ひとり暮らし 高齢者	2,282件	1,543件	67.6%
高齢者世帯	2,788件	2,179件	78.2%

4. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が20未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。

5. 調査結果から得られた現状と課題

今回の高齢者保健福祉計画及び第4期介護保険事業計画の見直しにおいては、要支援・要介護と認定された高齢者が、各種のサービスを受けながら、地域の中で安心して生活できるように支援していくとともに、65歳以上の高齢者が、自らの経験や知識を生かして、地域の様々な活動に積極的に参加し、心身ともに健康に生きがいをもって生活できる社会をつくるのが、重要な課題となっています。

● 一般高齢者、若年者

まず、高齢者の外出の頻度をみると、「ほとんど毎日」と「週に3、4日」を合わせて8割を超えており、平成19年調査とほぼ同様の結果となっています。家に閉じこもることが、認知症の原因となることを、知っている人が、9割近くに達していることが、このような結果の背景にあると思われます。

次に、健康状態をみると、今回調査では「健康だと思う」が7割を超えて、平成19年調査より微増しているほか、健康を維持するためやっていることが「ある」も今回調査では9割弱と、平成19年調査よりやや増加しています。また、介護予防についての認知度は、今回7割を超え、平成19年調査より大きく増加し、こうした介護予防事業に、「現在、参加している」人もやや増加しています。こうした高齢者の健康づくりへの意識の高まり等を背景にして、高齢者の間には自らを健康と考える人が徐々に増加していることがわかります。

しかしながら、現在病気やケガの治療を「受けている」人は7割を超えており、その病気としては、「高血圧」が5割強を占めているほか、「目の病気」も2割台半ばとなっており、依然として生活習慣病に苦しむ人が多いことがわかります。生活習慣を振り返って心配な病気としても、「高血圧」が3割強、「脳卒中」が2割強を占めており、今後も、生活習慣病の予防と治療に力を入れていくことが求められます。

続いて、若年者の健康状態をみると、「健康だと思う」は今回調査では約8割と、平成19年調査の7割台半ばより増加しています。しかしながら、健康を維持するためにやっていることが「ある」は平成19年調査よりやや低下しています。若年者が老後の生活に備えて行なっていることとしては、「健康を維持すること」が約7割と圧倒的に多くなっており、今後も、若年者の健康づくりへの支援を充実させていくことが重要です。

地域における各種活動への参加状況をみると、「お祭りや運動会などのレクリエーション活動」や「自治会の活動」への参加度が高くなっていますが、《忙しさ》や《活動の情報の不足》等の理由から参加していない人も少なくありません。

また、ボランティアへの参加状況をみると、「地域が行なう防災活動」が3割台半ばを占めているほか、「保育所における子育て活動」も2割近くとなっています。また、参加意向をみると、「地域が行なう防災活動」が6割近くを占めて、最も多くなっていますが、これに次いで「高齢者に対する活動」が4割台半ばとなっています。

地域での人々の支えあいに必要なこととして、「ひとりで暮らしている高齢者の見守り活動」が4割を、「地域が行う防災活動などの日常的な協力活動」が3割を超えていることも考え合わせると、若年層のボランティアへの参加意向の高さを、実際の参加へと結びつけていくことが重要です。

● ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯

ひとり暮らし高齢者の約7割が女性ですが、その外出頻度をみると、「ほとんど毎日」と「週に3日、4日」を合わせて8割を超えており、平成19年調査とほぼ同様の結果となっています。こうした結果の背景には、家に閉じこもることが認知症の原因となることを知っている人が約9割を占めているという状況があると思われます。また、高齢者のみ世帯では、その回答者の7割強が男性で占められていますが、その外出頻度をみると、「ほとんど毎日」と「週に3日、4日」を合わせ8割強となっており、閉じこもりと認知症の関連性についての認識も9割と多くなっています。

ひとり暮らし高齢者の健康状態については、「健康だと思う」が、今回6割強と、平成19年調査の6割弱からやや増加しています。また、健康状態を維持するために行なっていることが「ある」も9割近くと、平成19年調査より微増しています。

一方、高齢者世帯では、「健康だと思う」は6割台半ばと、ほぼ平成19年調査と変わりません。また、健康状態を維持するために行なっていることが「ある」についても、9割強とほぼ平成19年調査と同様と結果となっています。

ひとり暮らし高齢者の介護予防についての認知度は約7割と、平成19年調査より微増しているほか、介護予防事業に「現在、参加している」人も2割を占めています。また、高齢者世帯でも、介護予防についての認知度は7割台半ばを占め、平成19年調査より微増しているほか、介護予防事業への参加率も増加しており、全体として健康の維持・増進への意識が高まっていることがうかがえます。

しかしながら、ひとり暮らし高齢者では、現在、病気やケガの治療を「受けている」人は7割台半ばと、一般高齢者に比べてやや高くなっており、「高血圧」の人が5割を占めています。また、高齢者世帯でも、ほぼ同様の傾向があり、生活習慣病予防をはじめとして、一層健康の維持・増進を図ることが重要です。

ひとり暮らし高齢者が要介護状態になったときの希望介護形態としては、「介護施設で専門職員に介護してほしい」が3割強で最も多く、以下「在宅で主にヘルパーや看護師のような専門職員に介護してほしい」が3割弱、「在宅で親族に介護してほしい」が1割強となっており、在宅介護への希望の高さは、平成19年調査と同様です。一方、高齢者世代では、「在宅で主に配偶者に介護してほしい」が5割を占めて最も多く、これに「在宅で主にヘルパーや看護師のような専門職員に介護してほしい」などを合わせた《在宅介護希望》は7割近くに達しています。このように、ここ数年、ひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯が、在宅介護を希望する傾向は続いており、在宅での介護を支援する体制の一層の充実が求められています。

次に、地域活動への参加状況をみると、ひとり暮らし高齢者では、「自治会の活動」や「お祭りや運動会などのレクリエーション」への参加度が高くなっているほか、「老人福祉センター」や「介護予防教室」についても2割強の人が利用しています。一方、高齢者世帯では、「老人福祉センター」や「介護予防教室」の利用率は1割台半ばとなっています。今後も、各種地域活動や高齢者向けの地域施設の情報の提供を充実させるとともに、各活動への参加や施設の利用の促進を図っていくことが重要です。

将来の不安としては、ひとり暮らし高齢者では、「病気になること」と「加齢により身体的能力が低下すること」が6割を超えており、こうした高齢者の健康の維持・増進を支援していくことが重要です。一方、高齢者世帯では、自分の健康状態の維持と並んで、「自分や家族が介護の必要な状態になること」が多くなっています。

第2章 一般高齢者に関する調査結果

1. 調査結果の概要

- 「住宅の種類」は、「持ち家（一戸建て）」が56.7%と過半数を占め、これに「持ち家（共同住宅）」が33.0%で次いでいます。
- 要介護になったときの希望介護形態は、「在宅で主に配偶者に介護してほしい」が32.7%で最も多くなっています。平成19年調査と比較すると、あまり大きな変化はみられません。
- 現在の介護保険料については、「現在の介護保険料でちょうどよい」（27.2%）と「サービス利用を抑えてでも、介護保険料は抑えたい」（24.8%）に二分しています。
- 「日ごろの健康状態について」では、「とても健康だと思う」が11.0%で、これに「まあ健康だと思う」（59.5%）を合わせた【健康だと思う】は70.5%となっています。【健康だと思う】は、平成19年調査の66.6%から今回、やや増加しています。
- 「健康を維持するために心がけていることがあるか」では、「ある」が88.6%で、平成19年調査の86.3%よりやや増加しています。
- 「健康維持のため心がけていること」は、「運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている」（65.6%）、「定期的に健康診断を受けている」（61.8%）、「歯磨きを励行している」（60.2%）が、いずれも6割を超えて多くなっています。
- 「介護予防についての周知」では、「よく知っている」が34.6%で、これに「少しなら知っている」（36.4%）を合わせた【周知度】は71.0%で、平成19年の61.3%より大きく増加しています。
- 「介護予防の講習やトレーニングへの参加意向」では、「現在、参加している」が15.8%、「今後、参加してみたい」が30.7%と、平成19年調査より、「現在、参加している」がやや増加しています。
- 「地域活動の周知度」では、「自治会の活動」が82.5%で最も多く、以下「お祭りや運動会などのレクリエーション」（79.6%）、「防災訓練や交通安全運動」（69.9%）、「老人福祉センターの利用」（62.1%）、「老人クラブの活動」（61.2%）の順で続いています。

第2章 一般高齢者に関する調査結果

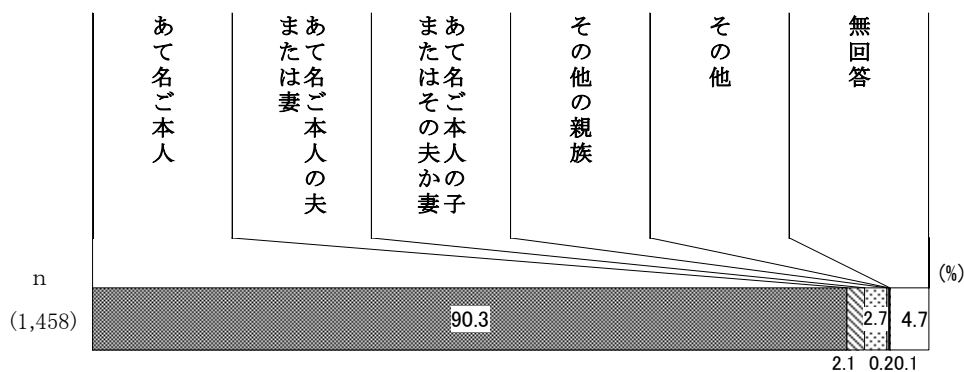
- 「地域活動の参加状況」をみると、周知度の高いものほど参加状況もよくなる傾向があり、「自治会の活動」は49.6%、「お祭りや運動会等レクリエーション」は43.6%、「防災訓練や交通安全運動」は33.2%となっています。一方、「老人福祉センターの利用」や「老人クラブの活動」は、周知度が高い割には参加率は低くなっています。
- 「参加していない理由」は、「地域でやっている行事や活動に、自分の参加したいものがないから」(23.9%)と「どのような行事や活動があるか知らないから」(20.6%)が、多くなっています。
- 「生きがいを感じることで、家族仲良く暮らしていくこと」が74.4%で最も多く、以下「子どもや孫の成長を見守ること」(51.6%)、「趣味の活動」(30.9%)の順で続いています。
- 将来についての不安を聞いたところ、「病気になること」が64.5%で最も多く、以下「加齢により身体機能が低下すること」(58.2%)、「自分や家族が介護の必要な状態になること」(57.7%)の順で続いています。
- 保健・医療・福祉サービスの周知度についてみると、「健康診査（特定健診・がん検診）」が83.4%で最も多く、以下「健康手帳の無料交付」(78.9%)、「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」(70.7%)の順で続いています。利用状況についてみると、「健康手帳の無料交付」が74.0%で最も高く、以下「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」(43.7%)、「健康診査（特定健診・がん検診）」(50.2%)の順で続いています。今後の利用意向をみると「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」が67.6%で最も多く、これに「健康手帳の無料交付」が64.5%で次いでおり、周知度や利用度が低いですが、利用意向の高いものも「特殊眼鏡・コンタクトレンズ購入費用の一部助成」と「補聴器購入費用の一部助成」があげられます。

2. 基本属性について

※ この調査にお答えいただくのはどなたですか。(○は1つだけ)

回答記入者は「本人」が90.3%と圧倒的に多くなっています。

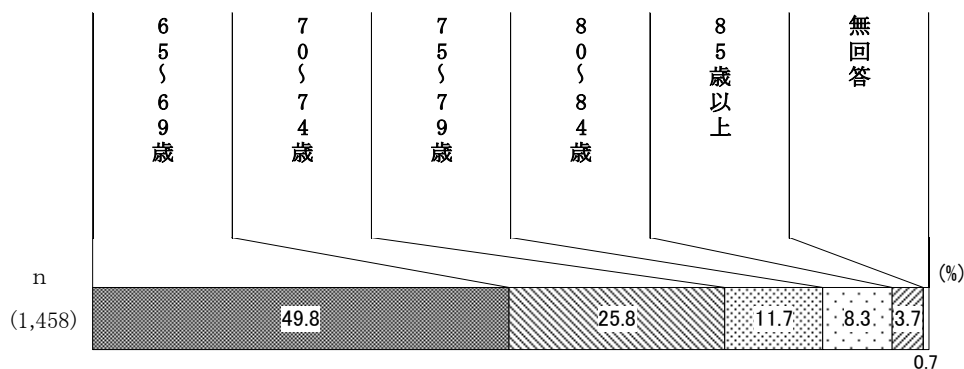
図2-1 調査の回答者



問1 あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

年齢は、「65～69歳」が49.8%と半数近くを占め、これに「70～74歳」が25.8%で次いでいます。

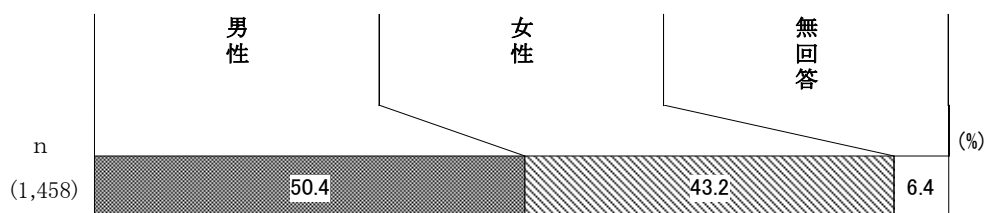
図2-2 年齢



問2 あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

性別は、「男性」が50.4%、「女性」が43.2%と男性が多くなっています。

図2-3 性別



問3 あなたはどちらの地区にお住まいですか。(〇は1つだけ)

居住地区は各地区に分散していますが、「美浜」(9.7%)、「入船」(9.9%)がやや多くなっています。

日常生活圏域別でみると、元町地区が32.4%、中町地区が55.3%、新町地区は11.8%となっています。

図2-4 居住地区

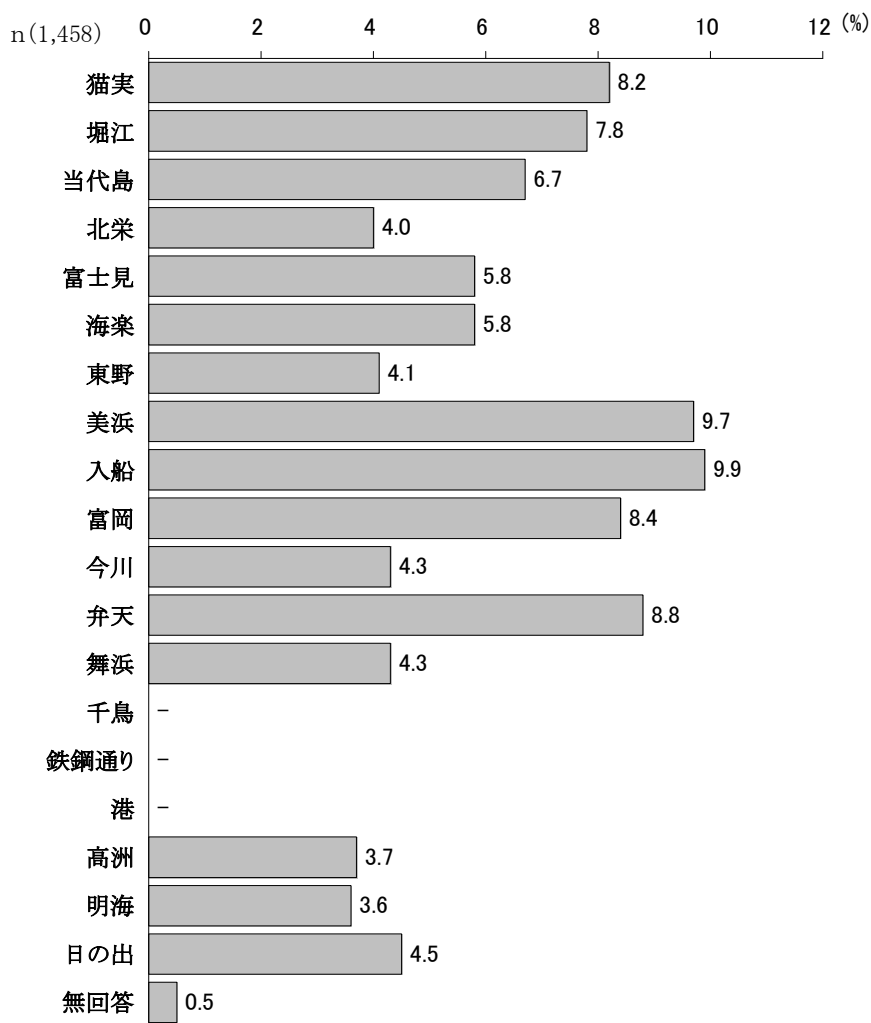
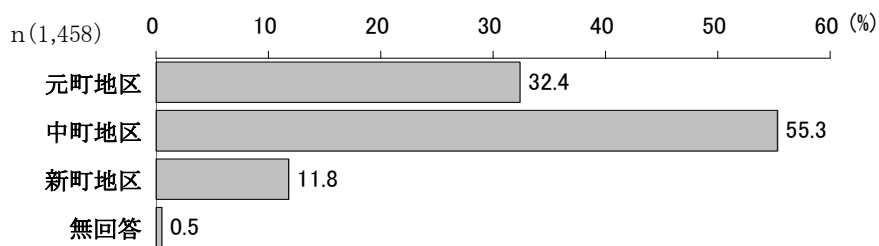


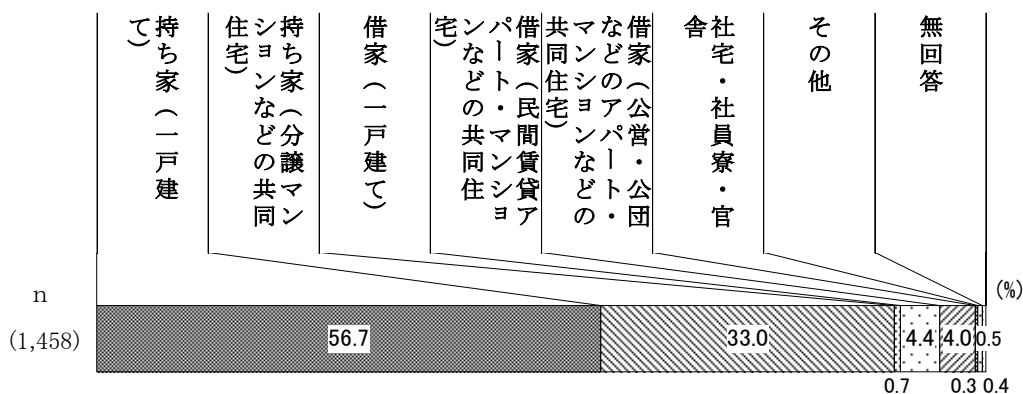
図2-5 居住地区(日常生活圏域別)



問4 あなたの今住んでいる住宅は、次のうちどれにあたりますか。(○は1つだけ)

住宅の種類は、「持ち家（一戸建て）」が56.7%と過半数を占め、これに「持ち家（共同住宅）」が33.0%で次いでいます。

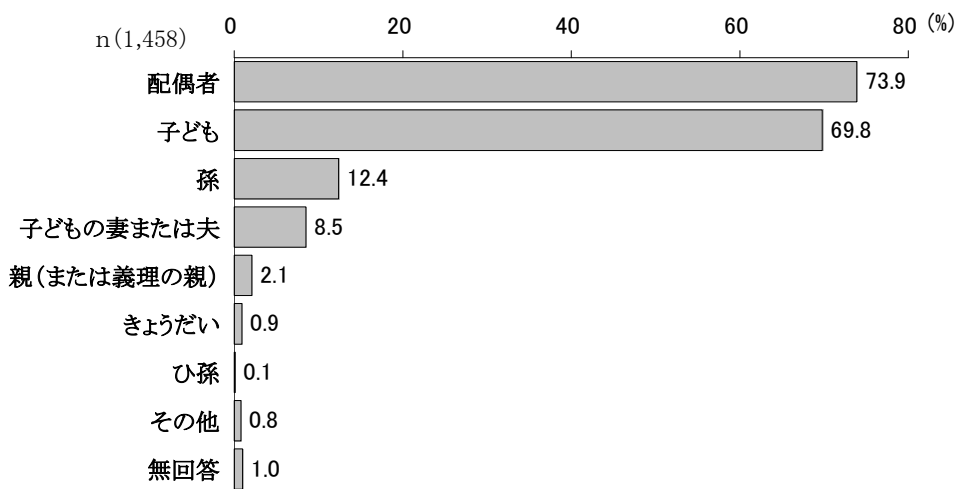
図2-6 住んでいる住宅



問5 現在、あなたと一緒に住んでいる方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

同居家族は、「配偶者（夫または妻）」（73.9%）と「子ども」（69.8%）が、とくに多くなっています。

図2-7 現在の居住者



問6 あなたは、介護が必要になったとき、主にどこで誰に介護してほしいと思いますか。
 (○は1つだけ)

「在宅で主に配偶者に介護してほしい」が32.7%で最も多くなっています。

図2-8 介護が必要になったとき希望する介護

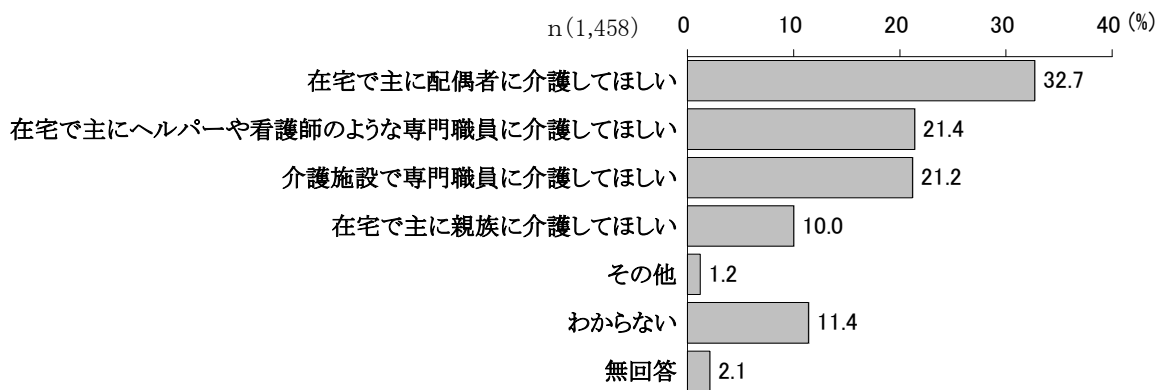


表2-1 経年比較 介護が必要になったとき希望する介護

(%)

	調査数	在宅で主に配偶者に介護してほしい	在宅で主に親族に介護してほしい	在宅で主にヘルパーや看護師のような専門職員に介護してほしい	介護施設で専門職員に介護してほしい	その他	わからない	無回答
平成19年	1,346人	32.8	11.7	17.7	22.8	1.6	11.0	2.5
平成22年	1,458人	32.7	10.0	21.4	21.2	1.2	11.4	2.1

3. 家計について

問7 あなたは、日頃の生活の中で、経済的なゆとりがある方だと思いますか。

(○は1つだけ)

経済的ゆとりについては、「十分ある」が6.3%で、これに「ある程度ある」(46.2%)を合わせた《ある》は52.5%となっています。一方、「あまりない」は32.9%、「ほとんどない」は8.9%となっています。

図2-9 経済的ゆとりの有無

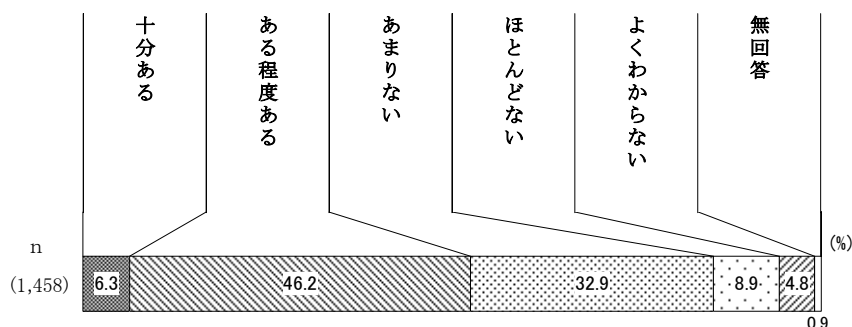


表2-2 性・年代別 経済的ゆとりの有無

上段：人数/下段：%

	調査数	十分ある	ある程度ある	あまりない	ほとんどない	よくわからない	無回答
全体	1458	92	674	479	130	70	13
	100.0	6.3	46.2	32.9	8.9	4.8	0.9
問2 性別							
男性	735	47	351	247	60	29	1
	100.0	6.4	47.8	33.6	8.2	3.9	0.1
女性	630	40	288	202	60	34	6
	100.0	6.3	45.7	32.1	9.5	5.4	1.0
問1 年齢							
65～69歳	726	52	353	225	58	35	3
	100.0	7.2	48.6	31.0	8.0	4.8	0.4
70～74歳	376	20	168	131	37	18	2
	100.0	5.3	44.7	34.8	9.8	4.8	0.5
75～79歳	171	11	75	60	18	7	-
	100.0	6.4	43.9	35.1	10.5	4.1	-
80～84歳	121	7	55	44	10	4	1
	100.0	5.8	45.5	36.4	8.3	3.3	0.8
85歳以上	54	2	22	17	5	6	2
	100.0	3.7	40.7	31.5	9.3	11.1	3.7

表2-3 経年比較 経済的ゆとりの有無

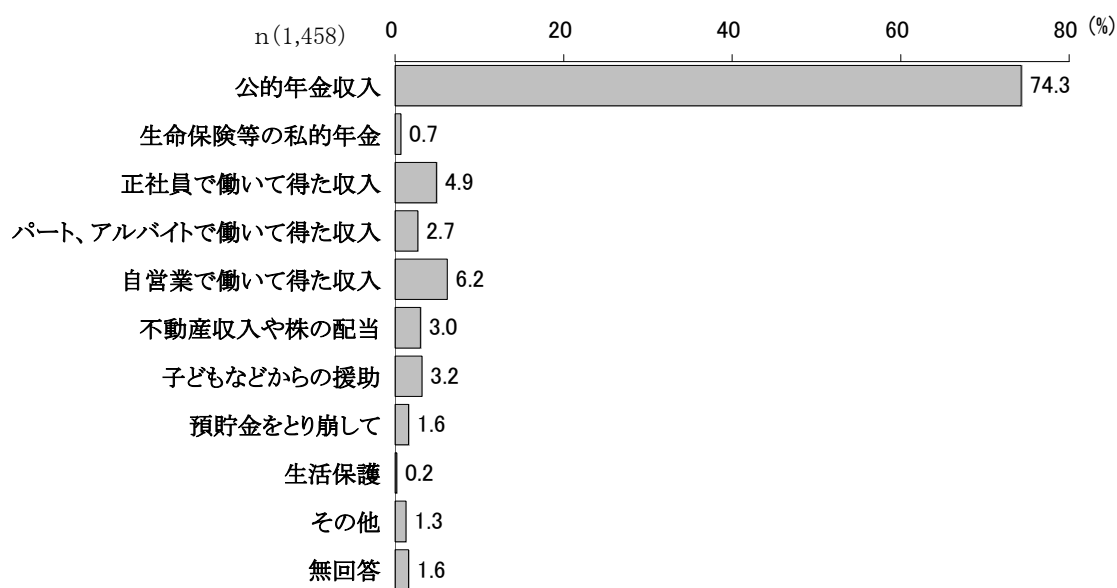
(%)

	調査数	十分ある	ある程度ある	あまりない	ほとんどない	よくわからない	無回答
平成19年	1,346人	5.9	46.1	31.9	11.1	3.6	1.4
平成22年	1,458人	6.3	46.2	32.9	8.9	4.8	0.9

問8 あなた（ご夫婦で暮らしている場合はご夫婦）の生活を支えている主な収入は何ですか。（○は1つだけ）

生活を支えている主な収入源としては、「公的年金収入（国民年金、厚生年金、恩給など）」が74.3%と圧倒的に多くなっています。

図2-10 生活を支えている主な収入



4. 介護保険について

問9 あなたは介護保険料を月額いくら納めていますか。(介護保険料所得段階は何段階に該当しますか。)(○は1つだけ)

介護保険料の段階については、「第8段階」が22.8%と最も多くなっています。また、「第4段階」「第5段階」「第7段階」についても1割を超えています。

図2-11 納めている介護保険料

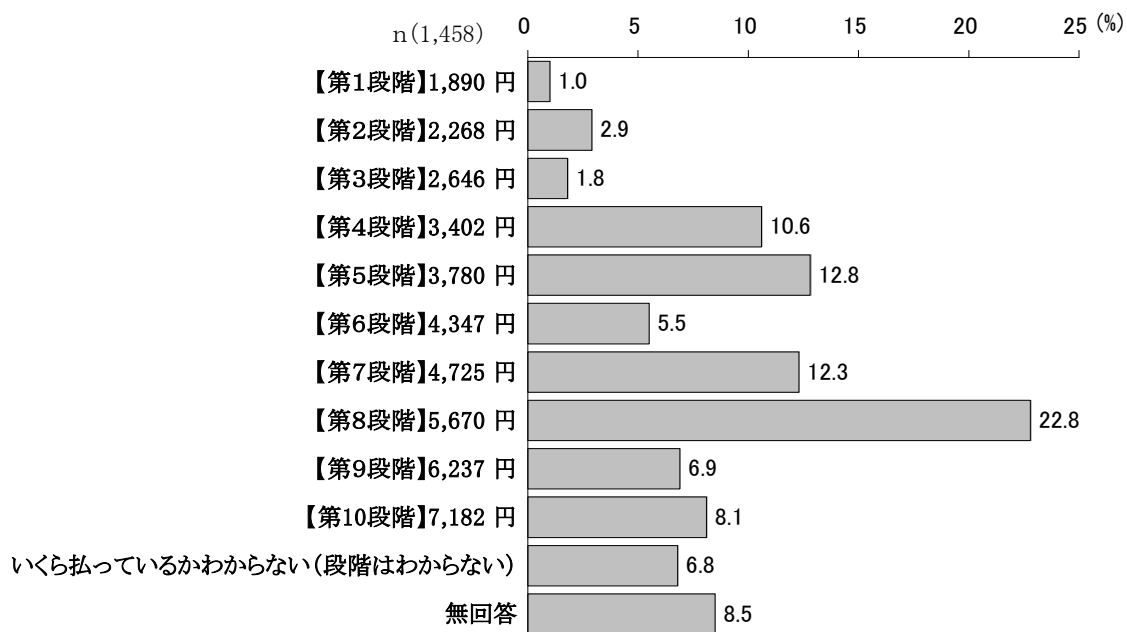


表2-4 性・年代別 納めている介護保険料

上段：人数/下段：%

	調査数	1【第1段階】 810 円	2【第2段階】 228 円	2【第3段階】 636 円	3【第4段階】 440 円	3【第5段階】 750 円	4【第6段階】 367 円	4【第7段階】 775 円	5【第8段階】 680 円	6【第9段階】 297 円	7【第10段階】 110 円	(かいらく 段なら はい はわか らない)	無回答
全体	1458	15	43	26	154	187	80	180	332	100	118	99	124
問2 性別													
男性	735	7	11	10	21	23	26	109	278	77	83	42	48
女性	630	6	27	15	125	155	46	60	39	18	25	49	65
問1 年齢													
65～69歳	726	5	11	14	64	73	41	98	181	73	75	40	51
70～74歳	376	3	11	4	47	71	21	41	88	15	23	28	24
75～79歳	171	1	8	4	23	22	11	23	36	6	8	12	17
80～84歳	121	5	8	4	8	15	5	10	20	6	8	13	19
85歳以上	54	1	5	-	12	5	2	5	5	-	2	5	12

問10 現在の介護保険料についてどのように考えますか。(○は1つだけ)

現在の介護保険料については、「現在の介護保険料でちょうどよい」(27.2%)と「サービス利用を抑えてでも、介護保険料は抑えたい」(24.8%)に二分しています。

図2-12 現在の介護保険料についての考え

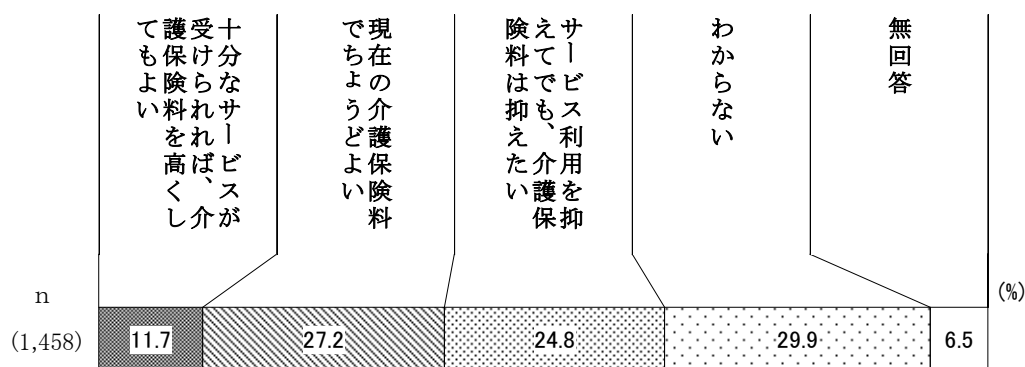


表2-5 経年比較 現在の介護保険料についての考え

	調査数	を高くしても介護保険料を受け	現在の介護保険料で	えたい、サービス利用を抑	わからない	無回答
平成19年	1,346人	13.2	25.1	27.4	29.3	5.1
平成22年	1,458人	11.7	27.2	24.8	29.9	6.5

5. 健康について

問11 あなたの日ごろの健康状態についてお伺いします。(○は1つだけ)

日ごろの健康状態については、「とても健康だと思う」が11.0%で、これに「まあ健康だと思う」(59.5%)を合わせた【健康だと思う】は70.5%となっています。【健康だと思う】は、平成19年調査の66.6%から今回、やや増加しています。

図2-13 日ごろの健康状態

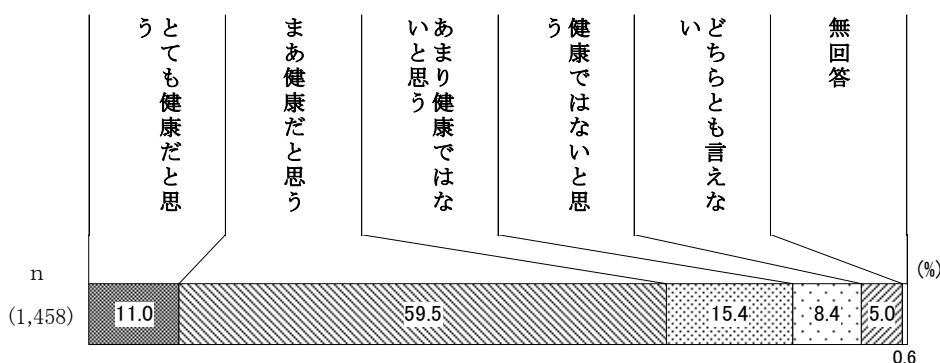


表2-6 性・年代別 日ごろの健康状態

	調査数	とても健康だと思う	まあ健康だと思う	あまり健康ではないと思う	健康ではないと思う	どちらとも言えない	無回答
全体	1458	161	867	225	123	73	9
	100.0	11.0	59.5	15.4	8.4	5.0	0.6
問2 性別							
男性	735	103	451	96	52	29	4
	100.0	14.0	61.4	13.1	7.1	3.9	0.5
女性	630	48	365	112	61	41	3
	100.0	7.6	57.9	17.8	9.7	6.5	0.5
問1 年齢							
65～69歳	726	98	466	82	43	33	4
	100.0	13.5	64.2	11.3	5.9	4.5	0.6
70～74歳	376	42	222	68	31	12	1
	100.0	11.2	59.0	18.1	8.2	3.2	0.3
75～79歳	171	10	89	31	26	13	2
	100.0	5.8	52.0	18.1	15.2	7.6	1.2
80～84歳	121	7	65	26	14	7	2
	100.0	5.8	53.7	21.5	11.6	5.8	1.7
85歳以上	54	1	21	16	9	7	-
	100.0	1.9	38.9	29.6	16.7	13.0	-

上段：人数／下段：%

表2-7 経年比較 日ごろの健康状態

	調査数	とても健康だと思う	まあ健康だと思う	あまり健康ではないと思う	健康ではないと思う	どちらとも言えない	無回答
平成19年	1,346人	11.1	55.5	16.9	9.6	6.1	0.8
平成22年	1,458人	11.0	59.5	15.4	8.4	5.0	0.6

問12 次の項目の中で、最近のあなたにあてはまるものがありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

最近の心身や生活の状況としては、「足や腰が痛く歩きにくくなった」が24.3%で最も多く、以下「外出の回数が減った」(22.2%)、「新しいことにチャレンジしなくなった」(21.3%)、「物忘れがひどくなった」(21.2%)と、僅差で続いています。

図2-14 最近の状況

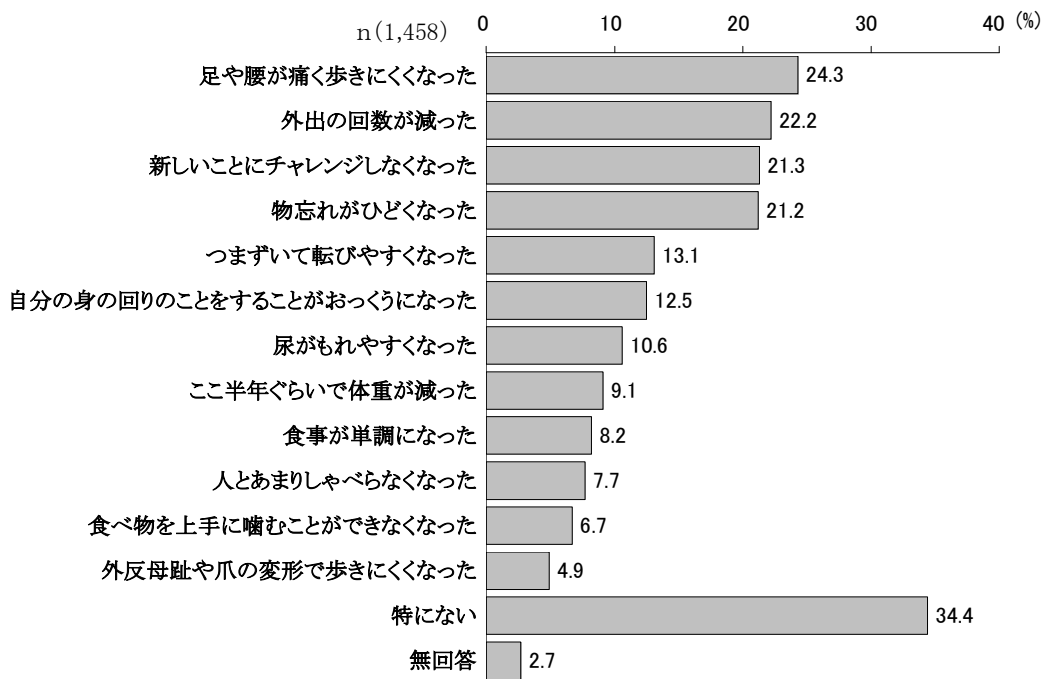


表2-8 性・年代別 最近の状況

上段：人数/下段：%

	調査数	足や腰が痛く歩きにくくなった	外出の回数が減った	新しいことにチャレンジしなくなった	物忘れがひどくなった	つまずいて転びやすくなった	自分の身の回りのことをすることがおっくうになった	尿がもれやすくなった	ここ半年ぐらいで体重が減った	食事が単調になった	人とあまりしゃべらなくなった	食べ物を上手に噛むことができなくなった	外反母趾や爪の変形で歩きにくくなった	特にない	無回答
全体	1458	354	324	310	309	191	182	154	132	119	112	98	72	502	40
問2 性別															
男性	735	127	129	143	150	73	87	66	55	45	62	53	16	287	26
	100.0	17.3	17.6	19.5	20.4	9.9	11.8	9.0	7.5	6.1	8.4	7.2	2.2	39.0	3.5
女性	630	199	172	144	137	102	84	80	69	69	42	37	52	190	10
	100.0	31.6	27.3	22.9	21.7	16.2	13.3	12.7	11.0	11.0	6.7	5.9	8.3	30.2	1.6
問1 年齢															
65～69歳	726	103	111	134	120	59	61	45	49	41	47	32	25	311	19
	100.0	14.2	15.3	18.5	16.5	8.1	8.4	6.2	6.7	5.6	6.5	4.4	3.4	42.8	2.6
70～74歳	376	80	81	81	79	47	47	37	35	38	30	25	20	128	15
	100.0	21.3	21.5	21.5	21.0	12.5	12.5	9.8	9.3	10.1	8.0	6.6	5.3	34.0	4.0
75～79歳	171	66	55	39	46	35	33	32	19	16	12	15	14	41	3
	100.0	38.6	32.2	22.8	26.9	20.5	19.3	18.7	11.1	9.4	7.0	8.8	8.2	24.0	1.8
80～84歳	121	67	43	36	39	31	22	22	15	17	9	17	8	16	2
	100.0	55.4	35.5	29.8	32.2	25.6	18.2	18.2	12.4	14.0	7.4	14.0	6.6	13.2	1.7
85歳以上	54	35	32	17	22	16	18	16	14	6	14	9	4	5	-
	100.0	64.8	59.3	31.5	40.7	29.6	33.3	29.6	25.9	11.1	25.9	16.7	7.4	9.3	-

問13 健康を維持するためや介護が必要な状態にならないために、あなたが心がけていることはありますか。(〇は1つだけ)

健康を維持するために心がけていることは、「ある」が88.6%で、平成19年調査の86.3%よりやや増加しています。

図2-15 健康を維持するために心がけていることの有無

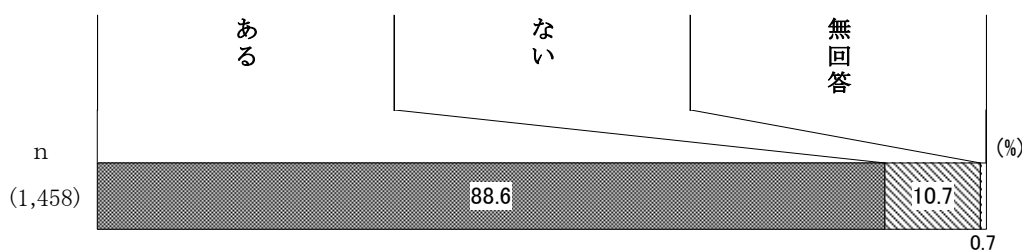


表2-9 性・年代別 健康を維持するために心がけていることの有無

上段：人数/下段：%

	調査数	ある	ない	無回答
全体	1458	1292	156	10
	100.0	88.6	10.7	0.7
問2 性別				
男性	735	652	77	6
	100.0	88.7	10.5	0.8
女性	630	562	65	3
	100.0	89.2	10.3	0.5
問1 年齢				
65～69歳	726	647	73	6
	100.0	89.1	10.1	0.8
70～74歳	376	345	29	2
	100.0	91.8	7.7	0.5
75～79歳	171	149	22	-
	100.0	87.1	12.9	-
80～84歳	121	102	17	2
	100.0	84.3	14.0	1.7
85歳以上	54	41	13	-
	100.0	75.9	24.1	-

表2-10 経年比較 健康を維持するために心がけていることの有無

(%)

	調査数	ある	ない	無回答
平成19年	1,346人	86.3	10.6	3.0
平成22年	1,458人	88.6	10.7	0.7

「問13で「1 ある」とお答えの方にお伺いします」

問13-1 具体的にはどのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

健康を維持するために具体的に心がけていることは、「運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている」(65.6%)、「定期的に健康診断を受けている」(61.8%)、「歯磨きを励行している」(60.2%)が、いずれも6割を超えて多くなっています。

図2-16 具体的に心がけていること

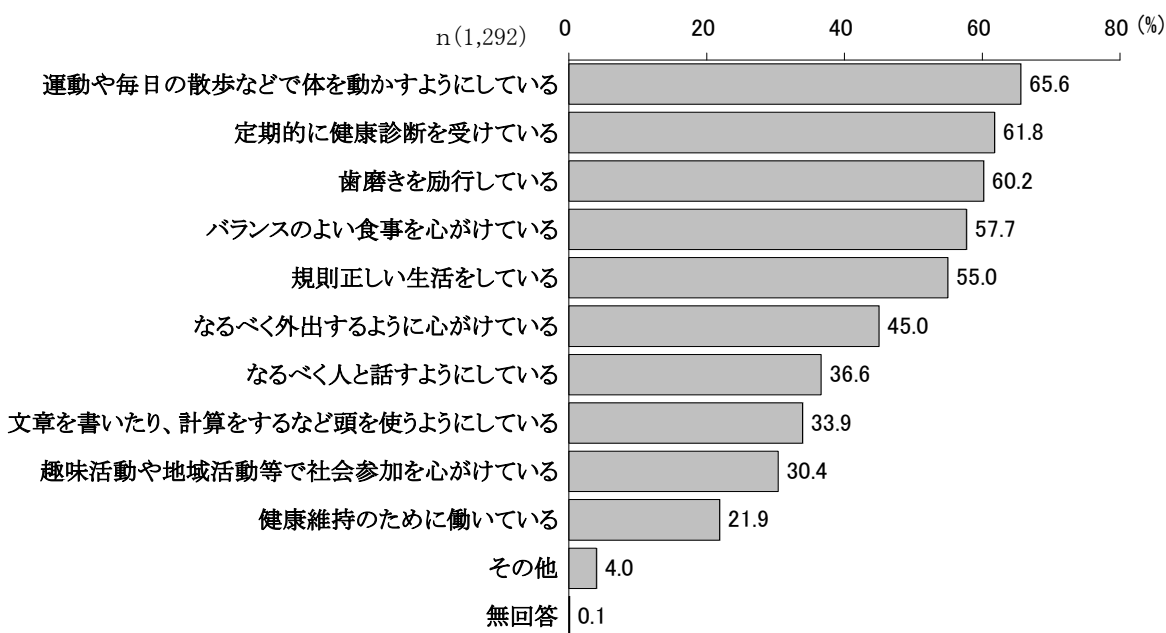


表2-11 経年比較 具体的に心がけていること

(%)

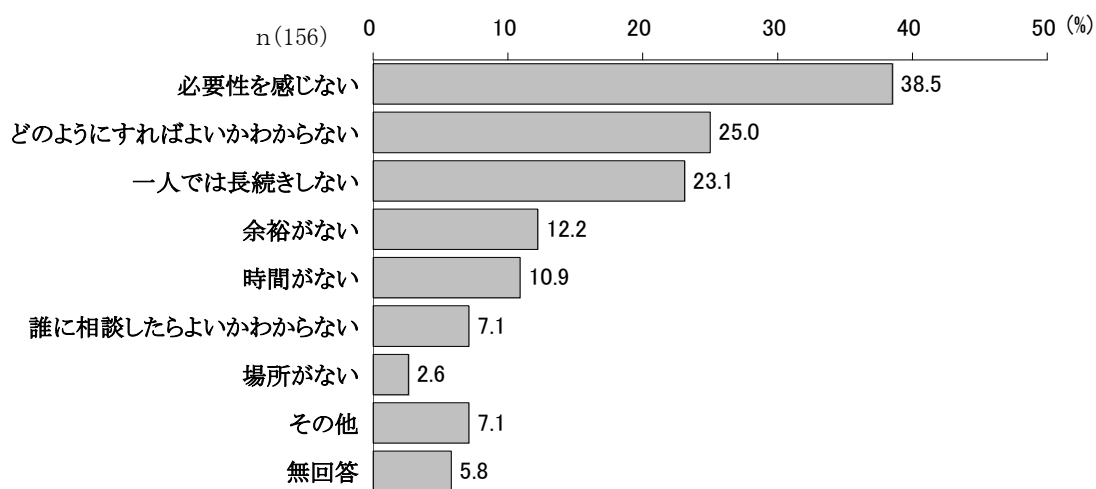
	調査数	運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている	定期的に健康診断を受けている	歯磨きを励行している	バランスのよい食事を心がけている	規則正しい生活をしている	なるべく外出するようにしている	なるべく人と話すようにしている	文章を書いたり、計算をするなど頭を使うようにしている	趣味活動や地域活動等で社会参加を心がけている	健康維持のために働いている	その他	無回答
平成19年	1,162人	66.4	60.8	59.4	59.1	49.2	45.8	35.8	34.1	28.2	22.8	4.8	0.1
平成22年	1,292人	65.6	61.8	60.2	57.7	55.0	45.0	36.6	33.9	30.4	21.9	4.0	0.1

《問13で「2 ない」とお答えの方にお伺いします》

問13-2 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

健康維持や要介護状態にならないための対策をしていない理由としては、「必要性を感じない」が38.5%で最も多く、以下「どのようにすればよいかわからない」(25.0%)、「一人では長続きしない」(23.1%)の順で続いています。

図2-17 心がけていない理由



問14 あなたは、現在、病気やケガで治療を受けていますか。(○は1つだけ)

現在、病気やケガの治療を「受けている」は71.7%、「受けていない」は25.4%となっています。

図2-18 病気やケガの治療を受けている

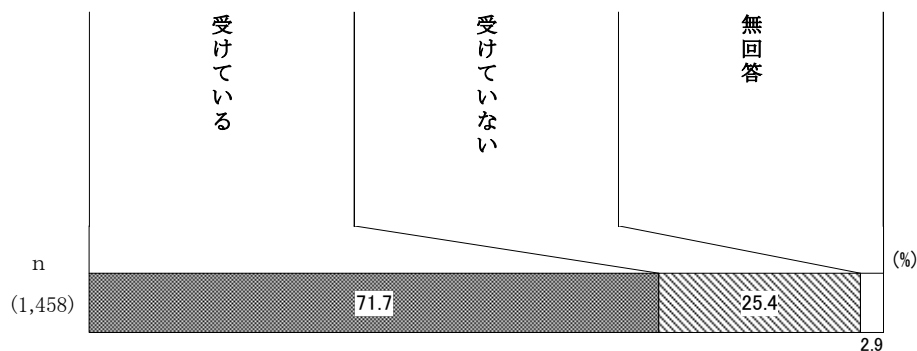


表2-12 性・年代別 病気やケガの治療を受けている

上段：人数／下段：%

	調査数	受けている	受けていない	無回答
全体	1458	1045	371	42
	100.0	71.7	25.4	2.9
問2 性別				
男性	735	511	205	19
	100.0	69.5	27.9	2.6
女性	630	464	151	15
	100.0	73.7	24.0	2.4
問1 年齢				
65～69歳	726	468	240	18
	100.0	64.5	33.1	2.5
70～74歳	376	281	87	8
	100.0	74.7	23.1	2.1
75～79歳	171	141	21	9
	100.0	82.5	12.3	5.3
80～84歳	121	102	13	6
	100.0	84.3	10.7	5.0
85歳以上	54	44	9	1
	100.0	81.5	16.7	1.9

表2-13 経年比較 病気やケガの治療を受けている

(%)

	調査数	受けている	受けていない	無回答
平成19年	1,346人	72.1	23.6	4.3
平成22年	1,458人	71.7	25.4	2.9

《問14で「1 受けている」とお答えの方にお伺いします》

問14-1 あなたが治療している病名は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

現在、治療している病気としては、「高血圧」が50.2%で最も多く、これに「目の病気」が24.1%で次いでいます。

図2-19 治療している病名

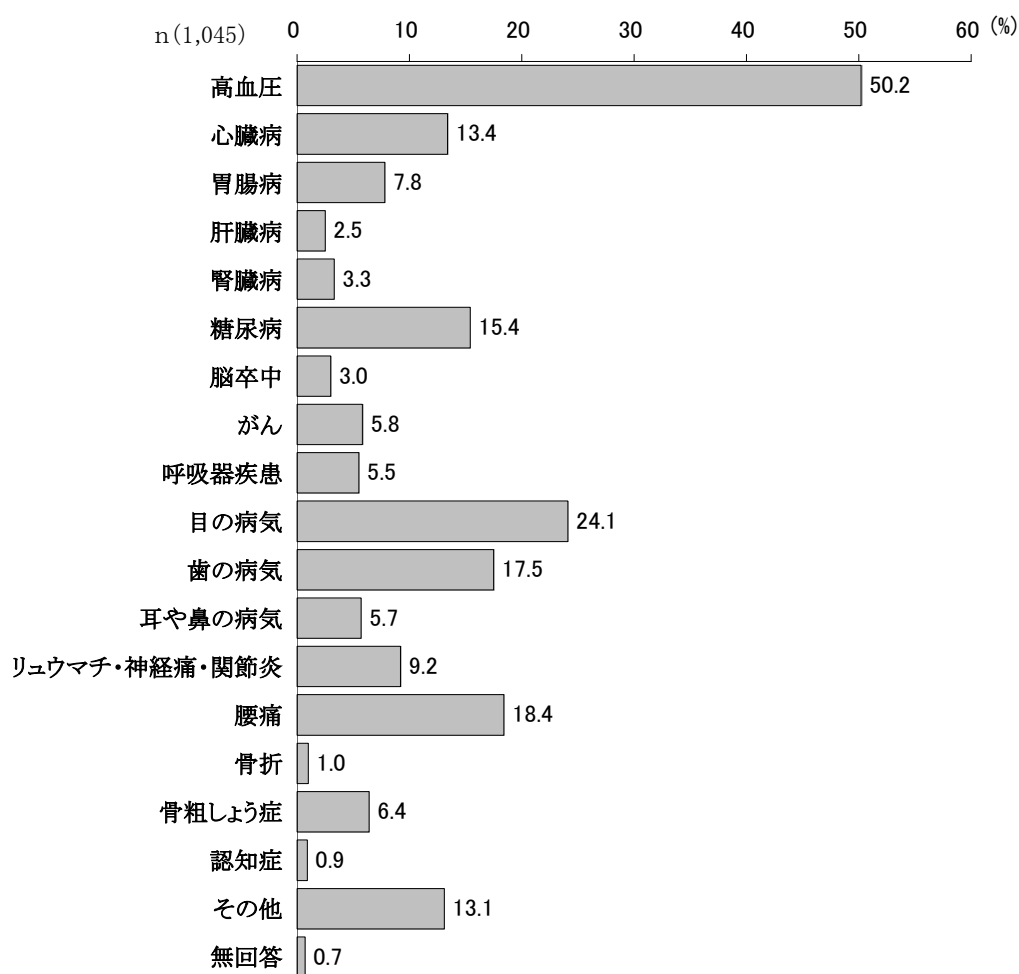


表2-14 経年比較 治療している病名

(%)

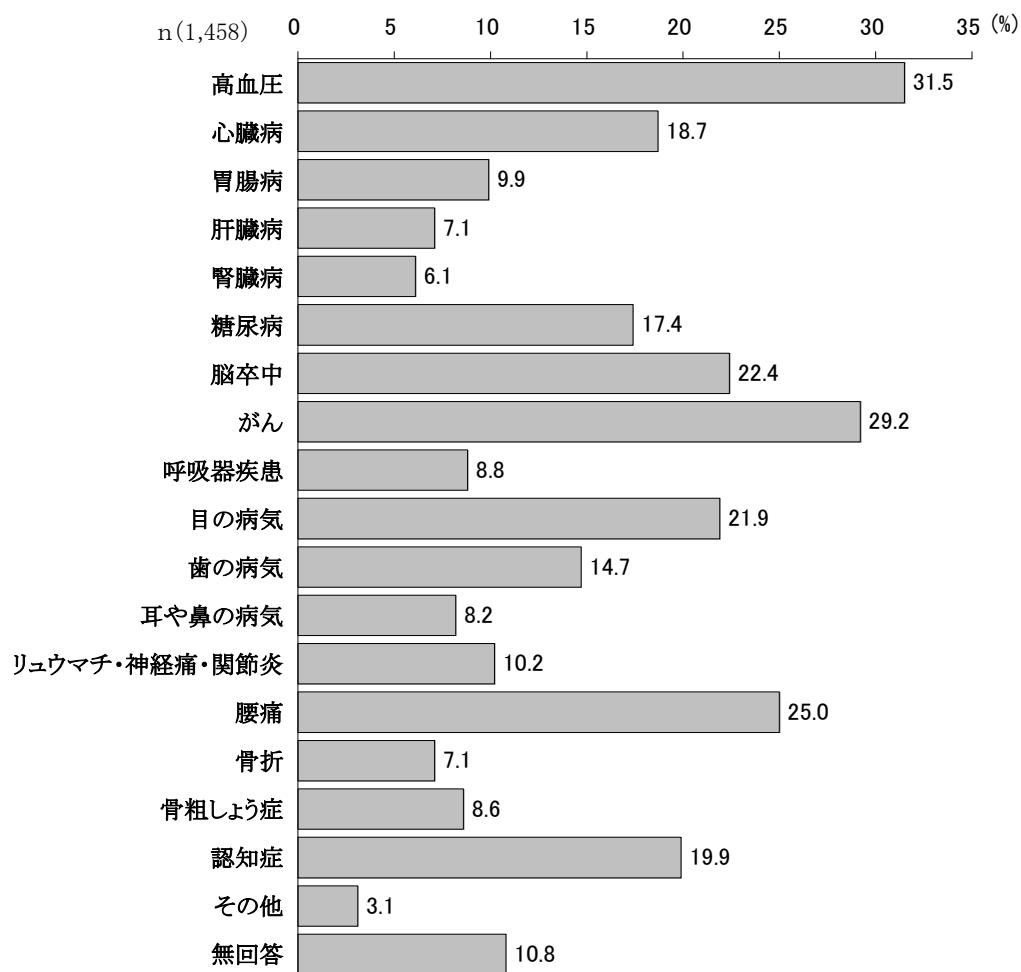
	調査数	高血圧	心臓病	胃腸病	肝臓病	腎臓病	糖尿病	脳卒中	がん	呼吸器疾患	目の病気
平成19年	970人	45.8	14.5	8.0	2.5	2.5	17.7	2.9	4.9	4.7	25.3
平成22年	1,045人	50.2	13.4	7.8	2.5	3.3	15.4	3.0	5.8	5.5	24.1

	調査数	歯の病気	耳や鼻の病気	経リ痛ユウマチ・神	腰痛	骨折	骨粗しょう症	認知症	その他	無回答
平成19年	970人	17.9	6.6	9.0	20.6	1.6	6.1	0.3	13.8	0.6
平成22年	1,045人	17.5	5.7	9.2	18.4	1.0	6.4	0.9	13.1	0.7

問15 あなたの生活習慣を振り返って、心配な病名は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

生活習慣を振り返って心配な病名としては、「高血圧」が31.5%で最も多く、以下「がん」(29.2%)、「腰痛」(25.0%)、「脳卒中」(22.4%)の順で続いています。

図2-20 心配な病名



第2章 一般高齢者に関する調査結果

表2-15 性・年代別 心配な病名

上段：人数／下段：%

	調査数	高血圧	心臓病	胃腸病	肝臓病	腎臓病	糖尿病	脳卒中	がん	呼吸器疾患	目の病気
全体	1458 100.0	459 31.5	273 18.7	145 9.9	103 7.1	89 6.1	254 17.4	326 22.4	426 29.2	129 8.8	320 21.9
問2 性別											
男性	735 100.0	249 33.9	155 21.1	64 8.7	72 9.8	50 6.8	160 21.8	182 24.8	250 34.0	74 10.1	135 18.4
女性	630 100.0	183 29.0	106 16.8	72 11.4	25 4.0	33 5.2	82 13.0	120 19.0	154 24.4	48 7.6	170 27.0
問1 年齢											
65～69歳	726 100.0	221 30.4	124 17.1	63 8.7	69 9.5	37 5.1	138 19.0	167 23.0	243 33.5	69 9.5	152 20.9
70～74歳	376 100.0	130 34.6	86 22.9	42 11.2	19 5.1	30 8.0	70 18.6	95 25.3	112 29.8	34 9.0	85 22.6
75～79歳	171 100.0	62 36.3	34 19.9	24 14.0	10 5.8	13 7.6	27 15.8	30 17.5	40 23.4	12 7.0	38 22.2
80～84歳	121 100.0	31 25.6	16 13.2	12 9.9	4 3.3	5 4.1	12 9.9	22 18.2	25 20.7	10 8.3	28 23.1
85歳以上	54 100.0	12 22.2	11 20.4	4 7.4	1 1.9	4 7.4	5 9.3	11 20.4	4 7.4	3 5.6	16 29.6

	調査数	歯の病気	耳や鼻の病気	関節炎 リュウマチ・神経痛・	腰痛	骨折	骨粗しょう症	認知症	その他	無回答
全体	1458 100.0	214 14.7	119 8.2	148 10.2	364 25.0	103 7.1	125 8.6	290 19.9	45 3.1	157 10.8
問2 性別										
男性	735 100.0	111 15.1	59 8.0	49 6.7	161 21.9	19 2.6	14 1.9	114 15.5	22 3.0	76 10.3
女性	630 100.0	94 14.9	53 8.4	93 14.8	181 28.7	80 12.7	102 16.2	155 24.6	19 3.0	68 10.8
問1 年齢										
65～69歳	726 100.0	109 15.0	64 8.8	65 9.0	169 23.3	33 4.5	46 6.3	143 19.7	19 2.6	74 10.2
70～74歳	376 100.0	61 16.2	28 7.4	35 9.3	97 25.8	29 7.7	38 10.1	70 18.6	15 4.0	41 10.9
75～79歳	171 100.0	25 14.6	13 7.6	21 12.3	39 22.8	16 9.4	19 11.1	38 22.2	3 1.8	19 11.1
80～84歳	121 100.0	10 8.3	7 5.8	19 15.7	38 31.4	14 11.6	13 10.7	26 21.5	4 3.3	17 14.0
85歳以上	54 100.0	7 13.0	6 11.1	6 11.1	16 29.6	11 20.4	6 11.1	11 20.4	1 1.9	6 11.1

表2-16 経年比較 心配な病名

(%)											
	調査数	高血圧	心臓病	胃腸病	肝臓病	腎臓病	糖尿病	脳卒中	がん	呼吸器疾患	目の病気
平成19年	1,346人	31.9	21.1	11.0	8.3	5.6	20.7	21.3	27.9	8.2	20.1
平成22年	1,458人	31.5	18.7	9.9	7.1	6.1	17.4	22.4	29.2	8.8	21.9

	調査数	歯の病気	耳や鼻の病気	関節炎 リュウマチ・神経痛・	腰痛	骨折	骨粗しょう症	認知症	その他	無回答
平成19年	1,346人	15.4	7.3	12.9	25.0	7.4	8.5	16.3	4.5	12.9
平成22年	1,458人	14.7	8.2	10.2	25.0	7.1	8.6	19.9	3.1	10.8

問16 あなたは、普段から治療を受けているかかりつけの病院・クリニック、かかりつけの歯科医院、かかりつけの薬局がありますか（それぞれ〇は1つ）

かかりつけの医療機関が「ある」と答えた方をみると、「かかりつけの病院・クリニック」が86.2%で最も多く、以下「かかりつけの歯科医院」（68.4%）、「かかりつけの薬局」（51.0%）の順となっています。

図2-21 かかりつけ医療機関の有無

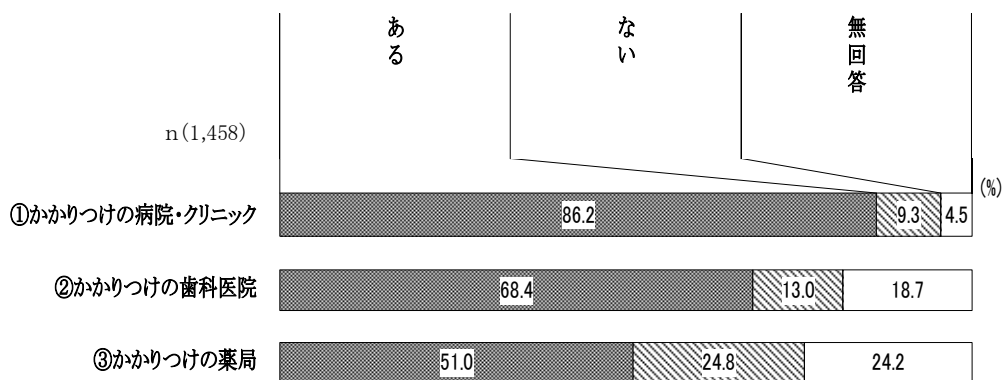


表2-17 性・年代別 かかりつけ医療機関の有無

上段：人数／下段：%

①かかりつけの病院・クリニック

	調査数	ある	ない	無回答
全体	1458	1257	136	65
	100.0	86.2	9.3	4.5

②かかりつけの歯科医院

	調査数	ある	ない	無回答
全体	1458	997	189	272
	100.0	68.4	13.0	18.7

③かかりつけの薬局

	調査数	ある	ない	無回答
全体	1458	744	361	353
	100.0	51.0	24.8	24.2

問2 性別

性別	調査数	ある	ない	無回答
男性	735	626	81	28
	100.0	85.2	11.0	3.8
女性	630	552	48	30
	100.0	87.6	7.6	4.8

性別	調査数	ある	ない	無回答
男性	735	499	112	124
	100.0	67.9	15.2	16.9
女性	630	451	63	116
	100.0	71.6	10.0	18.4

性別	調査数	ある	ない	無回答
男性	735	329	232	174
	100.0	44.8	31.6	23.7
女性	630	373	109	148
	100.0	59.2	17.3	23.5

問1 年齢

年齢	調査数	ある	ない	無回答
65～69歳	726	592	93	41
	100.0	81.5	12.8	5.6
70～74歳	376	340	30	6
	100.0	90.4	8.0	1.6
75～79歳	171	154	4	13
	100.0	90.1	2.3	7.6
80～84歳	121	114	3	4
	100.0	94.2	2.5	3.3
85歳以上	54	48	5	1
	100.0	88.9	9.3	1.9

年齢	調査数	ある	ない	無回答
65～69歳	726	494	117	115
	100.0	68.0	16.1	15.8
70～74歳	376	290	38	48
	100.0	77.1	10.1	12.8
75～79歳	171	108	15	48
	100.0	63.2	8.8	28.1
80～84歳	121	73	6	42
	100.0	60.3	5.0	34.7
85歳以上	54	25	11	18
	100.0	46.3	20.4	33.3

年齢	調査数	ある	ない	無回答
65～69歳	726	307	239	180
	100.0	42.3	32.9	24.8
70～74歳	376	224	77	75
	100.0	59.6	20.5	19.9
75～79歳	171	99	25	47
	100.0	57.9	14.6	27.5
80～84歳	121	72	10	39
	100.0	59.5	8.3	32.2
85歳以上	54	36	7	11
	100.0	66.7	13.0	20.4

問17 介護が必要な状態にならないために、あるいは介護が必要であってもこれ以上悪化しないためには、糖尿病や脳卒中、心臓病などの生活習慣病予防のほか、介護予防が必要です。介護予防には、次のようなものがあります。

- ・足などの筋力をつけること
- ・認知症の予防をすること
- ・栄養改善をすること
- ・閉じこもり予防をすること
- ・お口の機能改善をすること
- ・うつ予防をすること

このことについて、あなたはご存知でしたか。(〇は1つだけ)

介護予防についての周知では、「よく知っている」が34.6%で、これに「少しなら知っている」(36.4%)を合わせた【周知度】は71.0%で、平成19年の61.3%より大きく増加しています。

図2-22 介護予防についての周知

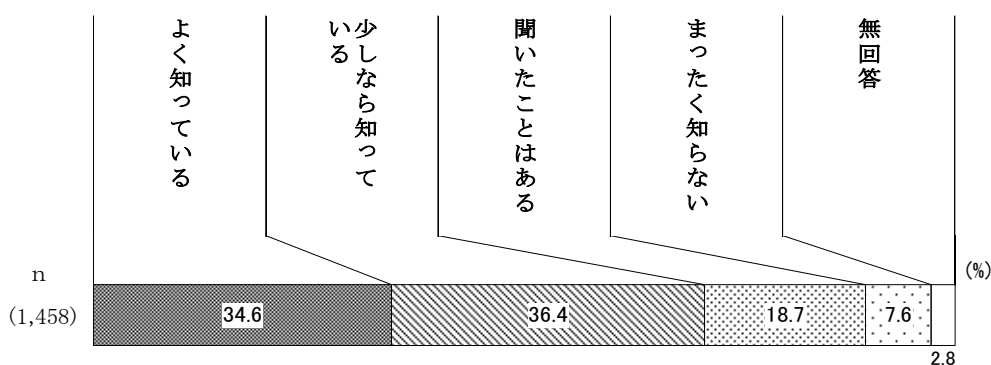


表2-18 性・年代別
介護予防についての周知

上段：人数/下段：%

	調査数	よく知っている	少しなら知っている	聞いたことはある	まったく知らない	無回答
全体	1458	504	530	272	111	41
	100.0	34.6	36.4	18.7	7.6	2.8
問2 性別						
男性	735	240	287	126	64	18
	100.0	32.7	39.0	17.1	8.7	2.4
女性	630	238	212	123	39	18
	100.0	37.8	33.7	19.5	6.2	2.9
問1 年齢						
65～69歳	726	236	269	133	68	20
	100.0	32.5	37.1	18.3	9.4	2.8
70～74歳	376	150	137	66	18	5
	100.0	39.9	36.4	17.6	4.8	1.3
75～79歳	171	58	60	36	8	9
	100.0	33.9	35.1	21.1	4.7	5.3
80～84歳	121	40	46	16	13	6
	100.0	33.1	38.0	13.2	10.7	5.0
85歳以上	54	17	16	16	4	1
	100.0	31.5	29.6	29.6	7.4	1.9

表2-19 経年比較
介護予防についての周知

(%)

	調査数	よく知っている	少しなら知っている	聞いたことはある	まったく知らない	無回答
平成19年	1,346人	27.0	34.3	21.4	12.3	5.1
平成22年	1,458人	34.6	36.4	18.7	7.6	2.8

問18 介護予防のためのさまざまな講習やトレーニングに参加してみたいと思いますか。
(○は1つだけ)

介護予防の講習やトレーニングへの参加意向では、「現在、参加している」が15.8%、「今後、参加してみたい」が30.7%となっています。

図2-23 介護予防のための講習やトレーニングへの参加意向

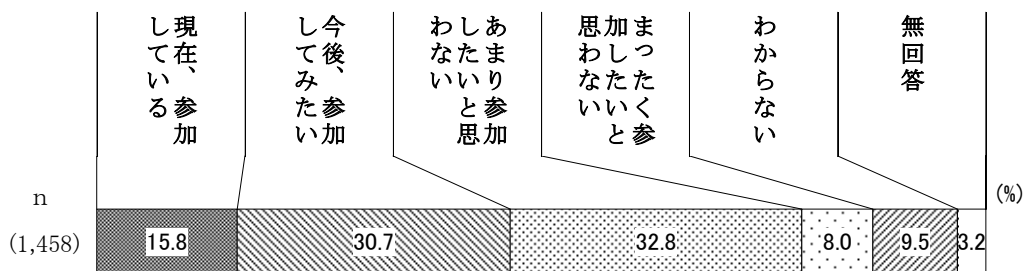


表2-20 性・年代別 介護予防のための講習やトレーニングへの参加意向

上段：人数/下段：%

	調査数	現在、参加している	今後、参加してみたい	あまり参加したいと思わない	まったく参加しない	わからない	無回答
全体	1458	231	448	478	116	139	46
	100.0	15.8	30.7	32.8	8.0	9.5	3.2
問2 性別							
男性	735	94	224	272	63	66	16
	100.0	12.8	30.5	37.0	8.6	9.0	2.2
女性	630	125	199	174	41	67	24
	100.0	19.8	31.6	27.6	6.5	10.6	3.8
問1 年齢							
65～69歳	726	108	259	225	53	67	14
	100.0	14.9	35.7	31.0	7.3	9.2	1.9
70～74歳	376	71	112	127	21	37	8
	100.0	18.9	29.8	33.8	5.6	9.8	2.1
75～79歳	171	28	35	67	19	12	10
	100.0	16.4	20.5	39.2	11.1	7.0	5.8
80～84歳	121	22	30	36	11	13	9
	100.0	18.2	24.8	29.8	9.1	10.7	7.4
85歳以上	54	1	7	21	11	9	5
	100.0	1.9	13.0	38.9	20.4	16.7	9.3

表2-21 経年比較 介護予防のための講習やトレーニングへの参加意向

(%)

	調査数	現在、参加している	今後、参加してみたい	あまり参加したいと思わない	まったく参加しない	わからない	無回答
平成19年	1,346人	12.3	34.7	28.6	8.2	9.7	6.5
平成22年	1,458人	15.8	30.7	32.8	8.0	9.5	3.2

《問18で「1 現在、参加している」とお答えの方にお伺いします》

問18-1 どのような講習やトレーニングに参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

参加している介護予防のための講習やトレーニングとしては、「公民館で開催されている各種教室」が36.4%で最も多く、以下「民間のスポーツクラブ」(26.8%)、「老人福祉センター(Uセンター)で開催されている各種教室」(25.1%)、「総合体育館や武道館のトレーニングルーム」(13.4%)の順で続いています。

図2-24 参加している講習やトレーニング

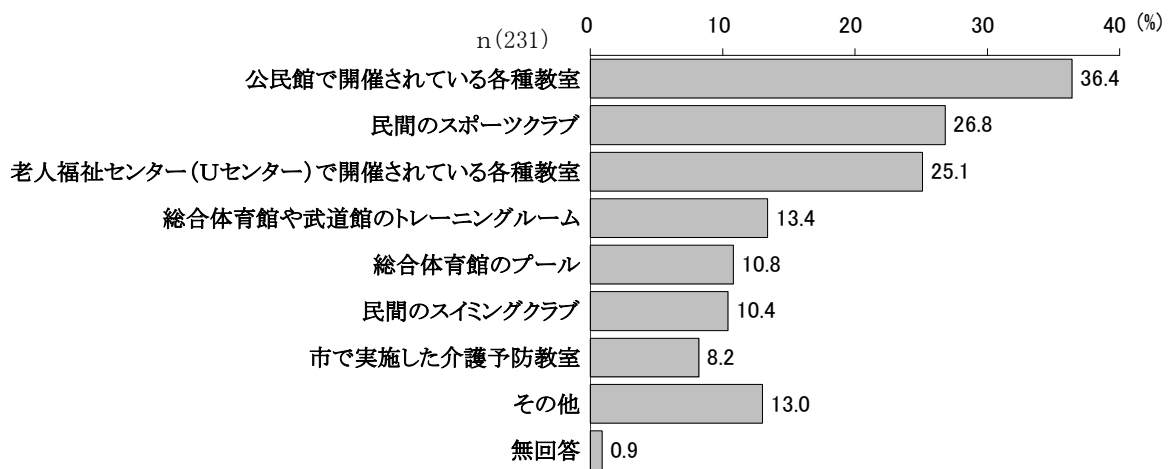


表2-22 性・年代別 参加している講習やトレーニング

上段：人数/下段：%

	調査数	公民館で開催されている各種教室	民間のスポーツクラブ	老人福祉センター(Uセンター)で開催されている各種教室	総合体育館や武道館のトレーニングルーム	総合体育館のプール	民間のスィミングクラブ	市で実施した介護予防教室	その他	無回答
全体	231 100.0	84 36.4	62 26.8	58 25.1	31 13.4	25 10.8	24 10.4	19 8.2	30 13.0	2 0.9
問2 性別										
男性	94 100.0	20 21.3	30 31.9	21 22.3	19 20.2	14 14.9	7 7.4	9 9.6	14 14.9	-
女性	125 100.0	61 48.8	30 24.0	32 25.6	10 8.0	11 8.8	16 12.8	10 8.0	14 11.2	2 1.6
問1 年齢										
65~69歳	108 100.0	36 33.3	42 38.9	19 17.6	19 17.6	11 10.2	14 13.0	3 2.8	7 6.5	2 1.9
70~74歳	71 100.0	28 39.4	15 21.1	20 28.2	12 16.9	10 14.1	5 7.0	10 14.1	13 18.3	-
75~79歳	28 100.0	9 32.1	4 14.3	8 28.6	-	2 7.1	3 10.7	4 14.3	6 21.4	-
80~84歳	22 100.0	10 45.5	1 4.5	11 50.0	-	2 9.1	2 9.1	2 9.1	3 13.6	-
85歳以上	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

表2-23 経年比較 参加している講習やトレーニング

(%)

	調査数	公民館で開催されている各種教室	民間のスポーツクラブ	老人福祉センター（Uセンター）で開催されている各種教室	総合体育館や武道館のトレーニングルーム	総合体育館のプール	民間のスイミングクラブ	その他	無回答
平成19年	166人	31.3	29.5	17.5	21.7	12.7	12.7	14.5	0.6
平成22年	231人	36.4	26.8	25.1	13.4	10.8	10.4	13.0	0.9

(注)「市で実施した介護予防教室」は、前回調査の項目になし。

「問18で「3 あまり参加したいと思わない」「4 まったく参加したいと思わない」とお答えの方にお伺いします」

問18-2 それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

介護予防のための講習やトレーニングをしていない理由としては、「必要がないと思うから」が31.1%で最も多く、以下「どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから」(23.6%)、「一緒に参加する友人や仲間がいないから」(18.2%)、「参加したいものがないから」(17.0%)の順で続いています。

図2-25 参加したくない理由

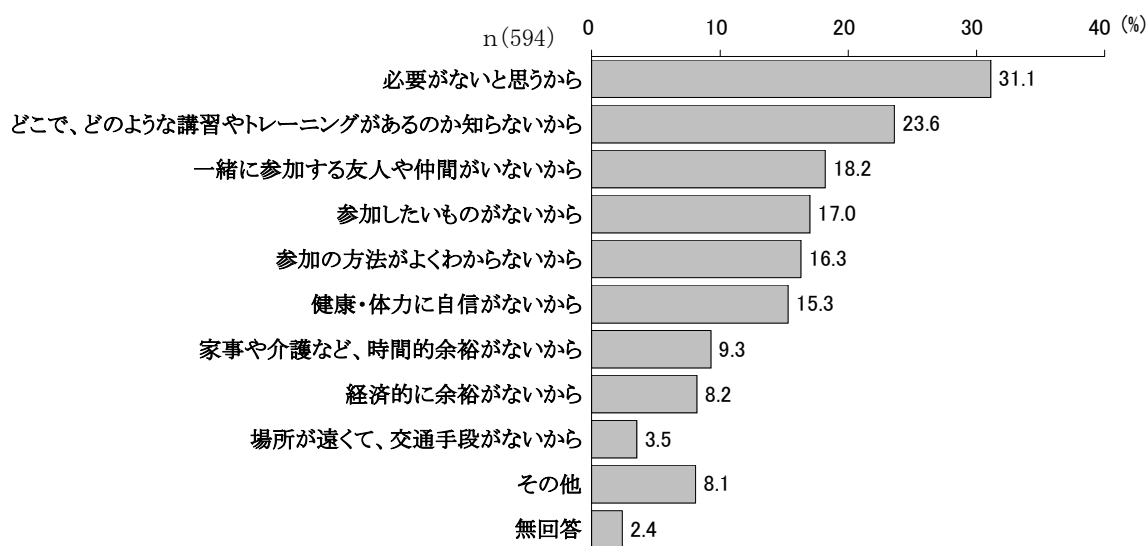


表2-24 性・年代別 参加したくない理由

上段：人数/下段：%

	調査数	必要がないと思うから	どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから	一緒に参加する友人や仲間がいないから	参加したいものがないから	参加の方法がよくわからないから	健康・体力に自信がないから	家事や介護など、時間的余裕がないから	経済的に余裕がないから	場所が遠くて、交通手段がないから	その他	無回答
全体	594 100.0	185 31.1	140 23.6	108 18.2	101 17.0	97 16.3	91 15.3	55 9.3	49 8.2	21 3.5	48 8.1	14 2.4
問2 性別												
男性	335 100.0	143 42.7	93 27.8	46 13.7	60 17.9	60 17.9	28 8.4	17 5.1	23 6.9	6 1.8	24 7.2	4 1.2
女性	215 100.0	33 15.3	35 16.3	49 22.8	32 14.9	32 14.9	54 25.1	33 15.3	23 10.7	13 6.0	24 11.2	6 2.8
問1 年齢												
65～69歳	278 100.0	106 38.1	69 24.8	43 15.5	43 15.5	49 17.6	25 9.0	17 6.1	30 10.8	4 1.4	25 9.0	4 1.4
70～74歳	148 100.0	47 31.8	39 26.4	25 16.9	30 20.3	25 16.9	18 12.2	14 9.5	11 7.4	5 3.4	15 10.1	3 2.0
75～79歳	86 100.0	20 23.3	17 19.8	23 26.7	17 19.8	12 14.0	17 19.8	12 14.0	3 3.5	7 8.1	3 3.5	1 1.2
80～84歳	47 100.0	7 14.9	7 14.9	9 19.1	6 12.8	6 12.8	17 36.2	7 14.9	2 4.3	4 8.5	3 6.4	4 8.5
85歳以上	32 100.0	4 12.5	6 18.8	7 21.9	5 15.6	4 12.5	14 43.8	5 15.6	2 6.3	1 3.1	2 6.3	1 3.1

問19 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つだけ)

たばこを「吸う」は11.9%、「以前吸っていたが、やめた」は28.7%となっています。一方、「吸わない」は56.9%と過半数を占めています。

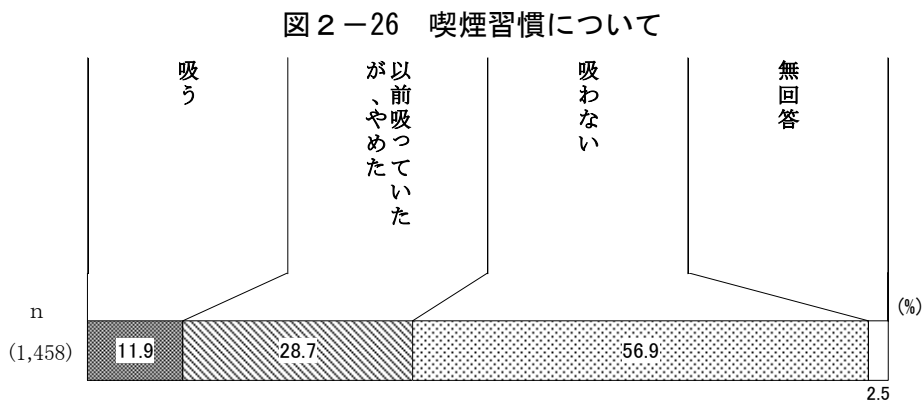


表2-25 性・年代別 喫煙習慣について

上段：人数/下段：%

	調査数	吸う	や以前吸っていたが、	吸わない	無回答
全体	1458	174	418	830	36
	100.0	11.9	28.7	56.9	2.5
問2 性別					
男性	735	119	342	254	20
	100.0	16.2	46.5	34.6	2.7
女性	630	40	56	520	14
	100.0	6.3	8.9	82.5	2.2
問1 年齢					
65～69歳	726	104	230	377	15
	100.0	14.3	31.7	51.9	2.1
70～74歳	376	40	95	230	11
	100.0	10.6	25.3	61.2	2.9
75～79歳	171	12	52	101	6
	100.0	7.0	30.4	59.1	3.5
80～84歳	121	12	24	83	2
	100.0	9.9	19.8	68.6	1.7
85歳以上	54	5	15	33	1
	100.0	9.3	27.8	61.1	1.9

表2-26 経年比較 喫煙習慣について

(%)

	調査数	吸う	や以前吸っていたが、	吸わない	無回答
平成19年	1,346人	17.9	26.5	53.1	2.5
平成22年	1,458人	11.9	28.7	56.9	2.5

《問19で「1 吸う」とお答えの方にお伺いします》

問19-1 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。(〇は1つだけ)

喫煙者に禁煙の意向をきいたところ、「吸う本数を減らしたい」が46.6%で最も多く、これに「やめたい」が33.9%で次いでいます。一方、「やめたくない」は18.4%となっています。

図2-27 禁煙の意向

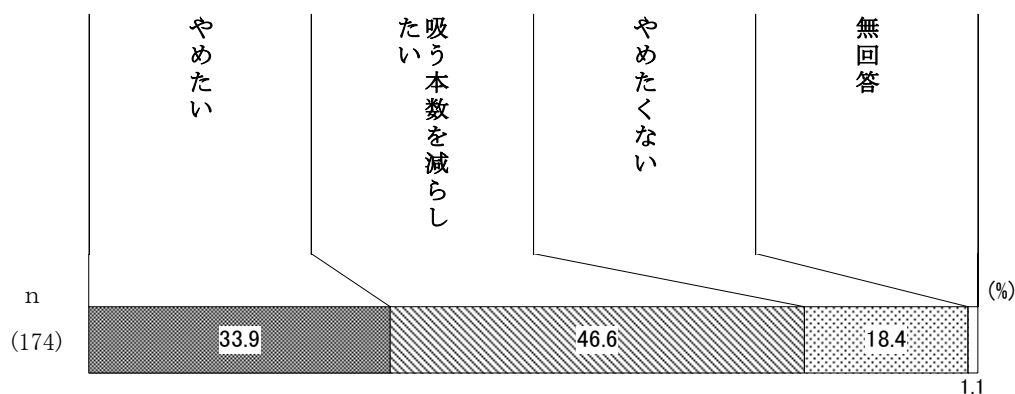


表2-27 経年比較 喫煙の意向

	調査数	やめたい	吸う本数を減らしたい	やめたくない	無回答
平成19年	241人	38.6	34.0	24.1	3.3
平成22年	174人	33.9	46.6	18.4	1.1

問20 あなたは、お酒（洋酒、日本酒、ビールなど）をどの程度飲みますか。（○は1つだけ）

飲酒の状況としては、「毎日飲む」が25.2%で、これに「週に3～5回飲む」（8.8%）、「週に1～2回飲む」（7.8%）となっています。「毎日飲む」～「それ以下」を合わせた【飲酒する】は59.0%となっています。一方、「まったく飲まない」は38.6%となっています。

図2-28 飲酒の程度

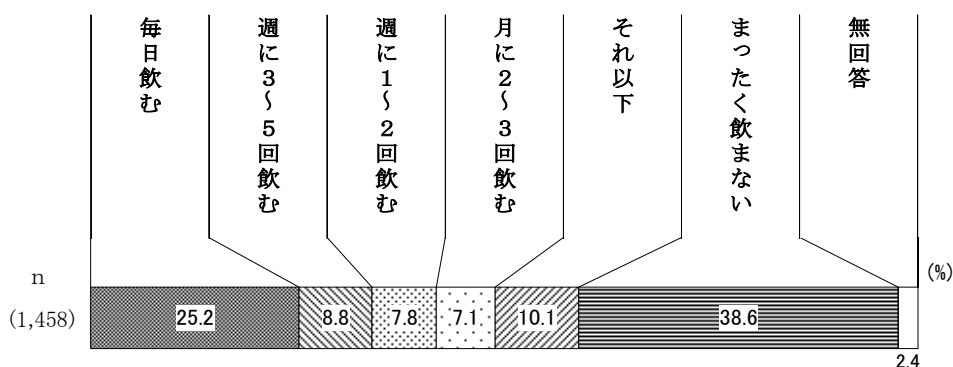


表2-28 性・年代別 飲酒の程度

	調査数	毎日飲む	週に3～5回飲む	週に1～2回飲む	月に2～3回飲む	それ以下	まったく飲まない	無回答
全体	1458	367	128	114	104	147	563	35
	100.0	25.2	8.8	7.8	7.1	10.1	38.6	2.4
問2 性別								
男性	735	299	95	73	59	62	135	12
	100.0	40.7	12.9	9.9	8.0	8.4	18.4	1.6
女性	630	51	28	32	40	79	384	16
	100.0	8.1	4.4	5.1	6.3	12.5	61.0	2.5
問1 年齢								
65～69歳	726	221	81	64	49	78	221	12
	100.0	30.4	11.2	8.8	6.7	10.7	30.4	1.7
70～74歳	376	83	33	27	31	44	151	7
	100.0	22.1	8.8	7.2	8.2	11.7	40.2	1.9
75～79歳	171	40	11	8	17	17	71	7
	100.0	23.4	6.4	4.7	9.9	9.9	41.5	4.1
80～84歳	121	14	1	7	7	4	82	6
	100.0	11.6	0.8	5.8	5.8	3.3	67.8	5.0
85歳以上	54	4	1	8	-	4	35	2
	100.0	7.4	1.9	14.8	-	7.4	64.8	3.7

上段：人数/下段：%

表2-29 経年比較 飲酒の程度

	調査数	毎日飲む	週に3～5回飲む	週に1～2回飲む	月に2～3回飲む	それ以下	まったく飲まない	無回答
平成19年	1,346人	26.2	8.5	7.5	6.4	10.0	37.4	4.0
平成22年	1,458人	25.2	8.8	7.8	7.1	10.1	38.6	2.4

(%)

「問20で1～5とお答えの方にお伺いします」

問20-1 日本酒に換算して、1回平均どれくらい飲んでいきますか。(〇は1つだけ)

飲酒する人に、その量をきいたところ、「1合未満」が46.4%で最も多く、これに「1合～2合未満」が30.5%で次いでいます。

図2-29 1回の飲酒量

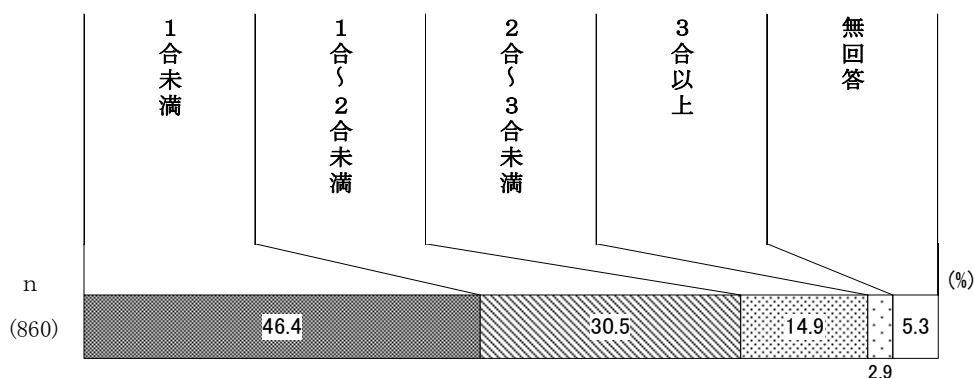


表2-30 性・年代別 1回の飲酒量

	調査数	1合未満	1合～2合未満	2合～3合未満	3合以上	無回答
全体	860	399	262	128	25	46
	100.0	46.4	30.5	14.9	2.9	5.3
問2 性別						
男性	588	213	225	115	24	11
	100.0	36.2	38.3	19.6	4.1	1.9
女性	230	168	25	7	-	30
	100.0	73.0	10.9	3.0	-	13.0
問1 年齢						
65～69歳	493	214	160	85	15	19
	100.0	43.4	32.5	17.2	3.0	3.9
70～74歳	218	102	64	32	6	14
	100.0	46.8	29.4	14.7	2.8	6.4
75～79歳	93	49	25	5	4	10
	100.0	52.7	26.9	5.4	4.3	10.8
80～84歳	33	20	9	4	-	-
	100.0	60.6	27.3	12.1	-	-
85歳以上	17	11	3	-	-	3
	100.0	64.7	17.6	-	-	17.6

上段：人数/下段：%

表2-31 経年比較 1回の飲酒量

	調査数	1合未満	1合～2合未満	2合～3合未満	3合以上	無回答 (%)
平成19年	789人	43.6	20.3	13.8	3.0	9.3
平成22年	860人	46.4	30.5	14.9	2.9	5.3

《問20で1～5とお答えの方にお伺いします》
 問20-2 あなたは、今後、飲酒について、どのようにしたいと思いますか。(〇は1つだけ)

飲酒する人に、今後の飲酒意向をきいたところ、「今のままでよい」が82.1%と圧倒的に多くなっています。一方、「飲む量を減らしたい」は12.4%となっています。

図2-30 今後の飲酒についての意向

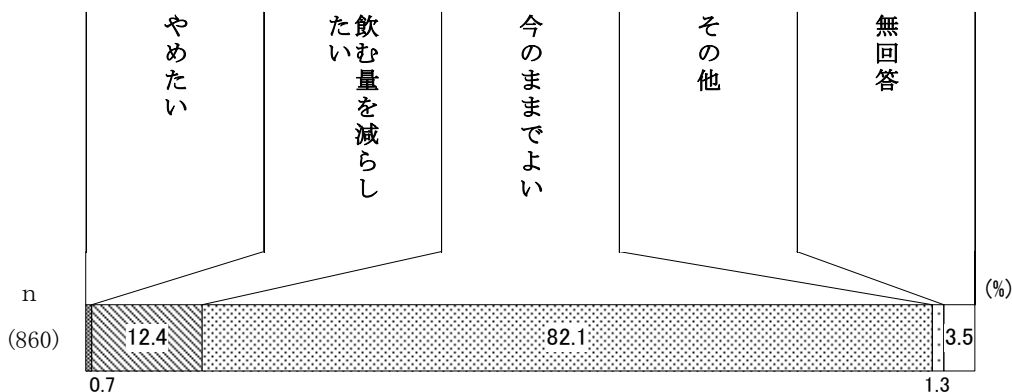


表2-32 経年比較 今後の飲酒についての意向

(%)

	調査数	やめたい	飲む量を減らしたい	今のままでよい	その他	無回答
平成19年	789人	0.5	16.1	77.4	1.6	4.3
平成22年	860人	0.7	12.4	82.1	1.3	3.5

問21 健康について、特にどのようなことが知りたいですか。(〇は3つまで)

健康について知りたいこととしては、「がんの予防について」(34.5%)、「ひざ痛・腰痛予防について」(33.8%)、「認知症の予防について」(32.6%)が、いずれも3割を超えて、とくに多くなっています。

図2-31 健康について特に知りたいこと

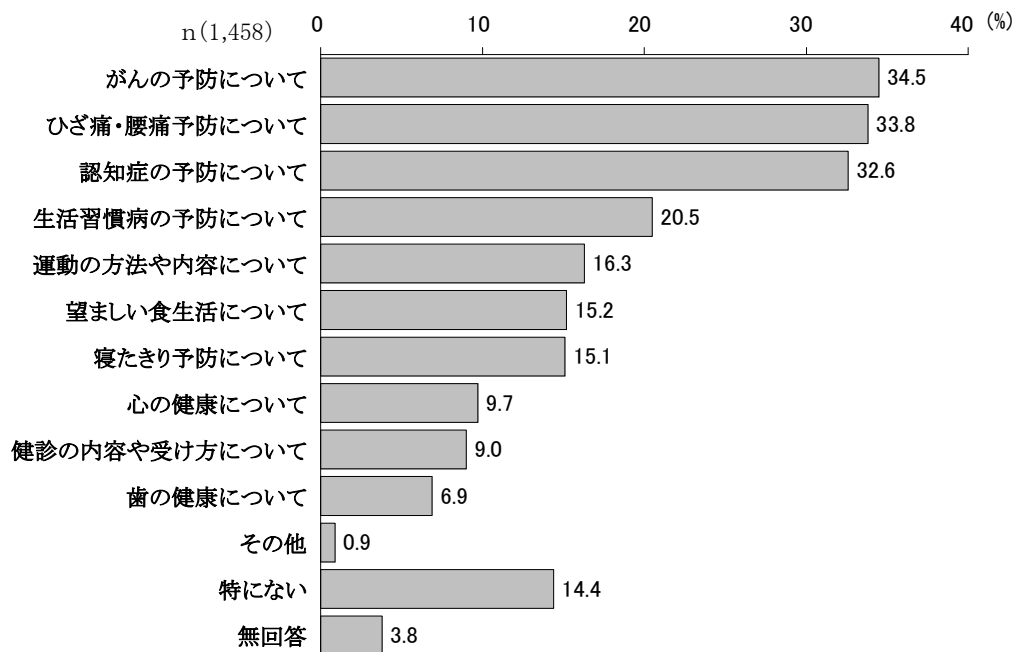


表2-33 性・年代別 健康について特に知りたいこと

上段：人数/下段：%

	調査数	がんの予防について	ひざ痛・腰痛予防について	認知症の予防について	生活習慣病の予防について	運動の方法や内容について	望ましい食生活について	寝たきり予防について	心の健康について	健診の内容や受け方について	歯の健康について	その他	特にない	無回答
全体	1458	503	493	475	299	238	221	220	141	131	100	13	210	55
	100.0	34.5	33.8	32.6	20.5	16.3	15.2	15.1	9.7	9.0	6.9	0.9	14.4	3.8
問2 性別														
男性	735	277	201	213	170	137	121	88	64	76	58	10	128	15
	100.0	37.7	27.3	29.0	23.1	18.6	16.5	12.0	8.7	10.3	7.9	1.4	17.4	2.0
女性	630	186	263	231	112	91	87	118	70	47	41	3	68	29
	100.0	29.5	41.7	36.7	17.8	14.4	13.8	18.7	11.1	7.5	6.5	0.5	10.8	4.6
問1 年齢														
65～69歳	726	266	207	254	166	128	97	85	68	76	56	8	117	16
	100.0	36.6	28.5	35.0	22.9	17.6	13.4	11.7	9.4	10.5	7.7	1.1	16.1	2.2
70～74歳	376	133	129	106	87	74	71	55	51	28	18	3	44	15
	100.0	35.4	34.3	28.2	23.1	19.7	18.9	14.6	13.6	7.4	4.8	0.8	11.7	4.0
75～79歳	171	54	72	59	25	17	31	27	12	11	13	-	27	10
	100.0	31.6	42.1	34.5	14.6	9.9	18.1	15.8	7.0	6.4	7.6	-	15.8	5.8
80～84歳	121	39	52	40	16	10	15	33	4	13	7	2	15	8
	100.0	32.2	43.0	33.1	13.2	8.3	12.4	27.3	3.3	10.7	5.8	1.7	12.4	6.6
85歳以上	54	6	30	13	3	6	5	19	5	2	5	-	6	5
	100.0	11.1	55.6	24.1	5.6	11.1	9.3	35.2	9.3	3.7	9.3	-	11.1	9.3

6. 社会参加・地域とのふれあいについて

問22 あなたは、ふだん隣近所の人とどの程度の交流がありますか。(○は1つだけ)

隣近所の人との交流については、「顔を合わせたときにあいさつをする程度」が41.6%で最も多く、これに「立ち話や世間話・情報交換をする程度」が32.6%で次いでいます。

図2-32 隣近所の人との交流の程度

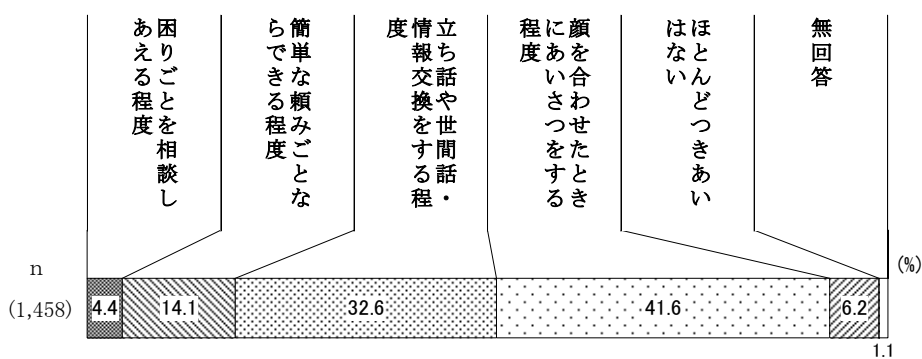


表2-34 性・年代別 隣近所の人との交流の程度

	調査数	困りごとを相談しあえる程度	簡単な頼みごとならできる程度	立ち話や世間話・情報交換をする程度	顔を合わせたときにあいさつをする程度	ほとんどつきあいはない程度	無回答
全体	1458	64	205	476	607	90	16
	100.0	4.4	14.1	32.6	41.6	6.2	1.1
問2 性別							
男性	735	17	85	204	374	53	2
	100.0	2.3	11.6	27.8	50.9	7.2	0.3
女性	630	46	113	239	193	30	9
	100.0	7.3	17.9	37.9	30.6	4.8	1.4
問1 年齢							
65～69歳	726	34	98	223	324	45	2
	100.0	4.7	13.5	30.7	44.6	6.2	0.3
70～74歳	376	19	55	142	140	15	5
	100.0	5.1	14.6	37.8	37.2	4.0	1.3
75～79歳	171	4	24	56	70	10	7
	100.0	2.3	14.0	32.7	40.9	5.8	4.1
80～84歳	121	6	19	39	45	12	-
	100.0	5.0	15.7	32.2	37.2	9.9	-
85歳以上	54	1	9	13	23	7	1
	100.0	1.9	16.7	24.1	42.6	13.0	1.9

上段：人数／下段：%

表2-35 経年比較 隣近所の人との交流の程度

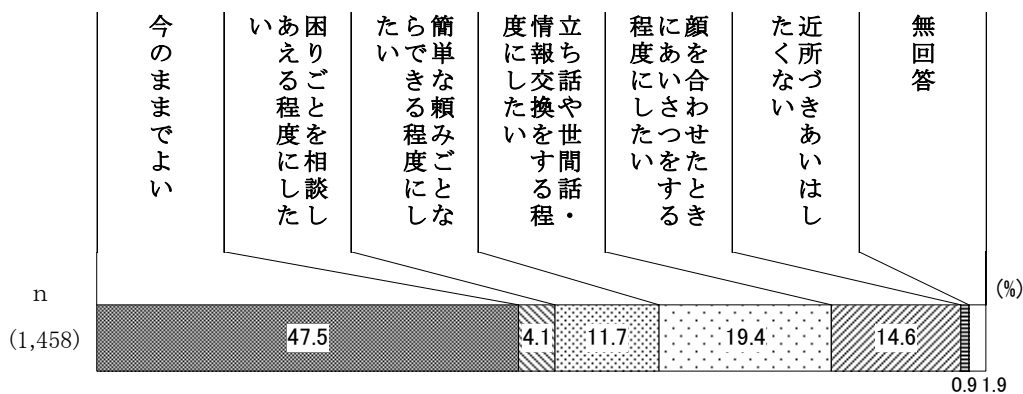
	調査数	困りごとを相談しあえる程度	簡単な頼みごとならできる程度	立ち話や世間話・情報交換をする程度	顔を合わせたときにあいさつをする程度	ほとんどつきあいはない程度	無回答
平成19年	1,346人	5.1	12.8	30.8	43.2	6.5	1.7
平成22年	1,458人	4.4	14.1	32.6	41.6	6.2	1.1

(%)

問23 隣近所の人との交流について、今後はどのようにしたいですか。(〇は1つだけ)

今後の隣近所の人との交流意向をみると、「今のままでよい」が47.5%で最も多く、これに「立ち話や世間話・情報交換をする程度にしたい」が19.4%で次いでいます。

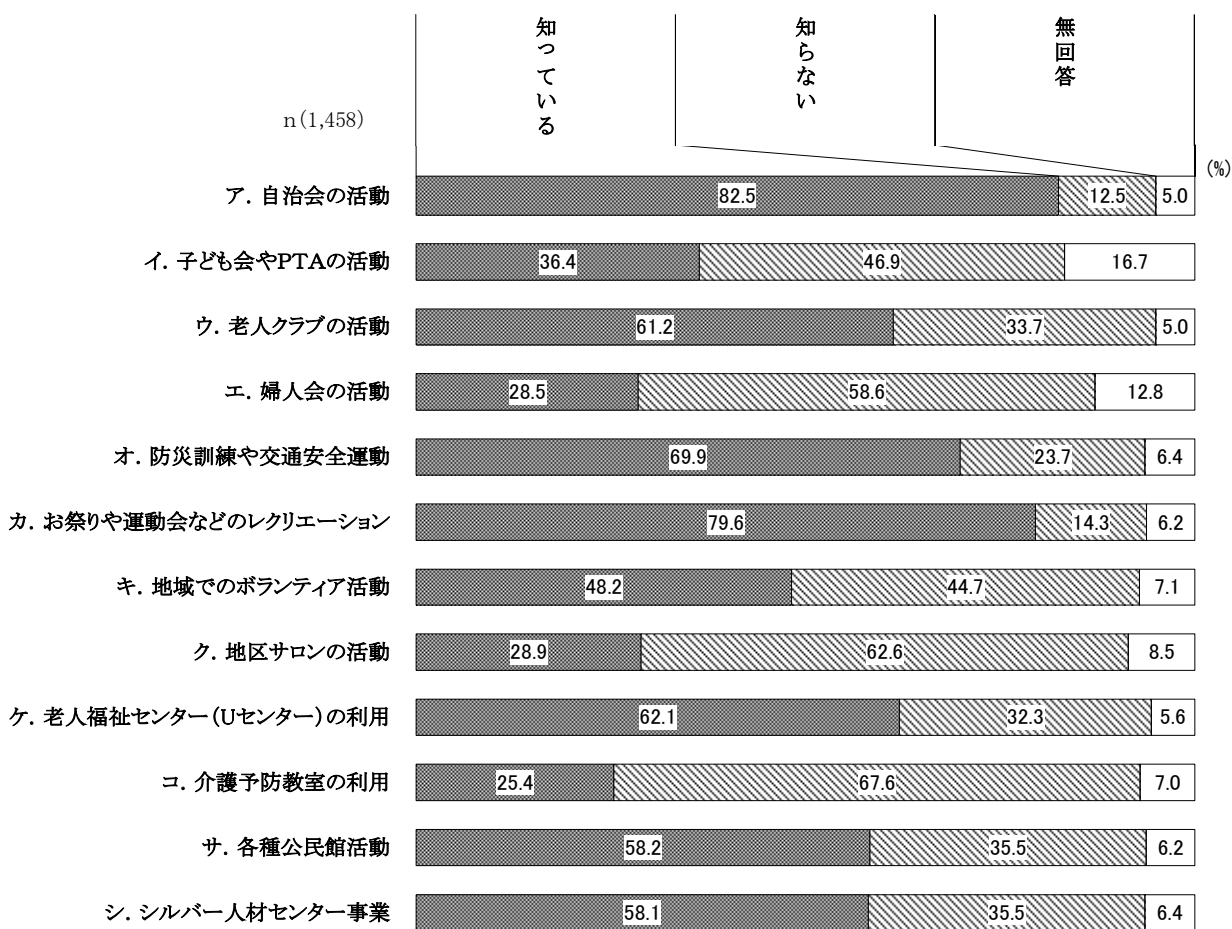
図2-33 隣近所の人との交流についての今後の意向



問24 あなたは、お住まいの地域のいろいろな行事や活動等を知っていますか。
 また、どの程度参加（利用）していますか。
 （ア～シの各項目ごとに、周知状況について○を1つ、「知っている」とお答えの方は、
 右側の参加状況に○を1つだけつけてください。）

地域活動の周知度では、「自治会の活動」が82.5%で最も多く、以下「お祭りや運動会などのレクリエーション」（79.6%）、「防災訓練や交通安全運動」（69.9%）、「老人福祉センターの利用」（62.1%）、「老人クラブの活動」（61.2%）の順で続いています。

図2-34 地域の行事等の周知状況



地域活動の参加状況をみると、周知度の高いものほど参加状況もよくなる傾向があり、「自治会の活動」は「よく参加している」(14.0%)、「時々参加している」(35.6%)を合わせた、【参加している】は49.6%、以下【参加している】は、「お祭りや運動会等レクリエーション」(43.6%)、「防災訓練や交通安全運動」(33.2%)となっています。一方、「老人福祉センターの利用」や「老人クラブの活動」は、周知度が高い割には参加率は低くなっています。

図2-35 地域の行事等の参加状況

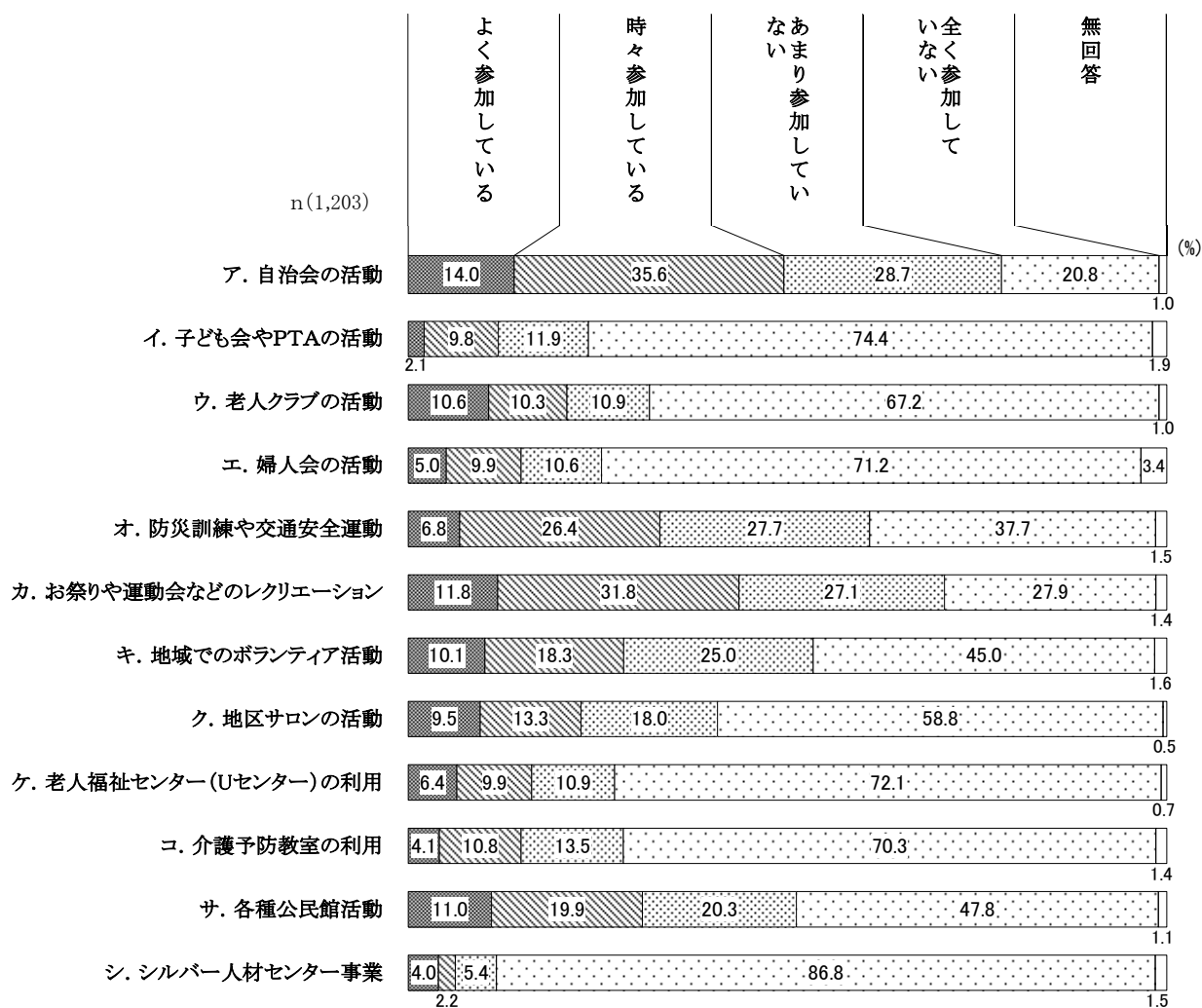


表2-36 経年比較 地域の行事等の周知状況と参加状況

(%)

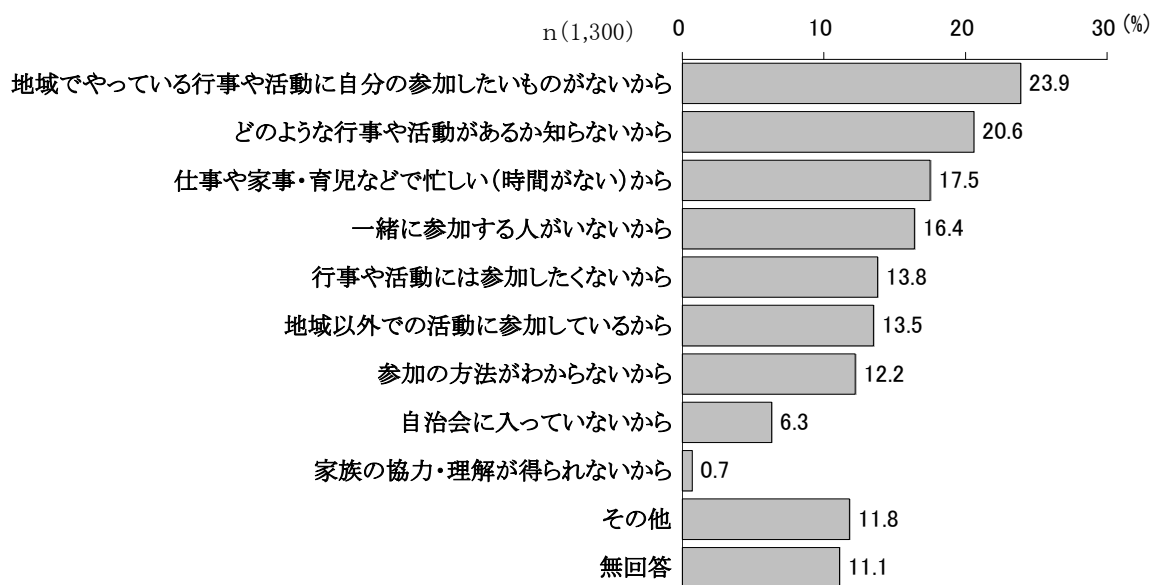
周知状況					参加状況					
	調査数	知っている	知らない	無回答	調査数	よく参加している	時々参加している	あまり参加していない	全く参加していない	無回答
ア. 自治会の活動										
平成19年	1,346人	80.5	13.5	6.0	1,083人	14.0	34.5	26.8	23.3	1.4
平成22年	1,458人	82.5	12.5	5.0	1,203人	14.0	35.6	28.7	20.8	1.0
イ. 子ども会やPTAの活動										
平成19年	1,346人	39.0	41.6	19.4	525人	2.1	8.0	16.6	70.1	3.2
平成22年	1,458人	36.4	46.9	16.7	531人	2.1	9.8	11.9	74.4	1.9
ウ. 老人クラブの活動										
平成19年	1,346人	59.1	32.8	8.1	796人	10.6	8.7	10.7	69.1	1.0
平成22年	1,458人	61.2	33.7	5.0	893人	10.6	10.3	10.9	67.2	1.0
エ. 婦人会の活動										
平成19年	1,346人	27.3	55.3	17.4	368人	4.3	9.0	9.5	74.2	3.0
平成22年	1,458人	28.5	58.6	12.8	416人	5.0	9.9	10.6	71.2	3.4
オ. 防災訓練や交通安全運動										
平成19年	1,346人	69.4	21.9	8.7	934人	7.6	22.8	28.8	38.9	1.9
平成22年	1,458人	69.9	23.7	6.4	1,019人	6.8	26.4	27.7	37.7	1.5
カ. お祭りなどのレクリエーション										
平成19年	1,346人	77.9	13.2	8.8	1,049人	13.0	28.2	27.2	30.1	1.5
平成22年	1,458人	79.6	14.3	6.2	1,160人	11.8	31.8	27.1	27.9	1.4
キ. 地域でのボランティア活動										
平成19年	1,346人	45.2	45.0	9.8	608人	10.4	18.6	22.7	47.0	1.3
平成22年	1,458人	48.2	44.7	7.1	703人	10.1	18.3	25.0	45.0	1.6
ク. 地区サロンの活動										
平成19年	1,346人	26.3	63.4	10.3	354人	7.9	13.8	21.5	55.6	1.1
平成22年	1,458人	28.9	62.6	8.5	422人	9.5	13.3	18.0	58.8	0.5
ケ. 老人福祉センターの利用										
平成19年	1,346人	56.7	35.5	7.8	763人	5.4	8.0	8.7	76.8	1.2
平成22年	1,458人	62.1	32.3	5.6	906人	6.4	9.9	10.9	72.1	0.7
コ. 介護予防教室の利用										
平成19年	1,346人	21.0	69.8	9.2	283人	4.6	8.5	11.3	74.9	0.7
平成22年	1,458人	25.4	67.6	7.0	370人	4.1	10.8	13.5	70.3	1.4
サ. 各種公民館活動										
平成19年	1,346人	54.6	36.6	8.8	735人	10.1	20.0	20.7	48.6	0.7
平成22年	1,458人	58.2	35.5	6.2	849人	11.0	19.9	20.3	47.8	1.1
シ. シルバー人材センター事業										
平成19年	1,346人	57.9	33.4	8.7	780人	2.9	2.9	4.9	87.2	2.1
平成22年	1,458人	58.1	35.5	6.4	847人	4.0	2.2	5.4	86.8	1.5

「問24のア～シの参加状況で、「3 あまり参加していない」「4 全く参加していない」に1つでも○をつけた方にお伺いします」

問24-1 参加していない理由をお答えください。(○は3つまで)

参加していない理由は、「地域でやっている行事や活動に、自分の参加したいものがないから」(23.9%)と「どのような行事や活動があるか知らないから」(20.6%)が、多くなっています。

図2-36 参加していない理由



問25 一週間のうち外出することはどのくらいありますか。(〇は1つだけ)

外出頻度をみると、「ほとんど毎日」が49.3%で最も多く、これに「週に3日、4日」が32.2%で次いでいます。一方、「ほとんど外出しない」は3.0%となっています。

図2-37 外出の頻度(日/週)

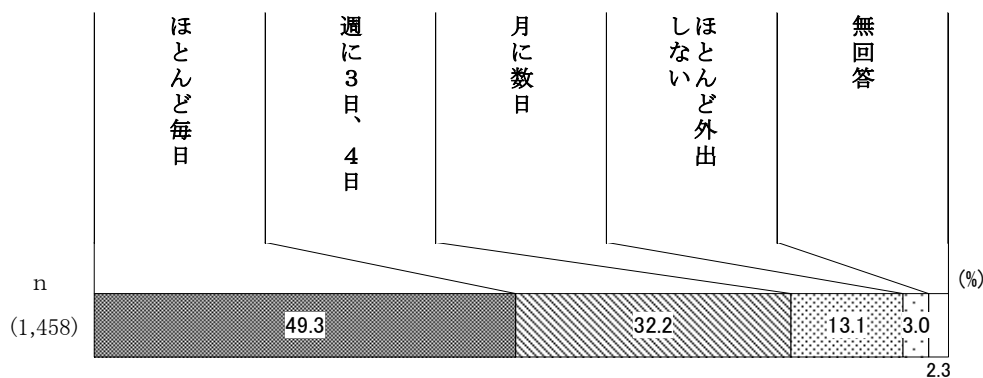


表2-37 性・年代別 外出の頻度

	調査数	ほとんど毎日	週に3日、4日	月に数日	ほとんど外出しない	無回答
全体	1458	719	470	191	44	34
	100.0	49.3	32.2	13.1	3.0	2.3
問2 性別						
男性	735	415	195	95	20	10
	100.0	56.5	26.5	12.9	2.7	1.4
女性	630	265	244	85	18	18
	100.0	42.1	38.7	13.5	2.9	2.9
問1 年齢						
65～69歳	726	400	214	87	13	12
	100.0	55.1	29.5	12.0	1.8	1.7
70～74歳	376	190	141	35	6	4
	100.0	50.5	37.5	9.3	1.6	1.1
75～79歳	171	75	54	29	4	9
	100.0	43.9	31.6	17.0	2.3	5.3
80～84歳	121	37	42	23	12	7
	100.0	30.6	34.7	19.0	9.9	5.8
85歳以上	54	11	16	16	9	2
	100.0	20.4	29.6	29.6	16.7	3.7

上段：人数/下段：%

表2-38 経年比較 外出の頻度

	調査数	ほとんど毎日	週に3日、4日	月に数日	ほとんど外出しない	無回答
平成19年	1,346人	47.4	32.4	13.6	3.2	3.4
平成22年	1,458人	49.3	32.2	13.1	3.0	2.3

問26 高齢者が家に閉じこもることは、寝たきりや認知症になりやすいといわれていますが、あなたはこのことをご存知ですか。(〇は1つだけ)

家に閉じこもることは寝たきりや認知症になりやすいということを「知っている」は88.4%と9割近くに達しています。

図2-38 高齢者の閉じこもりは寝たきり等になりやすい

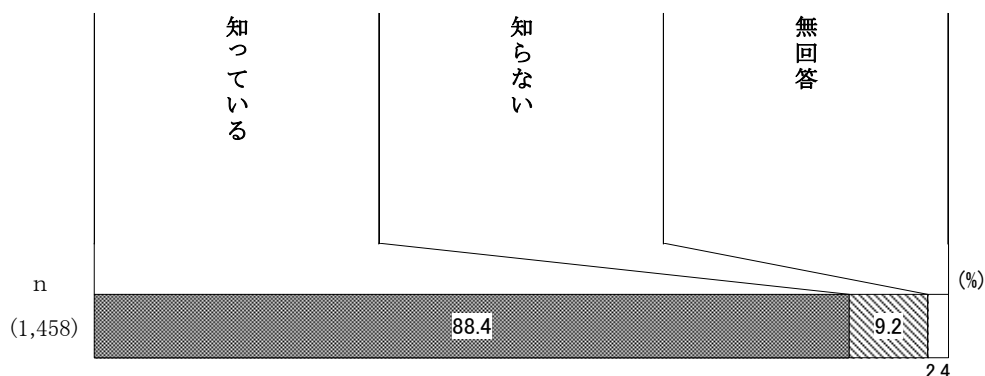


表2-39 性・年代別 高齢者の閉じこもりは寝たきり等になりやすい

	調査数	知っている	知らない	無回答
全体	1458	1289	134	35
	100.0	88.4	9.2	2.4
問2 性別				
男性	735	639	86	10
	100.0	86.9	11.7	1.4
女性	630	571	40	19
	100.0	90.6	6.3	3.0
問1 年齢				
65～69歳	726	624	90	12
	100.0	86.0	12.4	1.7
70～74歳	376	351	20	5
	100.0	93.4	5.3	1.3
75～79歳	171	150	11	10
	100.0	87.7	6.4	5.8
80～84歳	121	110	7	4
	100.0	90.9	5.8	3.3
85歳以上	54	44	6	4
	100.0	81.5	11.1	7.4

上段：人数／下段：%

表2-40 経年比較 高齢者の閉じこもりは寝たきり等になりやすい

	調査数	知っている	知らない	無回答
平成19年	1,346人	86.3	10.4	3.3
平成22年	1,458人	88.4	9.2	2.4

(%)

問27 あなたが、現在生きがいを感じることはどんなことですか。また、今後やりたいことはどんなことですか。

(ア) 生きがいを感じること (あてはまるものすべてに○)

生きがいを感じることでは、「家族仲良く暮らしていくこと」が74.4%で最も多く、以下「子どもや孫の成長を見守ること」(51.6%)、「趣味の活動」(30.9%)の順で続いています。

図2-39 生きがいを感じること

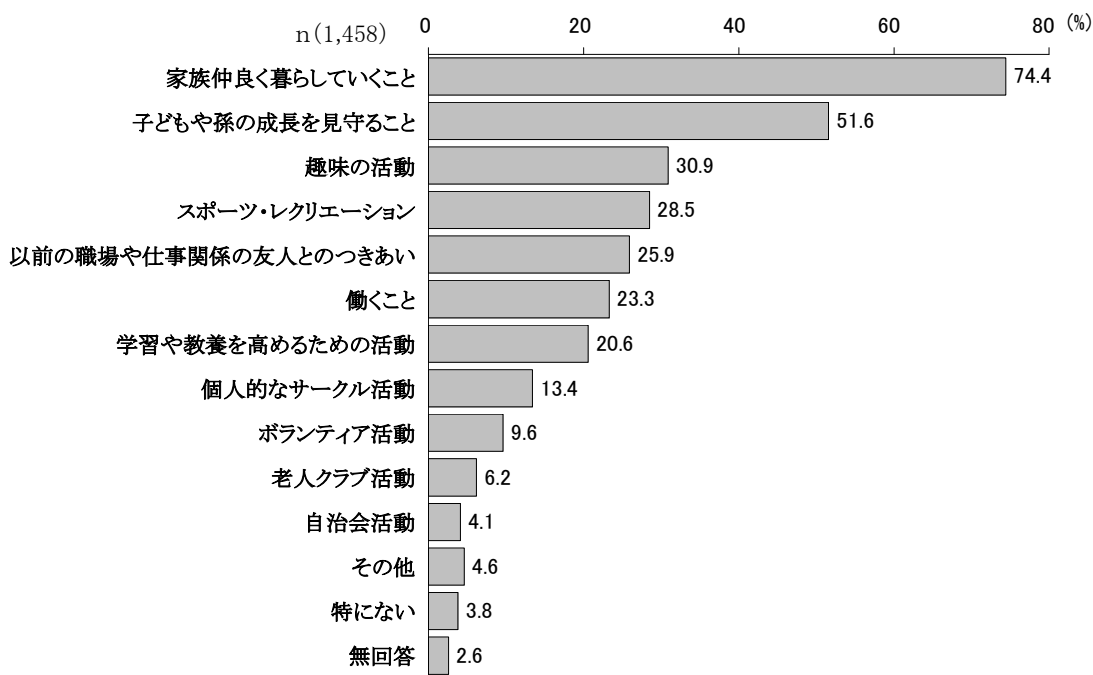


表2-41 性・年代別 生きがいを感じること

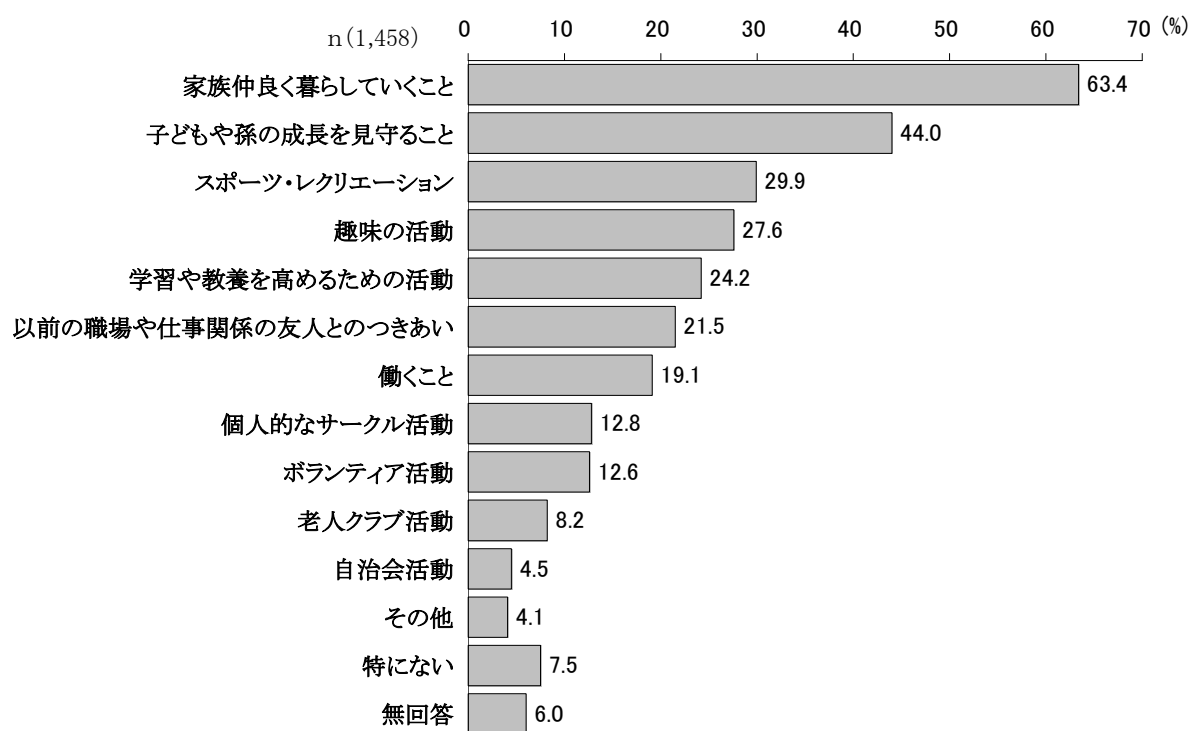
上段：人数／下段：%

	調査数	家族仲良く暮らしていくこと	子どもや孫の成長を見守ること	趣味の活動	スポーツ・レクリエーション	以前の職場や仕事関係の友人とのつきあい	働くこと	学習や教養を高めるための活動	個人的なサークル活動	ボランティア活動	老人クラブ活動	自治会活動	その他	特にない	無回答
全体	1458	1085	753	450	416	377	339	300	195	140	90	60	67	56	38
	100.0	74.4	51.6	30.9	28.5	25.9	23.3	20.6	13.4	9.6	6.2	4.1	4.6	3.8	2.6
問2 性別															
男性	735	526	376	241	281	239	217	181	82	84	34	39	38	28	14
	100.0	71.6	51.2	32.8	38.2	32.5	29.5	24.6	11.2	11.4	4.6	5.3	5.2	3.8	1.9
女性	630	489	334	189	119	121	99	109	102	49	51	17	26	22	20
	100.0	77.6	53.0	30.0	18.9	19.2	15.7	17.3	16.2	7.8	8.1	2.7	4.1	3.5	3.2
問1 年齢															
65～69歳	726	539	397	250	270	198	221	182	103	87	21	29	30	22	15
	100.0	74.2	54.7	34.4	37.2	27.3	30.4	25.1	14.2	12.0	2.9	4.0	4.1	3.0	2.1
70～74歳	376	279	181	107	99	110	79	67	59	35	27	23	27	11	10
	100.0	74.2	48.1	28.5	26.3	29.3	21.0	17.8	15.7	9.3	7.2	6.1	7.2	2.9	2.7
75～79歳	171	130	82	54	32	42	23	31	22	10	17	3	4	8	6
	100.0	76.0	48.0	31.6	18.7	24.6	13.5	18.1	12.9	5.8	9.9	1.8	2.3	4.7	3.5
80～84歳	121	93	68	27	9	22	10	12	6	7	16	4	3	4	6
	100.0	76.9	56.2	22.3	7.4	18.2	8.3	9.9	5.0	5.8	13.2	3.3	2.5	3.3	5.0
85歳以上	54	39	21	7	3	2	1	5	4	-	7	-	3	10	-
	100.0	72.2	38.9	13.0	5.6	3.7	1.9	9.3	7.4	-	13.0	-	5.6	18.5	-

(イ) 今後やりたいこと（あてはまるものすべてに○）

今後やりたいこととしては、「家族仲良く暮らしていくこと」が63.4%で最も多く、これに「子どもや孫の成長を見守ること」が44.0%で次いでいます。

図2-40 今後やりたいこと



7. 日常生活で困っていることや将来の不安について

問28 日常生活を送る中で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

日常生活の中で困ることとしては、「自分や家族の健康状態のこと」が30.4%で最も多く、以下「生活が苦しいこと」(9.5%)、「住まいのこと」(8.0%)の順で続いています。

図2-41 日常生活で困っていること

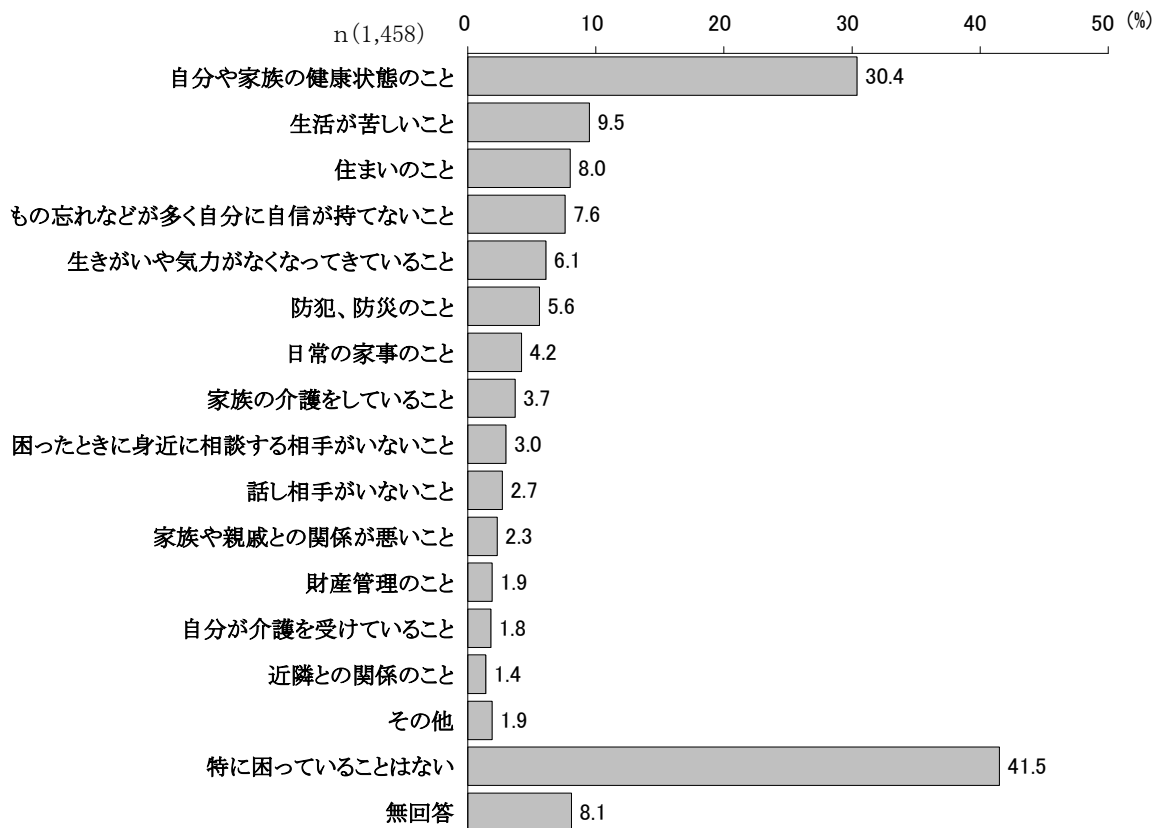


表2-42 性・年代別 日常生活で困っていること

上段：人数/下段：%

	調査数	自分や家族の健康状態のこと	生活が苦しいこと	住まいのこと	ものに自信が持てないこと	もの忘れなどが多く自分に自信が持てないこと	生きがいや気力がなくなっていること	防犯、防災のこと	日常の家事のこと	家族の介護をしていること	困ったときに身近に相談する相手がいないこと	話し相手がいないこと	家族や親戚との関係が悪いこと	財産管理のこと	自分が介護を受けていること	近隣との関係のこと	その他	特に困っていることはない	無回答
全体	1458	443	139	116	111	89	82	61	54	44	39	33	27	26	20	28	605	118	
問2 性別																			
男性	735	209	71	52	39	41	30	24	21	22	15	16	17	8	11	12	347	46	
	100.0	28.4	9.7	7.1	5.3	5.6	4.1	3.3	2.9	3.0	2.0	2.2	2.3	1.1	1.5	1.6	47.2	6.3	
女性	630	206	58	55	67	43	46	31	29	18	22	17	10	14	7	14	224	63	
	100.0	32.7	9.2	8.7	10.6	6.8	7.3	4.9	4.6	2.9	3.5	2.7	1.6	2.2	1.1	2.2	35.6	10.0	
問1 年齢																			
65～69歳	726	201	75	55	32	35	36	21	24	20	10	18	18	7	13	11	338	60	
	100.0	27.7	10.3	7.6	4.4	4.8	5.0	2.9	3.3	2.8	1.4	2.5	2.5	1.0	1.8	1.5	46.6	8.3	
70～74歳	376	123	28	31	27	27	20	19	15	11	8	10	7	6	3	13	159	20	
	100.0	32.7	7.4	8.2	7.2	7.2	5.3	5.1	4.0	2.9	2.1	2.7	1.9	1.6	0.8	3.5	42.3	5.3	
75～79歳	171	51	17	16	16	7	12	11	9	6	8	2	-	6	3	3	58	16	
	100.0	29.8	9.9	9.4	9.4	4.1	7.0	6.4	5.3	3.5	4.7	1.2	-	3.5	1.8	1.8	33.9	9.4	
80～84歳	121	47	10	9	22	7	11	6	2	2	6	1	2	3	-	-	36	15	
	100.0	38.8	8.3	7.4	18.2	5.8	9.1	5.0	1.7	1.7	5.0	0.8	1.7	2.5	-	-	29.8	12.4	
85歳以上	54	18	7	3	13	12	2	2	2	3	7	2	-	4	1	1	12	5	
	100.0	33.3	13.0	5.6	24.1	22.2	3.7	3.7	3.7	5.6	13.0	3.7	-	7.4	1.9	1.9	22.2	9.3	

問29 将来について何か不安はありますか。(あてはまるものすべてに○)

将来についての不安では、「病気になること」が64.5%で最も多く、以下「加齢により身体機能が低下すること」(58.2%)、「自分や家族が介護の必要な状態になること」(57.7%)の順で続いています。

図2-42 将来についての不安

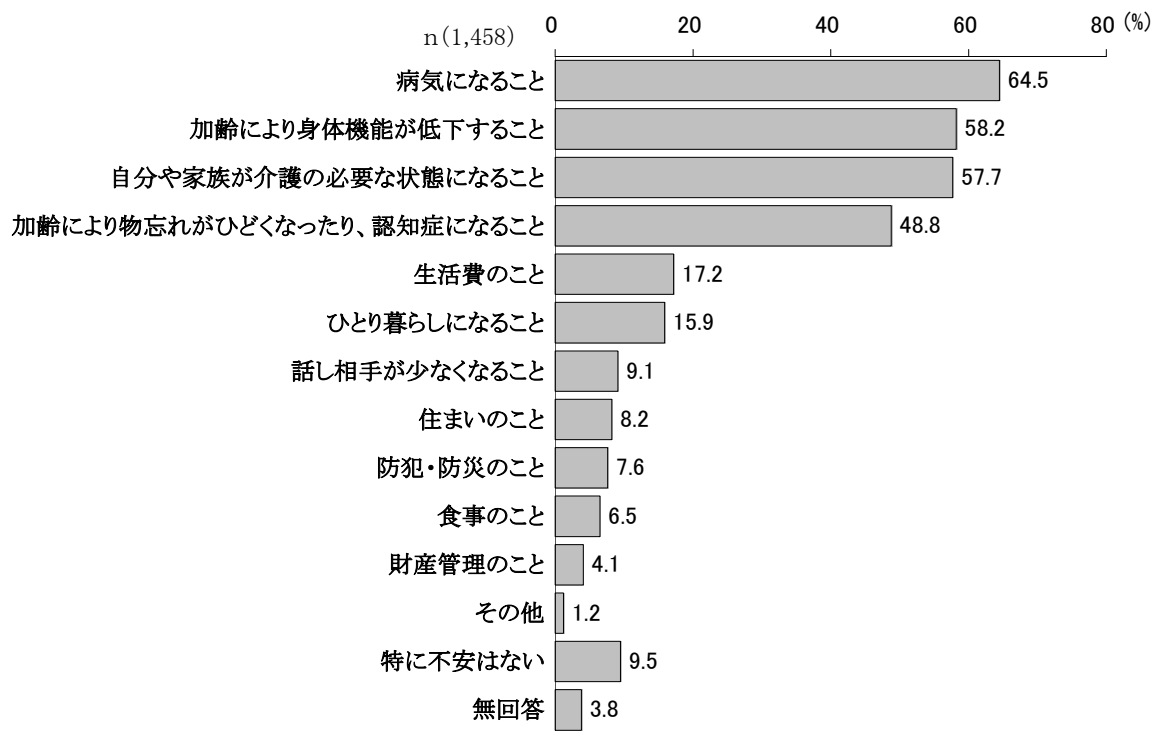


表2-43 性・年代別 将来についての不安

上段：人数/下段：%

	調査数	病気になること	加齢により身体機能が低下すること	自分や家族が介護の必要な状態になること	加齢により物忘れがひどくなったり、認知症になること	生活費のこと	ひとり暮らしになること	話し相手が少なくなること	住まいのこと	防犯・防災のこと	食事のこと	財産管理のこと	その他	特に不安はない	無回答
全体	1458	940	848	841	711	251	232	132	120	111	95	60	17	139	55
問2 性別															
男性	735	463	411	425	328	129	147	63	58	51	51	38	8	86	17
	100.0	63.0	55.9	57.8	44.6	17.6	20.0	8.6	7.9	6.9	6.9	5.2	1.1	11.7	2.3
女性	630	424	390	365	340	107	70	60	51	51	36	20	8	41	30
	100.0	67.3	61.9	57.9	54.0	17.0	11.1	9.5	8.1	8.1	5.7	3.2	1.3	6.5	4.8
問1 年齢															
65～69歳	726	469	411	422	370	128	130	56	56	47	42	36	4	76	20
	100.0	64.6	56.6	58.1	51.0	17.6	17.9	7.7	7.7	6.5	5.8	5.0	0.6	10.5	2.8
70～74歳	376	253	223	223	177	71	51	40	34	37	27	15	7	36	11
	100.0	67.3	59.3	59.3	47.1	18.9	13.6	10.6	9.0	9.8	7.2	4.0	1.9	9.6	2.9
75～79歳	171	113	104	106	84	28	28	14	16	15	11	6	4	9	10
	100.0	66.1	60.8	62.0	49.1	16.4	16.4	8.2	9.4	8.8	6.4	3.5	2.3	5.3	5.8
80～84歳	121	66	72	56	53	15	13	12	7	6	7	2	2	14	10
	100.0	54.5	59.5	46.3	43.8	12.4	10.7	9.9	5.8	5.0	5.8	1.7	1.7	11.6	8.3
85歳以上	54	34	33	29	22	8	5	8	4	3	5	-	-	3	3
	100.0	63.0	61.1	53.7	40.7	14.8	9.3	14.8	7.4	5.6	9.3	-	-	5.6	5.6

問30 あなたは普段、悩みや困ったことがあった場合、相談する人がいますか。(○は1つだけ)

悩みや困ったことを相談できる相手が「いる」は89.7%、「いない」は7.8%となっています。

図2-43 悩みや困ったことを相談する人の有無

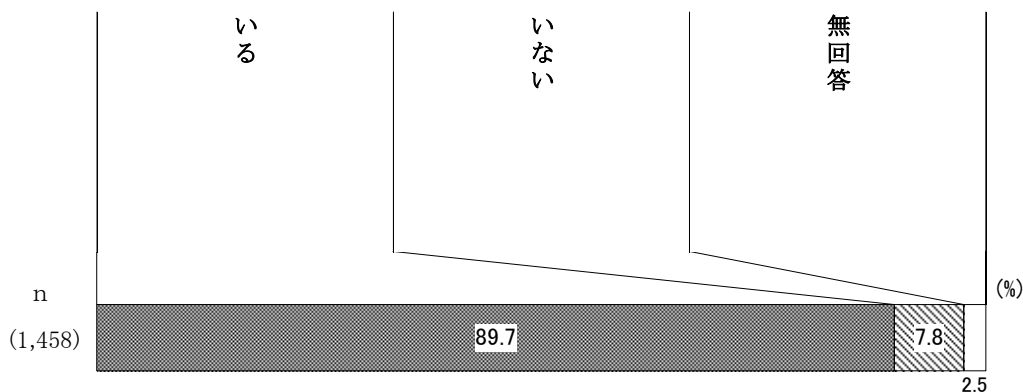


表2-44 性・年代別 悩みや困ったことを相談する人の有無

上段：人数/下段：%

	調査数	いる	いない	無回答
全体	1458 100.0	1308 89.7	114 7.8	36 2.5
問2 性別				
男性	735 100.0	641 87.2	82 11.2	12 1.6
女性	630 100.0	589 93.5	25 4.0	16 2.5
問1 年齢				
65～69歳	726 100.0	659 90.8	58 8.0	9 1.2
70～74歳	376 100.0	333 88.6	34 9.0	9 2.4
75～79歳	171 100.0	149 87.1	10 5.8	12 7.0
80～84歳	121 100.0	113 93.4	6 5.0	2 1.7
85歳以上	54 100.0	50 92.6	2 3.7	2 3.7

表2-45 経年比較 悩みや困ったことを相談する人の有無

(%)

	調査数	いる	いない	無回答
平成19年	1,346人	75.2	18.7	6.1
平成22年	1,458人	89.7	7.8	2.5

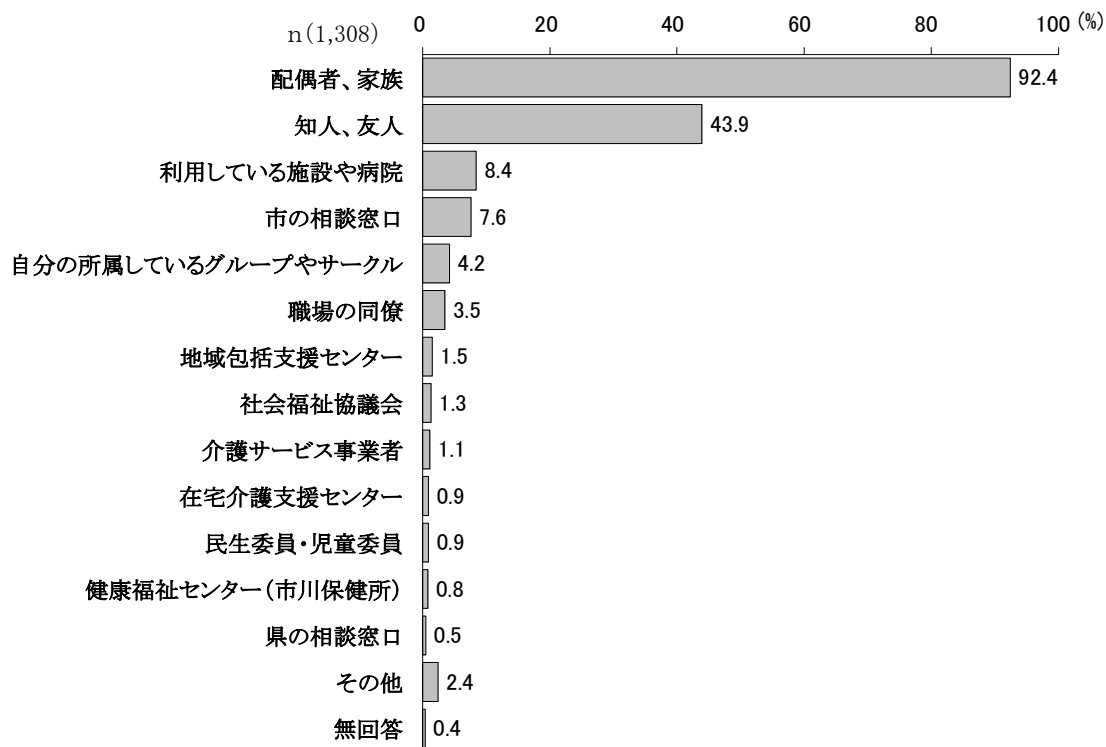
《問30で「1 いる」とお答えの方にお伺いします》

問30-1 あなたは普段、悩みや困ったことをだれ（どこ）に相談しますか。

（あてはまるものすべてに○）

悩みや困ったことを相談できる相手がいる人に、それは誰かきいたところ、「配偶者、家族」が92.4%で最も多く、これに「知人、友人」が43.9%で次いでいます。

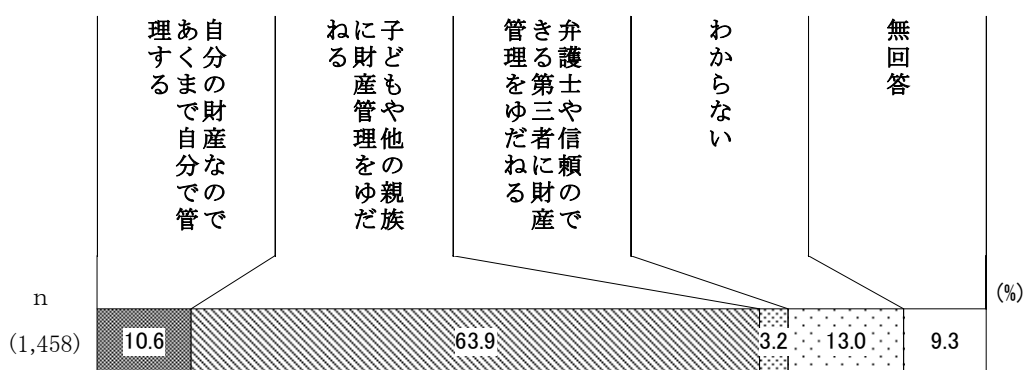
図2-44 悩みや困ったことの相談相手（場所）



問31 万一、認知症になるなど、高齢化に伴って財産の適正な管理や活用に不安が生じた場合、あなたはどのようにしたいと思いますか。（○は1つだけ）

財産の適正な管理や活用に不安が生じた場合、対応としては、「子どもや他の親族に財産管理をゆだねる」が63.9%と6割を超えています。

図2-45 高齢化に伴う財産管理の意向



8. 保健・福祉サービスの利用状況や利用意向について

問32 市では、次のような保健・福祉サービスを行っていますが、あなたはそのサービスをご存知ですか。また現在の利用状況と今後の利用意向についてお伺いします。（各項目〇はそれぞれ1つずつ）

調査票に記載されている保健・福祉サービスの詳しい内容です。

グラフには省略して表記しています。

ア. 健康診査の検査結果などが記録できる健康手帳を無料で交付しています。
イ. 健康維持、生活習慣病の予防のために、糖尿病、高脂血症、骨粗しょう症などの教室（健康教育）やウォーキング等を行っています。
ウ. 身体や心の悩み不安など、保健師・栄養士・歯科衛生士等が相談（健康チェック）や訪問を行っています。
エ. 生活習慣病やがんなどの予防・早期発見のため健康診査（特定健診・がん検診）を行っています。
オ. 介護や介護予防など高齢者の総合的な相談機関として、地域包括支援センターや在宅介護支援センターが設置されています。
カ. 高齢になっても健康でいきいきとした生活をおくるためには、病気の予防だけでなく老化のサインをいち早く発見し、適切な対応を行うことが大切です。そこで65歳以上の方で介護予防の必要性が高い方を早期に発見するために、介護予防健診（基本チェックリスト）を実施しています。
キ. 65歳以上の方で介護予防が必要な方に、保健師等が個人の体力や状態に合わせた介護予防事業を紹介しています。
ク. 幅広い方々に介護予防に関する知識を普及するために、パンフレットの作成や出前講座、講演会を開催しています。
ケ. 60歳以上で、歩行の際に常に杖を必要とする方に、黄色い「交通安全杖」を給付しています。
コ. 65歳以上で、市に登録している、はり・きゅう・マッサージ等の施設を利用する方を対象に施設利用券（1回1,000円を助成）を1か月2枚の割合で、年24枚を限度に交付しています。
サ. 65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯及び家族の外出等で一時的に高齢者だけとなる世帯の方に、室内での急病や事故等の緊急時に、ボタンひとつで通報できる機能を持った装置を貸与しています。
シ. 65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯の方に、地域とのコミュニケーションづくりをサポートするためのメール機能付きの電話機を貸与しています。
ス. 65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯で、前年度非課税世帯の方に、住宅用火災警報器の設置費用の一部を助成しています。（上限15,500円）
セ. 65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯の方で、食事の調理が困難な方を対象に1週間につき7日を限度に自宅に夕食を配達します。（1食につき自己負担400円）
ソ. 65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯の方の自宅へ、見守り支援員が訪問（週1回程度）し、話し相手となるとともに、市政情報や高齢者に関する情報を伝えます。
タ. 70歳以上の方に、年1回東京ベイシティ交通の乗車券（5,600円分）を交付しています。
チ. 本市では、介護保険サービスや在宅福祉サービス及び保健・医療サービスの利用方法の説明などを掲載している「高齢者ガイドブック」を市役所や公民館で配布しています。
ツ. 65歳以上で、白内障により視力が低下した方が特殊眼鏡またはコンタクトレンズを購入した際の費用の一部を助成しています。
テ. 65歳以上で、難聴のために補聴器の必要があると医師に証明され、身体障害者手帳（聴覚障がい）の交付を受けていない方が補聴器の購入をした際の費用の一部を助成しています。
ト. 65歳以上で、歩行の際に補助を必要とする方がシルバーカーを購入した際の費用の一部を助成しています。

周知度についてみると、「健康診査（特定健診・がん検診）」が83.4%で最も多く、以下「健康手帳の無料交付」（78.9%）、「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」（70.7%）の順で続いています。

図2-46 サービスの周知状況

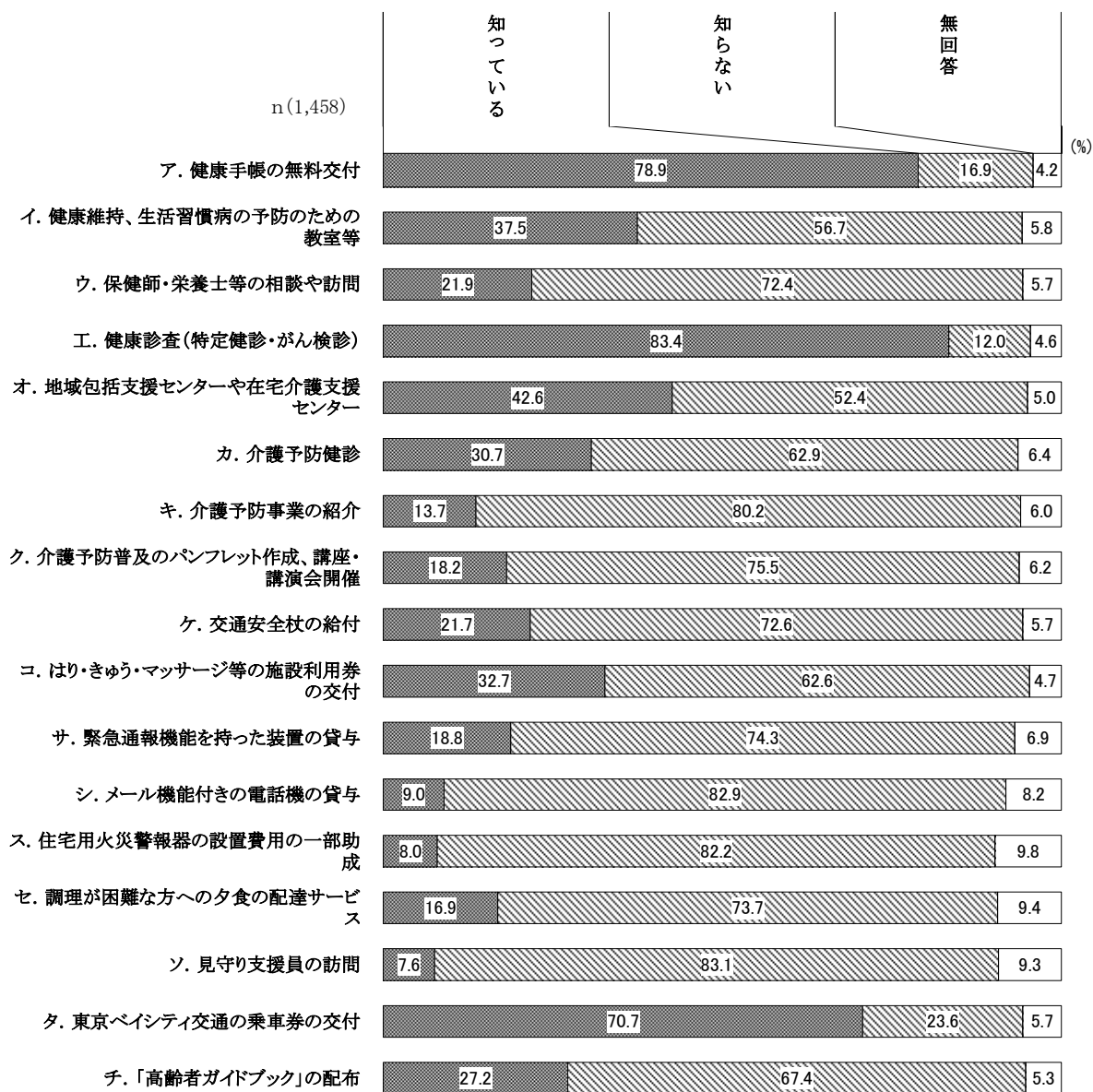
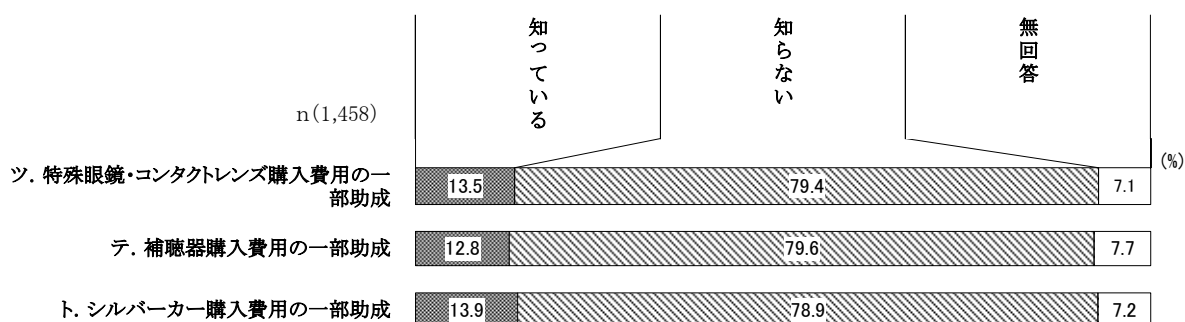


図2-47 サービスの周知状況（1回限りのサービス）



利用状況についてみると、「健康手帳の無料交付」が58.4%で最も高く、以下「健康診査（特定健診・がん検診）」（50.2%）、「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」（43.7%）の順で続いている。

図2-48 保健・福祉サービスの利用状況

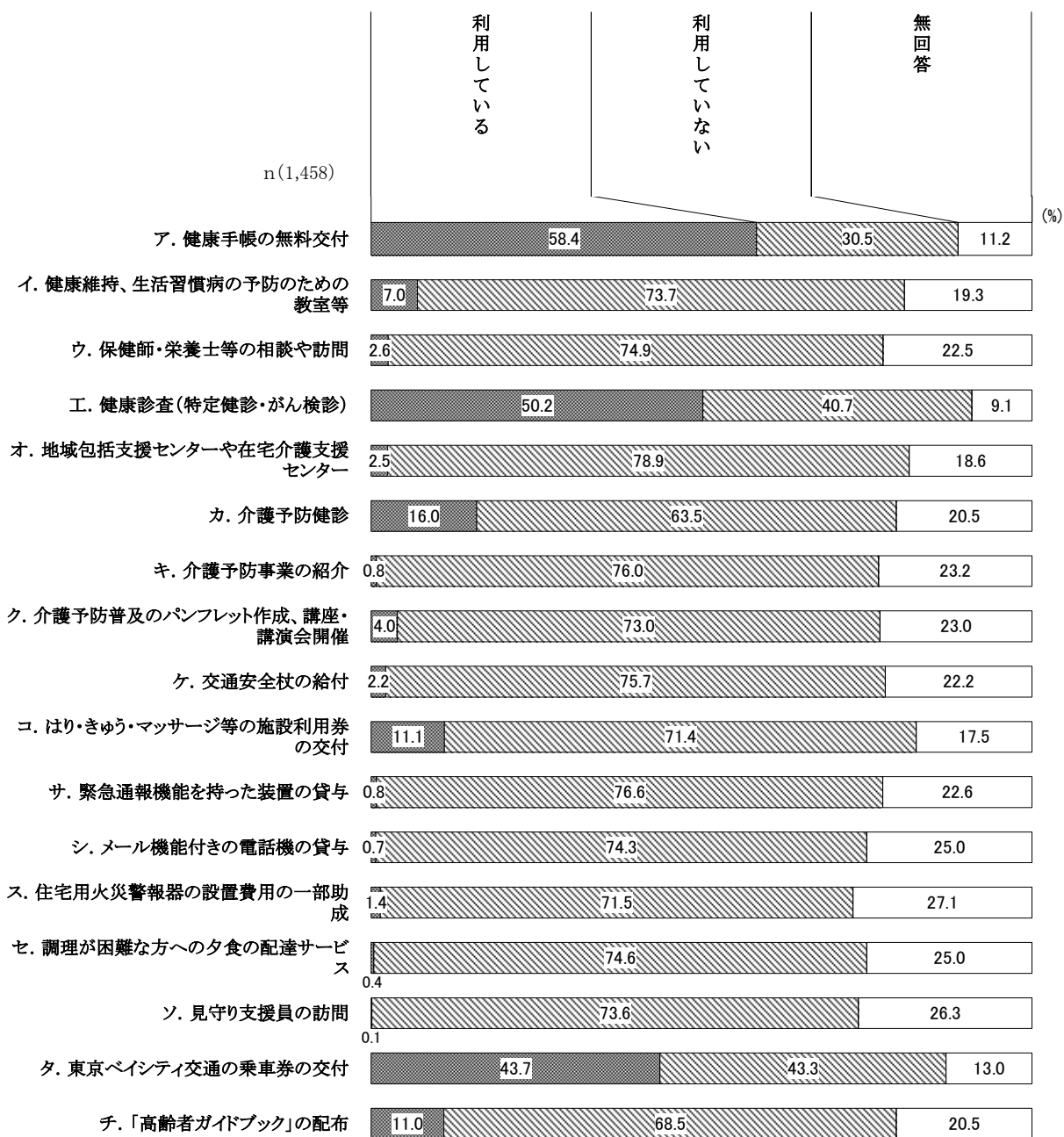
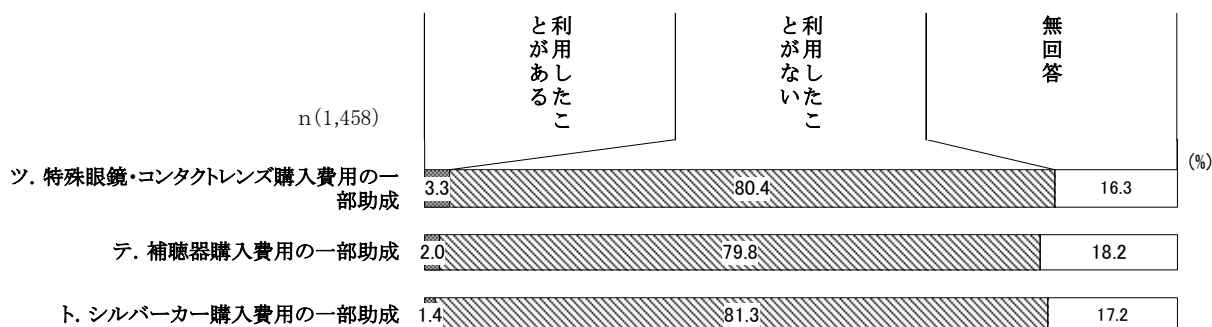


図2-49 保健・福祉サービスの利用状況（1回限りのサービス）



今後の利用意向をみると、「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」が67.6%で最も多く、これに「健康手帳の無料交付」が64.5%で次いでおり、周知度や利用度が低いながらも「特殊眼鏡など購入費用の一部助成」と「補聴器購入費用の一部助成」があげられます。

図2-50 保健・福祉サービスの利用意向

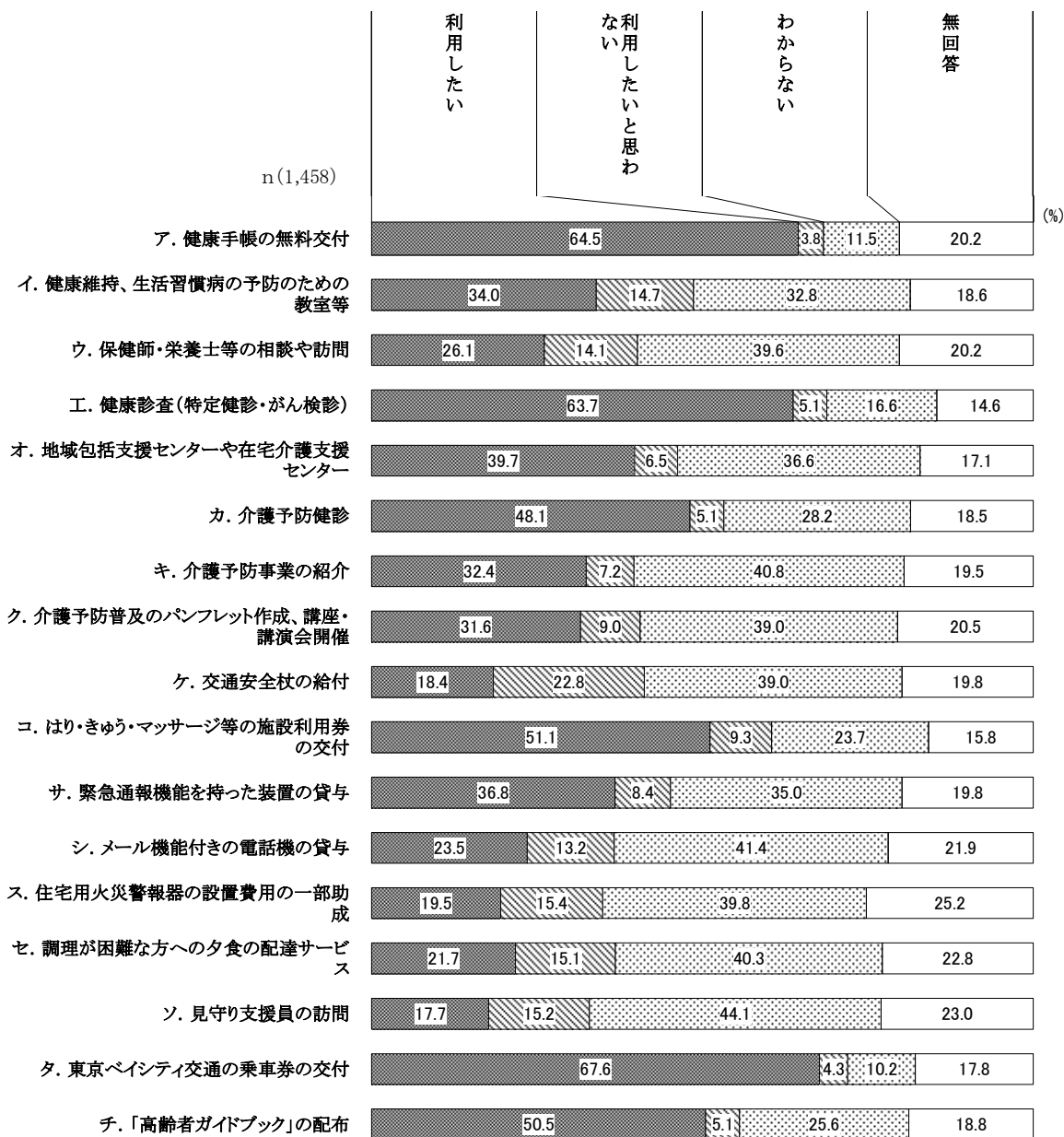


図2-51 保健・福祉サービスの利用意向（1回限りのサービス）

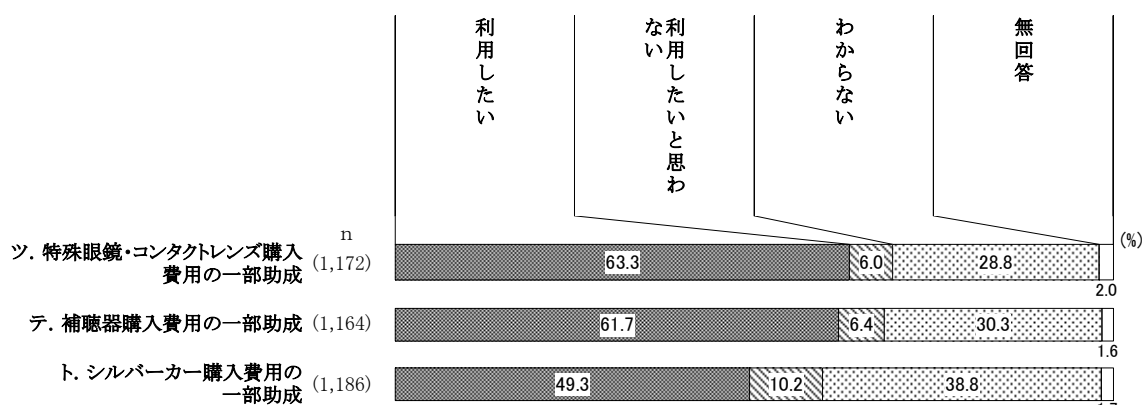


表2-46 経年比較 保健・福祉サービスの利用意向

(%)

	調査数	利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
--	-----	-------	------------	-------	-----

	調査数	利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
--	-----	-------	------------	-------	-----

ア. 健康手帳の無料交付

平成19年	1,346人	63.4	3.3	10.7	22.6
平成22年	1,458人	64.5	3.8	11.5	20.2

シ. メール機能付きの電話機の貸与

平成19年	1,346人	22.5	14.0	39.1	24.4
平成22年	1,458人	23.5	13.2	41.4	21.9

イ. 健康維持、生活習慣病の予防のための教室等

平成19年	1,346人	40.9	9.4	29.3	20.4
平成22年	1,458人	34.0	14.7	32.8	18.6

ス. 住宅用火災警報器の設置費用の一部助成

平成19年	1,346人	21.7	12.0	38.8	27.6
平成22年	1,458人	19.5	15.4	39.8	25.2

ウ. 保健師・栄養士等の相談や訪問

平成19年	1,346人	34.2	9.3	35.4	21.1
平成22年	1,458人	26.1	14.1	39.6	20.2

セ. 調理が困難な方への夕食の配達サービス

平成19年	1,346人	26.6	12.1	36.0	25.3
平成22年	1,458人	21.7	15.1	40.3	22.8

エ. 健康診査(特定健診・がん検診)

平成19年	1,346人	59.3	4.9	17.1	18.7
平成22年	1,458人	63.7	5.1	16.6	14.6

タ. 東京ベイシティ交通の乗車券の交付

平成19年	1,346人	65.4	4.3	9.4	21.0
平成22年	1,458人	67.6	4.3	10.2	17.8

ケ. 交通安全杖の給付

平成19年	1,346人	22.0	21.2	35.7	21.2
平成22年	1,458人	18.4	22.8	39.0	19.8

ツ. 特殊眼鏡・コンタクトレンズ購入費用の一部助成

平成19年	976人	64.2	6.1	27.6	2.0
平成22年	1,172人	63.3	6.0	28.8	2.0

コ. はり・きゅう・マッサージ等の施設利用券の交付

平成19年	1,346人	50.2	9.4	22.6	17.8
平成22年	1,458人	51.1	9.3	23.7	15.8

テ. 補聴器購入費用の一部助成

平成19年	978人	58.6	6.4	33.3	1.6
平成22年	1,164人	61.7	6.4	30.3	1.6

サ. 緊急通報機能を持った装置の貸与

平成19年	1,346人	37.2	8.1	33.5	21.2
平成22年	1,458人	36.8	8.4	35.0	19.8

ト. シルバーカー購入費用の一部助成

平成19年	973人	50.4	10.5	37.4	1.7
平成22年	1,186人	49.3	10.2	38.8	1.7

(注) 項目がないものは、前回調査にないもの。

第3章 若年者に関する調査結果

1. 調査結果の概要

- 「住宅の種類」は、「持ち家（共同住宅）」が44.5%を占め、これに「持ち家（一戸建て）」が29.9%で次いでいます。
- 「日ごろの健康状態について」では、「とても健康だと思う」が12.3%で、これに「まあ健康だと思う」（67.9%）を合わせた【健康だと思う】は80.2%となっています。【健康だと思う】は、平成19年調査の73.9%から今回、やや増加しています。
- 「健康を維持のためになにか行っているか」では、「実行している」が73.1%で、平成19年調査の76.3%よりやや低下しています。
- 健康維持のため心がけていることとしては、「定期的に健康診断を受けている」（56.8%）、「運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている」（56.2%）、「バランスのよい食事を心がけている」（55.3%）が、いずれも5割を超えて多くなっています。
- 「生きがいを感じる事」では、「家族仲良く暮らしていくこと」が73.3%で最も多く、以下「子どもや孫の成長を見守ること」（49.4%）、「趣味の活動」（41.1%）、「働くこと」（40.8%）の順で続いています。
- 要介護になったときの希望介護形態では、「介護施設で専門職員に介護してほしい」が29.8%で最も多く、これに「在宅で主にヘルパーや看護師のような専門職員に介護してほしい」が23.3%で次いでいます。
- 家族等が要介護となった場合のかかわり方については、「自分が中心ではないが、何らかの形で介護者としてかかわりたい（かかわっている）」が48.0%で最も多く、これに「自分が主な介護者としてかかわりたい（かかわっている）」が29.1%で次いでいます。
- 老後について問題になることとしては、「健康のこと」が77.3%で最も多く、以下「生活費のこと」（60.9%）、「認知症や寝たきりになること」（59.6%）、「介護を受ける状態になること」（55.8%）の順で続いています。平成19年調査と比較すると、大きく変化した項目はありませんが、「生活費のこと」が19年の56.6%から60.9%、「仕事のこと」が19年の7.2%から10.1%へとやや多くなっています。
- 高齢者施策として力を入れてほしいこととしては、「老人ホームなど入所できる施設を整備する」が47.5%で最も多く、以下「高齢者が働く場所を確保する」（40.8%）、「在宅福祉サービスを充実させる」（29.9%）の順で続いています。平成19年調査と比較すると、「老人ホームなど入所できる施設を整備する」が19年の37.1%から47.5%へと大幅に増加しています。
- 地域活動の周知度をみると、「お祭りや運動会等レクリエーション」が80.5%で最も多く、以下「自治会の活動」（74.5%）、「防災訓練や交通安全運動」（62.6%）、「子ども会やPTAの活動」（52.4%）の順で続いています。

第3章 若年者に関する調査結果

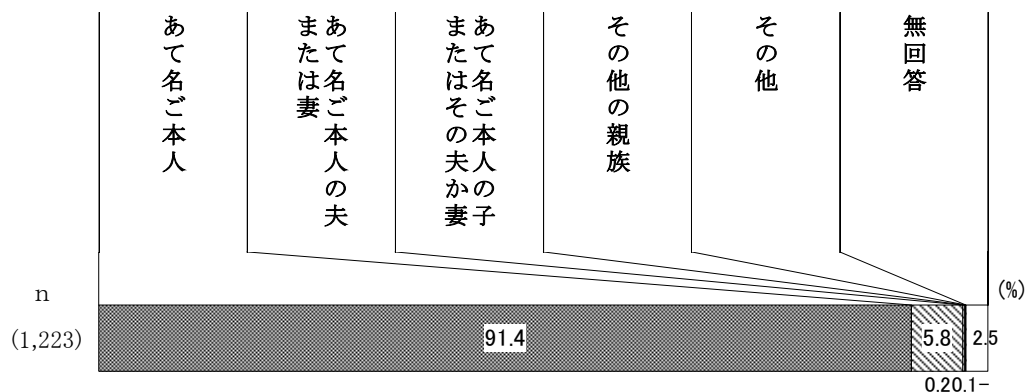
- 地域活動の参加状況をみると、周知度の高いものほど参加状況もよくなる傾向があり、「お祭りや運動会などのレクリエーション活動」は53.1%、「自治会の活動」は44.8%「子ども会やPTAの活動」は36.6%、「防災訓練や交通安全運動」は28.7%となっています。
- 参加していない理由としては、「仕事や家事・育児などで忙しい（時間がない）から」が48.1%と半数近くを占めて最も多く、これに「どのような行事や活動があるか知らないから」（22.7%）と「地域でやっている行事や活動に、自分の参加したいものがないから」（22.0%）が続いています。
- 今後ボランティア活動の輪を広げていくために必要なこととしては、「学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う」が42.7%で最も多く、以下「ボランティアに経済的負担がかからないように交通費などの実費を援助する」（36.5%）、「ボランティアとボランティアを必要とする人を結びつける仕組みを拡充する」（31.3%）の順で続いています。
- 市民が使いやすい福祉サービスを実現するために必要なこととしては、「福祉サービスに関する情報の提供体制を充実する」が60.1%で最も多く、以下「的確な相談が受けられるようにする」（46.8%）、「行政やサービス事業者の情報公開を進める」（36.2%）の順で続いています。

2. 基本属性について

※ この調査にお答えいただくのはどなたですか。(1つに○)

回答記入者は「本人」が91.4%と圧倒的に多くなっています。

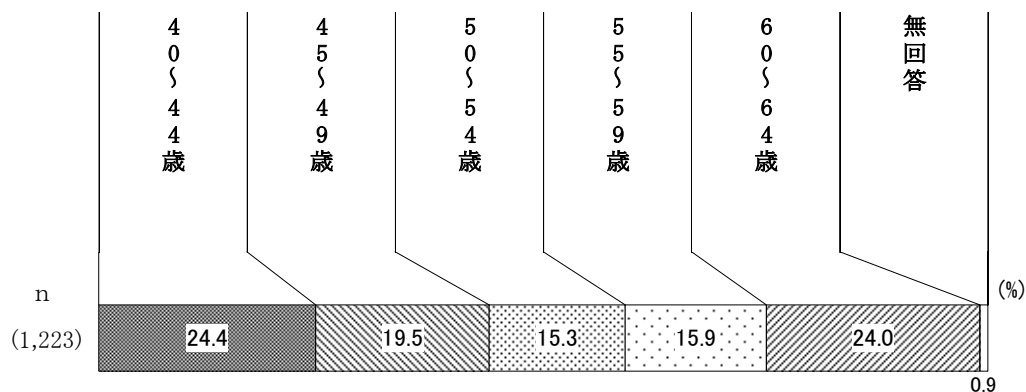
図3-1 調査の回答者



問1 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つだけ)

年齢は、「40～44歳」が24.4%、「60～64歳」が24.0%と、いずれも2割を超えています。

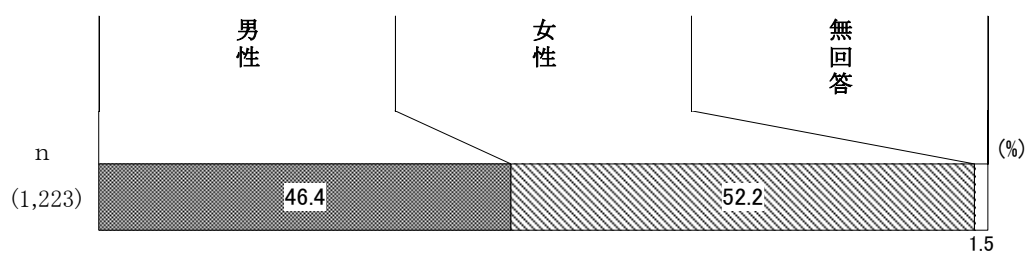
図3-2 年齢



問2 あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

性別は、「男性」が46.4%、「女性」が52.2%と女性が多くなっています。

図3-3 性別



問3 あなたはどちらの地区にお住まいですか。(〇は1つだけ)

居住地区は各地区に分散していますが、「日の出」(10.5%)がやや多くなっています。
 日常生活圏域別でみると、元町地区が32.2%、中町地区が40.3%、新町地区は26.7%となっています。

図3-4 居住地区

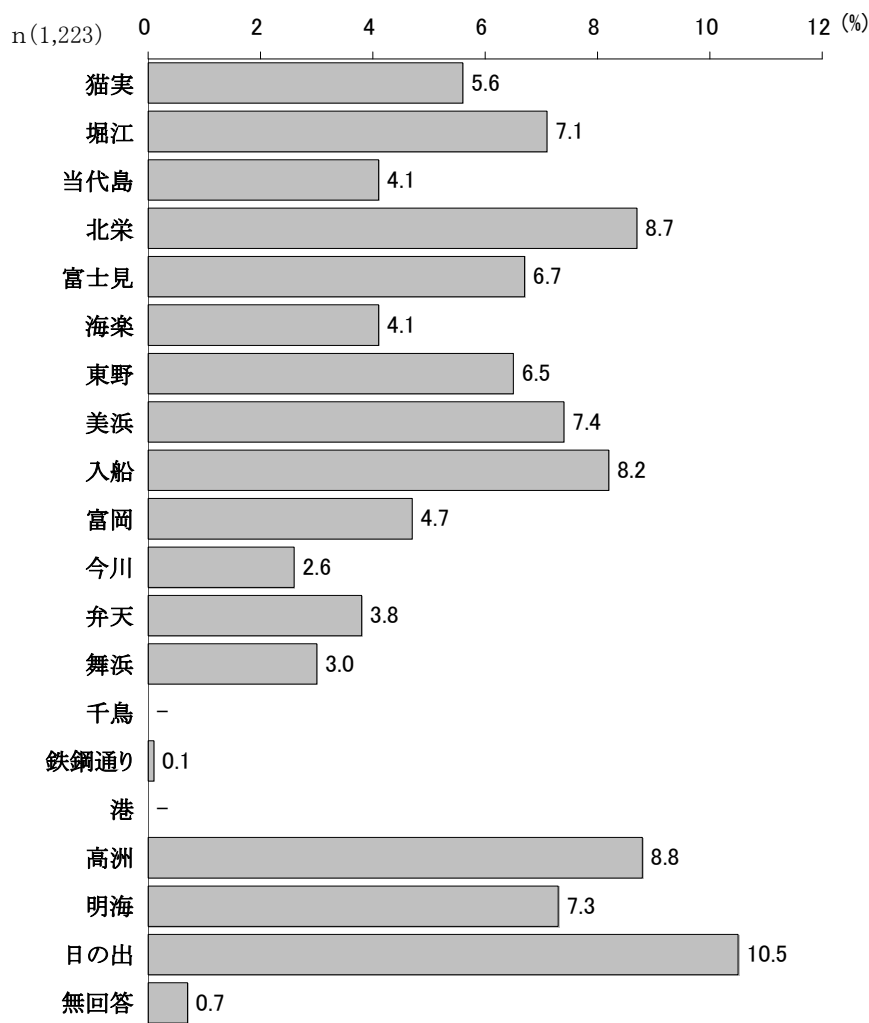
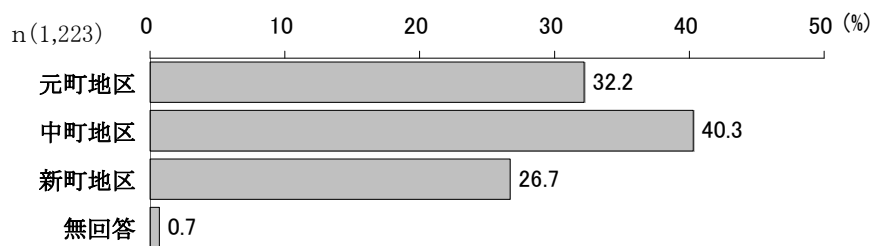


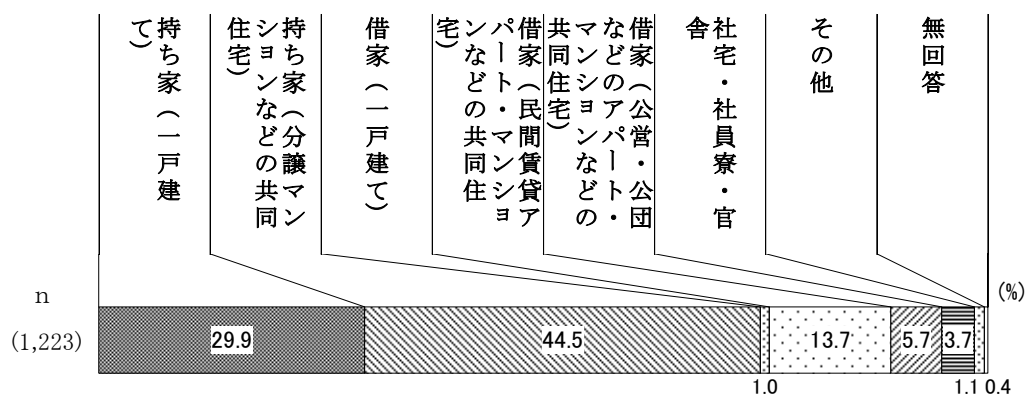
図3-5 居住地区 (日常生活圏域別)



問4 あなたの今住んでいる住宅は、次のうちどれにあたりますか。(○は1つだけ)

住宅の種類は、「持ち家（共同住宅）」が44.5%を占め、これに「持ち家（一戸建て）」が29.9%で次いでいます。

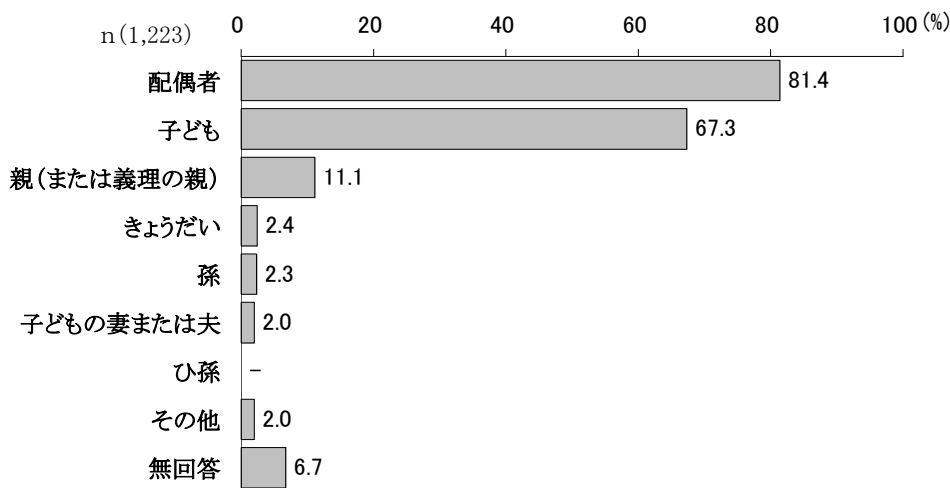
図3-6 住んでいる住宅



問5 現在、あなたと一緒に住んでいる方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

同居家族としては「配偶者（夫または妻）」が81.4%で最も多く、これに「子ども」が67.3%で次いでいます。

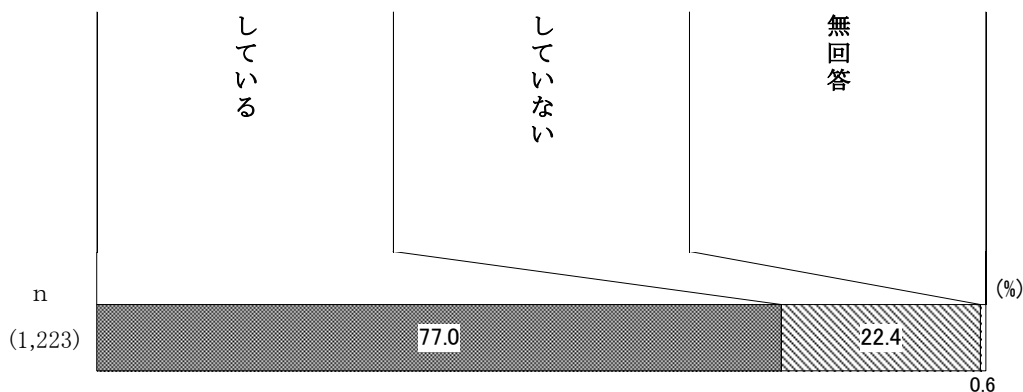
図3-7 現在の同居者



問6 あなたは、現在、仕事をしていますか。(○は1つだけ)

現在、仕事を「している」は77.0%、「していない」は22.4%となっています。

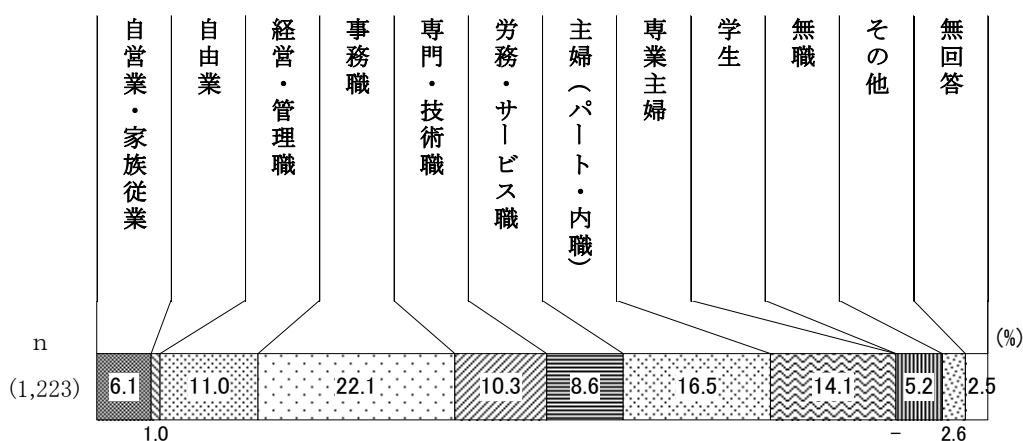
図3-8 現在仕事をしている



問7 あなたの職業は次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

職業としては、「事務職（一般事務、営業、販売員など）」が22.1%で最も多く、以下「主婦（パート・内職）」（16.5%）、「専業主婦」（14.1%）の順で続いています。

図3-9 職業

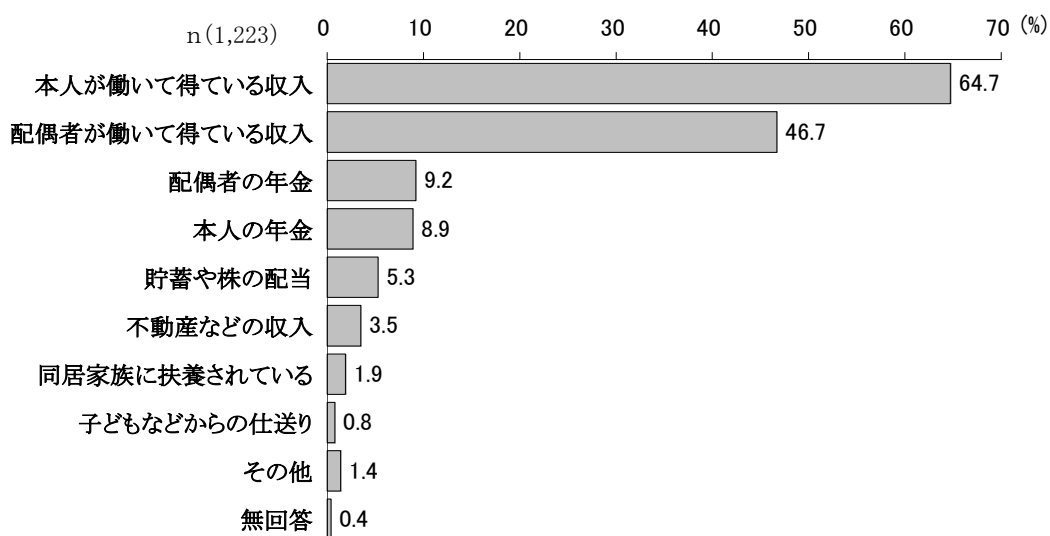


- ※
- 自由業（作家、芸術家、スポーツ選手など）
 - 経営・管理職（会社経営、会社・団体の役員など）
 - 事務職（一般事務、営業、販売員など）
 - 専門・技術職（研究者、技術者、医師、教師など）
 - 労務・サービス職（工具・作業員、飲食物調理、接客、ビル管理など）

問8 あなたが日常生活を維持している収入は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

収入源としては、「あなた（本人）が働いて得ている収入」が64.7%で最も多く、これに「配偶者が働いて得ている収入」が46.7%で次いでいます。

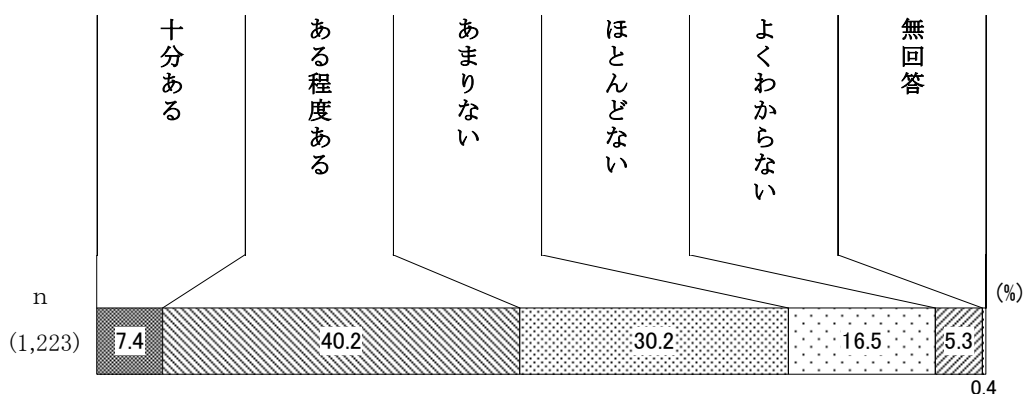
図3-10 日常生活を維持する収入



問9 あなたは、日頃の生活の中で、経済的なゆとりがある方だと思いますか。(○は1つだけ)

経済的ゆとりについては、「十分ある」が7.4%で、これに「ある程度ある」(40.2%)を合わせた【ある】が47.6%となっています。一方、「あまりない」は30.2%、「ほとんどない」は16.5%となっています。

図3-11 経済的なゆとりの有無



3. 健康について

問10 あなたの日ごろの健康状態についてお伺いします。(〇は1つだけ)

日ごろの健康状態については、「とても健康だと思う」が12.3%で、これに「まあ健康だと思う」(67.9%)を合わせた【健康だと思う】は80.2%となっています。【健康だと思う】は、平成19年調査の73.9%から今回、やや増加しています。

図3-12 日ごろの健康状態

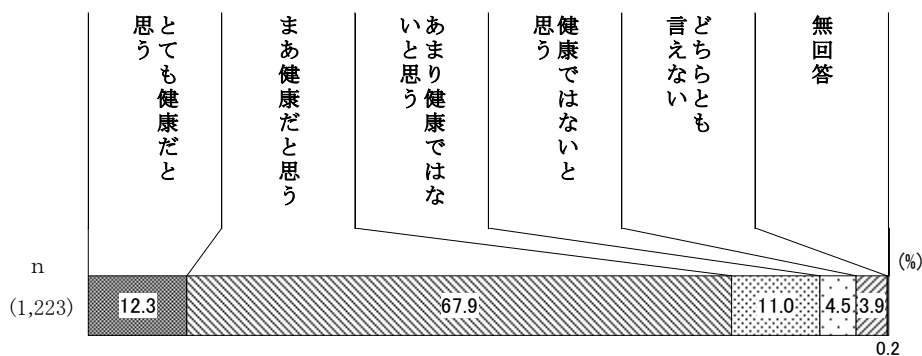


表3-1 性・年代別 日ごろの健康状態

	調査数	とても健康だと思う	まあ健康だと思う	あまり健康ではないと思う	健康ではないと思う	どちらとも言えない	無回答
全体	1223	151	831	135	55	48	3
	100.0	12.3	67.9	11.0	4.5	3.9	0.2
問2 性別							
男性	567	53	383	79	30	22	-
	100.0	9.3	67.5	13.9	5.3	3.9	-
女性	638	96	440	53	25	24	-
	100.0	15.0	69.0	8.3	3.9	3.8	-
問1 年齢							
40~44歳	298	54	198	31	5	10	-
	100.0	18.1	66.4	10.4	1.7	3.4	-
45~49歳	239	33	164	22	10	10	-
	100.0	13.8	68.6	9.2	4.2	4.2	-
50~54歳	187	20	138	19	3	7	-
	100.0	10.7	73.8	10.2	1.6	3.7	-
55~59歳	195	16	125	30	14	10	-
	100.0	8.2	64.1	15.4	7.2	5.1	-
60~64歳	293	27	201	32	23	10	-
	100.0	9.2	68.6	10.9	7.8	3.4	-

上段：人数／下段：%

表3-2 経年比較 日ごろの健康状態

	調査数	とても健康だと思う	まあ健康だと思う	あまり健康ではないと思う	健康ではないと思う	どちらとも言えない	無回答
平成19年	502人	9.6	64.3	11.0	8.8	5.4	1.0
平成22年	1,223人	12.3	67.9	11.0	4.5	3.9	0.2

問11 あなたは、現在、病気などの治療のために医療機関にかかっていますか。(○は1つだけ)

現在、病気などの治療のために医療機関に「かかっている」は39.7%、「かかっていない」は59.9%となっています。

図3-13 治療のために医療機関にかかっているか

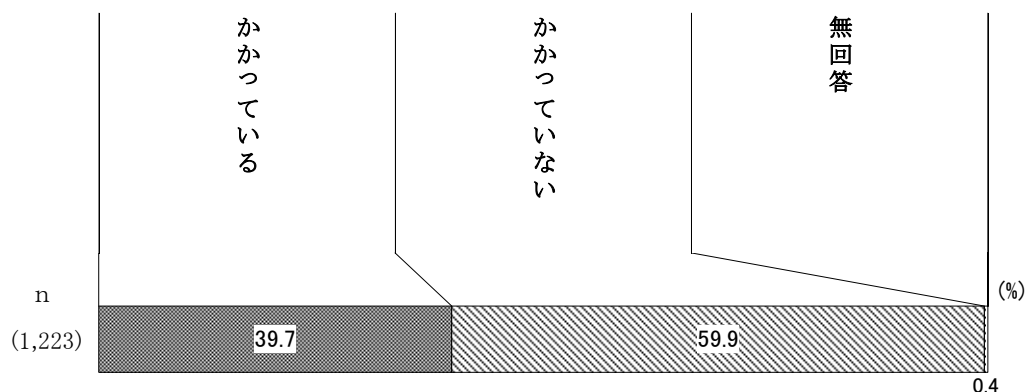


表3-3 性・年代別 治療のために医療機関にかかっているか

上段：人数／下段：%

	調査数	かかっている	かかっていない	無回答
全体	1223 100.0	486 39.7	732 59.9	5 0.4
問2 性別				
男性	567 100.0	249 43.9	318 56.1	- -
女性	638 100.0	229 35.9	405 63.5	4 0.6
問1 年齢				
40～44歳	298 100.0	73 24.5	225 75.5	- -
45～49歳	239 100.0	68 28.5	170 71.1	1 0.4
50～54歳	187 100.0	64 34.2	122 65.2	1 0.5
55～59歳	195 100.0	103 52.8	91 46.7	1 0.5
60～64歳	293 100.0	172 58.7	119 40.6	2 0.7

表3-4 経年比較 治療のために医療機関にかかっているか

	調査数	かかっている	かかっていない	無回答 (%)
平成19年	502人	43.6	54.8	1.6
平成22年	1,223人	39.7	59.9	0.4

《問11で「1 かかっている」とお答えの方にお伺いします》

問11-1 あなたが治療されている病名は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

医療機関にかかっている人に、病名をきいたところ、「高血圧」が31.9%で最も多く、以下「歯の病気」(16.9%)、「腰痛」(12.3%)、「糖尿病」(10.5%)の順で続いています。

図3-14 治療している病名

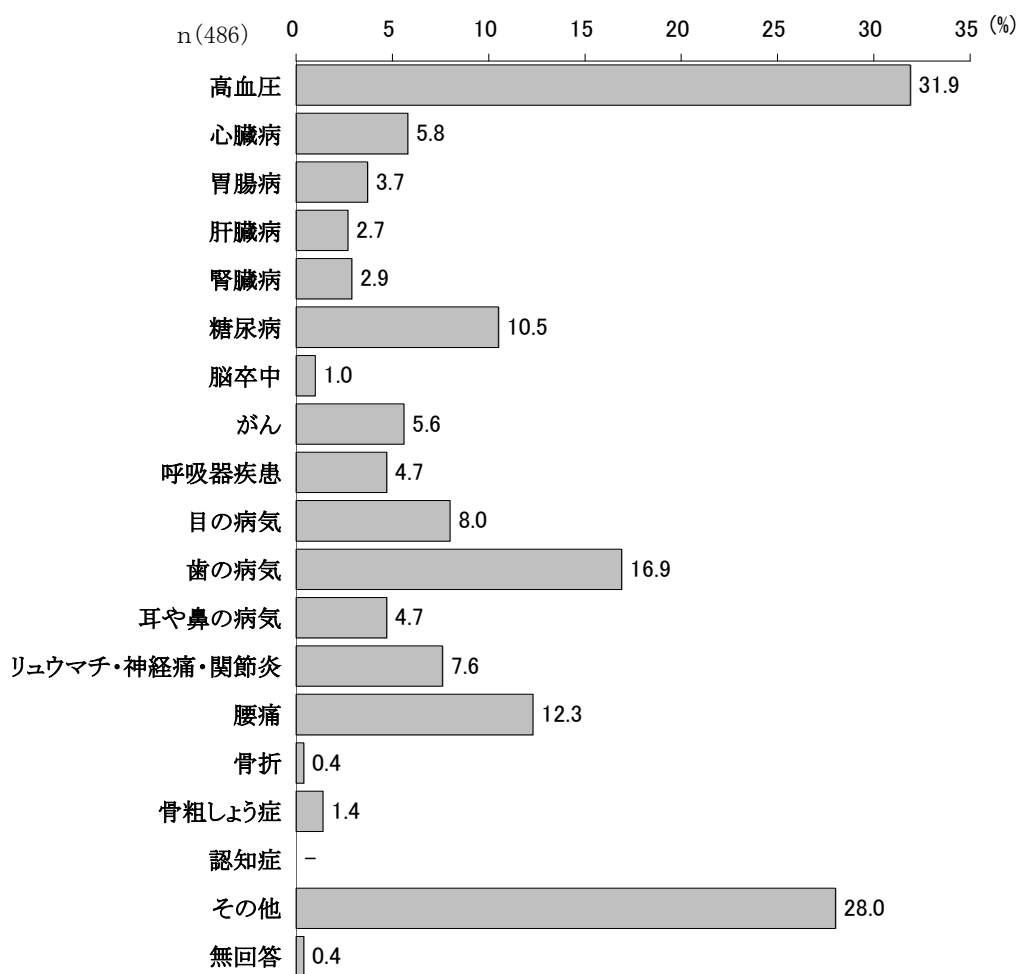


表3-5 経年比較 治療している病名

(%)

	調査数	高血圧	心臓病	胃腸病	肝臓病	腎臓病	糖尿病	脳卒中	がん	呼吸器疾患	目の病気
平成19年	219人	23.7	5.0	3.2	2.7	0.5	11.0	0.5	6.4	1.4	9.6
平成22年	486人	31.9	5.8	3.7	2.7	2.9	10.5	1.0	5.6	4.7	8.0

	調査数	歯の病気	耳や鼻の病気	経リ痛 ユウマチ 関節炎・神	腰痛	骨折	骨粗しょう症	認知症	その他	無回答
平成19年	219人	19.6	4.6	11.9	13.2	1.4	1.8	-	28.8	-
平成22年	486人	16.9	4.7	7.6	12.3	0.4	1.4	-	28.0	0.4

問12 あなたは、健康維持のために何か行っていますか。(○は1つだけ)

健康を維持するために何か、「実行している」が73.1%で、平成19年調査の76.3%よりやや低下しています。

図3-15 健康維持のために何か実行している

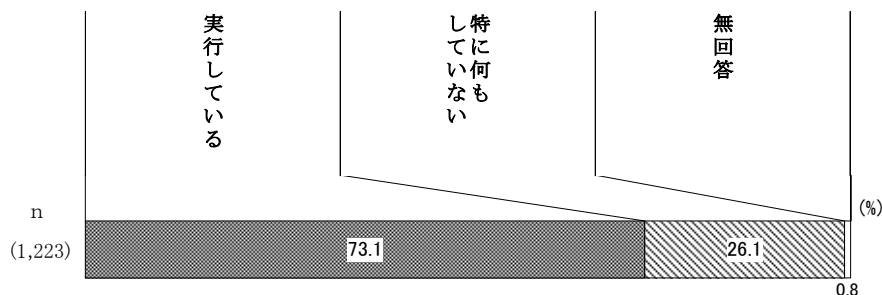


表3-6 性・年代別 健康維持のために何か実行している

	調査数	実行している	特に何もしていない	無回答	上段：人数 / 下段：%	
全体	1223	894	319	10	73.1	0.8
問2 性別						
男性	567	395	167	5	69.7	0.9
女性	638	487	147	4	76.3	0.6
問1 年齢						
40～44歳	298	199	98	1	66.8	0.3
45～49歳	239	172	66	1	72.0	0.4
50～54歳	187	143	44	-	76.5	-
55～59歳	195	152	40	3	77.9	1.5
60～64歳	293	221	67	5	75.4	1.7

表3-7 経年比較 健康維持のために何か実行している

	調査数	実行している	特に何もしていない	無回答	(%)
平成19年	502人	76.3	22.5	1.2	
平成22年	1,223人	73.1	26.1	0.8	

「問12で「1 実行している」とお答えの方にお伺いします」

問12-1 それはどのような方法ですか。(あてはまるものすべてに○)

健康を維持するために心がけていることとしては、「定期的に健康診断を受けている」(56.8%)、「運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている」(56.2%)、「バランスのよい食事を心がけている」(55.3%)が、いずれも5割を超えて多くなっています。

図3-16 実行している方法

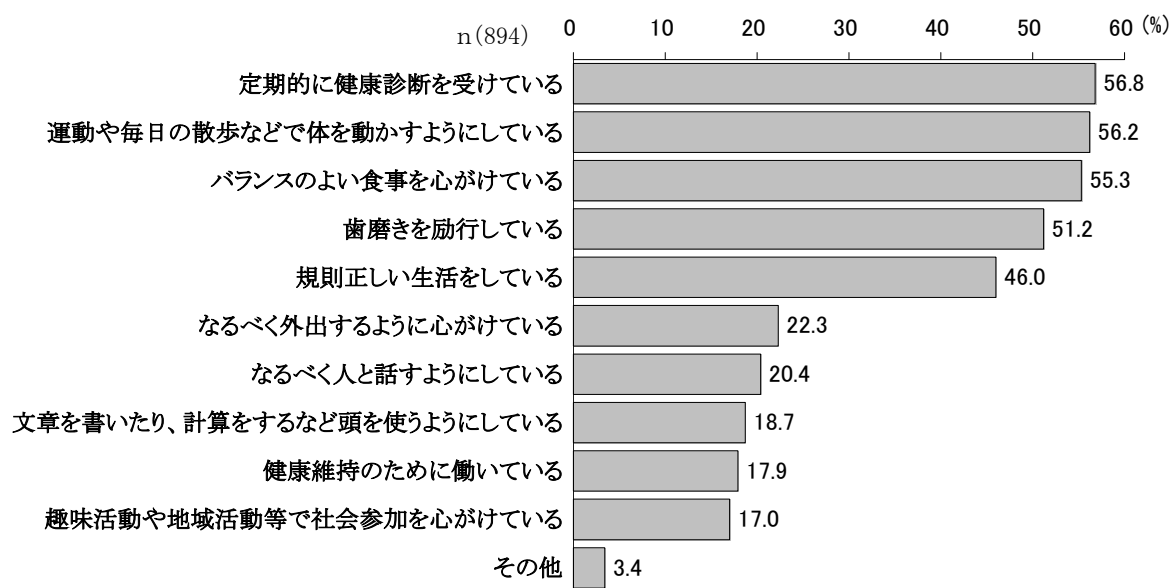


表3-8 経年比較 実行している方法

	調査数	定期的に健康診断を受けている	運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている	バランスのよい食事を心がけている	規則正しい生活をしている	趣味活動や地域活動等で社会参加を心がけている	健康維持のために働いている	定期的に健康診断を受けている	歯磨きを励行している	文章を書いたり、計算をするなど頭を使うようにしている	なるべく外出するように心がけている	なるべく人と話すようにしている	その他
平成19年	383人	58.2	59.0	43.1	18.8	17.0	56.4	52.5	16.7	24.3	18.3	2.6	
平成22年	894人	56.2	55.3	46.0	17.0	17.9	56.8	51.2	18.7	22.3	20.4	3.4	

《問12で「2 特に何もしていない」とお答えの方にお伺いします》

問12-2 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

健康維持のための行動をしていない理由としては、「時間がない」が41.7%で最も多く、以下「余裕がない」(36.7%)、「一人では長続きしない」(26.3%)、「必要性を感じない」(23.5%)の順で続いています。

図3-17 特に何もしていない理由

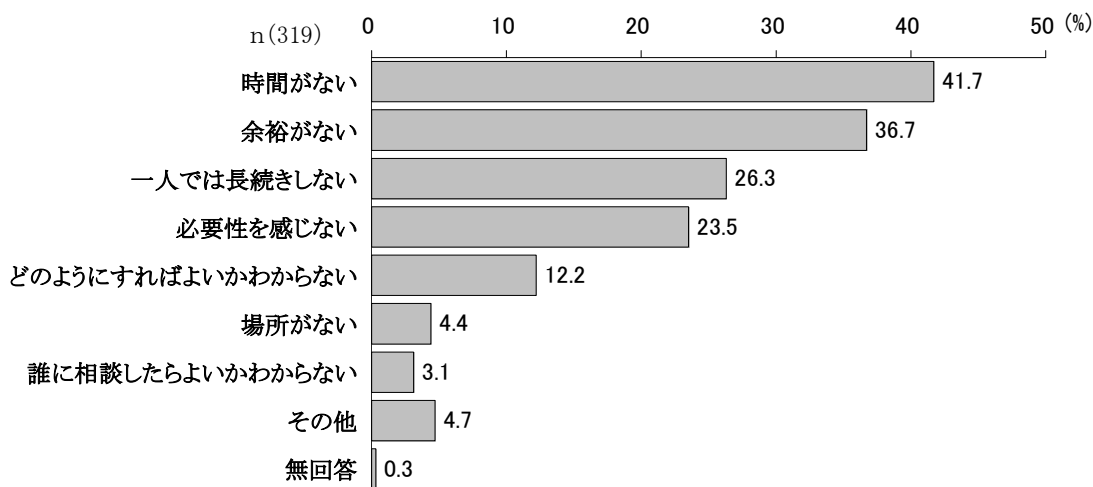


表3-9 性・年代別 特に何もしていない理由

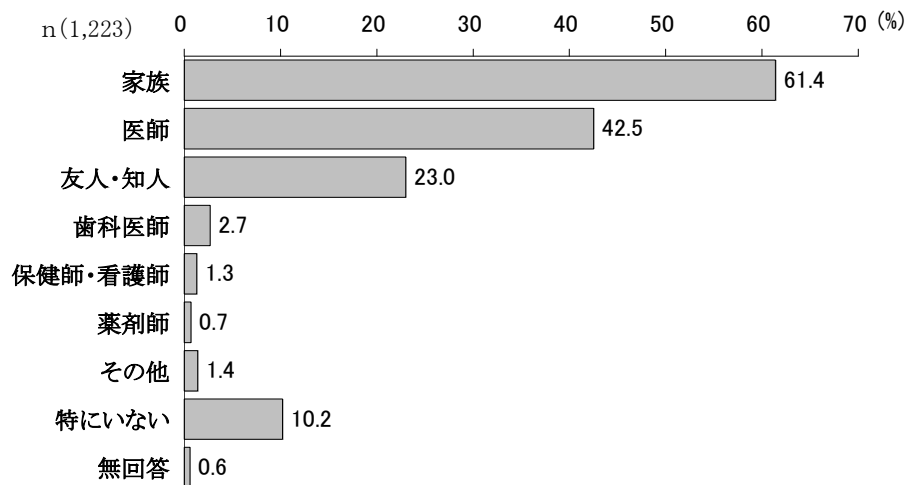
上段：人数／下段：%

	調査数	時間がない	余裕がない	一人では長続きしない	必要性を感じない	かどのかわからないようにすればよい	場所がない	誰に相談したらよいか	その他	無回答
全体	319	133	117	84	75	39	14	10	15	1
	100.0	41.7	36.7	26.3	23.5	12.2	4.4	3.1	4.7	0.3
問2 性別										
男性	167	65	57	41	45	20	8	10	6	-
	100.0	38.9	34.1	24.6	26.9	12.0	4.8	6.0	3.6	-
女性	147	68	58	42	28	19	6	-	9	1
	100.0	46.3	39.5	28.6	19.0	12.9	4.1	-	6.1	0.7
問1 年齢										
40～44歳	98	47	33	24	23	11	4	4	2	-
	100.0	48.0	33.7	24.5	23.5	11.2	4.1	4.1	2.0	-
45～49歳	66	33	28	15	8	12	4	2	2	-
	100.0	50.0	42.4	22.7	12.1	18.2	6.1	3.0	3.0	-
50～54歳	44	17	17	9	14	3	1	1	2	-
	100.0	38.6	38.6	20.5	31.8	6.8	2.3	2.3	4.5	-
55～59歳	40	12	17	16	7	6	2	1	5	1
	100.0	30.0	42.5	40.0	17.5	15.0	5.0	2.5	12.5	2.5
60～64歳	67	24	20	20	21	7	3	2	4	-
	100.0	35.8	29.9	29.9	31.3	10.4	4.5	3.0	6.0	-

問13 あなたが、健康に関する相談をするのは主に誰ですか。(〇は2つまで)

健康に関する相談をする相手としては、「家族」が61.4%で最も多く、以下「医師」(42.5%)、「友人・知人」(23.0%)の順で続いています。

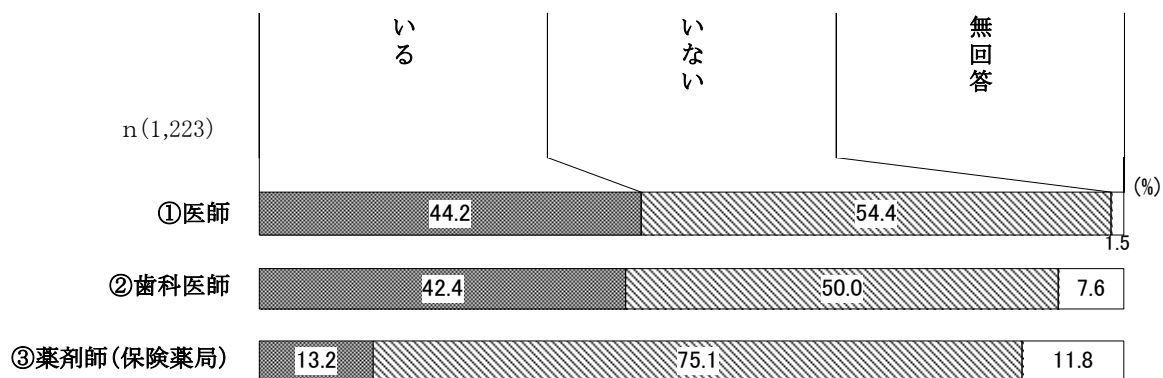
図3-18 健康に関する相談をする人



問14 あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師や歯科医師や薬剤師がいますか。(それぞれ〇は1つ)

かかりつけの医療機関が「ある」と答えた方をみると、「かかりつけ医師」(44.2%)と「かかりつけ歯科医師」(42.4%)が、いずれも4割を超えています。一方、「かかりつけ薬剤師(保険薬局)」は13.2%となっています。

図3-19 かかりつけ医療機関の有無



4. 日常生活について

問15 あなたが、現在生きがいを感じるのとはどんなことですか。また、今後やりたいのとはどんなことですか。

(ア) 生きがいを感じること (あてはまるものすべてに○)

生きがいを感じることは、「家族仲良く暮らしていくこと」が73.3%で最も多く、以下「子どもや孫の成長を見守ること」(49.4%)、「趣味の活動」(41.1%)、「働くこと」(40.8%)の順で続いています。

図3-20 生きがいを感じること

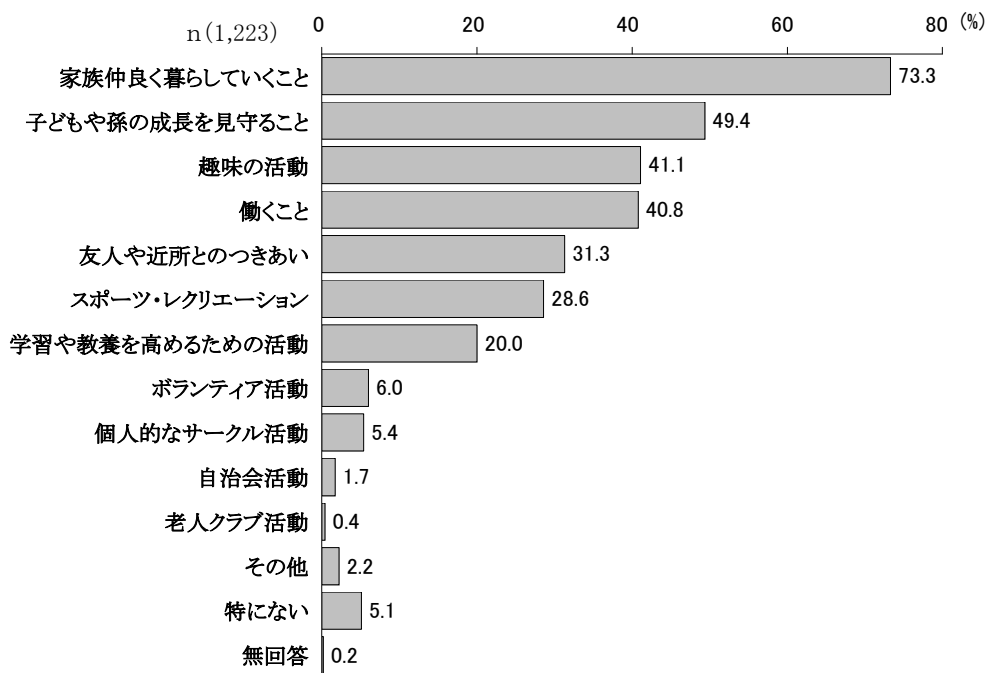


表3-10 性・年代別 生きがいを感じること

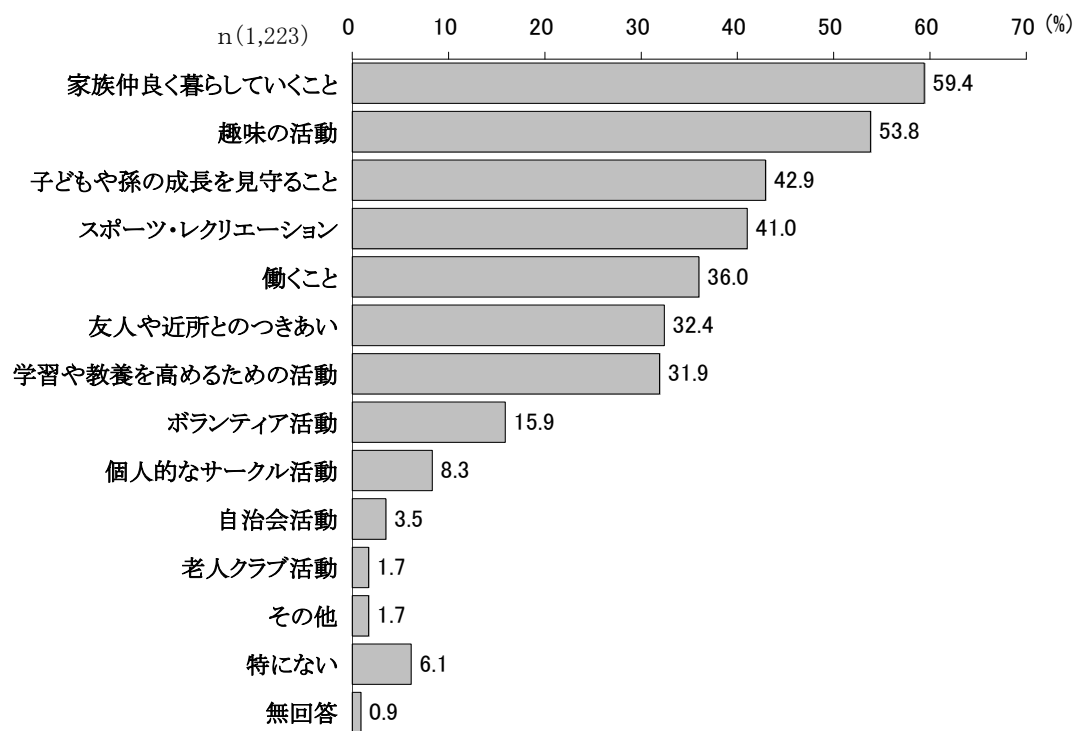
上段：人数/下段：%

	調査数	家族仲良く暮らしていくこと	子どもや孫の成長を見守ること	趣味の活動	働くこと	友人や近所とのつきあい	スポーツ・レクリエーション	学習や教養を高めるための活動	ボランティア活動	個人的なサークル活動	自治会活動	老人クラブ活動	その他	特にない	無回答
全体	1223	897	604	503	499	383	350	244	73	66	21	5	27	62	3
	100.0	73.3	49.4	41.1	40.8	31.3	28.6	20.0	6.0	5.4	1.7	0.4	2.2	5.1	0.2
問2 性別															
男性	567	418	259	234	262	124	197	100	33	29	9	3	9	32	1
	100.0	73.7	45.7	41.3	46.2	21.9	34.7	17.6	5.8	5.1	1.6	0.5	1.6	5.6	0.2
女性	638	470	338	262	229	254	152	143	40	37	11	2	18	29	1
	100.0	73.7	53.0	41.1	35.9	39.8	23.8	22.4	6.3	5.8	1.7	0.3	2.8	4.5	0.2
問1 年齢															
40～44歳	298	228	164	132	120	88	89	59	8	10	1	-	6	15	-
	100.0	76.5	55.0	44.3	40.3	29.5	29.9	19.8	2.7	3.4	0.3	-	2.0	5.0	-
45～49歳	239	181	123	90	98	65	72	48	11	4	2	-	3	10	1
	100.0	75.7	51.5	37.7	41.0	27.2	30.1	20.1	4.6	1.7	0.8	-	1.3	4.2	0.4
50～54歳	187	137	90	69	83	65	58	38	13	10	2	-	2	10	-
	100.0	73.3	48.1	36.9	44.4	34.8	31.0	20.3	7.0	5.3	1.1	-	1.1	5.3	-
55～59歳	195	137	79	79	77	59	57	32	12	9	3	-	7	8	1
	100.0	70.3	40.5	40.5	39.5	30.3	29.2	16.4	6.2	4.6	1.5	-	3.6	4.1	0.5
60～64歳	293	207	143	130	117	103	70	64	28	31	13	5	9	18	1
	100.0	70.6	48.8	44.4	39.9	35.2	23.9	21.8	9.6	10.6	4.4	1.7	3.1	6.1	0.3

(イ) 今後やりたいこと（あてはまるものすべてに○）

今後やりたいことは、「家族仲良く暮らしていくこと」が59.4%で最も多く、「趣味の活動」53.8%で次いでいます。

図3-21 今後やりたいこと



問16 あなたは、ふだん隣近所の人とどの程度の交流がありますか。(○は1つだけ)

隣近所の人との交流については、「顔を合わせたときにあいさつをする程度」が47.3%で最も多く、これに「立ち話や世間話・情報交換をする程度」が26.8%で次いでいます。

図3-22 隣近所の人との交流の程度

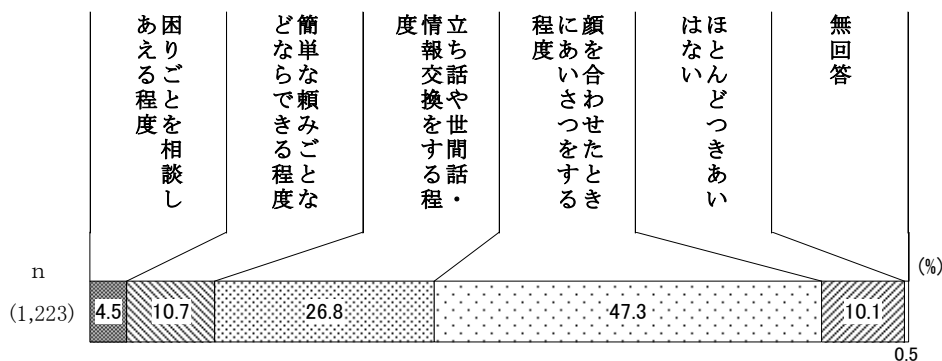


表3-11 性・年代別 隣近所の人との交流の程度

	調査数	困りごとを相談しあえる程度	簡単な頼みごとなどできる程度	立ち話や世間話・情報交換をする程度	顔を合わせたときにあいさつをする程度	ほとんどつきあいはない	無回答
全体	1223	55	131	328	579	124	6
	100.0	4.5	10.7	26.8	47.3	10.1	0.5
問2 性別							
男性	567	8	39	116	323	77	4
	100.0	1.4	6.9	20.5	57.0	13.6	0.7
女性	638	47	92	206	247	44	2
	100.0	7.4	14.4	32.3	38.7	6.9	0.3
問1 年齢							
40～44歳	298	18	23	66	158	32	1
	100.0	6.0	7.7	22.1	53.0	10.7	0.3
45～49歳	239	9	30	54	116	29	1
	100.0	3.8	12.6	22.6	48.5	12.1	0.4
50～54歳	187	4	18	52	96	16	1
	100.0	2.1	9.6	27.8	51.3	8.6	0.5
55～59歳	195	7	26	45	95	22	-
	100.0	3.6	13.3	23.1	48.7	11.3	-
60～64歳	293	17	34	106	111	22	3
	100.0	5.8	11.6	36.2	37.9	7.5	1.0

上段：人数／下段：%

表3-12 経年比較 隣近所の人との交流の程度

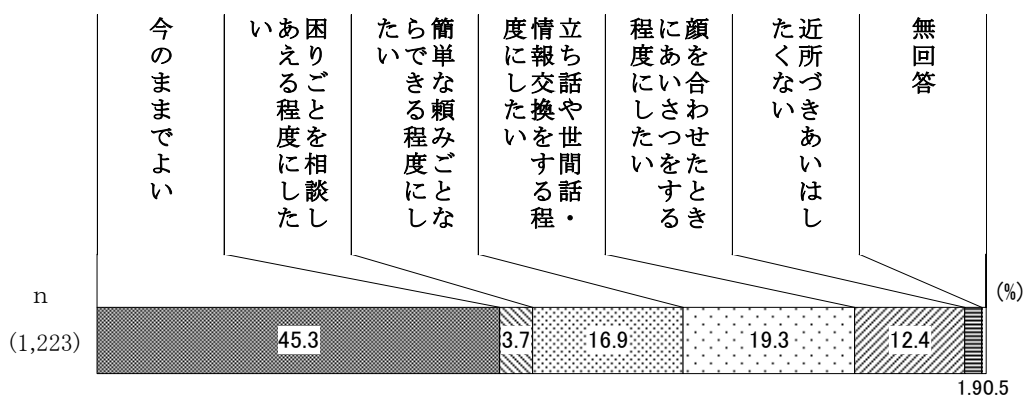
	調査数	困りごとを相談しあえる程度	簡単な頼みごとなどできる程度	立ち話や世間話・情報交換をする程度	顔を合わせたときにあいさつをする程度	ほとんどつきあいはない	無回答
平成19年	502人	5.1	12.9	26.3	47.8	7.8	0.4
平成22年	1,223人	4.5	10.7	26.8	47.3	10.1	0.5

(%)

問17 隣近所の人との交流について、今後はどのようにしたいですか。(○は1つだけ)

今後の隣近所の人との交流意向をみると、「今のままでよい」が45.3%で最も多く、これに「立ち話や世間話・情報交換をする程度にしたい」が19.3%で次いでいます。

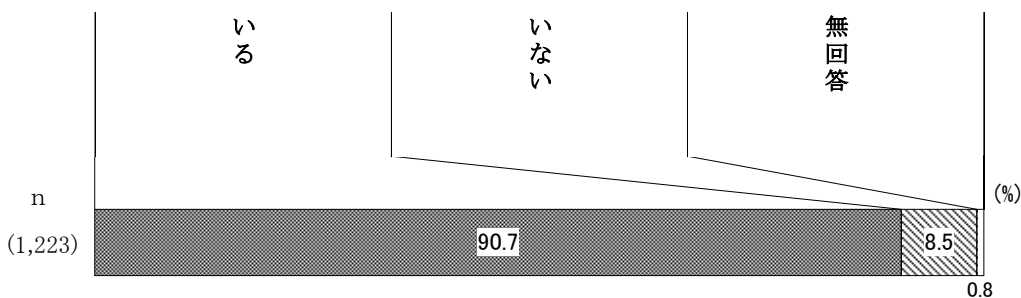
図3-23 隣近所の人との交流についての今後の意向



問18 あなたは、悩みや困ったことがあった場合、相談する人がいますか。(○は1つだけ)

悩みや困ったことを相談する相手が「いる」は90.7%、「いない」が8.5%となっています。

図3-24 悩みや困ったことを相談する人の有無



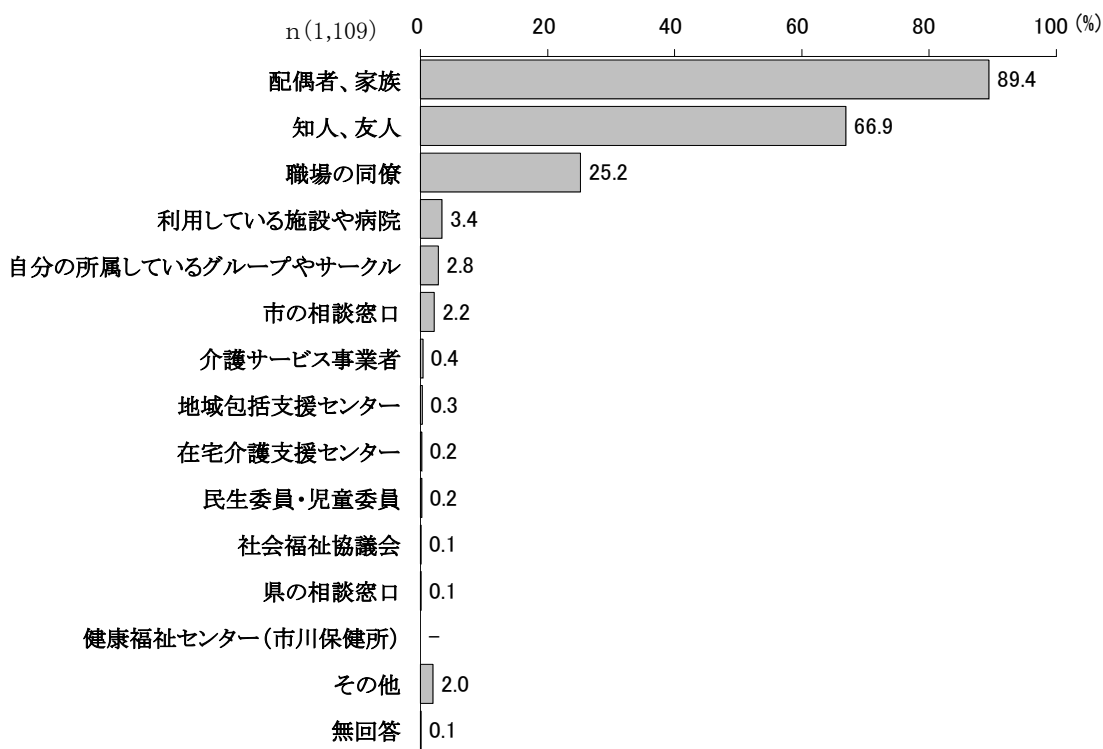
《問18で「1 いる」とお答えの方にお伺いします》

問18-1 あなたは普段、悩みや困ったことをだれ（どこ）に相談しますか。

（あてはまるものすべてに○）

悩みや困ったことを相談できる相手がいる人に、それは誰かきいたところ、「配偶者、家族」が89.4%で最も多く、以下「知人、友人」(66.9%)、「職場の同僚」(25.2%)の順で続いています。

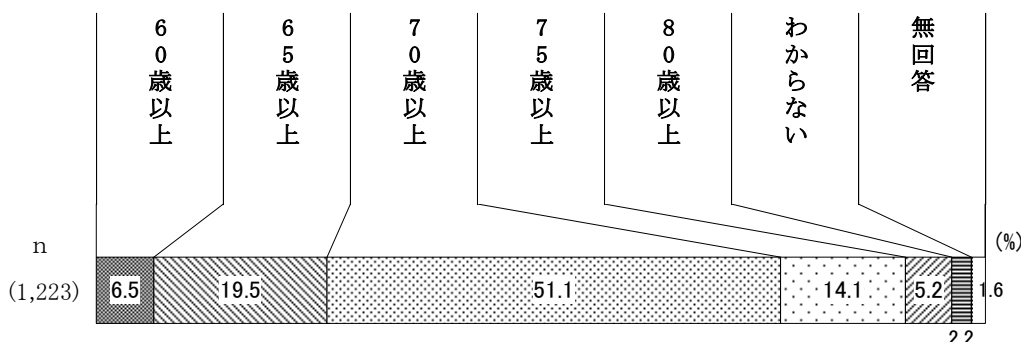
図3-25 悩みや困ったことの相談相手



問19 あなたは、何歳以上を「高齢者」と考えていますか。(○は1つだけ)

高齢者の年齢としては、「70歳以上」が51.1%で過半数を占め、以下「65歳以上」(19.5%)、「75歳以上」(14.1%)の順で続いています。

図3-26 何歳以上を「高齢者」と考える



5. 介護保険について

問20 介護保険制度について、あなたはその制度の内容を知っていますか。(ア～オのそれぞれの項目について、1か2を○で囲んでください)

介護保険制度について周知度の高い順でみると、「介護サービスを利用するには、まず要介護認定を受ける必要があること」が75.5%で最も多く、以下「40歳以上の人が被保険者になって保険料を納めること」(73.0%)、「介護サービスを利用したら、サービス利用者が利用料の1割を自己負担すること」(47.4%)、「介護サービスを利用する場合は、ケアマネジャーに相談すること」(46.9%)の順で続いています。一方、「認定結果や介護サービスなどに不満や問題があるときには、不服を申し立てることができること」ということについては、「知っている」は28.9%に留まっています。

図3-27 介護保険制度の内容の周知

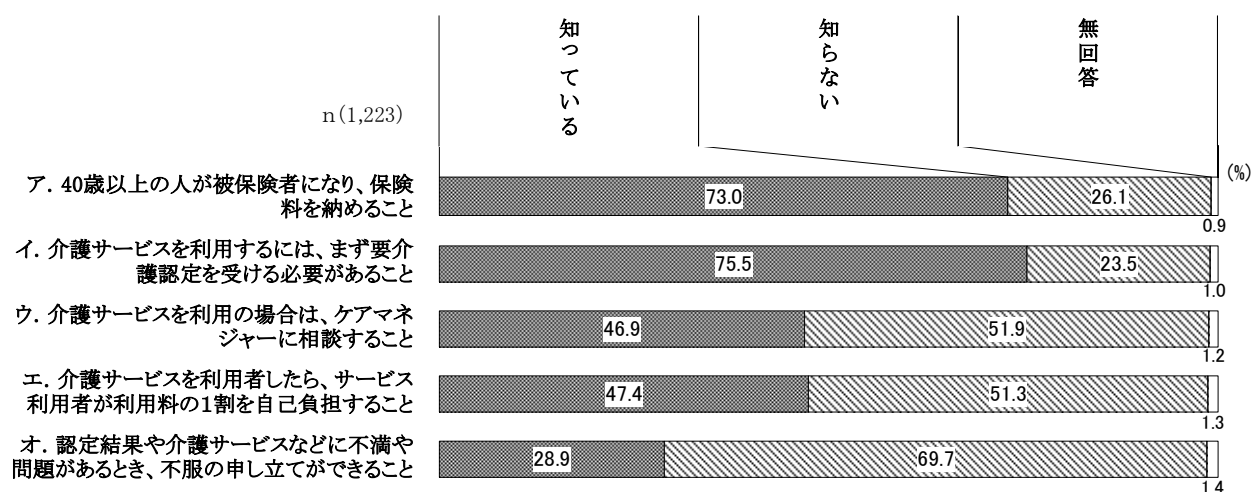


表3-13 経年比較 介護保険制度の内容の周知

	周知状況					周知状況 (%)			
	調査数	知っている	知らない	無回答		調査数	知っている	知らない	無回答
ア. 40歳以上の人が被保険者になり、保険料を納めること									
平成19年	502人	74.3	24.3	1.4	平成19年	502人	49.6	48.6	1.8
平成22年	1,223人	73.0	26.1	0.9	平成22年	1,223人	47.4	51.3	1.3
イ. 介護サービス利用には要介護認定を受ける必要があること					オ. 認定結果やサービスの不服申し立てができること				
平成19年	502人	78.3	20.5	1.2	平成19年	502人	37.6	60.6	1.8
平成22年	1,223人	75.5	23.5	1.0	平成22年	1,223人	28.9	69.7	1.4
ウ. 介護サービス利用の場合はケアマネジャーに相談すること									
平成19年	502人	51.2	47.2	1.6					
平成22年	1,223人	46.9	51.9	1.2					

問21 介護保険制度は、介護を家族だけではなく、社会全体で支えあっていこうという趣旨で、税金と40歳以上の方の保険料、本人の自己負担で費用を賄うというしくみになっています。この介護保険が導入されて10年以上が経過しましたが、あなたは、この制度についてどのように思いますか。あなたのお気持ちに近いものを選んでください。(○は1つだけ)

介護保険制度については、「大変よい」が7.8%で、これに「よい」の28.0%を合わせた《肯定的評価》は35.8%となっています。一方、「あまりよくない」は16.7%、「よくない」は6.0%となっています。

図3-28 介護保険制度についての考え

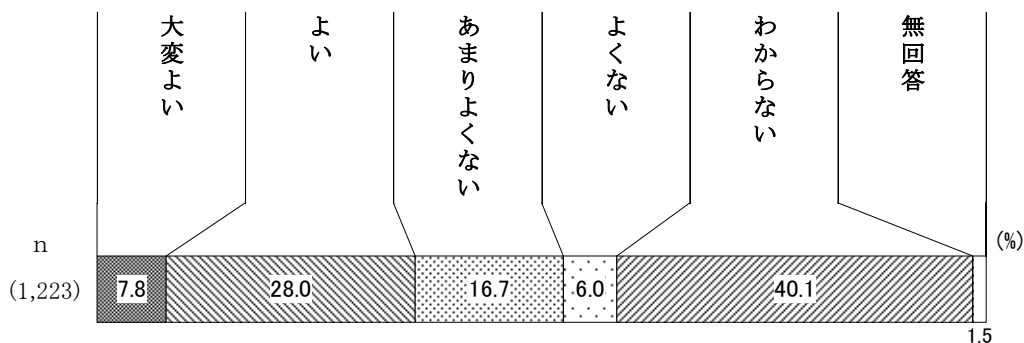


表3-14 性・年代別 介護保険制度についての考え

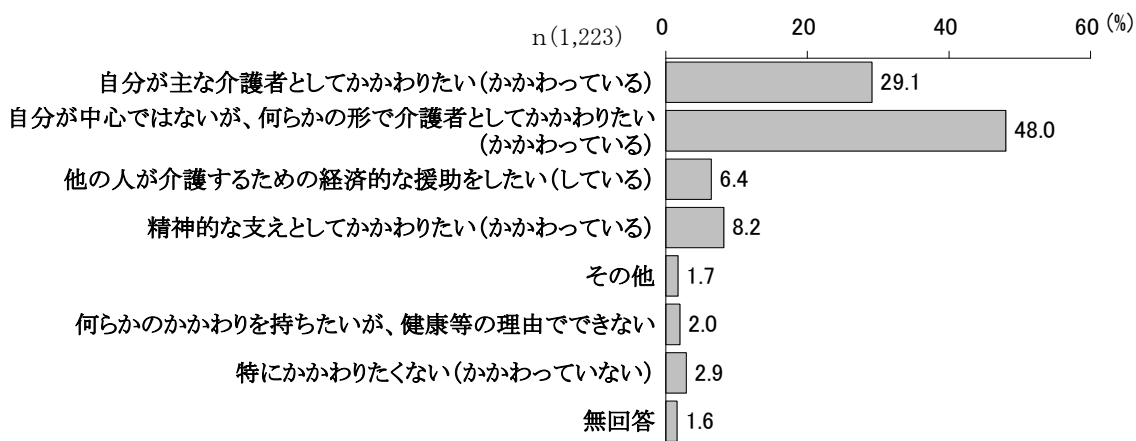
上段：人数/下段：%

	調査数	大変よい	よい	あまりよくない	よくない	わからない	無回答
全体	1223 100.0	95 7.8	343 28.0	204 16.7	73 6.0	490 40.1	18 1.5
問2 性別							
男性	567 100.0	54 9.5	159 28.0	97 17.1	44 7.8	207 36.5	6 1.1
女性	638 100.0	40 6.3	179 28.1	102 16.0	29 4.5	276 43.3	12 1.9
問1 年齢							
40～44歳	298 100.0	16 5.4	56 18.8	48 16.1	29 9.7	147 49.3	2 0.7
45～49歳	239 100.0	12 5.0	65 27.2	42 17.6	15 6.3	102 42.7	3 1.3
50～54歳	187 100.0	13 7.0	55 29.4	40 21.4	11 5.9	65 34.8	3 1.6
55～59歳	195 100.0	20 10.3	61 31.3	32 16.4	10 5.1	72 36.9	-
60～64歳	293 100.0	34 11.6	101 34.5	42 14.3	7 2.4	99 33.8	10 3.4

問22 もしあなたの家族等に介護が必要になったら、どのようなかかわり方をしたいと思いますか。また、現在介護をされている方はどのようにかかわっていますか。(○は1つだけ)

家族等が要介護となった場合のかかわり方については、「自分が中心ではないが、何らかの形で介護者としてかかわりたい(かかわっている)」が48.0%で最も多く、これに「自分が主な介護者としてかかわりたい(かかわっている)」が29.1%で次いでいます。

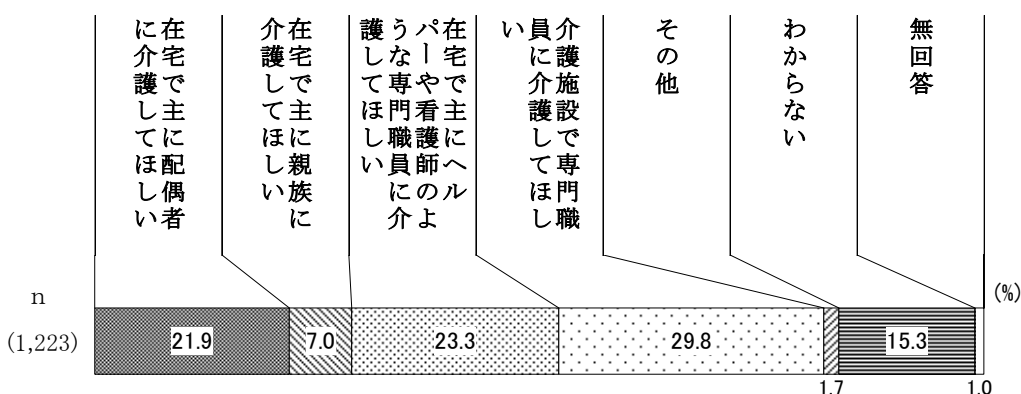
図3-29 介護のかかわり方の希望と実践



問23 あなたは、介護が必要になったとき、主にどこで誰に介護してほしいと思いますか。(○は1つだけ)

「介護施設で専門職員に介護してほしい」が29.8%で最も多く、これに「在宅で主にヘルパーや看護師のような専門職員に介護してほしい」が23.3%で次いでいます。

図3-30 介護が必要になったときの希望



6. 保健・福祉サービスについて

問24 あなたは、老後において何が問題になると考えていますか。(〇は5つまで)

老後について問題になることとしては、「健康のこと」が77.3%で最も多く、以下「生活費のこと」(60.9%)、「認知症や寝たきりになること」(59.6%)、「介護を受ける状態になること」(55.8%)の順で続いています。

図3-31 老後に問題になること

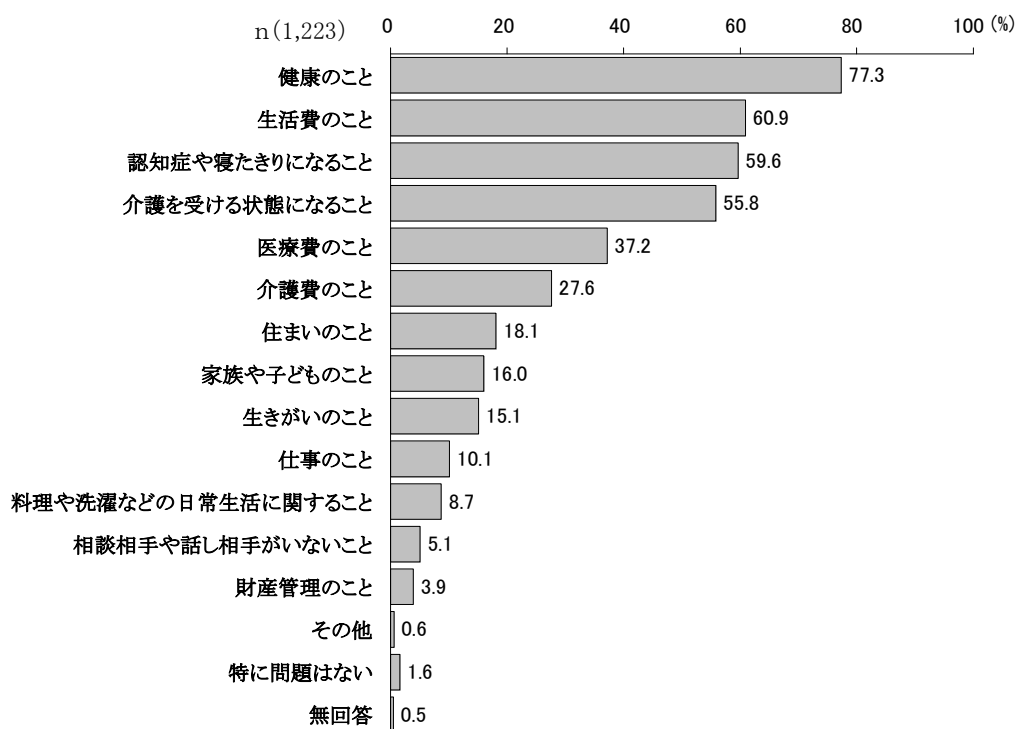


表3-15 経年比較 老後に問題になること

(%)

	調査数	健康のこと	生活費のこと	認知症や寝たきりになること	介護を受ける状態になること	医療費のこと	介護費のこと	住まいのこと	家族や子どものこと	生きがいのこと	仕事のこと	料理や洗濯などの日常生活に関すること	相談相手や話し相手がないこと	財産管理のこと	その他	特に問題はない	無回答
平成19年	502人	80.7	56.6	60.8	57.2	39.2	26.7	19.5	18.1	15.3	7.2	10.4	3.4	5.4	0.6	1.8	1.2
平成22年	1,223人	77.3	60.9	59.6	55.8	37.2	27.6	18.1	16.0	15.1	10.1	8.7	5.1	3.9	0.6	1.6	0.5

問25 あなたは、ご自分の将来、特に老後の生活に備えて、現在どのようなことをしていますか。次の中から重点を置いているものをお選びください。(〇は3つまで)

老後の生活に備えて行っていることとしては、「健康を維持すること」が69.7%で最も多く、以下「生活していくための収入源や貯蓄などを確保すること」(47.3%)、「趣味を持つこと」(35.5%)、「友人や仲間づくりをすること」(23.9%)の順で続いています。

図3-32 老後の生活について重点を置いているもの

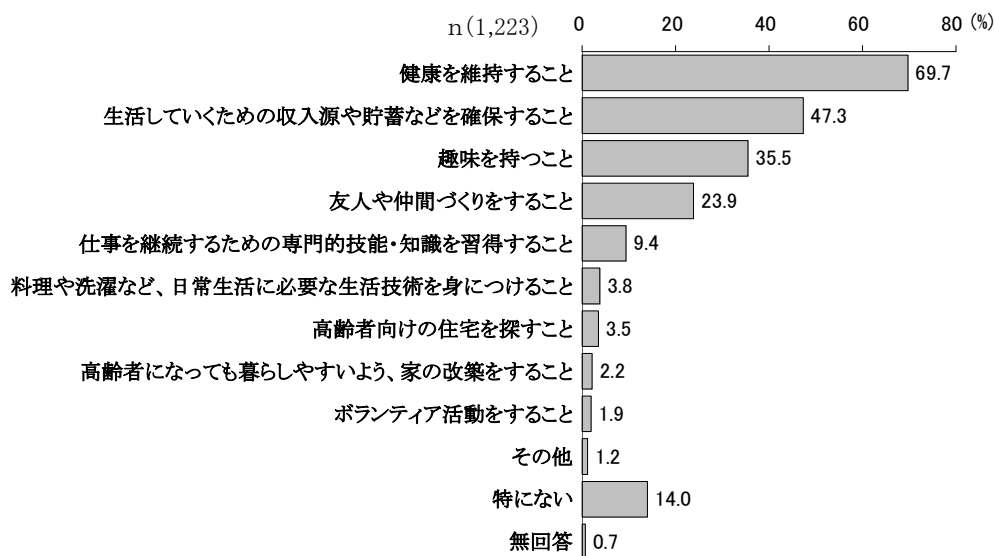


表3-16 経年比較 老後の生活について重点を置いているもの

(%)

	調査数	健康を維持すること	生活していくための収入源や貯蓄などを確保すること	趣味を持つこと	友人や仲間づくりをすること	仕事を継続するための専門的スキル・知識を習得すること	料理や洗濯など、日常生活に必要な生活技術を身につけること	高齢者向けの住宅を探すこと	高齢者になっても暮らしやすいよう、家の改築をすること	ボランティア活動をすること	その他	特にない	無回答
平成19年	502人	71.9	48.6	38.2	29.7	11.2	5.8	4.6	4.0	2.4	0.8	9.8	1.8
平成22年	1,223人	69.7	47.3	35.5	23.9	9.4	3.8	3.5	2.2	1.9	1.2	14.0	0.7

問26 あなたは今後、高齢者施策として、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。
 (〇は3つまで)

高齢者施策として力を入れてほしいこととしては、「老人ホームなど入所できる施設を整備する」が47.5%で最も多く、以下「高齢者が働く場所を確保する」(40.8%)、「在宅福祉サービスを充実させる」(29.9%)の順で続いています。

図3-33 高齢者施策として力を入れてほしいこと

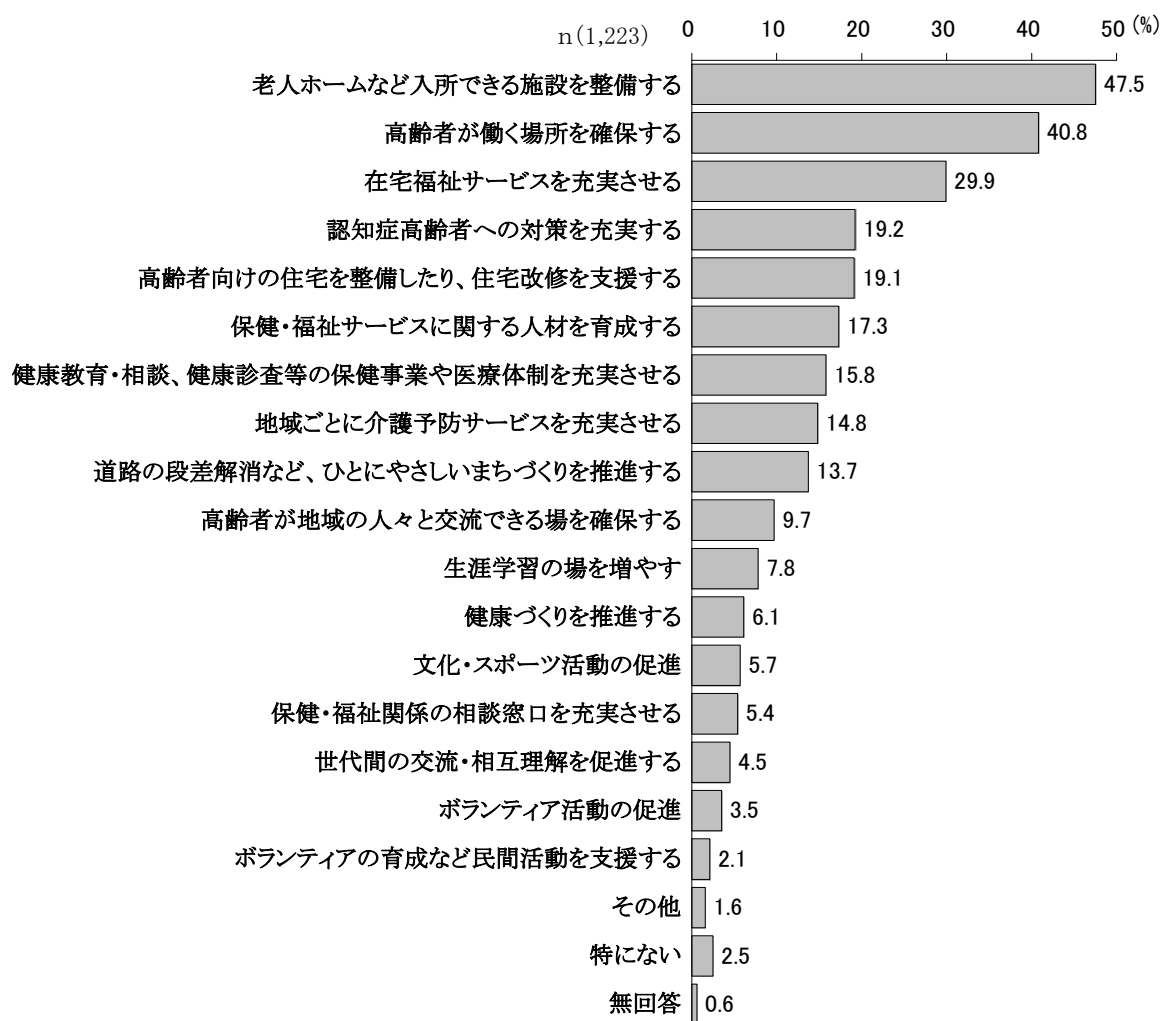


表3-17 経年比較 高齢者施策として力を入れてほしいこと

(%)

	調査数	老人ホームなど入所できる施設を整備する	高齢者が働く場所を確保する	在宅福祉サービスを充実させる	認知症高齢者への対策を充実する	支援したり、住宅改修を整備する	高齢者向けの住宅を整備する	保健・福祉サービスを育成する	診療体制を充実させる	健康教育・相談、健康診察等の保健事業や医療体制を充実させる	地域ごとに介護予防サービスを充実させる	道路の段差解消など、ひとりにやさしいまちづくりを推進する	高齢者が地域の人々と交流できる場を確保する
平成19年	502人	37.1	39.2	35.5	18.9	18.9	14.7	17.9	17.7	17.1	8.4		
平成22年	1,223人	47.5	40.8	29.9	19.2	19.1	17.3	15.8	14.8	13.7	9.7		

	調査数	生涯学習の場を増やす	健康づくりを推進する	文化・スポーツ活動の促進	保健・福祉関係の相談窓口を充実させる	世代間の交流・相互理解を促進する	ボランティア活動の促進	ボランティアの育成など民間活動を支援する	その他	特になし	無回答
平成19年	502人	7.0	12.0	5.0	7.8	4.4	5.8	4.6	1.0	1.4	1.6
平成22年	1,223人	7.8	6.1	5.7	5.4	4.5	3.5	2.1	1.6	2.5	0.6

7. 地域における福祉について

問27 あなたは、次の各分野に関する知識、情報をどこから得ていますか。(ア～エのそれぞれの項目について、3つまで数字を○で囲んでください)

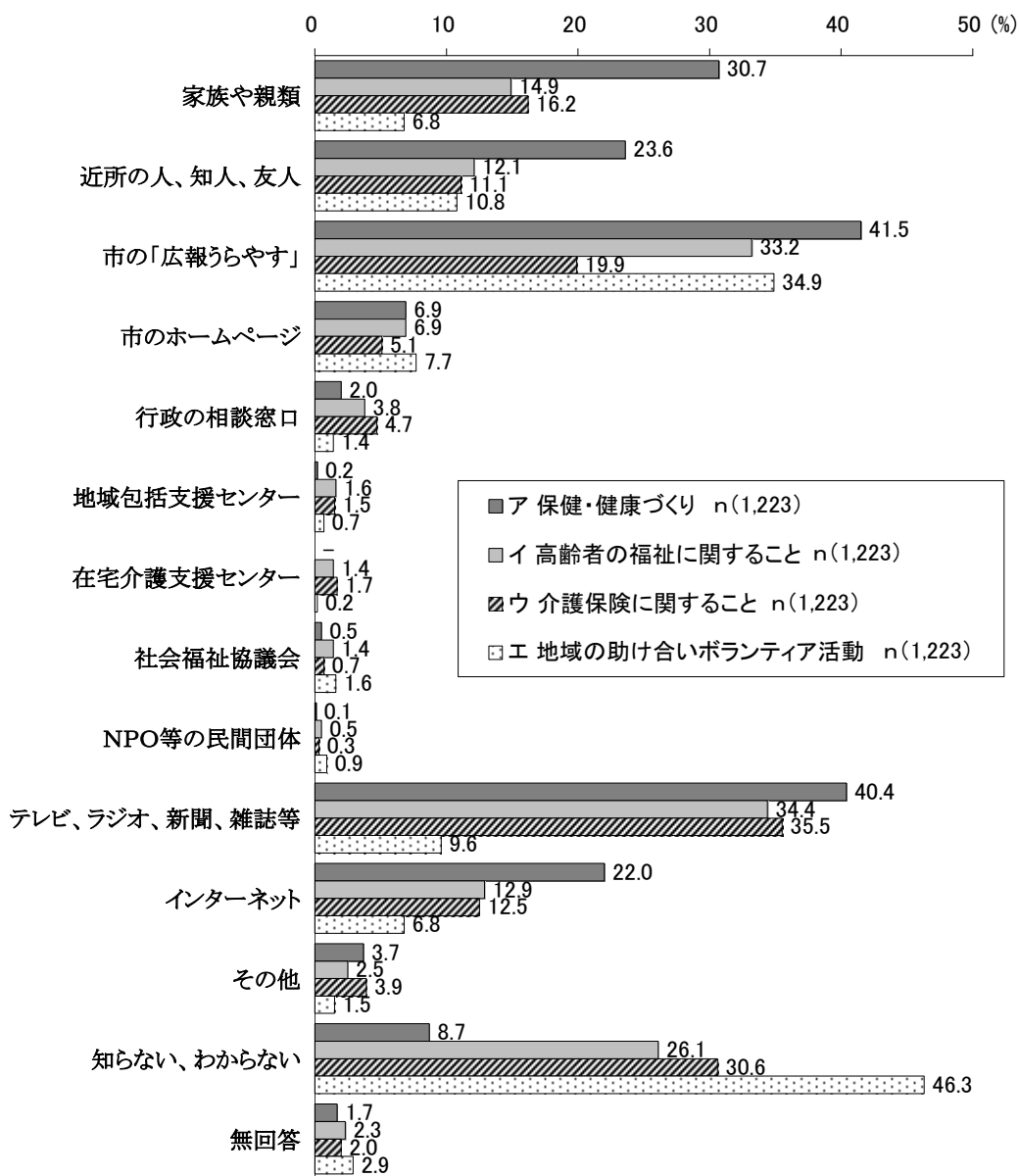
「ア 保健・健康づくり」については、「市の『広報うらやす』」(41.5%)と「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」(40.4%)が最も多くなっています。

「イ 高齢者の福祉に関すること」については、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」(34.4%)と「市の『広報うらやす』」(33.2%)が最も多くなっています。

「ウ 介護保険に関すること」については、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」が35.5%で最も多くなっています。

「エ 地域の助け合いボランティア活動」については、「市の『広報うらやす』」が34.9%で最も多くなっています。

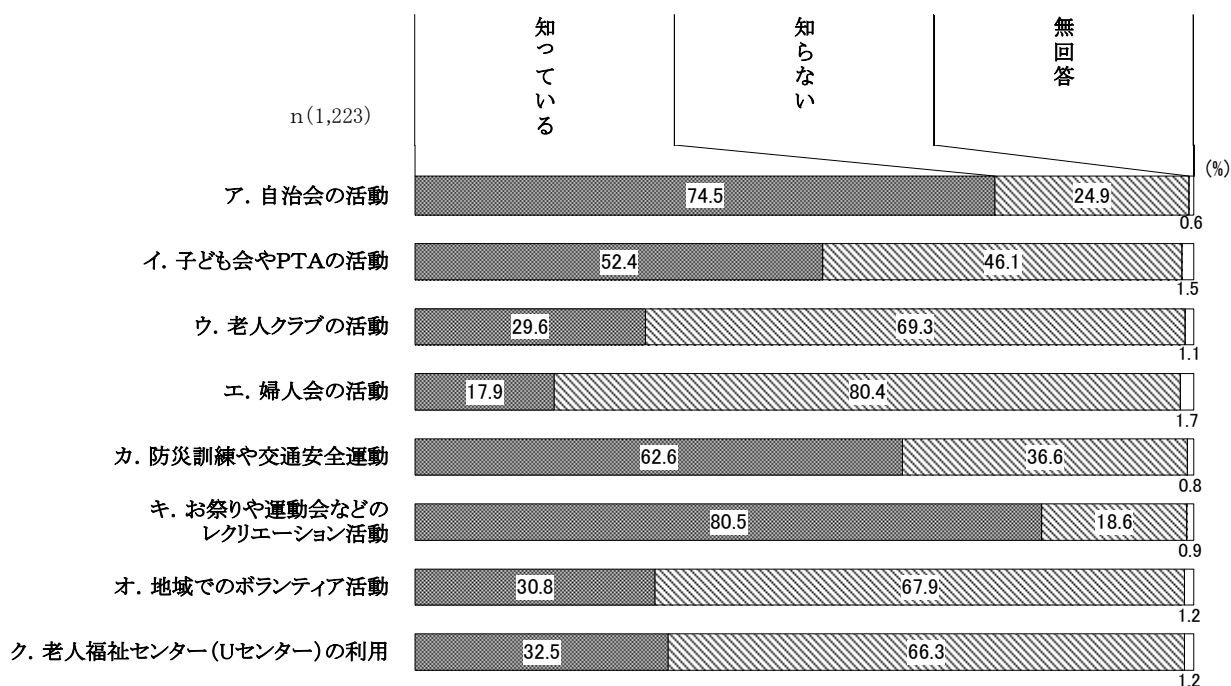
図3-34 知識、情報を得るところ



問28 あなたは、お住まいの地域のいろいろな行事や活動等を知っていますか。
 また、どの程度参加（利用）していますか。
 （ア～クの各項目ごとに、周知状況について○を1つ、「知っている」とお答えの方は、
 右側の参加状況に○を1つだけつけてください。）

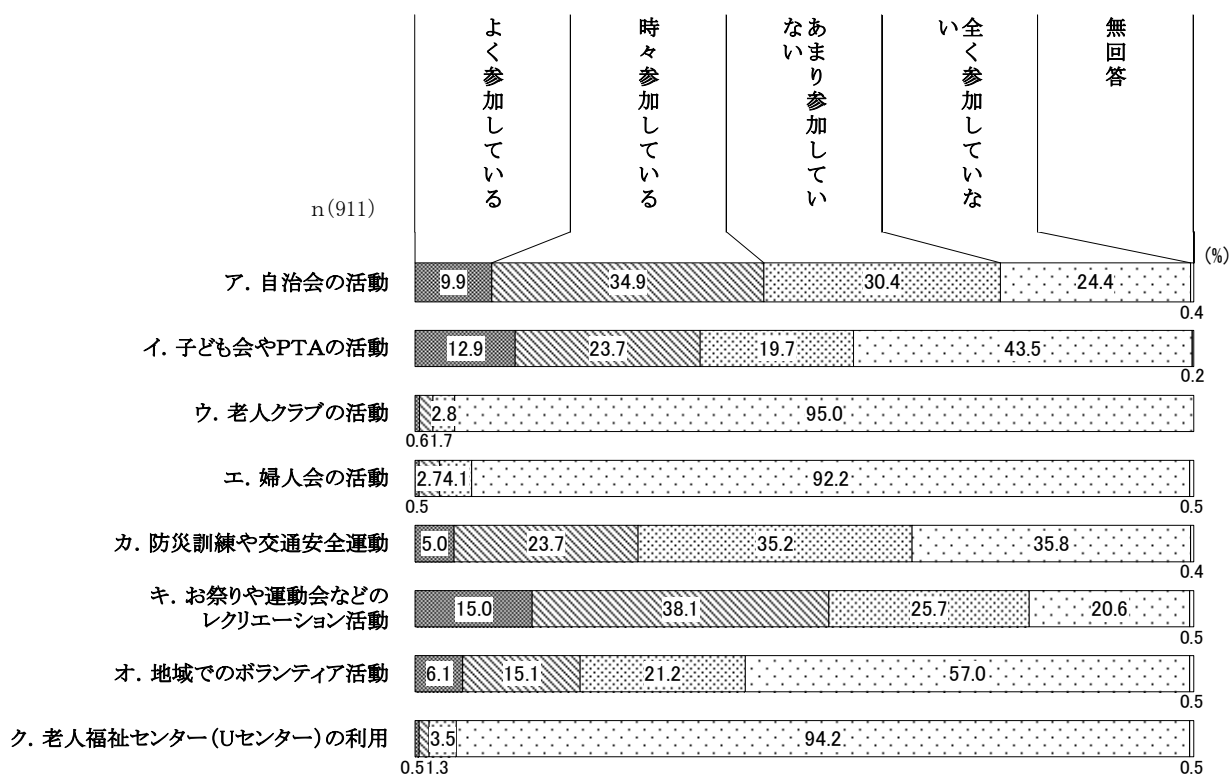
地域活動の周知度をみると、「お祭りや運動会等レクリエーション」が80.5%で最も多く、以下「自治会の活動」（74.5%）、「防災訓練や交通安全運動」（62.6%）、「子ども会やPTAの活動」（52.4%）の順で続いています。

図3-35 地域の行事や活動の周知度



地域活動の参加状況をみると、周知度の高いものほど参加状況もよくなる傾向があり、「お祭りや運動会などのレクリエーション活動」は「よく参加している」(15.0%)、「時々参加している」(38.1%)を合わせた【参加している】は53.1%で、以下【参加している】は、「自治会の活動」(44.8%)「子ども会やPTAの活動」(36.6%)、「防災訓練や交通安全運動」(28.7%)となっています。

図3-36 地域の行事や活動に参加している程度

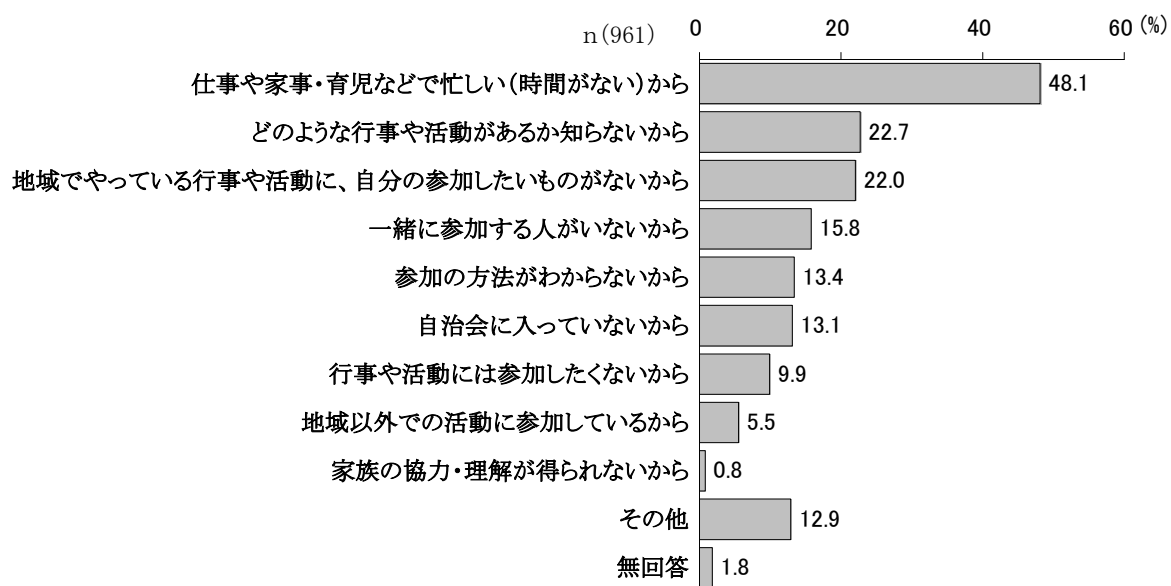


「問28のア～クの参加状況で、「3 あまり参加していない」「4 全く参加していない」に1つでも○をつけた方にお伺いします」

問28-1 参加していない理由をお答えください。(○は3つまで)

参加していない理由としては、「仕事や家事・育児などで忙しい(時間がない)から」が48.1%と半数近くを占めて最も多く、これに「どのような行事や活動があるか知らないから」(22.7%)と「地域でやっている行事や活動に、自分の参加したいものがないから」(22.0%)が続いています。

図3-37 地域の行事や活動に参加していない理由



問29 あなたは、地域の人々がお互いに支え合っていくうえで大切なことは、どのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

地域の人々がお互いに支え合っていくうえで大切なこととしては、「隣近所の住民同士の普段からのつきあい」が76.9%で最も多く、以下「ひとりで暮らしている高齢者の見守りなどの活動」(40.5%)、「地域が行う防災活動などの日常的な協力活動」(31.9%)の順で続いています。

図3-38 地域の人々が支え合っていくうえで大切なこと

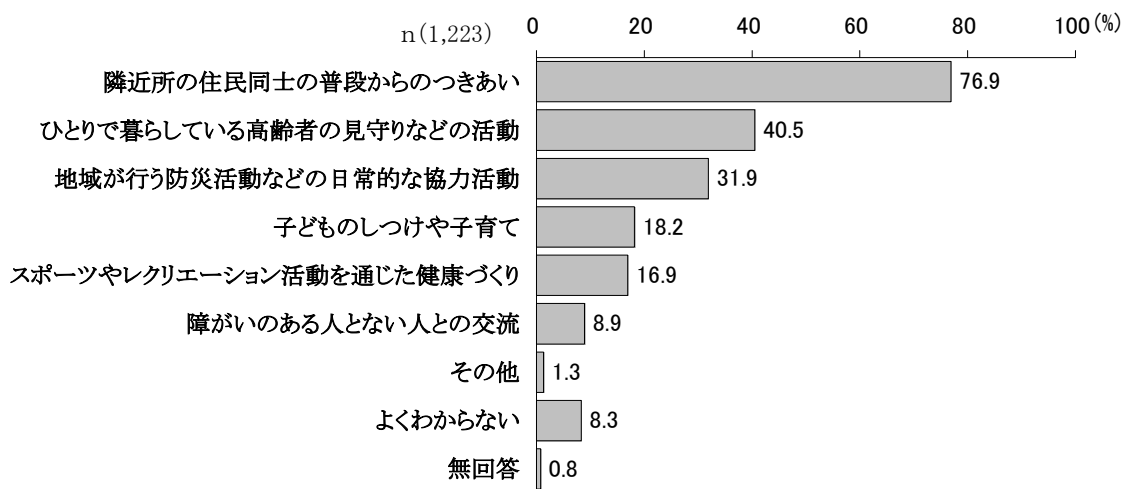


表3-18 性・年代別 地域の人々が支え合っていくうえで大切なこと

上段：人数／下段：%

	調査数	隣近所の住民同士の普段からのつきあい	高齢者の見守りなどの活動	ひとりで暮らしている高齢者の見守りなどの活動	地域が行う防災活動などの日常的な協力活動	子どものしつけや子育て	スポーツやレクリエーション活動を通じた健康づくり	障がいのある人とない人との交流	その他	よくわからない	無回答
全体	1223 100.0	941 76.9	495 40.5	390 31.9	223 18.2	207 16.9	109 8.9	16 1.3	102 8.3	10 0.8	
問2 性別											
男性	567 100.0	418 73.7	194 34.2	193 34.0	119 21.0	114 20.1	42 7.4	10 1.8	58 10.2	4 0.7	
女性	638 100.0	513 80.4	294 46.1	194 30.4	103 16.1	90 14.1	66 10.3	5 0.8	40 6.3	5 0.8	
問1 年齢											
40～44歳	298 100.0	230 77.2	110 36.9	83 27.9	69 23.2	56 18.8	22 7.4	7 2.3	22 7.4	1 0.3	
45～49歳	239 100.0	172 72.0	110 46.0	63 26.4	52 21.8	36 15.1	20 8.4	2 0.8	26 10.9	2 0.8	
50～54歳	187 100.0	150 80.2	72 38.5	62 33.2	32 17.1	23 12.3	25 13.4	1 0.5	15 8.0	2 1.1	
55～59歳	195 100.0	144 73.8	74 37.9	68 34.9	27 13.8	43 22.1	10 5.1	1 0.5	20 10.3	-	
60～64歳	293 100.0	240 81.9	129 44.0	110 37.5	40 13.7	47 16.0	30 10.2	4 1.4	18 6.1	3 1.0	

問30 あなたは、これまでにボランティア活動に参加したことがありますか。また、今後どのような活動ならば参加してみたいですか。ア～カのそれぞれの項目についてお答えください。(○は〈現状〉〈将来〉それぞれ1つだけ)

ボランティア活動への参加状況を見ると、「地域が行う防災活動」が33.4%で最も多く、以下「保育所や地域における子育て活動」(17.0%)、「障がい者に対する活動」(8.3%)、「高齢者に対する活動」(5.9%)の順で続いています。

ボランティア活動への参加意向を見ると、「地域が行う防災活動」が57.6%で最も多く、以下「高齢者に対する活動」(44.8%)、「保健・医療に関する活動」(43.9%)、「保育所や地域における子育て活動」(36.7%)の順で続いています。

図3-39 ボランティア活動の参加経験

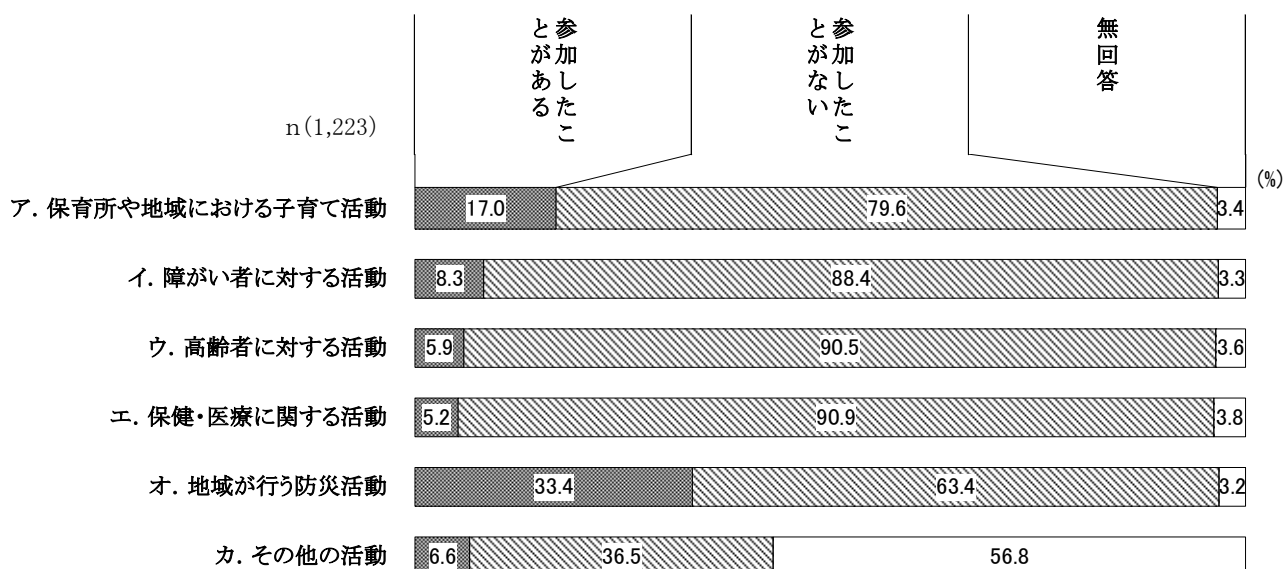


図3-40 ボランティア活動の参加意向

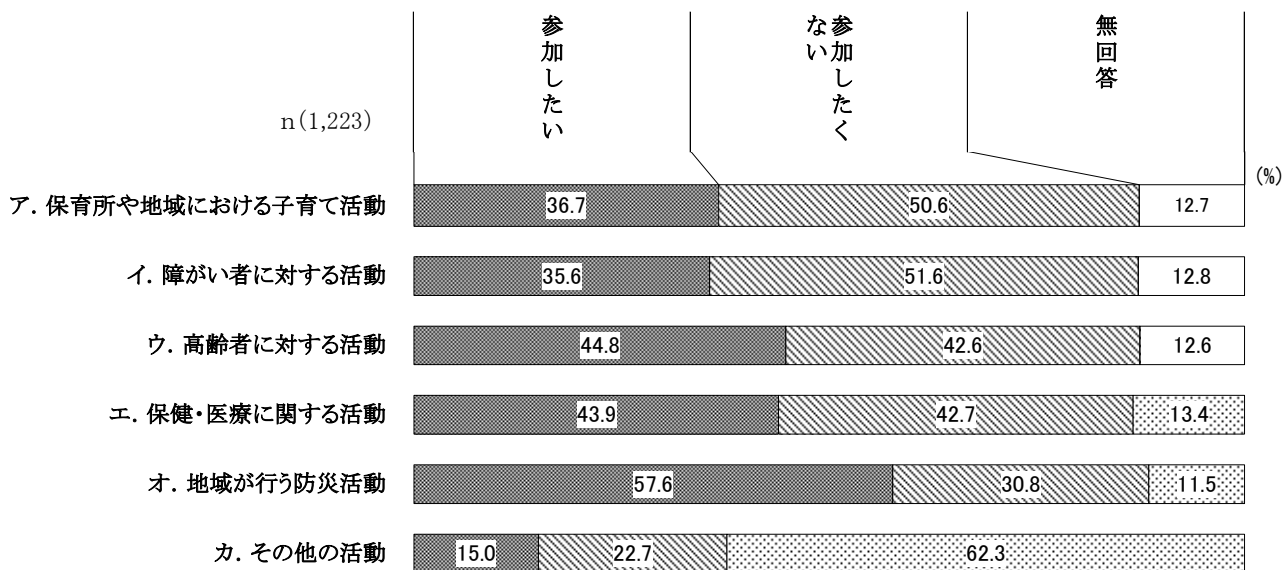


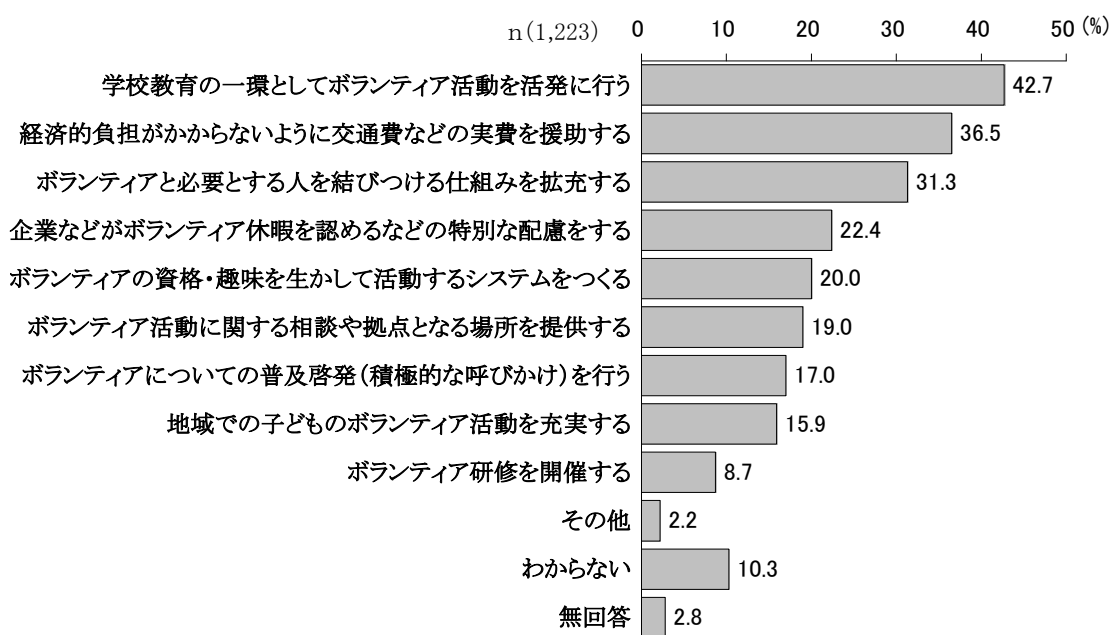
表3-19 経年比較 ボランティア活動の参加経験・参加意向

	ボランティア活動の参加経験				ボランティア活動の参加意向 (%)			
	調査数	と参加したこ	と参加したこ	無回答	調査数	参加したい	な参加したく	無回答
ア. 保育所や地域における子育て活動								
平成19年	502人	15.1	74.9	10.0	502人	34.5	49.0	16.5
平成22年	1,223人	17.0	79.6	3.4	1,223人	36.7	50.6	12.7
イ. 障がい者に対する活動								
平成19年	502人	9.2	80.9	10.0	502人	36.7	45.8	17.5
平成22年	1,223人	8.3	88.4	3.3	1,223人	35.6	51.6	12.8
ウ. 高齢者に対する活動								
平成19年	502人	7.8	82.1	10.2	502人	46.4	38.4	15.1
平成22年	1,223人	5.9	90.5	3.6	1,223人	44.8	42.6	12.6
エ. 保健・医療に関する活動								
平成19年	502人	6.8	82.5	10.8	502人	46.2	37.3	16.5
平成22年	1,223人	5.2	90.9	3.8	1,223人	43.9	42.7	13.4
オ. 地域が行う防災活動								
平成19年	502人	34.7	56.4	9.0	502人	57.6	25.1	17.3
平成22年	1,223人	33.4	63.4	3.2	1,223人	57.6	30.8	11.5
カ. その他の活動								
平成19年	502人	6.4	38.8	54.8	502人	14.1	23.5	62.4
平成22年	1,223人	6.6	36.5	56.8	1,223人	15.0	22.7	62.3

問31 今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

今後ボランティア活動の輪を広げていくために必要なこととしては、「学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う」が42.7%で最も多く、以下「ボランティアに経済的負担がかからないように交通費などの実費を援助する」(36.5%)、「ボランティアとボランティアを必要とする人を結びつける仕組みを拡充する」(31.3%)の順で続いています。

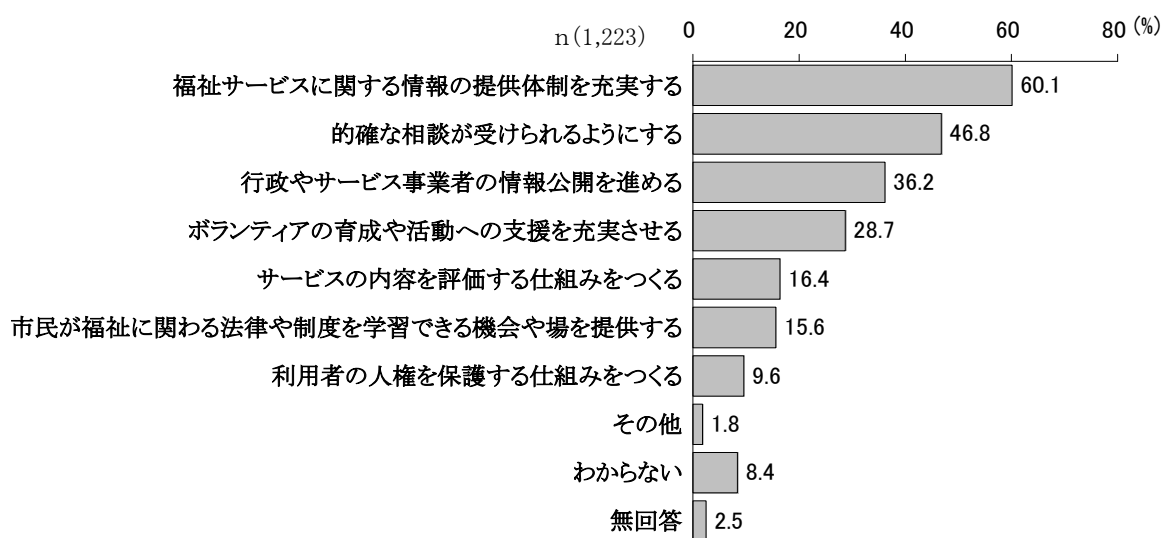
図3-41 ボランティア活動の輪を広げていくために必要なこと



問32 あなたは、市民にとって使いやすい有効な福祉サービスを実現するために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

市民が使いやすい福祉サービスを実現するために必要なこととしては、「福祉サービスに関する情報の提供体制を充実する」が60.1%で最も多く、以下「的確な相談が受けられるようにする」(46.8%)、「行政やサービス事業者の情報公開を進める」(36.2%)の順で続いています。

図3-42 使いやすい福祉サービスを実現するために有効なこと



第4章 ひとり暮らし高齢者に関する調査結果

1. 調査結果の概要

- 「住宅の種類」は、「持ち家（共同住宅）」が33.9%で最も多く、これに「持ち家（一戸建て）」が31.3%で次いでいます。
- 要介護になったときの希望介護形態は、「介護施設で専門職員に介護してほしい」が30.5%で最も多く、「在宅で主にヘルパーや看護師のような専門職員に介護してほしい」が28.1%で次いでいます。平成19年調査と比較すると、あまり大きな変化はみられません。
- 現在の介護保険料については、「現在の介護保険料でちょうどよい」（30.8%）が最も多くなっています。
- 「日頃の健康状態について」では、「とても健康だと思う」が7.6%で、これに「まあ健康だと思う」（53.7%）を合わせた【健康だと思う】は61.3%となっています。【健康だと思う】は、平成19年調査の57.8%から今回、やや増加しています。
- 「健康を維持するために心がけていることがあるか」では、「ある」が87.9%で、平成19年調査の86.2%より微増しています。
- 「健康維持のため心がけていること」は、「運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている」（59.2%）、「歯磨きを励行している」（57.3%）、「定期的に健康診断を受けている」（57.1%）が、いずれも6割近くで多くなっています。
- 「介護予防についての周知」では、「よく知っている」が40.2%で、これに「少しなら知っている」（30.7%）を合わせた【周知度】は70.9%で、平成19年の65.9%より増加しています。
- 「介護予防の講習やトレーニングへの参加意向」では、「現在、参加している」が21.5%、「今後、参加してみたい」が25.8%となっています。「現在、参加している」人は、平成19年調査の18.9%よりやや増加し、「今後、参加してみたい」は平成19年調査の30.0%から25.8%と減少しています。
- 「地域活動の周知度」では、「自治会の活動」が66.5%で最も多く、以下「お祭りや運動会などのレクリエーション」（65.7%）、「老人福祉センターの利用」（59.8%）、「防災訓練や交通安全運動」（59.6%）、「老人クラブの活動」（54.3%）の順で続いています。
- 「地域活動の参加状況」をみると、周知度の高いものほど参加状況もよくなる傾向があり、「自治会の活動」は44.4%、「各種公民館活動」は37.5%、「お祭りや運動会などのレクリエーション」は36.8%となっています。一方、「シルバー人材センター事業」は、周知度が高い割には参加率は低くなっています。
- 「参加していない理由」は、「地域でやっている行事や活動に、自分の参加したいものがないから」（18.9%）と「どのような行事や活動があるか知らないから」（17.7%）が、多くなっています。

第4章 ひとり暮らし高齢者に関する調査結果

- 「生きがいを感じる事」では、「子どもや孫の成長を見守ること」が41.9%で最も多く、以下「趣味の活動」(28.1%)、「以前の職場や仕事関係の友人とのつきあい」(22.0%)の順で続いています。

- 将来についての不安を聞いたところ、「病気になること」が63.3%で最も多く、以下「加齢により身体機能が低下すること」(62.3%)、「加齢により物忘れがひどくなったり、認知症になること」(47.7%)の順で続いています。

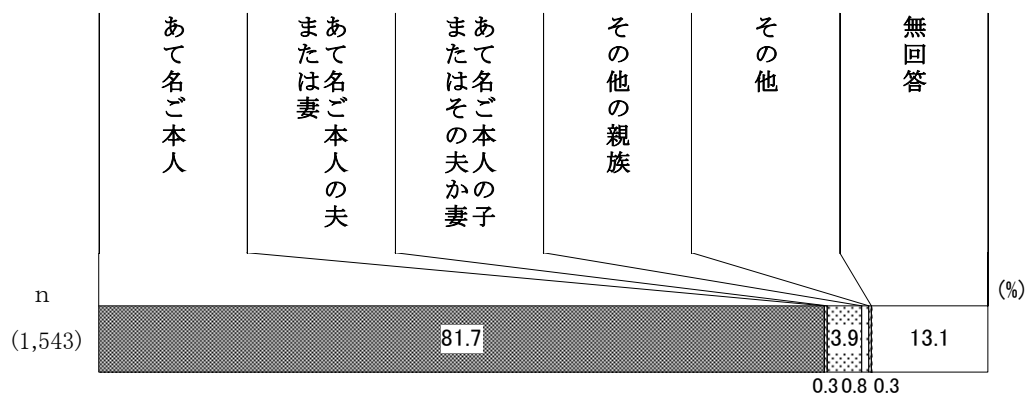
- 保健・医療・福祉サービスの周知度についてみると、「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」が76.9%で最も多く、以下「健康診査(特定健診・がん検診)」(76.6%)、「健康手帳の無料交付」(74.7%)の順で続いています。利用状況についてみると、「健康手帳の無料交付」が77.2%で最も高く、以下「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」(72.8%)、「健康診査(特定健診・がん検診)」(58.4%)の順で続いています。今後の利用意向をみると、「東京ベイシティ交通の乗車券の公布」が62.0%で最も多く、これに「健康手帳の無料交付」が53.8%で次いでおり、周知度や利用度が低いですが、利用意向の高いものも「特殊眼鏡など購入費用の一部助成」と「補聴器購入費用の一部助成」があげられます。

2. 基本属性について

※ この調査にお答えいただくのはどなたですか。(〇は1つだけ)

回答記入者は「本人」が81.7%と圧倒的に多くなっています。

図4-1 調査の回答者

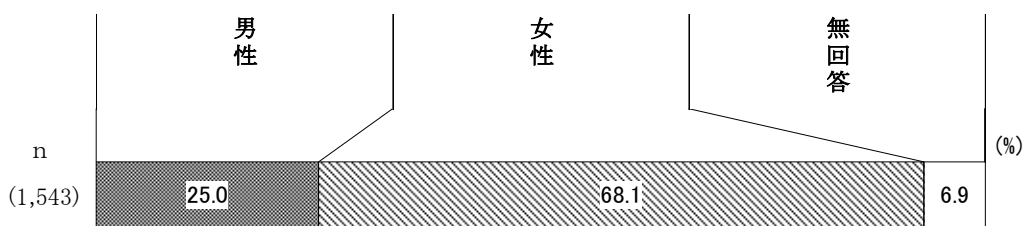


問1 あなたについてお答えください。(それぞれ〇はひとつ)

(1) 性別

性別は、「男性」が25.0%、「女性」が68.1%と女性が多くなっています。

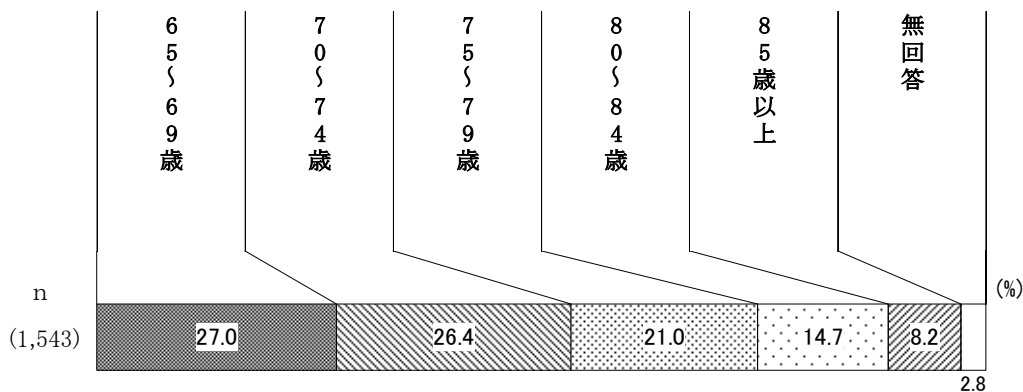
図4-2 性別



(2) 年齢

年齢は、「65～69歳」が27.0%で最も多く、「70～74歳」が26.4%、「75～79歳」が21.0%で次いでいます。

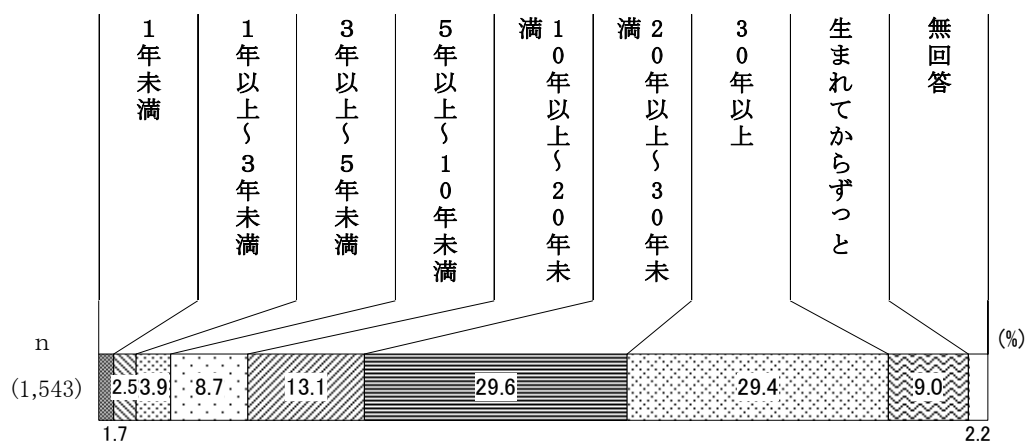
図4-3 年齢



(3) 浦安市の居住期間

居住期間は、「20年以上～30年未満」「30年以上」がいずれも約3割と多くなっています。

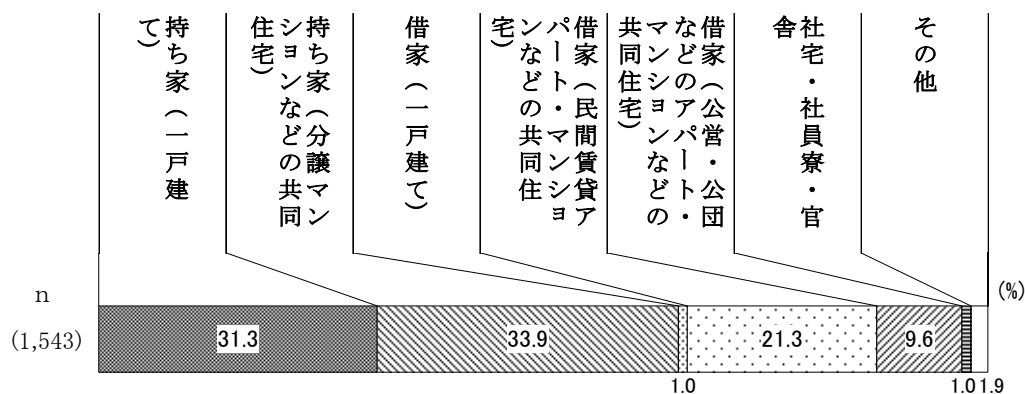
図4-4 居住期間



(4) お住まい

住宅の種類は、「持ち家（共同住宅）」が33.9%で最も多く、これに「持ち家（一戸建て）」が31.3%で次いでいます。

図4-5 住んでいる住宅



問2 あなたはどちらの地区にお住まいですか。(〇は1つだけ)

居住地区は各地区に分散していますが、「美浜」(13.2%)、がやや多くなっています。

日常生活圏域別でみると、元町地区が42.0%、中町地区が47.0%、新町地区は9.5%となっています。

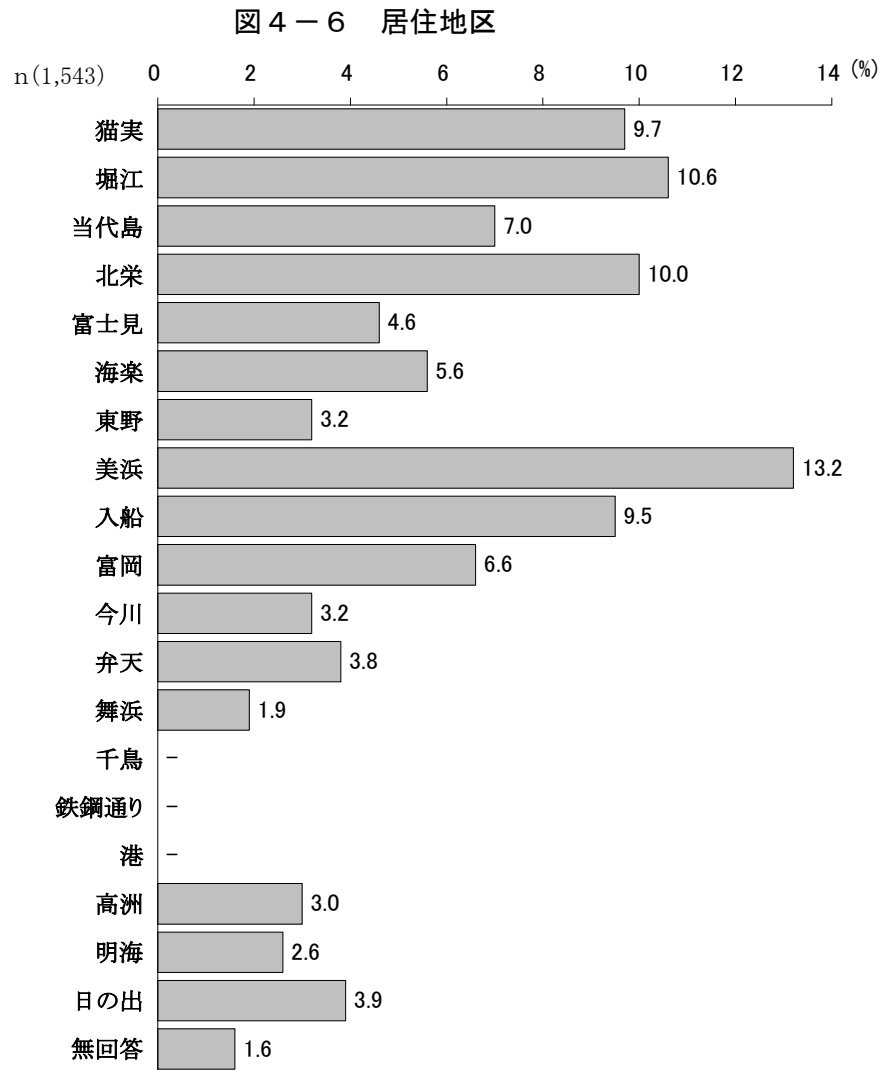
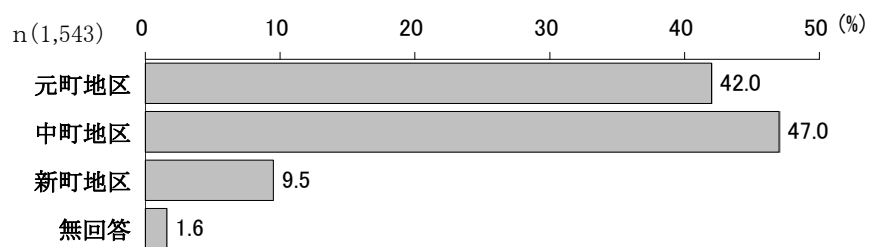


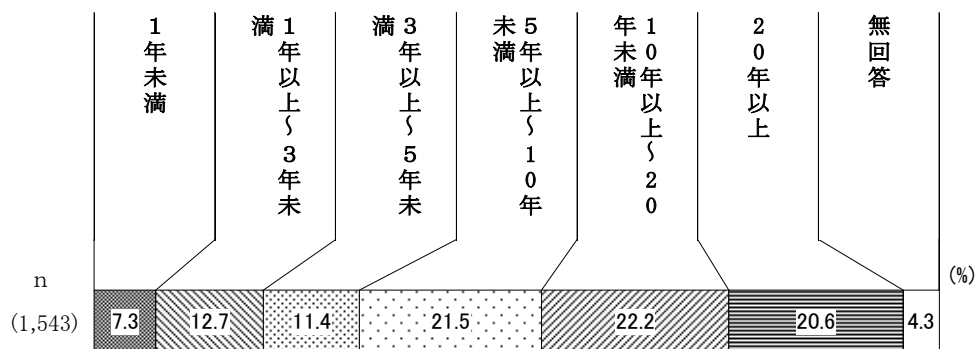
図4-7 居住地区 (日常生活圏域別)



問3 あなたはひとりで暮らすようになってから、何年になりますか。(〇は1つだけ)

ひとり暮らしになってからの期間では、「10年以上～20年未満」(22.2%)、「5年以上～10年未満」(21.5%)、「20年以上」(20.6%) がいずれも2割強を占めています。

図4-8 ひとり暮らしになってからの期間



問4 あなたは、介護が必要になったとき、主にどこで誰に介護してほしいと思いますか。
(○は1つだけ)

介護施設で専門職員に介護してほしい」が30.5%で最も多く、「在宅で主にヘルパーや看護師のような専門職員に介護してほしい」が28.1%で次いでいます。

図4-9 介護が必要になったとき希望する介護

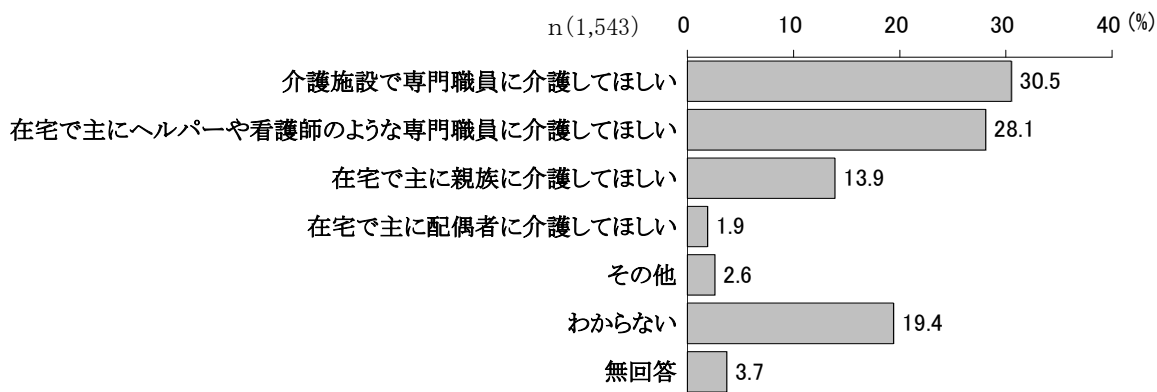


表4-1 経年比較 介護が必要になったとき希望する介護

	調査数	在宅で主に配偶者に介護してほしい	在宅で主に親族に介護してほしい	在宅で主にヘルパーや看護師のような専門職員に介護してほしい	介護施設で専門職員に介護してほしい	その他	わからない	無回答
平成19年	929人	2.6	11.7	27.9	33.2	2.2	17.5	5.0
平成22年	1,543人	1.9	13.9	28.1	30.5	2.6	19.4	3.7

3. 家計について

問5 あなたは、日頃の生活の中で、経済的なゆとりがある方だと思いますか。(○は1つだけ)

経済的なゆとりについては、「十分ある」が9.9%で、これに「ある程度ある」(43.8%)を合わせた【ある】は53.7%となっています。一方、「あまりない」は25.6%、「ほとんどない」は12.9%となっています。

図4-10 経済的なゆとりの有無

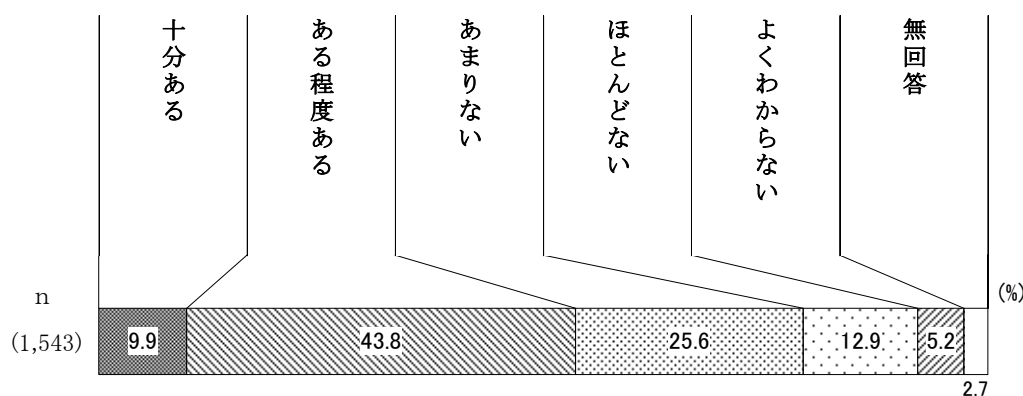


表4-2 性・年代別 経済的なゆとりの有無

上段：人数／下段：%

	調査数	十分ある	ある程度ある	あまりない	ほとんどない	よくわからない	無回答
全体	1543 100.0	152 9.9	676 43.8	395 25.6	199 12.9	80 5.2	41 2.7
問1(1) 性別							
男性	386 100.0	54 14.0	154 39.9	86 22.3	73 18.9	15 3.9	4 1.0
女性	1051 100.0	92 8.8	496 47.2	279 26.5	112 10.7	58 5.5	14 1.3
問1(2) 年齢							
65～69歳	416 100.0	40 9.6	185 44.5	109 26.2	58 13.9	20 4.8	4 1.0
70～74歳	407 100.0	36 8.8	160 39.3	117 28.7	67 16.5	21 5.2	6 1.5
75～79歳	324 100.0	27 8.3	153 47.2	81 25.0	41 12.7	19 5.9	3 0.9
80～84歳	227 100.0	28 12.3	116 51.1	46 20.3	21 9.3	12 5.3	4 1.8
85歳以上	126 100.0	19 15.1	55 43.7	32 25.4	11 8.7	8 6.3	1 0.8

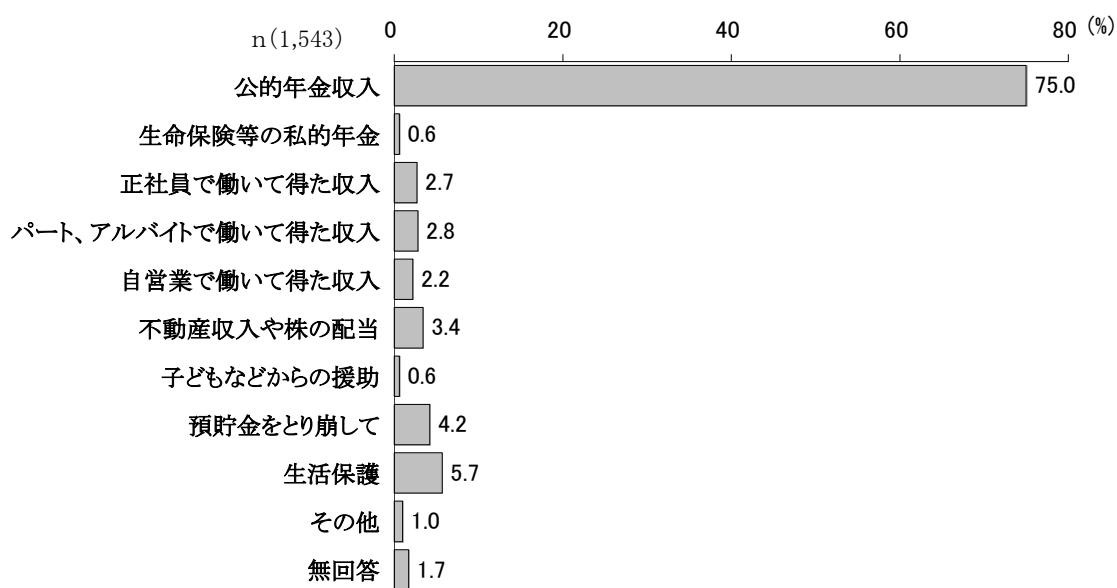
表4-3 経年比較 経済的なゆとりの有無 (%)

	調査数	十分ある	ある程度ある	あまりない	ほとんどない	よくわからない	無回答
平成19年	929人	7.9	40.6	28.2	14.9	4.7	3.8
平成22年	1,543人	9.9	43.8	25.6	12.9	5.2	2.7

問6 あなたの生活を支えている主な収入は何ですか。(○は1つだけ)

生活を支えている主な収入源としては、「公的年金収入（国民年金、厚生年金、恩給など）」が75.0%と圧倒的に多くなっています。

図4-11 性活を支えている主な収入



4. 介護保険について

問7 あなたは介護保険料を月額いくら納めていますか。(介護保険料所得段階は何段階に該当しますか。)(○は1つだけ)

介護保険料の段階については、「第2段階」が16.1%と最も多くなっています。また、「第3段階」「第7段階」「第8段階」についても1割を超えています。

図4-12 納めている介護保険料

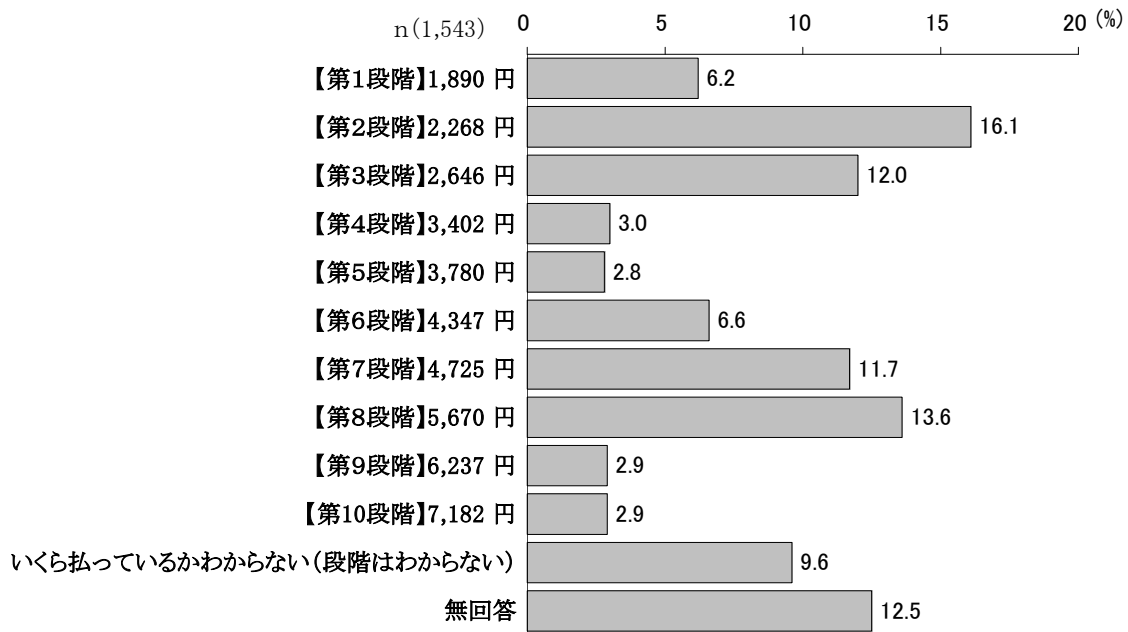


表4-4 性・年代別 納めている介護保険料

上段：人数／下段：%

	調査数	1【第1段階】 819円	2【第2段階】 2268円	2【第3段階】 2646円	3【第4段階】 3402円	3【第5段階】 3780円	4【第6段階】 4347円	4【第7段階】 4725円	5【第8段階】 5670円	6【第9段階】 6237円	7【第10段階】 7182円	（段階はわからない）	無回答
全体	1543	95	249	185	47	43	102	181	210	45	45	148	193
	100.0	6.2	16.1	12.0	3.0	2.8	6.6	11.7	13.6	2.9	2.9	9.6	12.5
問1(1) 性別													
男性	386	33	22	17	7	9	20	50	108	19	25	38	38
	100.0	8.5	5.7	4.4	1.8	2.3	5.2	13.0	28.0	4.9	6.5	9.8	9.8
女性	1051	57	217	157	35	32	76	120	87	23	19	99	129
	100.0	5.4	20.6	14.9	3.3	3.0	7.2	11.4	8.3	2.2	1.8	9.4	12.3
問1(2) 年齢													
65～69歳	416	25	54	53	14	11	29	60	73	18	19	30	30
	100.0	6.0	13.0	12.7	3.4	2.6	7.0	14.4	17.5	4.3	4.6	7.2	7.2
70～74歳	407	19	69	55	12	16	26	48	49	13	13	40	47
	100.0	4.7	17.0	13.5	2.9	3.9	6.4	11.8	12.0	3.2	3.2	9.8	11.5
75～79歳	324	23	64	40	9	9	22	36	34	7	5	31	44
	100.0	7.1	19.8	12.3	2.8	2.8	6.8	11.1	10.5	2.2	1.5	9.6	13.6
80～84歳	227	14	31	23	6	2	14	22	37	7	8	23	40
	100.0	6.2	13.7	10.1	2.6	0.9	6.2	9.7	16.3	3.1	3.5	10.1	17.6
85歳以上	126	11	29	10	5	4	8	11	10	-	-	21	17
	100.0	8.7	23.0	7.9	4.0	3.2	6.3	8.7	7.9	-	-	16.7	13.5

問8 現在の介護保険料についてどのように考えますか。(○は1つだけ)

現在の介護保険料については、「現在の介護保険料でちょうどよい」(30.8%)が最も多くなっています。

図4-13 現在の介護保険料についての考え

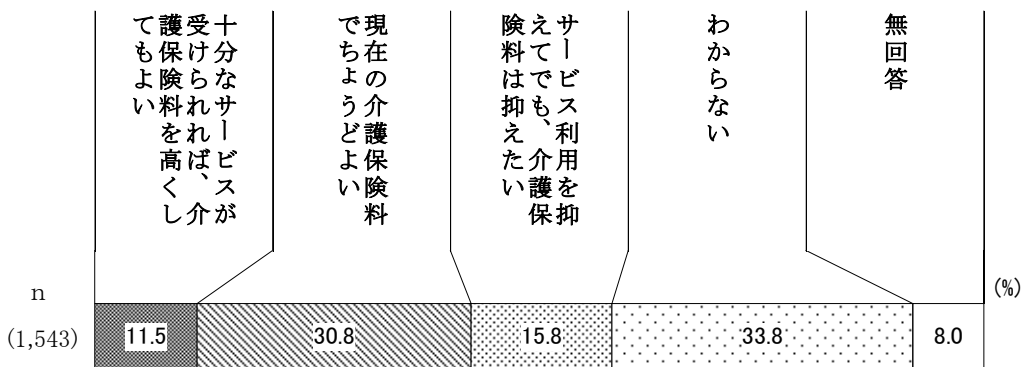


表4-5 性・年代別 現在の介護保険料についての考え

上段：人数/下段：%

	調査数	を高くしてもよい	十分なサービスが受けられれば、介護保険料を高くしてもよい	現在の介護保険料でちょうどよい	えでも、サービス利用を抑えて、介護保険料は抑えたい	わからない	無回答
全体	1543	178	476	244	521	124	
	100.0	11.5	30.8	15.8	33.8	8.0	
問1(1) 性別							
男性	386	45	107	63	149	22	
	100.0	11.7	27.7	16.3	38.6	5.7	
女性	1051	127	346	164	333	81	
	100.0	12.1	32.9	15.6	31.7	7.7	
問1(2) 年齢							
65~69歳	416	60	123	62	145	26	
	100.0	14.4	29.6	14.9	34.9	6.3	
70~74歳	407	53	122	73	129	30	
	100.0	13.0	30.0	17.9	31.7	7.4	
75~79歳	324	33	109	51	106	25	
	100.0	10.2	33.6	15.7	32.7	7.7	
80~84歳	227	19	66	34	82	26	
	100.0	8.4	29.1	15.0	36.1	11.5	
85歳以上	126	11	45	19	45	6	
	100.0	8.7	35.7	15.1	35.7	4.8	

表4-6 経年比較 現在の介護保険料についての考え

	調査数	を高くしてもよい	十分なサービスが受けられれば、介護保険料を高くしてもよい	現在の介護保険料でちょうどよい	えでも、サービス利用を抑えて、介護保険料は抑えたい	わからない	無回答	(%)
平成19年	929人	9.3	29.7	15.4	34.8	10.9		
平成22年	1,543人	11.5	30.8	15.8	33.8	8.0		

5. 健康について

問9 あなたの日ごろの健康状態についてお伺いします。(○は1つだけ)

日頃の健康状態については、「とても健康だと思う」が7.6%で、これに「まあ健康だと思う」(53.7%)を合わせた【健康だと思う】は61.3%となっています。

図4-14 日ごろの健康状態

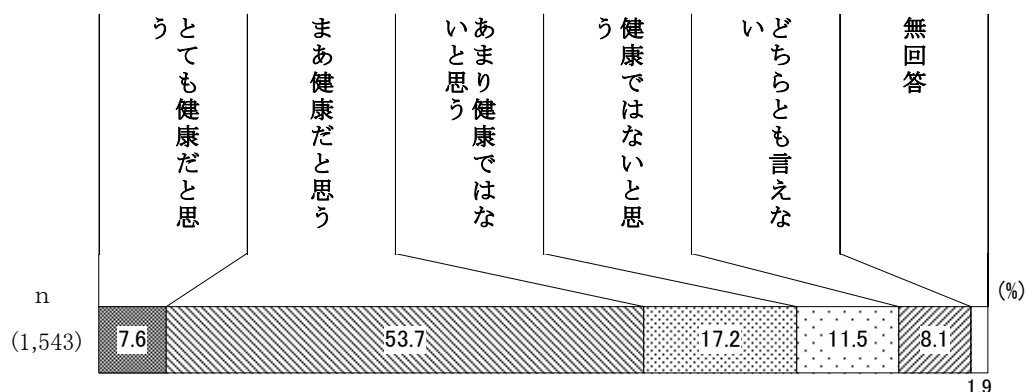


表4-7 性・年代別 日ごろの健康状態

上段：人数／下段：%

	調査数	とても健康だ と思う	まあ健康だ と思う	あまり健康 ではないと思 う	健康では ないと思 う	どちらとも 言 えない	無 回 答
全 体	1543	117	829	266	177	125	29
	100.0	7.6	53.7	17.2	11.5	8.1	1.9
問1(1) 性別							
男性	386	41	197	71	38	35	4
	100.0	10.6	51.0	18.4	9.8	9.1	1.0
女性	1051	67	582	180	125	80	17
	100.0	6.4	55.4	17.1	11.9	7.6	1.6
問1(2) 年齢							
65～69歳	416	45	256	53	30	29	3
	100.0	10.8	61.5	12.7	7.2	7.0	0.7
70～74歳	407	32	233	57	46	35	4
	100.0	7.9	57.2	14.0	11.3	8.6	1.0
75～79歳	324	18	150	65	49	32	10
	100.0	5.6	46.3	20.1	15.1	9.9	3.1
80～84歳	227	12	110	52	36	14	3
	100.0	5.3	48.5	22.9	15.9	6.2	1.3
85歳以上	126	5	61	31	13	13	3
	100.0	4.0	48.4	24.6	10.3	10.3	2.4

表4-8 経年比較 日ごろの健康状態

	調査数	とても健康だ と思う	まあ健康だ と思う	あまり健康 ではないと思 う	健康では ないと思 う	どちらとも 言 えない	無 回 答
平成19年	929人	7.4	50.4	20.6	12.3	7.4	1.9
平成22年	1,543人	7.6	53.7	17.2	11.5	8.1	1.9

問10 次の項目の中で、最近のあなたにあてはまるものがありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

最近の心身や生活の状況としては、「足や腰が痛く歩きにくくなった」が32.1%で最も多く、以下「新しいことにチャレンジしなくなった」(25.4%)、「外出の回数が減った」(24.8%)、「物忘れがひどくなった」(22.2%)と、続いています。

図4-15 最近の状況

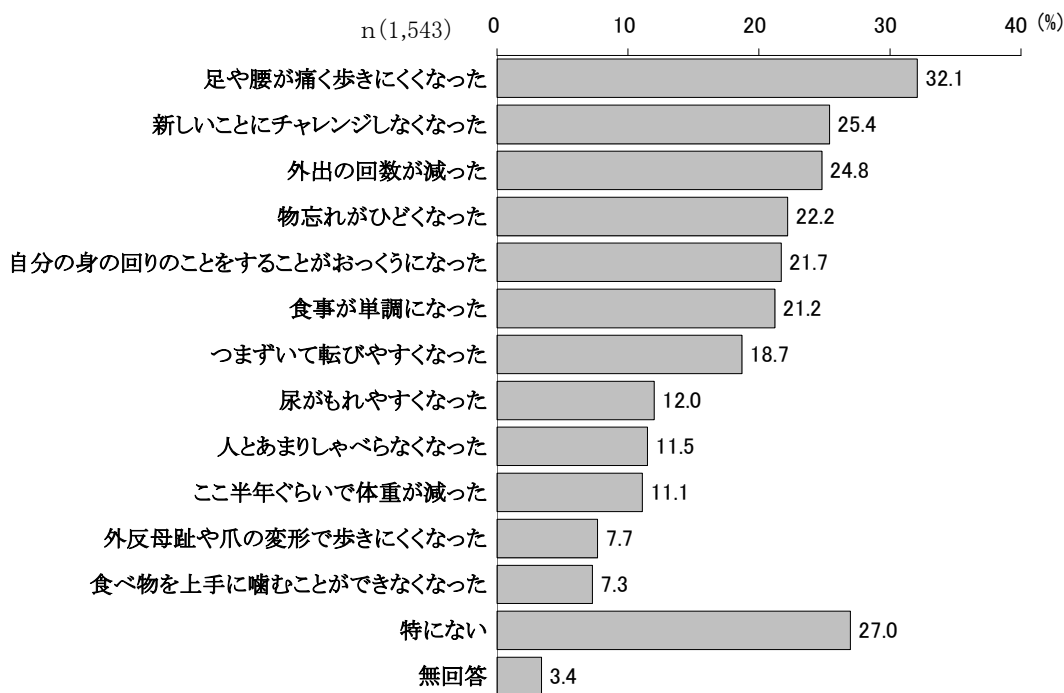


表4-9 性・年代別 最近の状況

上段：人数／下段：%

	調査数	足や腰が痛く歩きにくくなった	新しいことにチャレンジしなくなった	外出の回数が減った	物忘れがひどくなった	自分の身の回りのことをすることがおっくうになった	食事が単調になった	つまずいて転びやすくなった	尿がもれやすくなった	人とあまりしゃべらなくなった	ここ半年ぐらいで体重が減った	外反母趾や爪の変形で歩きにくくなった	食べ物を上手に噛むことができなくなった	特にない	無回答
全体	1543	495	392	383	342	335	327	288	185	177	171	119	113	417	52
	100.0	32.1	25.4	24.8	22.2	21.7	21.2	18.7	12.0	11.5	11.1	7.7	7.3	27.0	3.4
問1(1) 性別															
男性	386	100	79	81	64	90	89	54	36	55	47	16	33	117	12
	100.0	25.9	20.5	21.0	16.6	23.3	23.1	14.0	9.3	14.2	12.2	4.1	8.5	30.3	3.1
女性	1051	367	284	272	248	213	218	208	138	106	112	91	72	280	34
	100.0	34.9	27.0	25.9	23.6	20.3	20.7	19.8	13.1	10.1	10.7	8.7	6.9	26.6	3.2
問1(2) 年齢															
65~69歳	416	68	84	62	62	58	78	39	32	51	31	19	18	155	19
	100.0	16.3	20.2	14.9	14.9	13.9	18.8	9.4	7.7	12.3	7.5	4.6	4.3	37.3	4.6
70~74歳	407	105	96	83	77	70	82	52	35	41	42	28	31	129	11
	100.0	25.8	23.6	20.4	18.9	17.2	20.1	12.8	8.6	10.1	10.3	6.9	7.6	31.7	2.7
75~79歳	324	127	82	89	74	70	73	63	43	35	34	35	27	68	14
	100.0	39.2	25.3	27.5	22.8	21.6	22.5	19.4	13.3	10.8	10.5	10.8	8.3	21.0	4.3
80~84歳	227	115	75	89	67	70	56	72	38	32	40	24	20	37	3
	100.0	50.7	33.0	39.2	29.5	30.8	24.7	31.7	16.7	14.1	17.6	10.6	8.8	16.3	1.3
85歳以上	126	67	48	54	51	59	32	53	35	15	20	12	15	15	1
	100.0	53.2	38.1	42.9	40.5	46.8	25.4	42.1	27.8	11.9	15.9	9.5	11.9	11.9	0.8

問11 健康を維持するためや介護が必要な状態にならないために、あなたが心がけていることはありますか。(○は1つだけ)

健康を維持するために心がけていることは、「ある」が87.9%となっています。

図4-16 健康を維持するために心がけていることの有無

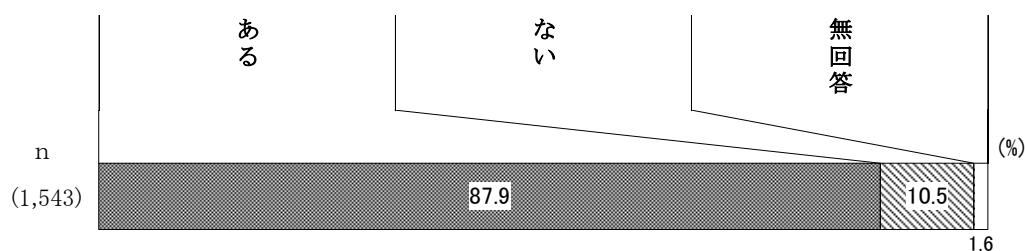


表4-10 性・年代別 健康を維持するために心がけていることの有無

	調査数	ある	ない	無回答
全体	1543	1356	162	25
	100.0	87.9	10.5	1.6
問1(1)性別				
男性	386	308	69	9
	100.0	79.8	17.9	2.3
女性	1051	960	80	11
	100.0	91.3	7.6	1.0
問1(2)年齢				
65～69歳	416	368	45	3
	100.0	88.5	10.8	0.7
70～74歳	407	359	41	7
	100.0	88.2	10.1	1.7
75～79歳	324	289	28	7
	100.0	89.2	8.6	2.2
80～84歳	227	201	23	3
	100.0	88.5	10.1	1.3
85歳以上	126	103	21	2
	100.0	81.7	16.7	1.6

上段：人数／下段：%

表4-11 経年比較 健康を維持するために心がけていることの有無

	調査数	ある	ない	無回答
平成19年	929人	86.2	9.1	4.6
平成22年	1,543人	87.9	10.5	1.6

(%)

《問11で「1 ある」とお答えの方にお伺いします》

問11-1 具体的にはどのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

健康を維持するために具体的に心がけていることは、「運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている」(59.2%)、「歯磨きを励行している」(57.3%)、「定期的に健康診断を受けている」(57.1%)が、いずれも6割近くで多くなっています。

図4-17 具体的に心がけていること

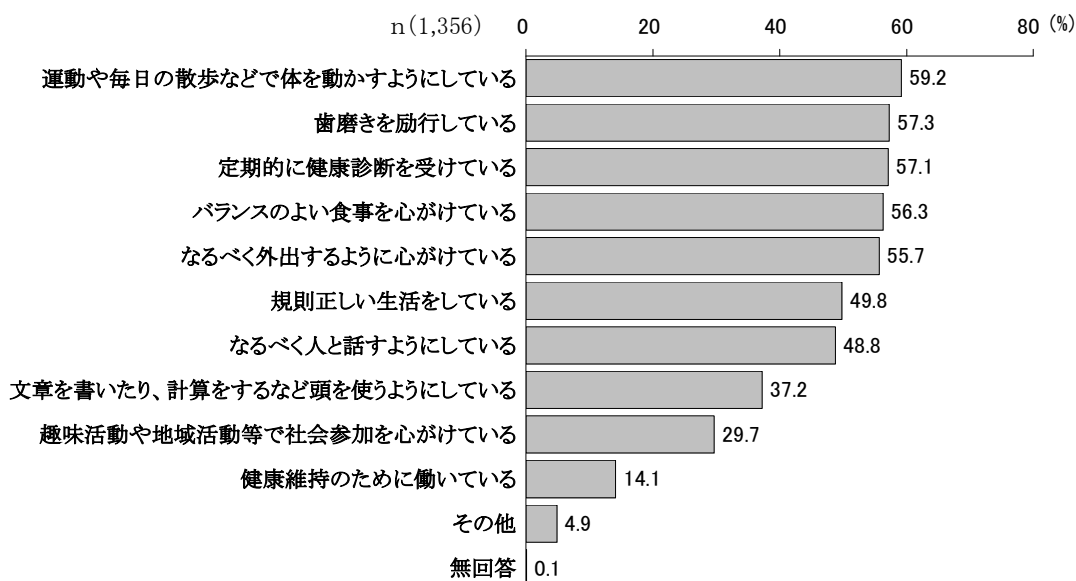


表4-12 性・年代別 具体的に心がけていること

上段：人数／下段：%

	調査数	てで運動や毎日の散歩など	歯磨きを励行している	定期的に健康診断を受けている	バランスのよい食事を心がけている	なるべく外出するようにしている	規則正しい生活をしている	なるべく人と話すようにしている	文章を書いたり、計算をするなど頭を使うようにしている	趣味活動や地域活動等で社会参加を心がけている	健康維持のために働いている	その他	無回答
全体	1356 100.0	803 59.2	777 57.3	774 57.1	763 56.3	755 55.7	675 49.8	662 48.8	505 37.2	403 29.7	191 14.1	67 4.9	1 0.1
問1(1) 性別													
男性	308 100.0	196 63.6	159 51.6	165 53.6	144 46.8	156 50.6	142 46.1	103 33.4	101 32.8	62 20.1	55 17.9	14 4.5	-
女性	960 100.0	554 57.7	589 61.4	569 59.3	577 60.1	557 58.0	501 52.2	519 54.1	381 39.7	320 33.3	123 12.8	49 5.1	1 0.1
問1(2) 年齢													
65~69歳	368 100.0	234 63.6	226 61.4	208 56.5	222 60.3	199 54.1	182 49.5	152 41.3	126 34.2	119 32.3	96 26.1	12 3.3	-
70~74歳	359 100.0	220 61.3	198 55.2	195 54.3	192 53.5	212 59.1	166 46.2	187 52.1	134 37.3	120 33.4	49 13.6	8 2.2	1 0.3
75~79歳	289 100.0	174 60.2	165 57.1	175 60.6	162 56.1	161 55.7	140 48.4	143 49.5	107 37.0	87 30.1	18 6.2	22 7.6	-
80~84歳	201 100.0	107 53.2	118 58.7	119 59.2	110 54.7	114 56.7	112 55.7	111 55.2	86 42.8	54 26.9	15 7.5	11 5.5	-
85歳以上	103 100.0	42 40.8	51 49.5	58 56.3	52 50.5	47 45.6	61 59.2	49 47.6	38 36.9	13 12.6	6 5.8	9 8.7	-

表4-13 経年比較 具体的に心がけていること

(%)

	調査数	運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている	歯磨きを励行している	定期的に健康診断を受けている	バランスのよい食事を心がけている	なるべく外出するようになる	規則正しい生活をしている	なるべく人と話すようになる	文章を書いたり、計算をするなど頭を使うようにしている	趣味活動や地域活動等で社会参加を心がけている	健康維持のために働いている	その他	無回答
平成19年	801人	62.0	58.4	57.6	59.7	55.6	49.6	46.2	36.6	33.3	11.4	7.2	0.1
平成22年	1,356人	59.2	57.3	57.1	56.3	55.7	49.8	48.8	37.2	29.7	14.1	4.9	0.1

《問11で「2 ない」とお答えの方にお伺いします》
 問11-2 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

健康維持や要介護状態にならないための対策をしていない理由としては、「必要性を感じない」が31.5%で最も多く、以下「どのようにすればよいかわからない」(28.4%)、「一人では長続きしない」(20.4%)の順で続いています。

図4-18 心がけていない理由

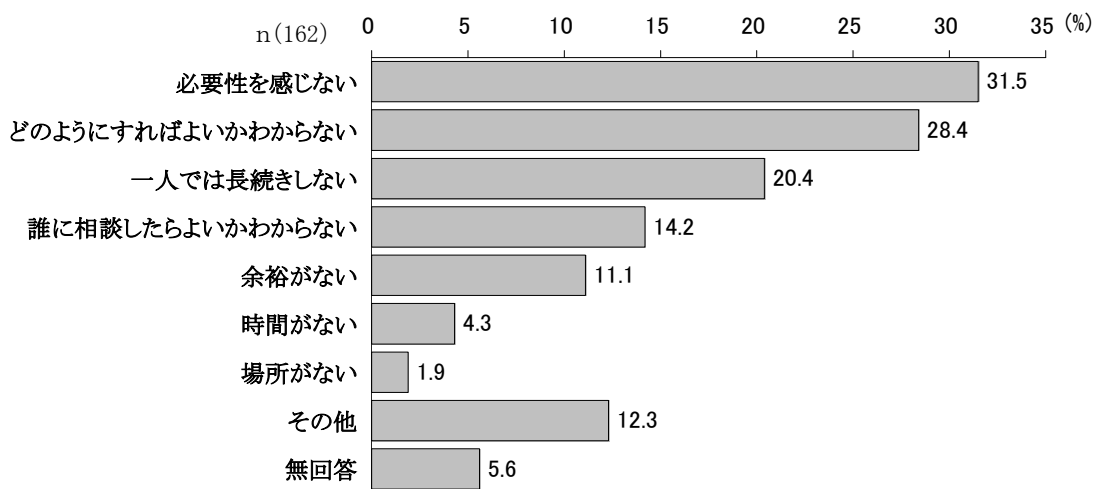


表4-14 性・年代別 心がけていない理由

上段：人数/下段：%

	調査数	必要性を感じない	かどのわからないようにすればよい	一人では長続きしない	誰に相談したらよいか	余裕がない	時間がない	場所がない	その他	無回答
全体	162 100.0	51 31.5	46 28.4	33 20.4	23 14.2	18 11.1	7 4.3	3 1.9	20 12.3	9 5.6
問1(1) 性別										
男性	69 100.0	27 39.1	15 21.7	12 17.4	14 20.3	8 11.6	1 1.4	1 1.4	4 5.8	3 4.3
女性	80 100.0	19 23.8	28 35.0	16 20.0	7 8.8	10 12.5	6 7.5	1 1.3	15 18.8	5 6.3
問1(2) 年齢										
65～69歳	45 100.0	15 33.3	7 15.6	8 17.8	7 15.6	7 15.6	4 8.9	1 2.2	5 11.1	1 2.2
70～74歳	41 100.0	11 26.8	12 29.3	6 14.6	6 14.6	6 14.6	2 4.9	1 2.4	3 7.3	4 9.8
75～79歳	28 100.0	8 28.6	11 39.3	10 35.7	4 14.3	2 7.1	1 3.6	-	3 10.7	2 7.1
80～84歳	23 100.0	8 34.8	6 26.1	2 8.7	2 8.7	1 4.3	-	-	4 17.4	2 8.7
85歳以上	21 100.0	8 38.1	9 42.9	6 28.6	2 9.5	1 4.8	-	-	5 23.8	-

問12 あなたは、現在、病気やケガで治療を受けていますか。(○は1つだけ)

現在、病気やケガの治療を「受けている」は75.8%、「受けていない」は20.9%となっています。

図4-19 病気やケガの治療を受けている

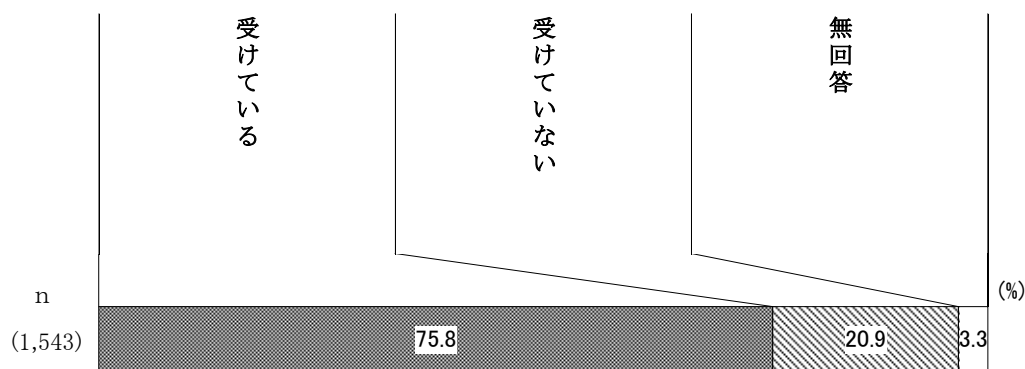


表4-15 性・年代別 病気やケガの治療を受けている

上段：人数／下段：%

	調査数	受けている	受けていない	無回答
全体	1543	1170	322	51
	100.0	75.8	20.9	3.3
問1(1) 性別				
男性	386	281	98	7
	100.0	72.8	25.4	1.8
女性	1051	805	209	37
	100.0	76.6	19.9	3.5
問1(2) 年齢				
65～69歳	416	262	136	18
	100.0	63.0	32.7	4.3
70～74歳	407	308	89	10
	100.0	75.7	21.9	2.5
75～79歳	324	282	33	9
	100.0	87.0	10.2	2.8
80～84歳	227	194	26	7
	100.0	85.5	11.5	3.1
85歳以上	126	96	27	3
	100.0	76.2	21.4	2.4

表4-16 経年比較 病気やケガの治療を受けている

(%)

	調査数	受けている	受けていない	無回答
平成19年	929人	76.2	17.9	5.9
平成22年	1,543人	75.8	20.9	3.3

「問12で「1 受けている」とお答えの方にお伺いします」

問12-1 あなたが治療している病名は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

現在、治療している病気としては、「高血圧」が48.8%で最も多く、これに「目の病気」が27.3%で次いでいます。

図4-20 治療している病名

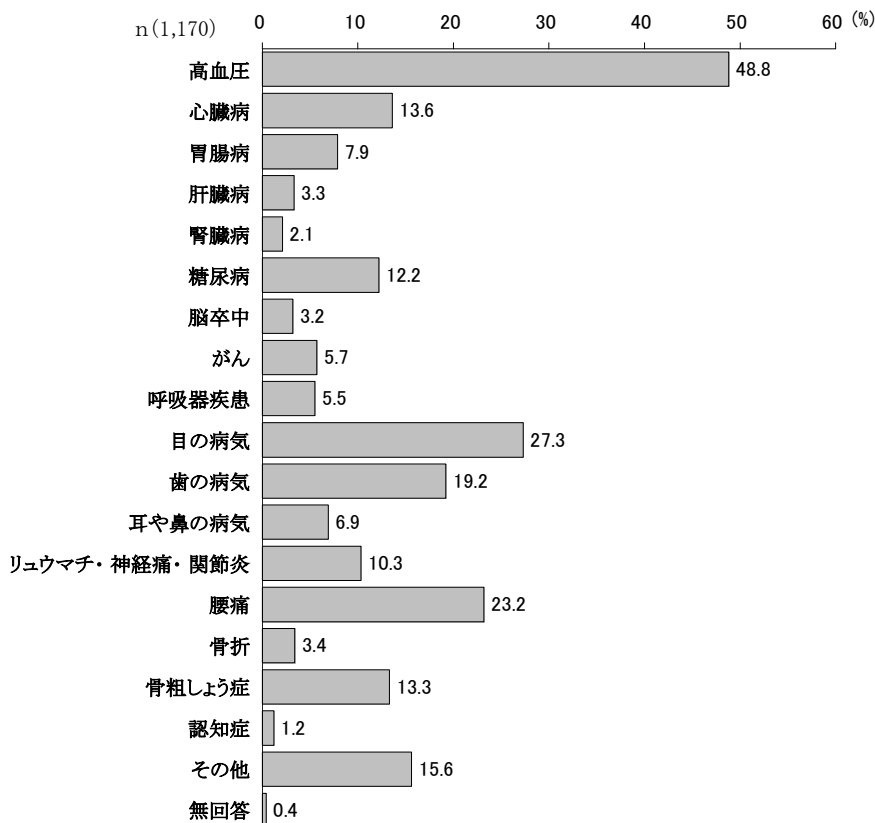


表4-17 経年比較 治療している病名

	調査数	高血圧	心臓病	胃腸病	肝臓病	腎臓病	糖尿病	脳卒中	がん	呼吸器疾患	目の病気
平成19年	708人	47.9	13.8	8.1	4.0	2.1	14.0	1.8	4.2	4.1	31.2
平成22年	1,170人	48.8	13.6	7.9	3.3	2.1	12.2	3.2	5.7	5.5	27.3

	調査数	歯の病気	耳や鼻の病気	炎神リュウマチ・神経痛・関節	腰痛	骨折	骨粗しょう症	認知症	その他	無回答
平成19年	708人	22.2	9.3	11.6	23.3	1.6	11.0	0.3	16.8	0.1
平成22年	1,170人	19.2	6.9	10.3	23.2	3.4	13.3	1.2	15.6	0.4

問13 あなたの生活習慣を振り返って、心配な病名は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

生活習慣を振り返って心配な病名としては、「高血圧」が31.2%で最も多く、以下「腰痛」(26.7%)、「がん」(24.4%)、「認知症」(24.3%)の順で続いています。

図4-21 心配な病名

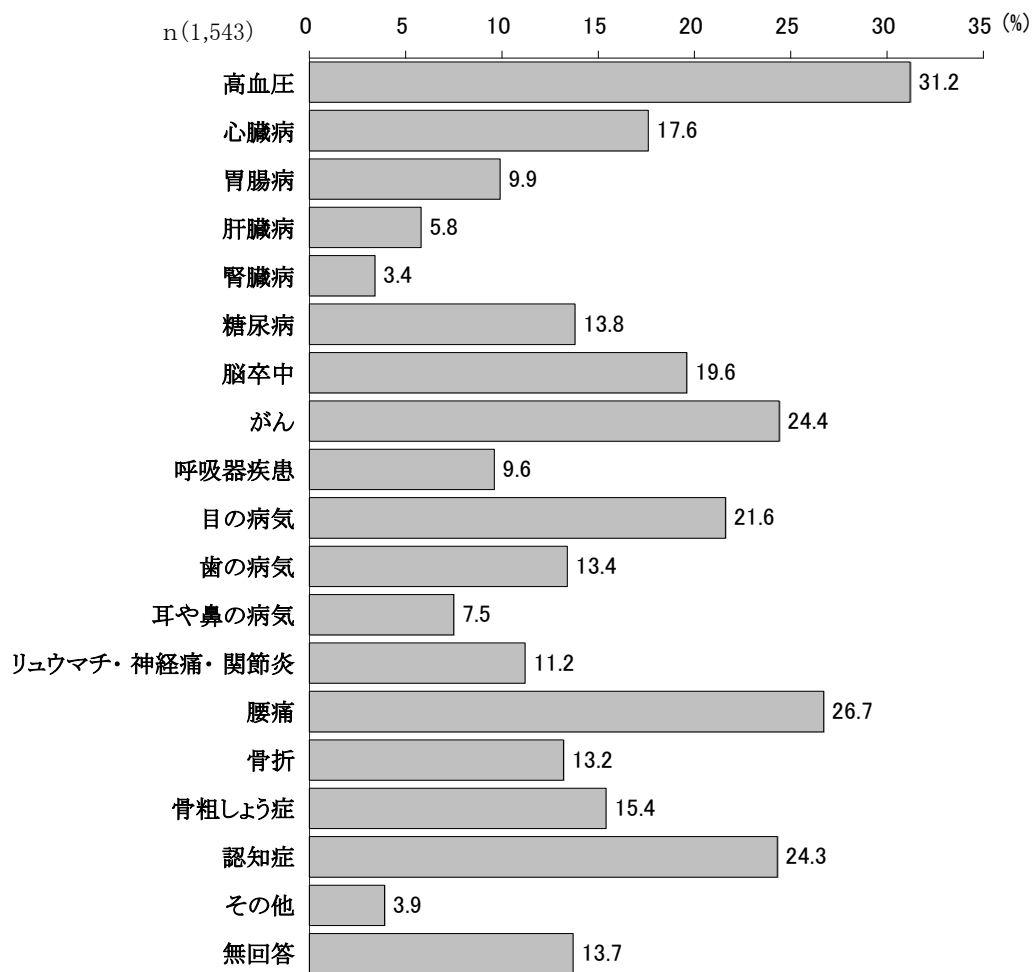


表4-18 性・年代別 心配な病名

上段：人数/下段：%

	調査数	高血圧	心臓病	胃腸病	肝臓病	腎臓病	糖尿病	脳卒中	がん	呼吸器疾患	目の病気
全体	1543 100.0	482 31.2	272 17.6	152 9.9	90 5.8	53 3.4	213 13.8	303 19.6	377 24.4	148 9.6	333 21.6
問1(1) 性別											
男性	386 100.0	108 28.0	81 21.0	36 9.3	34 8.8	7 1.8	78 20.2	78 20.2	94 24.4	36 9.3	67 17.4
女性	1051 100.0	338 32.2	175 16.7	111 10.6	51 4.9	44 4.2	127 12.1	210 20.0	261 24.8	101 9.6	248 23.6
問1(2) 年齢											
65～69歳	416 100.0	106 25.5	62 14.9	39 9.4	34 8.2	12 2.9	62 14.9	80 19.2	139 33.4	40 9.6	83 20.0
70～74歳	407 100.0	126 31.0	71 17.4	34 8.4	24 5.9	15 3.7	66 16.2	97 23.8	110 27.0	50 12.3	76 18.7
75～79歳	324 100.0	108 33.3	48 14.8	37 11.4	18 5.6	8 2.5	36 11.1	56 17.3	66 20.4	25 7.7	71 21.9
80～84歳	227 100.0	81 35.7	56 24.7	28 12.3	11 4.8	10 4.4	33 14.5	40 17.6	36 15.9	19 8.4	58 25.6
85歳以上	126 100.0	48 38.1	28 22.2	13 10.3	2 1.6	8 6.3	11 8.7	27 21.4	22 17.5	11 8.7	40 31.7

	調査数	歯の病気	耳や鼻の病気	リュウマチ・関節炎・神経痛	腰痛	骨折	骨粗しょう症	認知症	その他	無回答
全体	1543 100.0	206 13.4	116 7.5	173 11.2	412 26.7	203 13.2	238 15.4	375 24.3	60 3.9	211 13.7
問1(1) 性別										
男性	386 100.0	51 13.2	26 6.7	28 7.3	82 21.2	17 4.4	9 2.3	63 16.3	16 4.1	59 15.3
女性	1051 100.0	143 13.6	80 7.6	138 13.1	303 28.8	177 16.8	213 20.3	297 28.3	40 3.8	132 12.6
問1(2) 年齢										
65～69歳	416 100.0	61 14.7	32 7.7	43 10.3	104 25.0	43 10.3	60 14.4	107 25.7	11 2.6	60 14.4
70～74歳	407 100.0	48 11.8	28 6.9	43 10.6	94 23.1	44 10.8	63 15.5	84 20.6	16 3.9	56 13.8
75～79歳	324 100.0	43 13.3	22 6.8	46 14.2	91 28.1	50 15.4	54 16.7	79 24.4	21 6.5	50 15.4
80～84歳	227 100.0	39 17.2	24 10.6	22 9.7	79 34.8	33 14.5	31 13.7	58 25.6	5 2.2	24 10.6
85歳以上	126 100.0	12 9.5	8 6.3	16 12.7	36 28.6	31 24.6	27 21.4	40 31.7	6 4.8	12 9.5

表4-19 経年比較 心配な病名

(%)

	調査数	高血圧	心臓病	胃腸病	肝臓病	腎臓病	糖尿病	脳卒中	がん	呼吸器疾患	目の病気
平成19年	929人	34.0	20.3	11.0	7.0	5.2	15.2	20.1	23.3	11.0	23.6
平成22年	1,543人	31.2	17.6	9.9	5.8	3.4	13.8	19.6	24.4	9.6	21.6

	調査数	歯の病気	耳や鼻の病気	痛リ ・ユ ウマ 関節 炎・ 神経	腰痛	骨折	骨粗 しょう 症	認知症	その他	無回答
平成19年	929人	12.6	9.0	14.5	27.3	12.3	14.0	21.6	5.4	13.2
平成22年	1,543人	13.4	7.5	11.2	26.7	13.2	15.4	24.3	3.9	13.7

問14 あなたは、普段から治療を受けているかかりつけの病院・クリニック、かかりつけの歯科医院、かかりつけの薬局がありますか（それぞれ○は1つ）

かかりつけの医療機関が「ある」と答えた方をみると、「かかりつけの病院・クリニック」が86.5%で最も多く、以下「かかりつけの歯科医院」（61.8%）、「かかりつけの薬局」（52.4%）の順となっています。

図4-22 かかりつけ医療機関の有無

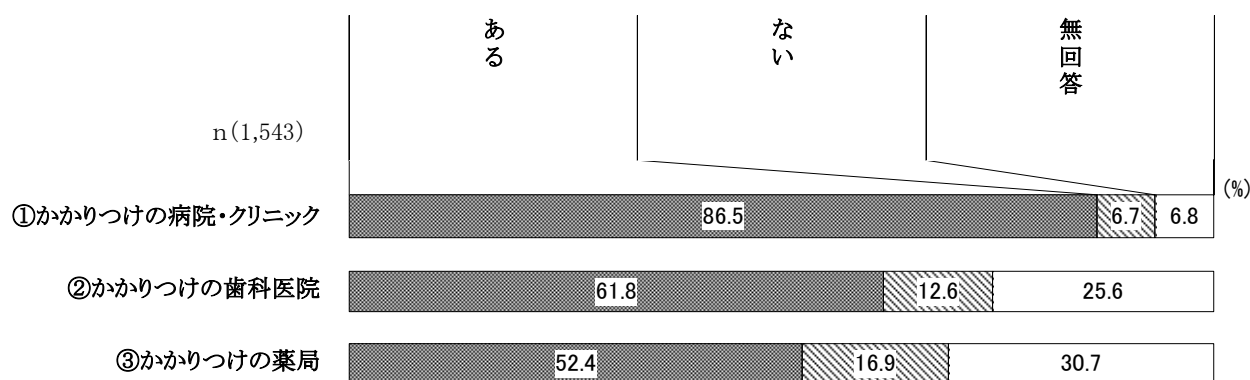


表4-20 性・年代別 かかりつけ医療機関の有無

上段：人数／下段：%

①かかりつけの病院・クリニック

	調査数	ある	ない	無回答
全体	1543	1335	103	105
	100.0	86.5	6.7	6.8

②かかりつけの歯科医院

	調査数	ある	ない	無回答
全体	1543	954	194	395
	100.0	61.8	12.6	25.6

③かかりつけの薬局

	調査数	ある	ない	無回答
全体	1543	809	260	474
	100.0	52.4	16.9	30.7

問1(1) 性別

性別	調査数	ある	ない	無回答
男性	386	315	44	27
	100.0	81.6	11.4	7.0
女性	1051	936	54	61
	100.0	89.1	5.1	5.8

性別	調査数	ある	ない	無回答
男性	386	201	71	114
	100.0	52.1	18.4	29.5
女性	1051	691	118	242
	100.0	65.7	11.2	23.0

性別	調査数	ある	ない	無回答
男性	386	167	85	134
	100.0	43.3	22.0	34.7
女性	1051	598	165	288
	100.0	56.9	15.7	27.4

問1(2) 年齢

年齢	調査数	ある	ない	無回答
65～69歳	416	337	47	32
	100.0	81.0	11.3	7.7
70～74歳	407	345	29	33
	100.0	84.8	7.1	8.1
75～79歳	324	293	12	19
	100.0	90.4	3.7	5.9
80～84歳	227	211	10	6
	100.0	93.0	4.4	2.6
85歳以上	126	114	5	7
	100.0	90.5	4.0	5.6

年齢	調査数	ある	ない	無回答
65～69歳	416	265	69	82
	100.0	63.7	16.6	19.7
70～74歳	407	275	39	93
	100.0	67.6	9.6	22.9
75～79歳	324	191	33	100
	100.0	59.0	10.2	30.9
80～84歳	227	141	32	54
	100.0	62.1	14.1	23.8
85歳以上	126	62	19	45
	100.0	49.2	15.1	35.7

年齢	調査数	ある	ない	無回答
65～69歳	416	180	113	123
	100.0	43.3	27.2	29.6
70～74歳	407	209	70	128
	100.0	51.4	17.2	31.4
75～79歳	324	177	42	105
	100.0	54.6	13.0	32.4
80～84歳	227	154	18	55
	100.0	67.8	7.9	24.2
85歳以上	126	70	16	40
	100.0	55.6	12.7	31.7

問15 介護が必要な状態にならないために、あるいは介護が必要であってもこれ以上悪化しないためには、糖尿病や脳卒中、心臓病などの生活習慣病予防のほか、介護予防が必要です。介護予防には、次のようなものがあります。

- ・足などの筋力をつけること
- ・認知症の予防をすること
- ・栄養改善をすること
- ・閉じこもり予防をすること
- ・お口の機能改善をすること
- ・うつ予防をすること

このことについて、あなたはご存知でしたか。(〇は1つだけ)

介護予防についての周知では、「よく知っている」が40.2%で、これに「少しなら知っている」(30.7%)を合わせた【周知度】は70.9%となっています。

図4-23 介護予防についての周知

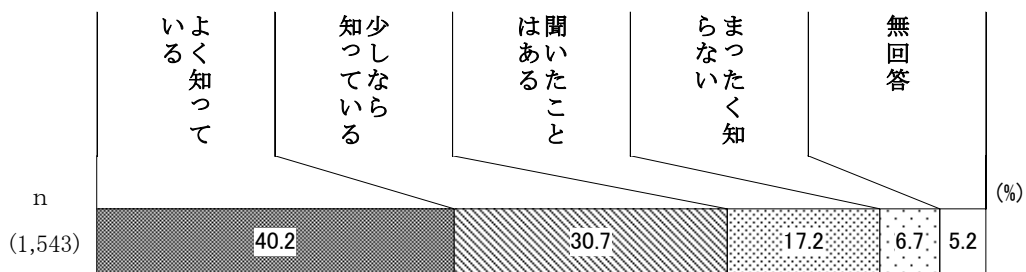


表4-21 性・年代別 介護予防についての周知

	調査数	よく知っている	少しなら知っている	聞いたこと	知らない	無回答
全体	1543	621	473	265	104	80
問1(1)性別						
男性	386	127	130	68	40	21
女性	1051	463	309	180	55	44
問1(2)年齢						
65～69歳	416	157	122	84	32	21
70～74歳	407	170	129	63	28	17
75～79歳	324	144	94	51	17	18
80～84歳	227	88	80	33	16	10
85歳以上	126	43	42	24	11	6

上段：人数／下段：%

表4-22 経年比較 介護予防についての周知

	調査数	よく知っている	少しなら知っている	聞いたこと	知らない	無回答
平成19年	929人	35.0	30.9	16.3	10.5	7.3
平成22年	1,543人	40.2	30.7	17.2	6.7	5.2

問16 介護予防のためのさまざまな講習やトレーニングに参加してみたいと思いますか。
(○は1つだけ)

介護予防の講習やトレーニングへの参加意向では、「現在、参加している」が21.5%、「今後、参加してみたい」が25.8%となっています。

図4-24 介護予防のための講習やトレーニングへの参加意向

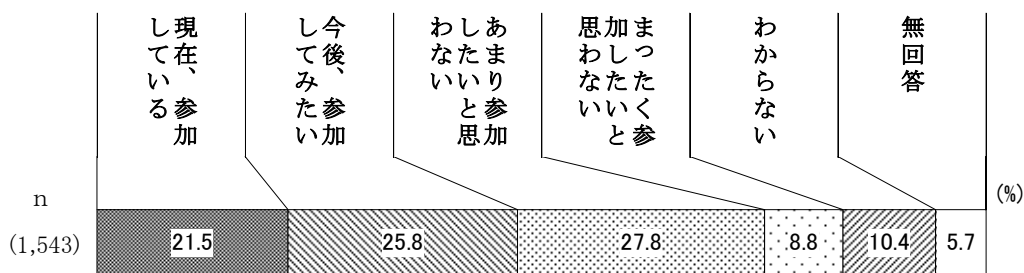


表4-23 性・年代別 介護予防のための講習やトレーニングへの参加意向

	調査数	参加意向						無回答	上段：人数 / 下段：%					
		現在、参加している	今後、参加してみたい	あまり参加したいと思わない	まったく参加したくない	わからない								
全体	1543	331	398	429	136	161	88	100.0	21.5	25.8	27.8	8.8	10.4	5.7
問1(1) 性別														
男性	386	54	95	108	52	54	23	100.0	14.0	24.6	28.0	13.5	14.0	6.0
女性	1051	254	282	294	72	93	56	100.0	24.2	26.8	28.0	6.9	8.8	5.3
問1(2) 年齢														
65～69歳	416	74	145	102	35	42	18	100.0	17.8	34.9	24.5	8.4	10.1	4.3
70～74歳	407	91	110	114	31	43	18	100.0	22.4	27.0	28.0	7.6	10.6	4.4
75～79歳	324	93	80	77	19	35	20	100.0	28.7	24.7	23.8	5.9	10.8	6.2
80～84歳	227	40	41	84	21	22	19	100.0	17.6	18.1	37.0	9.3	9.7	8.4
85歳以上	126	21	15	44	25	16	5	100.0	16.7	11.9	34.9	19.8	12.7	4.0

表4-24 経年比較 介護予防のための講習やトレーニングへの参加意向

	調査数	現在、参加している	今後、参加してみたい	あまり参加したいと思わない	まったく参加したくない	わからない	無回答	(%)
平成19年	929人	18.9	30.0	24.0	6.2	11.2	9.6	
平成22年	1,543人	21.5	25.8	27.8	8.8	10.4	5.7	

《問16で「1 現在、参加している」とお答えの方にお伺いします》

問16-1 どのような講習やトレーニングに参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

参加している介護予防のための講習やトレーニングとしては、「公民館で開催されている各種教室」が39.6%で最も多く、以下「老人福祉センター（Uセンター）で開催されている各種教室」（30.8%）、「民間のスポーツクラブ」（18.7%）「市で実施した介護予防教室」（13.6%）の順で続いています。

図4-25 参加している講習やトレーニング

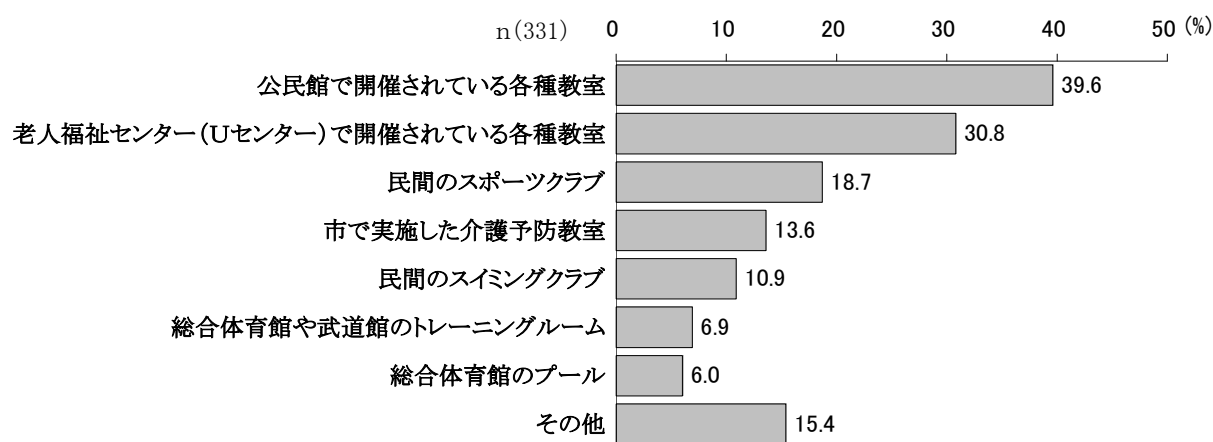


表4-25 性・年代別 参加している講習やトレーニング

上段：人数/下段：%

	調査数	公民館で 開催され ている各 種教室	老人福 祉セン ター(U センタ ー)で 開催さ れた各 種教室	民間 のスポ ーツク ラブ	市で 実施し た介護 予防 教室	民間 のスィ ミング クラブ	総合 体育館 や武道 館の トレー ニング ルーム	総合 体育館 のプー ル	その他
全体	331	131	102	62	45	36	23	20	51
	100.0	39.6	30.8	18.7	13.6	10.9	6.9	6.0	15.4
問1(1) 性別									
男性	54	14	13	10	7	5	6	5	13
	100.0	25.9	24.1	18.5	13.0	9.3	11.1	9.3	24.1
女性	254	111	76	49	36	31	16	15	35
	100.0	43.7	29.9	19.3	14.2	12.2	6.3	5.9	13.8
問1(2) 年齢									
65～69歳	74	27	15	23	7	12	8	9	10
	100.0	36.5	20.3	31.1	9.5	16.2	10.8	12.2	13.5
70～74歳	91	38	31	19	15	5	7	7	17
	100.0	41.8	34.1	20.9	16.5	5.5	7.7	7.7	18.7
75～79歳	93	39	32	12	14	13	5	4	14
	100.0	41.9	34.4	12.9	15.1	14.0	5.4	4.3	15.1
80～84歳	40	16	15	5	4	4	1	-	5
	100.0	40.0	37.5	12.5	10.0	10.0	2.5	-	12.5
85歳以上	21	8	3	-	4	1	1	-	4
	100.0	38.1	14.3	-	19.0	4.8	4.8	-	19.0

第4章 ひとり暮らし高齢者に関する調査結果

表4-26 経年比較 参加している講習やトレーニング

	調査数	公民館で開 催されてい る各種教室	老人福祉セ ンター（U ）で開催さ れた各種教 室	民間のスポ ーツクラブ	民間のス イミングク ラブ	総合体育館 や武道館の トレーニング ルーム	総合体育館 のプール	その他	(%)
平成19年	176人	45.5	23.9	17.6	12.5	9.7	3.4	10.2	
平成22年	331人	39.6	30.8	18.7	10.9	6.9	6.0	15.4	

(注)「市で実施した介護予防教室」は、前回調査の項目になし。

「問16で「3 あまり参加したいと思わない」「4 まったく参加したいと思わない」とお答えの方にお伺いします」

問16-2 それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

介護予防のための講習やトレーニングをしていない理由としては、「必要がないと思うから」が25.1%で最も多く、以下「健康・体力に自身がないから」(23.0%)、「参加したいものがないから」(19.5%)、「一緒に参加する友人や仲間がないから」(19.1%)「どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから」(18.9%)の順で続いています。

図4-26 参加したくない理由

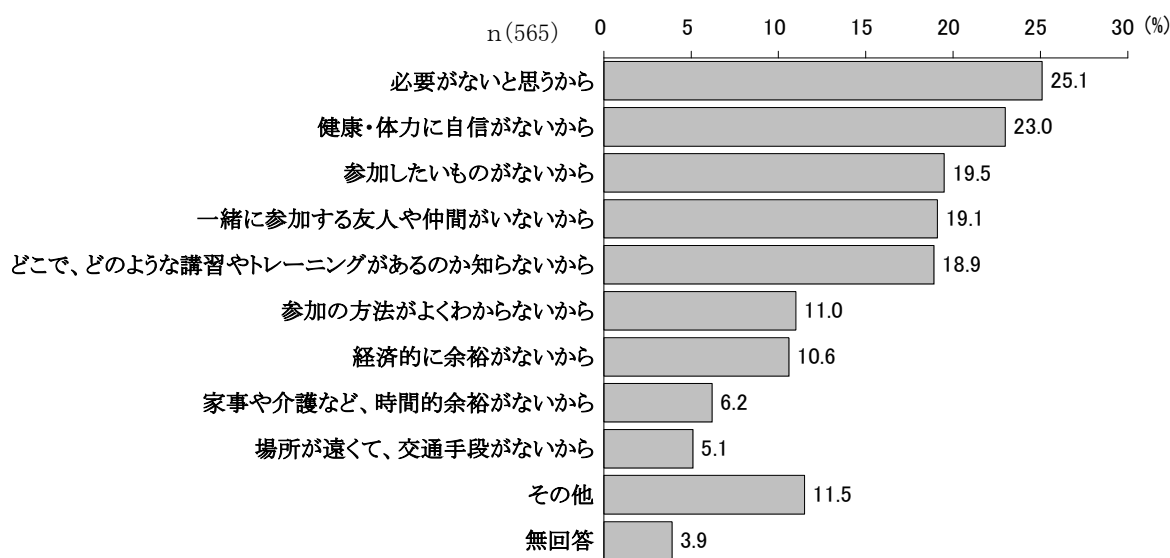


表4-27 性・年代別 参加したくない理由

上段：人数/下段：%

	調査数	必要がないと思うから	健康・体力に自信がないから	参加したいものがないから	一緒に参加する友人や仲間がないから	どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから	参加の方法がよくわからないから	経済的に余裕がないから	家事や介護など、時間的余裕がないから	場所が遠くて、交通手段がないから	その他	無回答
全体	565	142	130	110	108	107	62	60	35	29	65	22
	100.0	25.1	23.0	19.5	19.1	18.9	11.0	10.6	6.2	5.1	11.5	3.9
問1(1) 性別												
男性	160	69	19	30	35	38	19	20	9	4	9	3
	100.0	43.1	11.9	18.8	21.9	23.8	11.9	12.5	5.6	2.5	5.6	1.9
女性	366	64	101	77	68	63	40	35	23	24	53	16
	100.0	17.5	27.6	21.0	18.6	17.2	10.9	9.6	6.3	6.6	14.5	4.4
問1(2) 年齢												
65~69歳	137	49	18	30	28	35	24	18	12	3	14	1
	100.0	35.8	13.1	21.9	20.4	25.5	17.5	13.1	8.8	2.2	10.2	0.7
70~74歳	145	33	23	20	27	34	17	26	3	5	12	10
	100.0	22.8	15.9	13.8	18.6	23.4	11.7	17.9	2.1	3.4	8.3	6.9
75~79歳	96	22	21	22	13	11	8	7	6	4	13	4
	100.0	22.9	21.9	22.9	13.5	11.5	8.3	7.3	6.3	4.2	13.5	4.2
80~84歳	105	19	37	21	23	16	11	4	7	11	13	5
	100.0	18.1	35.2	20.0	21.9	15.2	10.5	3.8	6.7	10.5	12.4	4.8
85歳以上	69	15	29	13	14	9	2	3	5	6	13	1
	100.0	21.7	42.0	18.8	20.3	13.0	2.9	4.3	7.2	8.7	18.8	1.4

問17 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つだけ)

たばこを「吸う」は13.0%、「以前吸っていたが、やめた」は16.1%となっています。一方、「吸わない」は7割近くを占めています。

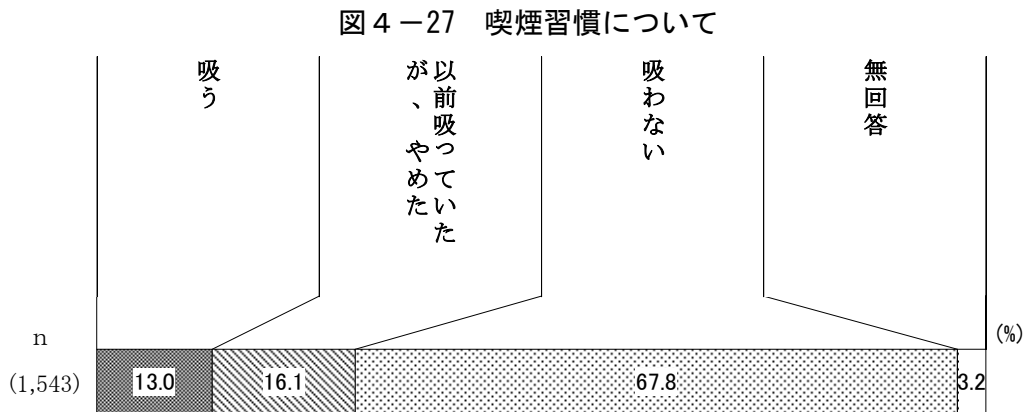


表4-28 性・年代別 喫煙習慣について

	調査数	吸う	が以前吸っていたがやめた	吸わない	無回答
全体	1543	200	248	1046	49
	100.0	13.0	16.1	67.8	3.2
問1(1) 性別					
男性	386	115	127	134	10
	100.0	29.8	32.9	34.7	2.6
女性	1051	70	101	846	34
	100.0	6.7	9.6	80.5	3.2
問1(2) 年齢					
65~69歳	416	83	74	249	10
	100.0	20.0	17.8	59.9	2.4
70~74歳	407	54	78	263	12
	100.0	13.3	19.2	64.6	2.9
75~79歳	324	39	40	232	13
	100.0	12.0	12.3	71.6	4.0
80~84歳	227	14	33	171	9
	100.0	6.2	14.5	75.3	4.0
85歳以上	126	4	16	104	2
	100.0	3.2	12.7	82.5	1.6

上段：人数／下段：%

表4-29 経年比較 喫煙習慣について

	調査数	吸う	が以前吸っていたがやめた	吸わない	無回答 (%)
平成19年	929人	14.9	13.8	65.6	5.8
平成22年	1,543人	13.0	16.1	67.8	3.2

「問17で「1 吸う」とお答えの方にお伺いします」

問17-1 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。(○は1つだけ)

喫煙者に禁煙の意向をきいたところ、「吸う本数を減らしたい」が49.5%で最も多く、これに「やめたい」が30.5%で次いでいます。一方、「やめたくない」は19.0%となっています。

図4-28 禁煙の意向

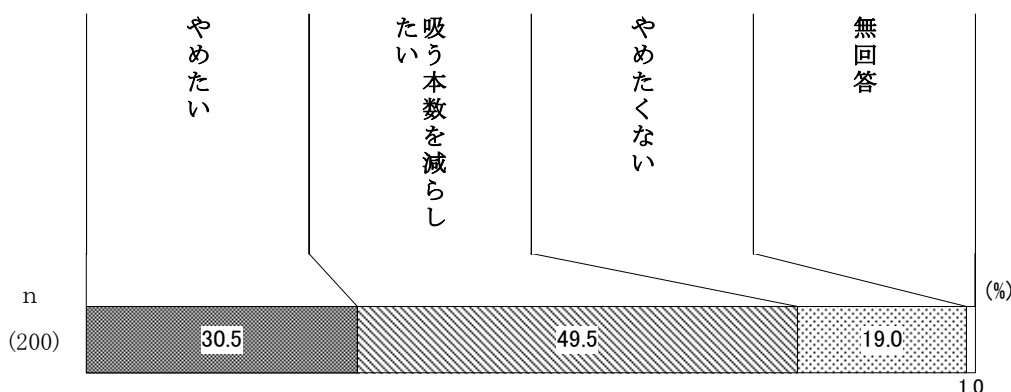


表4-30 性・年代別 禁煙の意向

上段：人数／下段：%

	調査数	やめたい	減吸 らう し本 た数 いを	いや め た く な	無 回 答
全 体	200 100.0	61 30.5	99 49.5	38 19.0	2 1.0
問1(1) 性別					
男性	115 100.0	38 33.0	51 44.3	26 22.6	-
女性	70 100.0	19 27.1	40 57.1	10 14.3	1 1.4
問1(2) 年齢					
65～69歳	83 100.0	30 36.1	41 49.4	12 14.5	-
70～74歳	54 100.0	18 33.3	24 44.4	12 22.2	-
75～79歳	39 100.0	9 23.1	21 53.8	8 20.5	1 2.6
80～84歳	14 100.0	3 21.4	7 50.0	4 28.6	-
85歳以上	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	-

表4-31 経年比較 禁煙の意向

	調査数	やめたい	減吸 らう し本 た数 いを	いや め た く な	無 回 答
平成19年	138人	31.9	43.5	23.2	1.4
平成22年	200人	30.5	49.5	19.0	1.0

問18 あなたは、お酒（洋酒、日本酒、ビールなど）をどの程度飲みますか。（○は1つだけ）

飲酒の状況としては、「毎日飲む」が13.3%で、これに「週に1～2回飲む」「月に2～3回飲む」がそれぞれ（7.4%）となっています。「毎日飲む」～「それ以下」を合わせた【飲酒する】は43.7%となっています。一方、「まったく飲まない」は51.3%と5割以上となっています。

図4-29 飲酒の程度

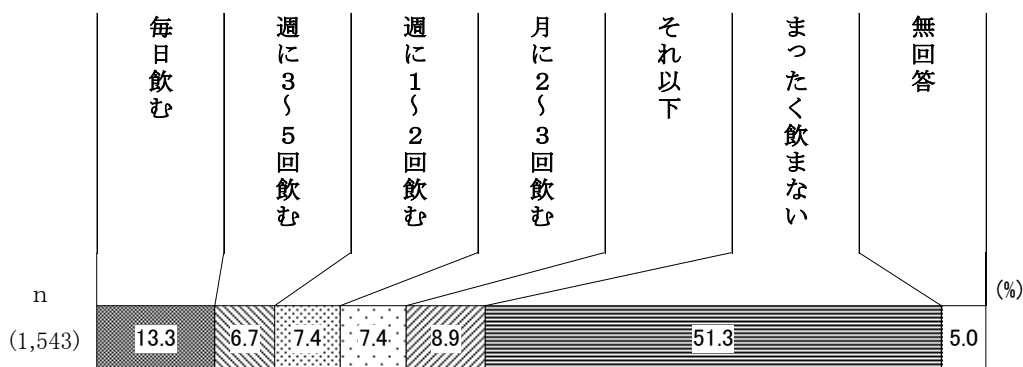


表4-32 性・年代別 飲酒の程度

上段：人数／下段：%

	調査数	毎日飲む	5週に飲3む	2週に飲1む	3月に飲2む	それ以下	飲まないく	無回答
全体	1543	205	103	114	114	138	792	77
	100.0	13.3	6.7	7.4	7.4	8.9	51.3	5.0
問1(1) 性別								
男性	386	132	53	36	25	25	104	11
	100.0	34.2	13.7	9.3	6.5	6.5	26.9	2.8
女性	1051	57	42	70	80	105	644	53
	100.0	5.4	4.0	6.7	7.6	10.0	61.3	5.0
問1(2) 年齢								
65～69歳	416	81	38	39	32	45	170	11
	100.0	19.5	9.1	9.4	7.7	10.8	40.9	2.6
70～74歳	407	54	31	31	42	39	185	25
	100.0	13.3	7.6	7.6	10.3	9.6	45.5	6.1
75～79歳	324	37	17	26	20	26	187	11
	100.0	11.4	5.2	8.0	6.2	8.0	57.7	3.4
80～84歳	227	17	9	11	14	16	144	16
	100.0	7.5	4.0	4.8	6.2	7.0	63.4	7.0
85歳以上	126	7	5	2	5	7	93	7
	100.0	5.6	4.0	1.6	4.0	5.6	73.8	5.6

表4-33 経年比較 飲酒の程度

	調査数	毎日飲む	5週に飲3む	2週に飲1む	3月に飲2む	それ以下	飲まないく	無回答
平成19年	929人	12.5	6.8	5.7	8.5	10.9	47.7	8.0
平成22年	1,543人	13.3	6.7	7.4	7.4	8.9	51.3	5.0

「問18で1～5とお答えの方にお伺いします」

問18-1 日本酒に換算して、1回平均どれくらい飲んでいきますか。(〇は1つだけ)

飲酒する人に、その量をきいたところ、「1合未満」が51.6%で最も多く、これに「1合～2合未満」が24.3%で次いでいます。

図4-30 1日の飲酒量

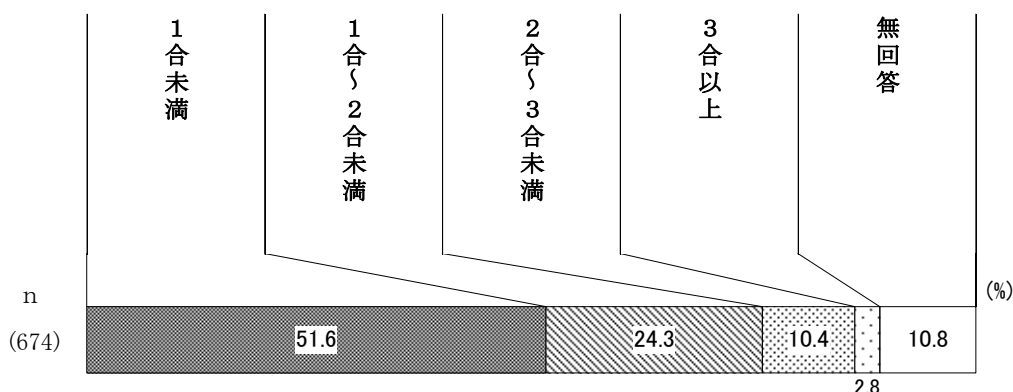


表4-34 性・年代別 1日の飲酒量

上段：人数／下段：%

	調査数	1合未満	1合～2合未満	2合～3合未満	3合以上	無回答
全体	674	348	164	70	19	73
	100.0	51.6	24.3	10.4	2.8	10.8
問1(1) 性別						
男性	271	88	101	57	15	10
	100.0	32.5	37.3	21.0	5.5	3.7
女性	354	229	54	7	4	60
	100.0	64.7	15.3	2.0	1.1	16.9
問1(2) 年齢						
65～69歳	235	111	63	39	8	14
	100.0	47.2	26.8	16.6	3.4	6.0
70～74歳	197	92	50	15	10	30
	100.0	46.7	25.4	7.6	5.1	15.2
75～79歳	126	75	28	10	1	12
	100.0	59.5	22.2	7.9	0.8	9.5
80～84歳	67	38	15	3	-	11
	100.0	56.7	22.4	4.5	-	16.4
85歳以上	26	19	4	-	-	3
	100.0	73.1	15.4	-	-	11.5

表4-35 経年比較 1日の飲酒量

	調査数	1合未満	1合～2合未満	2合～3合未満	3合以上	無回答 (%)
平成19年	412人	50.7	25.2	7.8	1.9	14.3
平成22年	674人	51.6	24.3	10.4	2.8	10.8

《問18で1～5とお答えの方にお伺いします》

問18-2 あなたは、今後、飲酒について、どのようにしたいと思いますか。(○は1つだけ)

飲酒する人に、今後の飲酒意向をきいたところ、「今のままでよい」が79.7%と圧倒的に多くなっています。一方、「飲む量を減らしたい」は9.9%となっています。

図4-31 今後の飲酒についての意向

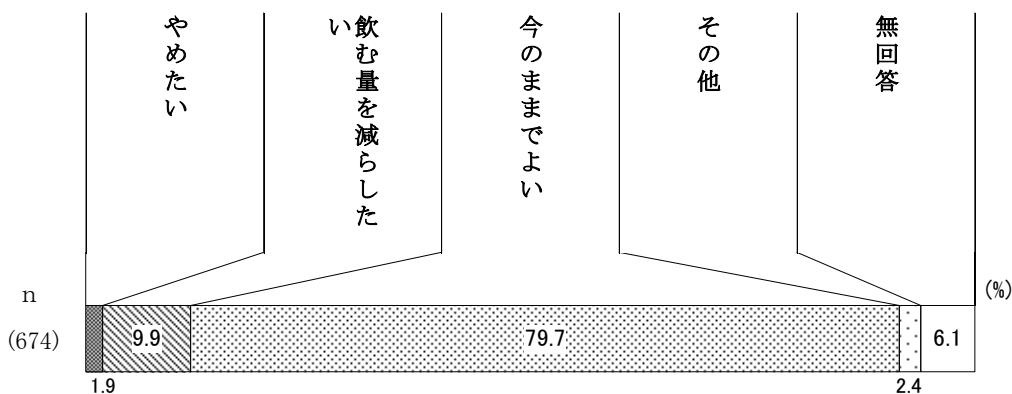


表4-36 性・年代別 今後の飲酒についての意向

	調査数	やめたい	飲む量を減らしたい	今のままでよい	その他	無回答
全体	674	13	67	537	16	41
	100.0	1.9	9.9	79.7	2.4	6.1
問1(1) 性別						
男性	271	6	47	203	5	10
	100.0	2.2	17.3	74.9	1.8	3.7
女性	354	5	16	295	10	28
	100.0	1.4	4.5	83.3	2.8	7.9
問1(2) 年齢						
65～69歳	235	6	33	184	4	8
	100.0	2.6	14.0	78.3	1.7	3.4
70～74歳	197	2	11	165	5	14
	100.0	1.0	5.6	83.8	2.5	7.1
75～79歳	126	3	15	95	3	10
	100.0	2.4	11.9	75.4	2.4	7.9
80～84歳	67	-	6	52	4	5
	100.0	-	9.0	77.6	6.0	7.5
85歳以上	26	-	-	22	-	4
	100.0	-	-	84.6	-	15.4

上段：人数／下段：%

表4-37 経年比較 今後の飲酒についての意向

	調査数	やめたい	飲む量を減らしたい	今のままでよい	その他	無回答
平成19年	412人	1.5	11.7	76.7	3.4	6.8
平成22年	674人	1.9	9.9	79.7	2.4	6.1

問19 健康について、特にどのようなことが知りたいですか。(〇は3つまで)

健康について知りたいこととしては、「ひざ痛・腰痛予防について」(33.2%)、「認知症の予防について」(30.6%)が、いずれも3割を超えて、とくに多くなっています。

図4-32 健康について特に知りたいこと

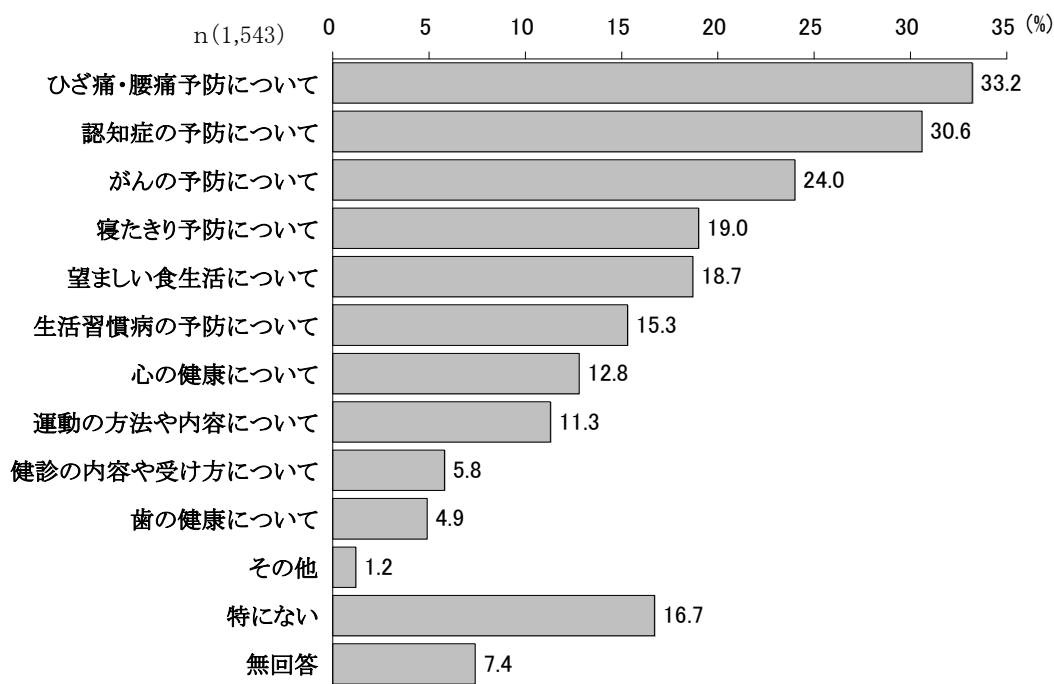


表4-38 性・年代別 健康について特に知りたいこと

上段：人数/下段：%

	調査数	ひざ痛・腰痛予防について	認知症の予防について	がんの予防について	寝たきり予防について	望ましい食生活について	生活習慣病の予防について	心の健康について	運動の方法や内容について	健診の内容や受け方について	歯の健康について	その他	特にない	無回答
全体	1543	512	472	371	293	289	236	198	174	89	75	18	257	114
	100.0	33.2	30.6	24.0	19.0	18.7	15.3	12.8	11.3	5.8	4.9	1.2	16.7	7.4
問1(1) 性別														
男性	386	108	85	87	51	89	66	40	49	27	17	3	83	23
	100.0	28.0	22.0	22.5	13.2	23.1	17.1	10.4	12.7	7.0	4.4	0.8	21.5	6.0
女性	1051	362	362	259	228	181	155	145	109	54	51	15	166	78
	100.0	34.4	34.4	24.6	21.7	17.2	14.7	13.8	10.4	5.1	4.9	1.4	15.8	7.4
問1(2) 年齢														
65~69歳	416	112	142	111	62	87	73	54	64	22	22	5	74	27
	100.0	26.9	34.1	26.7	14.9	20.9	17.5	13.0	15.4	5.3	5.3	1.2	17.8	6.5
70~74歳	407	138	112	115	83	74	66	58	35	22	25	2	64	26
	100.0	33.9	27.5	28.3	20.4	18.2	16.2	14.3	8.6	5.4	6.1	0.5	15.7	6.4
75~79歳	324	120	98	82	52	67	44	40	43	23	12	5	47	23
	100.0	37.0	30.2	25.3	16.0	20.7	13.6	12.3	13.3	7.1	3.7	1.5	14.5	7.1
80~84歳	227	81	71	38	55	37	37	26	19	14	9	3	44	19
	100.0	35.7	31.3	16.7	24.2	16.3	16.3	11.5	8.4	6.2	4.0	1.3	19.4	8.4
85歳以上	126	46	41	17	36	18	9	16	10	7	4	3	23	12
	100.0	36.5	32.5	13.5	28.6	14.3	7.1	12.7	7.9	5.6	3.2	2.4	18.3	9.5

6. 社会参加・地域とのふれあいについて

問20 あなたは、ふだん隣近所の人とどの程度の交流がありますか。(〇は1つだけ)

隣近所の人との交流については、「顔を合わせたときにあいさつをする程度」が36.7%で最も多く、これに「立ち話や世間話・情報交換をする程度」が24.0%で次いでいます。

図4-33 隣近所の人との交流の程度

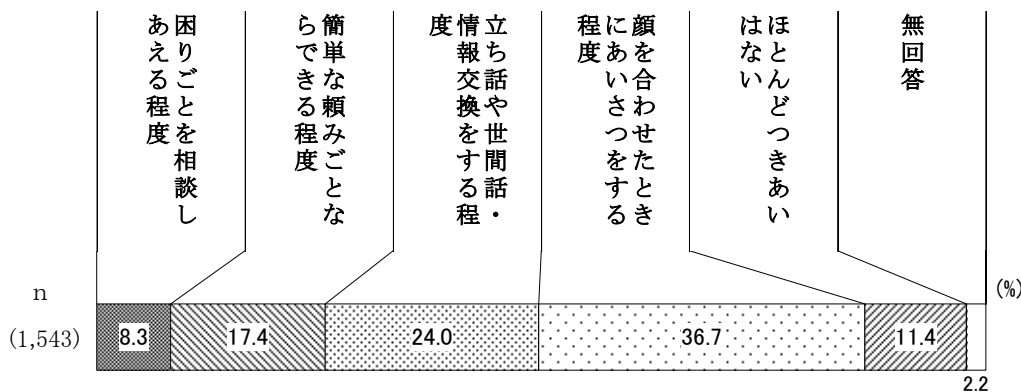


表4-39 性・年代別 隣近所の人との交流の程度

上段：人数／下段：%

	調査数	困りごとを相談しあえる程度	簡単な頼みごとならできる程度	立ち話や世間話・情報交換をする程度	顔を合わせたときにあいさつをする程度	ほとんどつきあいはない	無回答
全体	1543	128	268	371	566	176	34
	100.0	8.3	17.4	24.0	36.7	11.4	2.2
問1(1) 性別							
男性	386	16	38	70	171	84	7
	100.0	4.1	9.8	18.1	44.3	21.8	1.8
女性	1051	103	221	281	352	74	20
	100.0	9.8	21.0	26.7	33.5	7.0	1.9
問1(2) 年齢							
65～69歳	416	25	70	99	163	55	4
	100.0	6.0	16.8	23.8	39.2	13.2	1.0
70～74歳	407	40	63	101	151	40	12
	100.0	9.8	15.5	24.8	37.1	9.8	2.9
75～79歳	324	28	62	78	119	31	6
	100.0	8.6	19.1	24.1	36.7	9.6	1.9
80～84歳	227	18	46	63	69	26	5
	100.0	7.9	20.3	27.8	30.4	11.5	2.2
85歳以上	126	12	23	21	51	16	3
	100.0	9.5	18.3	16.7	40.5	12.7	2.4

表4-40 経年比較 隣近所の人との交流の程度

	調査数	困りごとを相談しあえる程度	簡単な頼みごとならできる程度	立ち話や世間話・情報交換をする程度	顔を合わせたときにあいさつをする程度	ほとんどつきあいはない	無回答
平成19年	929人	7.1	20.1	24.8	36.6	7.9	3.6
平成22年	1,543人	8.3	17.4	24.0	36.7	11.4	2.2

問21 隣近所の人との交流について、今後はどのようにしたいですか。(〇は1つだけ)

今後の隣近所の人との交流意向をみると、「今のままでよい」が47.8%で最も多く、これに「顔を合わせたときにあいさつをする程度にしたい」(14.6%)、「簡単な頼みごとならのできる程度にしたい」(14.5%)が次いでいます。

図4-34 隣近所の人との交流についての今後の意向

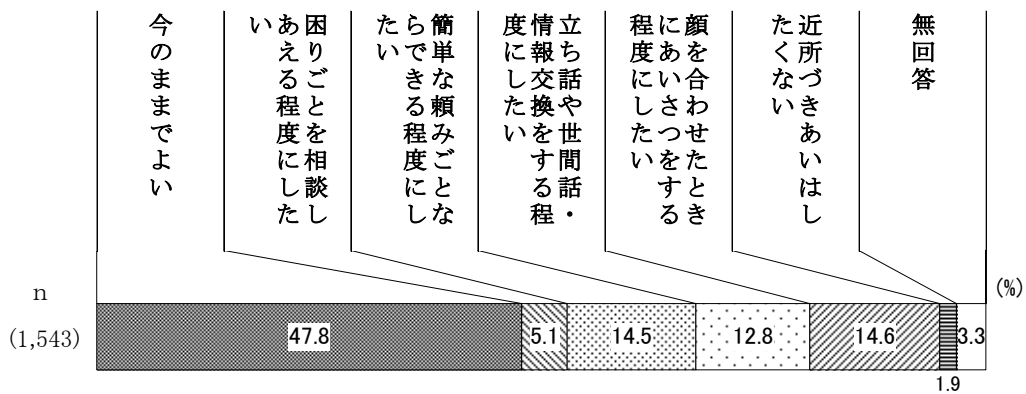


表4-41 性・年代別 隣近所の人との交流についての今後の意向

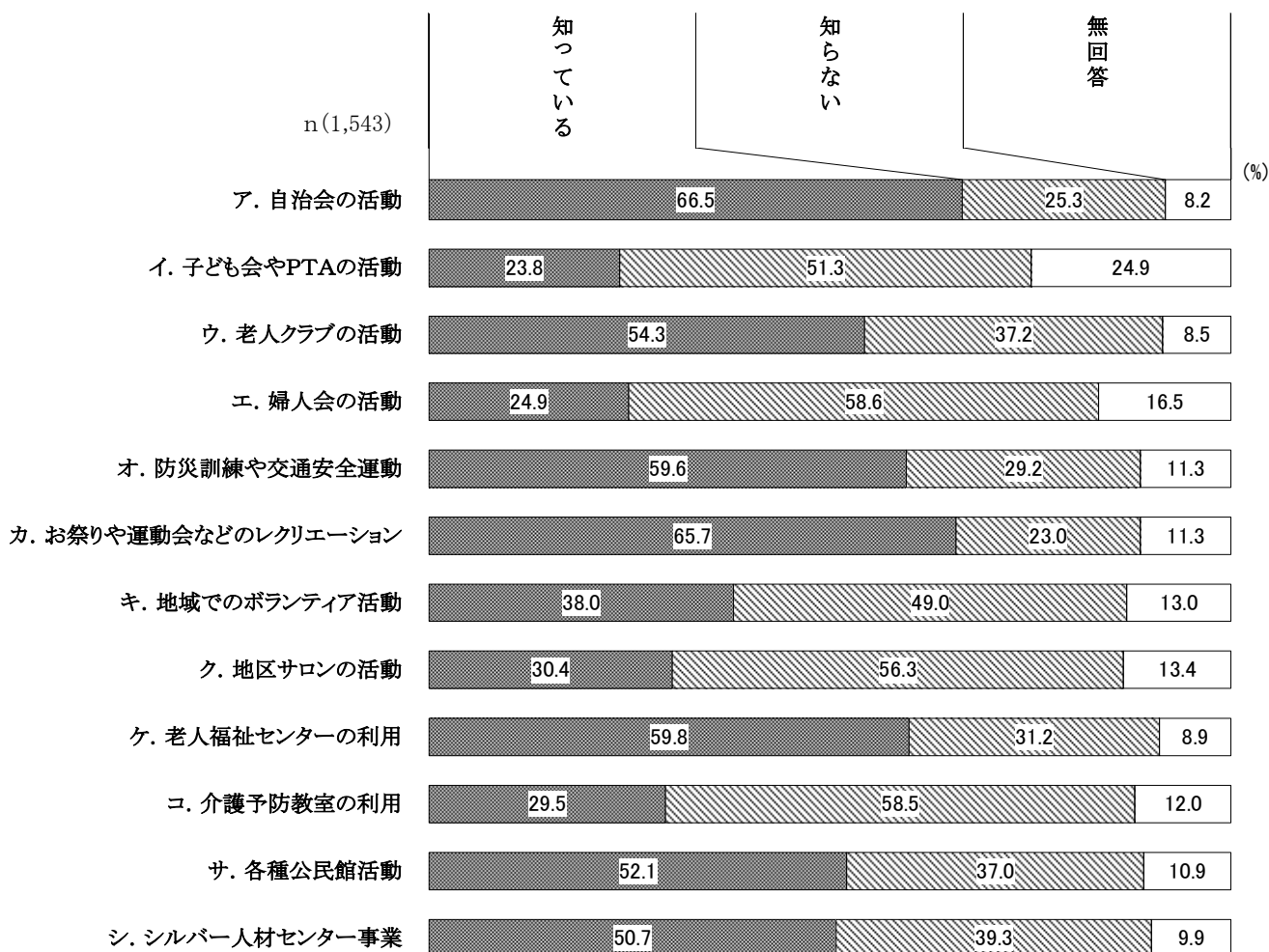
上段：人数／下段：%

	調査数	今のままでよい	困りごとを相談したい	簡単な頼みごとならのできる程度にしたい	立ち話や世間話・情報交換をする程度にしたい	顔を合わせたときにあいさつをする程度にしたい	近所づきあいはいはしたくない	無回答
全体	1543	737	79	224	198	225	29	51
	100.0	47.8	5.1	14.5	12.8	14.6	1.9	3.3
問1(1) 性別								
男性	386	165	15	61	52	67	15	11
	100.0	42.7	3.9	15.8	13.5	17.4	3.9	2.8
女性	1051	528	58	155	131	137	12	30
	100.0	50.2	5.5	14.7	12.5	13.0	1.1	2.9
問1(2) 年齢								
65～69歳	416	190	23	67	55	60	13	8
	100.0	45.7	5.5	16.1	13.2	14.4	3.1	1.9
70～74歳	407	193	24	54	56	58	5	17
	100.0	47.4	5.9	13.3	13.8	14.3	1.2	4.2
75～79歳	324	160	15	49	42	51	1	6
	100.0	49.4	4.6	15.1	13.0	15.7	0.3	1.9
80～84歳	227	114	11	33	26	30	4	9
	100.0	50.2	4.8	14.5	11.5	13.2	1.8	4.0
85歳以上	126	55	6	17	17	19	5	7
	100.0	43.7	4.8	13.5	13.5	15.1	4.0	5.6

問22 あなたは、お住まいの地域のいろいろな行事や活動等を知っていますか。
 また、どの程度参加（利用）していますか。
 （ア～シの各項目ごとに、周知状況について○を1つ、「知っている」とお答えの方は、
 右側の参加状況に○を1つだけつけてください。）

地域活動の周知度では、「自治会の活動」が66.5%で最も多く、以下「お祭りや運動会などのレクリエーション」（65.7%）、「老人福祉センター（Uセンター）の利用」（59.8%）、「防災訓練や交通安全運動」（59.6%）、「老人クラブの活動」（54.3%）の順で続いています。

図4-35 地域の行事等の周知状況



地域活動の参加状況をみると、周知度の高いものほど参加状況もよくなる傾向があり、「自治会の活動」は、「よく参加している」(10.8%)、「時々参加している」(33.6%)を合わせた【参加している】は44.4%、以下【参加している】は、「各種公民館活動」(37.5%)、「お祭りや運動会などのレクリエーション」(36.8%)となっています。一方、「シルバー人材センター事業」は、周知度が高い割には参加率は低くなっています。

図4-36 地域の行事等の参加状況

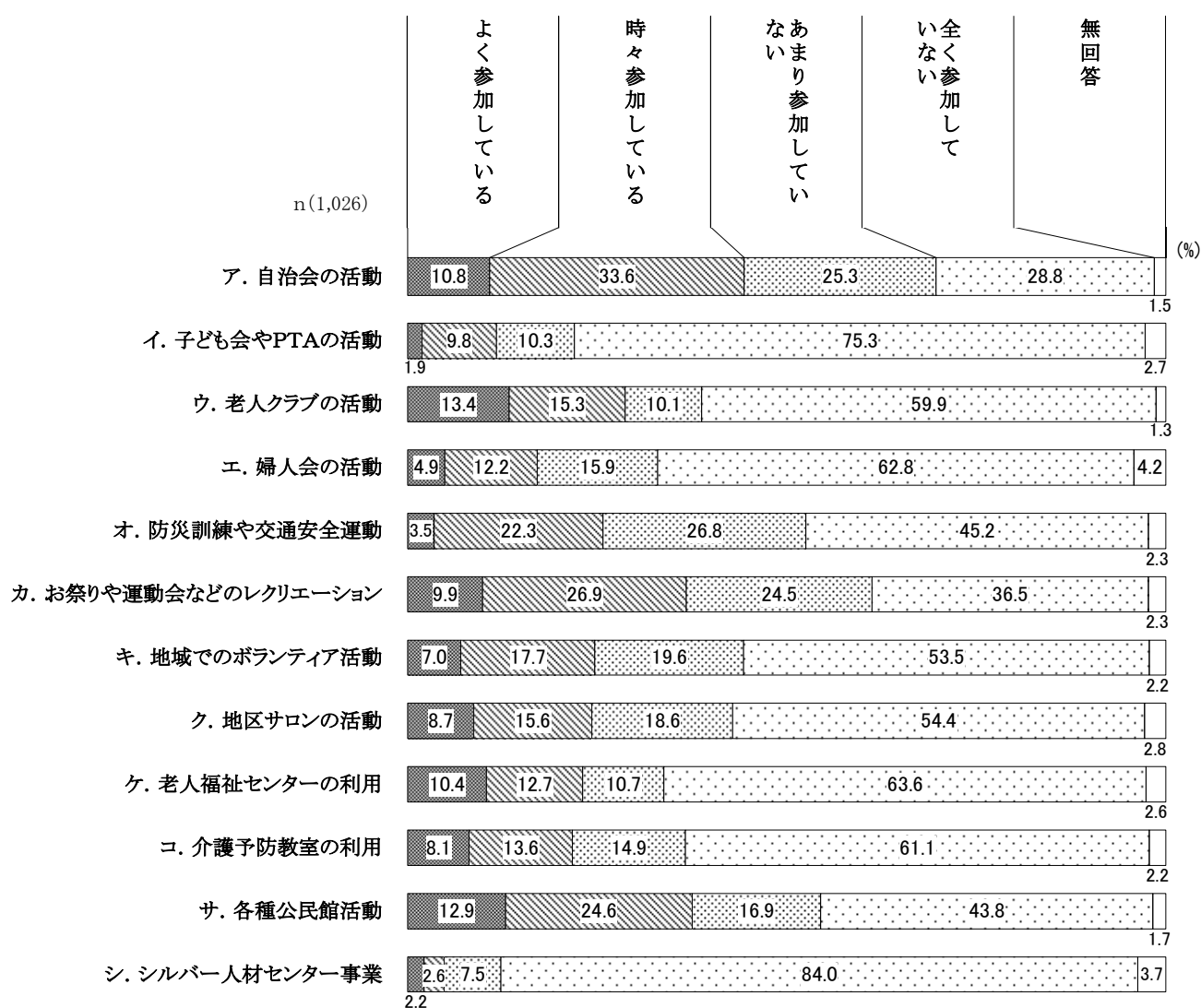


表4-42 経年比較 地域の行事等の周知状況と参加状況

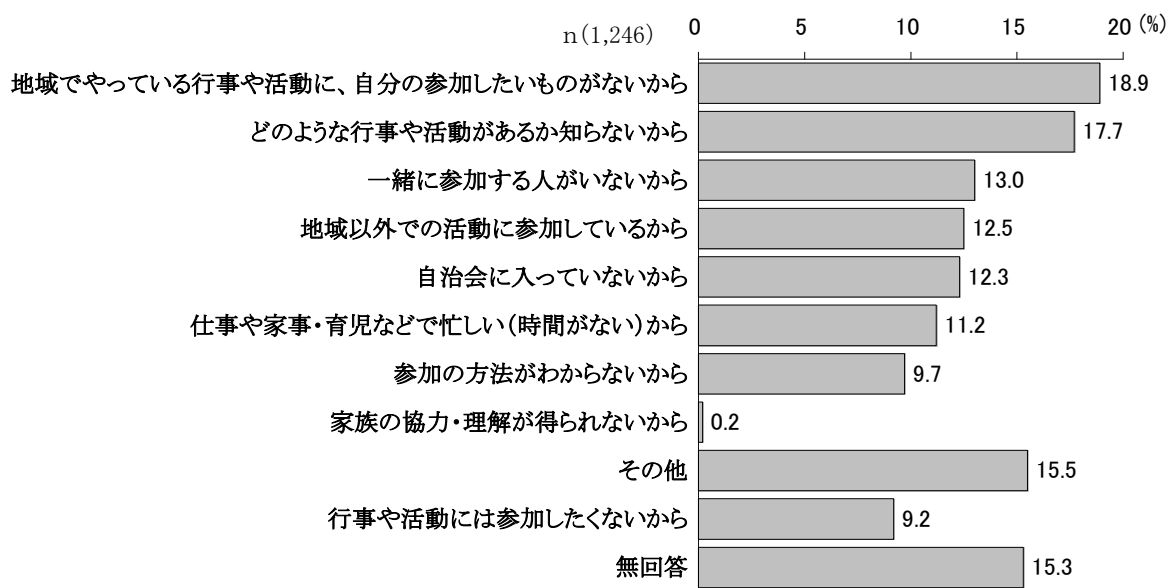
周知状況					参加状況					
	調査数	知っている	知らない	無回答	調査数	よく参加している	時々参加している	あまり参加していない	全く参加していない	無回答
ア. 自治会の活動					ア. 自治会の活動					
平成19年	929人	65.9	22.4	11.7	612人	12.4	35.0	23.2	27.0	2.5
平成22年	1,543人	66.5	25.3	8.2	1,026人	10.8	33.6	25.3	28.8	1.5
イ. 子ども会やPTAの活動					イ. 子ども会やPTAの活動					
平成19年	929人	24.2	45.4	30.4	225人	0.9	10.2	9.8	77.3	1.8
平成22年	1,543人	23.8	51.3	24.9	368人	1.9	9.8	10.3	75.3	2.7
ウ. 老人クラブの活動					ウ. 老人クラブの活動					
平成19年	929人	53.6	33.2	13.2	498人	15.3	15.7	9.0	59.2	0.8
平成22年	1,543人	54.3	37.2	8.5	838人	13.4	15.3	10.1	59.9	1.3
エ. 婦人会の活動					エ. 婦人会の活動					
平成19年	929人	24.1	55.3	20.6	224人	3.6	14.3	11.6	68.3	2.2
平成22年	1,543人	24.9	58.6	16.5	384人	4.9	12.2	15.9	62.8	4.2
オ. 防災訓練や交通安全運動					オ. 防災訓練や交通安全運動					
平成19年	929人	57.8	27.2	15.0	537人	3.9	25.3	25.0	44.1	1.7
平成22年	1,543人	59.6	29.2	11.3	919人	3.5	22.3	26.8	45.2	2.3
カ. お祭りなどのレクリエーション					カ. お祭りなどのレクリエーション					
平成19年	929人	65.0	20.8	14.2	604人	10.3	28.3	23.7	36.3	1.5
平成22年	1,543人	65.7	23.0	11.3	1,013人	9.9	26.9	24.5	36.5	2.3
キ. 地域でのボランティア活動					キ. 地域でのボランティア活動					
平成19年	929人	40.4	43.9	15.7	375人	8.8	14.9	19.5	54.9	1.9
平成22年	1,543人	38.0	49.0	13.0	587人	7.0	17.7	19.6	53.5	2.2
ク. 地区サロンの活動					ク. 地区サロンの活動					
平成19年	929人	29.8	53.9	16.3	277人	10.5	21.7	16.2	50.2	1.4
平成22年	1,543人	30.4	56.3	13.4	469人	8.7	15.6	18.6	54.4	2.8
ケ. 老人福祉センターの利用					ケ. 老人福祉センターの利用					
平成19年	929人	60.0	28.0	12.1	557人	12.4	9.2	9.2	66.4	2.9
平成22年	1,543人	59.8	31.2	8.9	923人	10.4	12.7	10.7	63.6	2.6
コ. 介護予防教室の利用					コ. 介護予防教室の利用					
平成19年	929人	26.3	59.0	14.7	244人	11.1	9.8	13.5	63.9	1.6
平成22年	1,543人	29.5	58.5	12.0	455人	8.1	13.6	14.9	61.1	2.2
サ. 各種公民館活動					サ. 各種公民館活動					
平成19年	929人	52.0	33.9	14.1	483人	17.6	26.9	14.3	40.2	1.0
平成22年	1,543人	52.1	37.0	10.9	804人	12.9	24.6	16.9	43.8	1.7
シ. シルバー人材センター事業					シ. シルバー人材センター事業					
平成19年	929人	50.6	34.9	14.5	470人	3.4	4.7	4.9	83.8	3.2
平成22年	1,543人	50.7	39.3	9.9	783人	2.2	2.6	7.5	84.0	3.7

《問22のア～シの参加状況で、「3 あまり参加していない」「4 全く参加していない」に1つでも○をつけた方にお伺いします》

問22-1 参加していない理由をお答えください。(○は3つまで)

参加していない理由は、「地域でやっている行事や活動に、自分の参加したいものがないから」(18.9%)と「どのような行事や活動があるか知らないから」(17.7%)が、多くなっています。

図4-37 参加していない理由



問23 一週間のうち外出することはどのくらいありますか。(〇は1つだけ)

外出頻度をみると、「ほとんど毎日」が43.3%で最も多く、これに「週に3日、4日」が37.2%で次いでいます。一方、「ほとんど外出しない」は3.6%となっています。

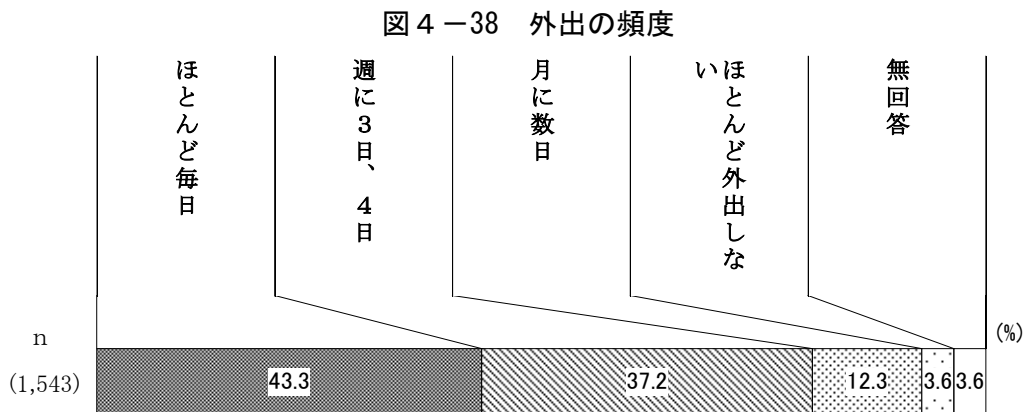


表4-43 性・年代別 外出の頻度

	調査数	ほとんど毎日	週に3日、4日	月に数日	ほとんど外出しない	無回答
全体	1543	668	574	190	56	55
	100.0	43.3	37.2	12.3	3.6	3.6
問1(1) 性別						
男性	386	198	110	42	20	16
	100.0	51.3	28.5	10.9	5.2	4.1
女性	1051	435	421	133	33	29
	100.0	41.4	40.1	12.7	3.1	2.8
問1(2) 年齢						
65～69歳	416	223	137	35	13	8
	100.0	53.6	32.9	8.4	3.1	1.9
70～74歳	407	195	142	46	11	13
	100.0	47.9	34.9	11.3	2.7	3.2
75～79歳	324	126	128	47	11	12
	100.0	38.9	39.5	14.5	3.4	3.7
80～84歳	227	77	104	29	9	8
	100.0	33.9	45.8	12.8	4.0	3.5
85歳以上	126	27	50	28	12	9
	100.0	21.4	39.7	22.2	9.5	7.1

上段：人数／下段：%

表4-44 経年比較 外出の頻度

	調査数	ほとんど毎日	週に3日、4日	月に数日	ほとんど外出しない	無回答
平成19年	929人	42.4	37.0	11.7	2.3	6.6
平成22年	1,543人	43.3	37.2	12.3	3.6	3.6

問24 高齢者が家に閉じこもることは、寝たきりや認知症になりやすいといわれていますが、あなたはこのことをご存知ですか。(〇は1つだけ)

家に閉じこもることは寝たきりや認知症になりやすいということを「知っている」は89.9%と9割近くに達しています。

図4-39 高齢者の閉じこもりは寝たきり等になりやすい

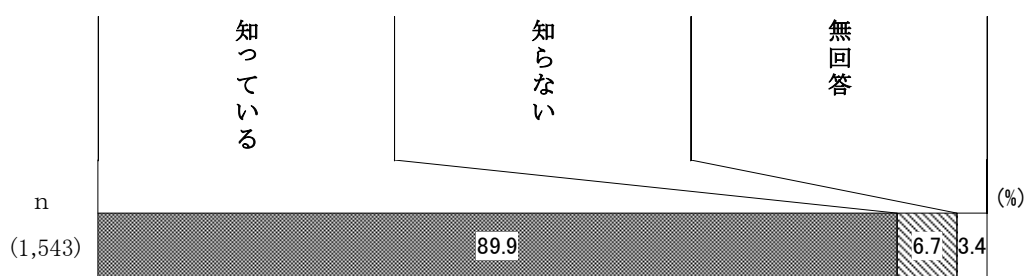


表4-45 性・年代別 高齢者の閉じこもりは寝たきり等になりやすい

上段：人数／下段：%

	調査数	知っている	知らない	無回答
全体	1543 100.0	1387 89.9	103 6.7	53 3.4
問1(1) 性別				
男性	386 100.0	325 84.2	50 13.0	11 2.8
女性	1051 100.0	977 93.0	45 4.3	29 2.8
問1(2) 年齢				
65～69歳	416 100.0	368 88.5	42 10.1	6 1.4
70～74歳	407 100.0	369 90.7	26 6.4	12 2.9
75～79歳	324 100.0	296 91.4	13 4.0	15 4.6
80～84歳	227 100.0	208 91.6	11 4.8	8 3.5
85歳以上	126 100.0	111 88.1	9 7.1	6 4.8

表4-46 経年比較 高齢者の閉じこもりは寝たきり等になりやすい

	調査数	知っている	知らない	無回答
平成19年	929人	86.3	7.2	6.5
平成22年	1,543人	89.9	6.7	3.4

問25 あなたが、現在生きがいを感じることはどんなことですか。また、今後やりたいことはどんなことですか。

(ア) 生きがいを感じること (あてはまるものすべてに○)

生きがいを感じることは、「子どもや孫の成長を見守ること」が41.9%で最も多く、以下「趣味の活動」(28.1%)、「以前の職場や仕事関係の友人とのつきあい」(22.0%)の順で続いています。

図4-40 生きがいを感じること

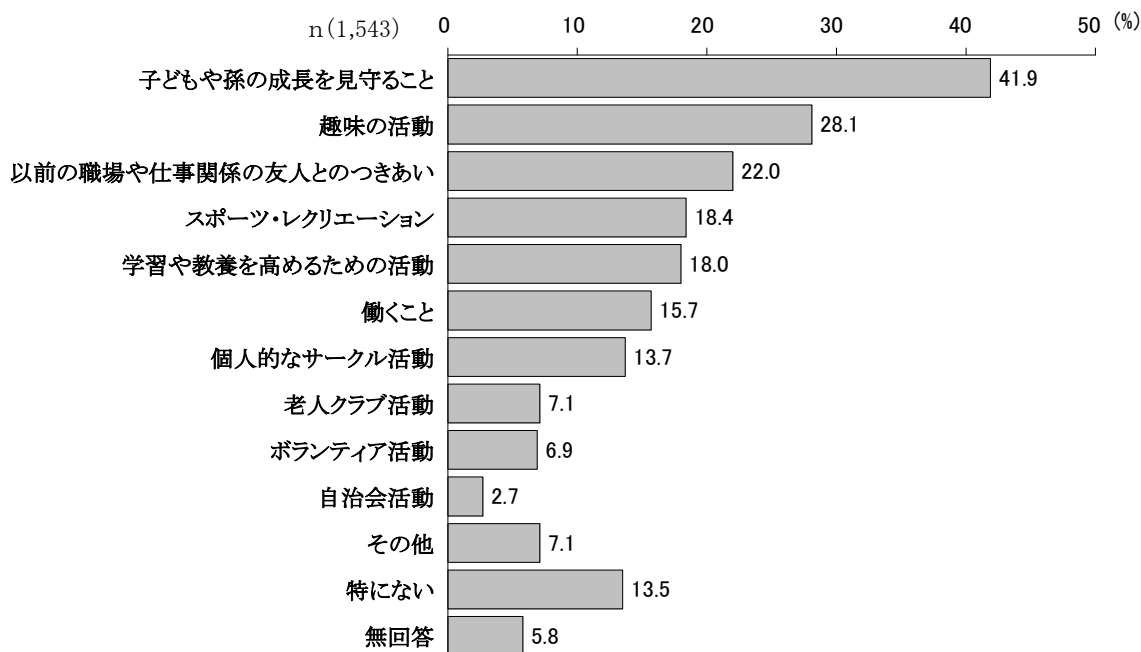


表4-47 性・年代別 生きがいを感じること

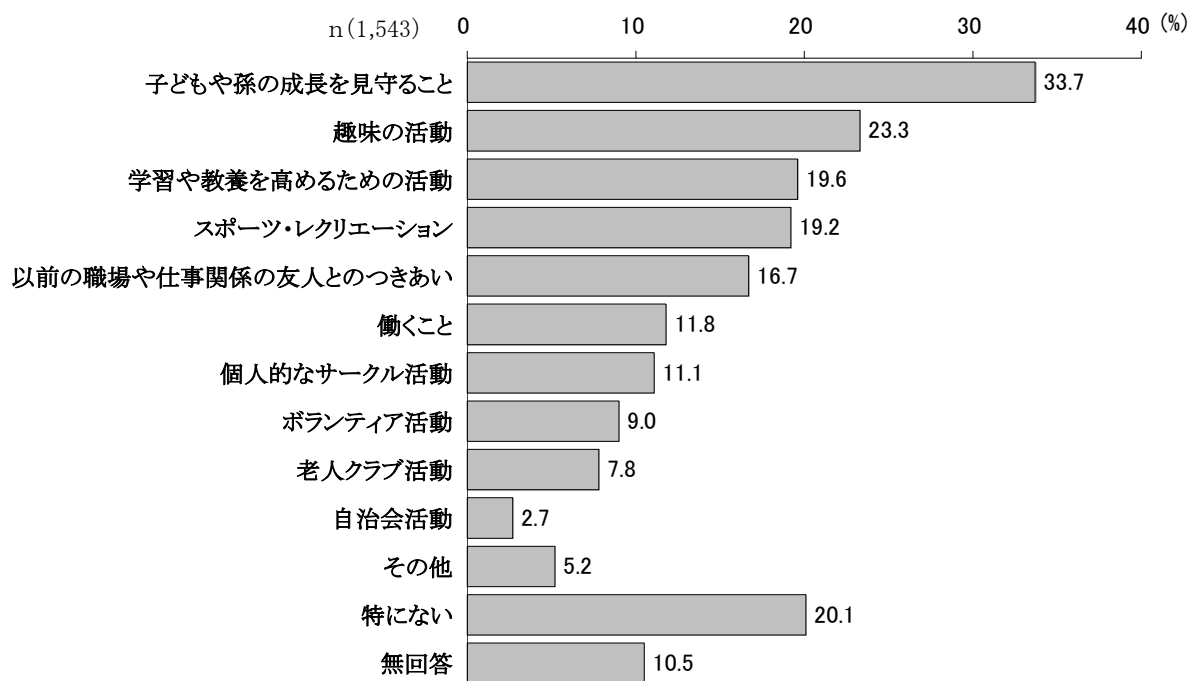
上段：人数/下段：%

	調査数	子どもや孫の成長を見守ること	趣味の活動	以前の職場や仕事関係の友人とのつきあい	スポーツ・レクリエーション	学習や教養を高めるための活動	働くこと	個人的なサークル活動	老人クラブ活動	ボランティア活動	自治会活動	その他	特にない	無回答
全体	1543	647	434	340	284	277	242	211	110	107	42	109	208	90
	100.0	41.9	28.1	22.0	18.4	18.0	15.7	13.7	7.1	6.9	2.7	7.1	13.5	5.8
問1(1) 性別														
男性	386	125	87	90	87	69	83	31	16	24	14	18	64	24
	100.0	32.4	22.5	23.3	22.5	17.9	21.5	8.0	4.1	6.2	3.6	4.7	16.6	6.2
女性	1051	490	322	234	178	195	141	172	85	76	26	87	131	49
	100.0	46.6	30.6	22.3	16.9	18.6	13.4	16.4	8.1	7.2	2.5	8.3	12.5	4.7
問1(2) 年齢														
65~69歳	416	170	127	113	117	100	125	61	8	41	13	23	42	13
	100.0	40.9	30.5	27.2	28.1	24.0	30.0	14.7	1.9	9.9	3.1	5.5	10.1	3.1
70~74歳	407	178	127	107	86	76	58	68	23	34	11	26	41	21
	100.0	43.7	31.2	26.3	21.1	18.7	14.3	16.7	5.7	8.4	2.7	6.4	10.1	5.2
75~79歳	324	150	79	64	50	51	26	35	39	18	8	22	48	23
	100.0	46.3	24.4	19.8	15.4	15.7	8.0	10.8	12.0	5.6	2.5	6.8	14.8	7.1
80~84歳	227	95	67	38	19	34	19	30	26	10	7	22	35	13
	100.0	41.9	29.5	16.7	8.4	15.0	8.4	13.2	11.5	4.4	3.1	9.7	15.4	5.7
85歳以上	126	42	24	15	6	7	8	9	11	1	-	15	37	8
	100.0	33.3	19.0	11.9	4.8	5.6	6.3	7.1	8.7	0.8	-	11.9	29.4	6.3

(イ) 今後やりたいこと (あてはまるものすべてに○)

今後やりたいことは、「子どもや孫の成長を見守ること」が33.7%で最も多く、これに「趣味の活動」が23.3%で次いでいます。

図4-41 今後やりたいこと



7. 日常生活で困っていることや将来の不安について

問26 日常生活を送る中で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

日常生活の中で困ることとしては、「自分や家族の健康状態のこと」が18.9%で最も多く、以下「住まいのこと」(12.2%)、「防犯、防災のこと」(11.1%)の順で続いています。

図4-42 日常生活で困っていること

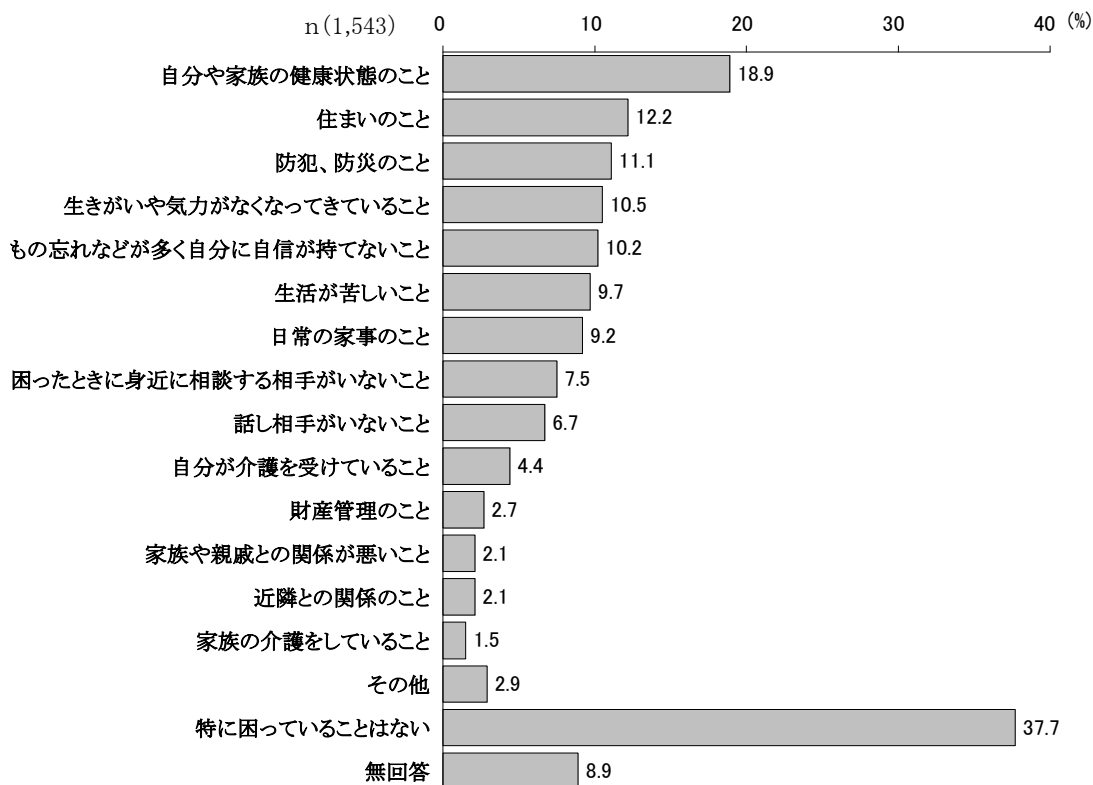


表4-48 性・年代別 日常生活で困っていること

上段：人数／下段：%

	調査数	自分や家族の健康状態のこと	住まいのこと	防犯、防災のこと	生きがいや気力がなくなっていること	もの忘れなどが多く自分に自信が持てないこと	生活が苦しいこと	日常の家事のこと	困ったときに身近に相談する相手がいないこと	話し相手がいないこと	自分が介護を受けていること	財産管理のこと	家族や親戚との関係が悪いこと	近隣との関係のこと	家族の介護をしていること	その他	特に困っていることはない	無回答
全体	1543	291	188	171	162	158	149	142	116	103	68	41	32	33	23	44	581	137
問1(1)性別																		
男性	386	64	55	24	36	24	53	51	31	43	14	12	9	5	7	10	137	39
	100.0	16.6	14.2	6.2	9.3	6.2	13.7	13.2	8.0	11.1	3.6	3.1	2.3	1.3	1.8	2.6	35.5	10.1
女性	1051	210	114	140	117	122	80	82	74	52	52	27	21	25	14	33	414	83
	100.0	20.0	10.8	13.3	11.1	11.6	7.6	7.8	7.0	4.9	4.9	2.6	2.0	2.4	1.3	3.1	39.4	7.9
問1(2)年齢																		
65～69歳	416	64	53	33	36	18	45	30	33	18	9	16	11	9	8	13	181	32
	100.0	15.4	12.7	7.9	8.7	4.3	10.8	7.2	7.9	4.3	2.2	3.8	2.6	2.2	1.9	3.1	43.5	7.7
70～74歳	407	92	59	59	42	34	54	30	35	35	9	9	11	11	6	12	140	33
	100.0	22.6	14.5	14.5	10.3	8.4	13.3	7.4	8.6	8.6	2.2	2.2	2.7	2.7	1.5	2.9	34.4	8.1
75～79歳	324	61	43	42	30	35	31	28	20	20	15	5	2	5	3	7	122	30
	100.0	18.8	13.3	13.0	9.3	10.8	9.6	8.6	6.2	6.2	4.6	1.5	0.6	1.5	0.9	2.2	37.7	9.3
80～84歳	227	51	17	23	31	41	12	31	19	21	19	8	4	6	4	8	82	19
	100.0	22.5	7.5	10.1	13.7	18.1	5.3	13.7	8.4	9.3	8.4	3.5	1.8	2.6	1.8	3.5	36.1	8.4
85歳以上	126	18	11	10	20	27	3	20	6	8	16	2	1	-	1	3	43	13
	100.0	14.3	8.7	7.9	15.9	21.4	2.4	15.9	4.8	6.3	12.7	1.6	0.8	-	0.8	2.4	34.1	10.3

問27 将来について何か不安はありますか。(あてはまるものすべてに○)

将来についての不安は、「病気になること」が63.3%で最も多く、以下「加齢により身体機能が低下すること」(62.3%)、「加齢により物忘れがひどくなったり、認知症になること」(47.7%)の順で続いています。

図4-43 将来についての不安

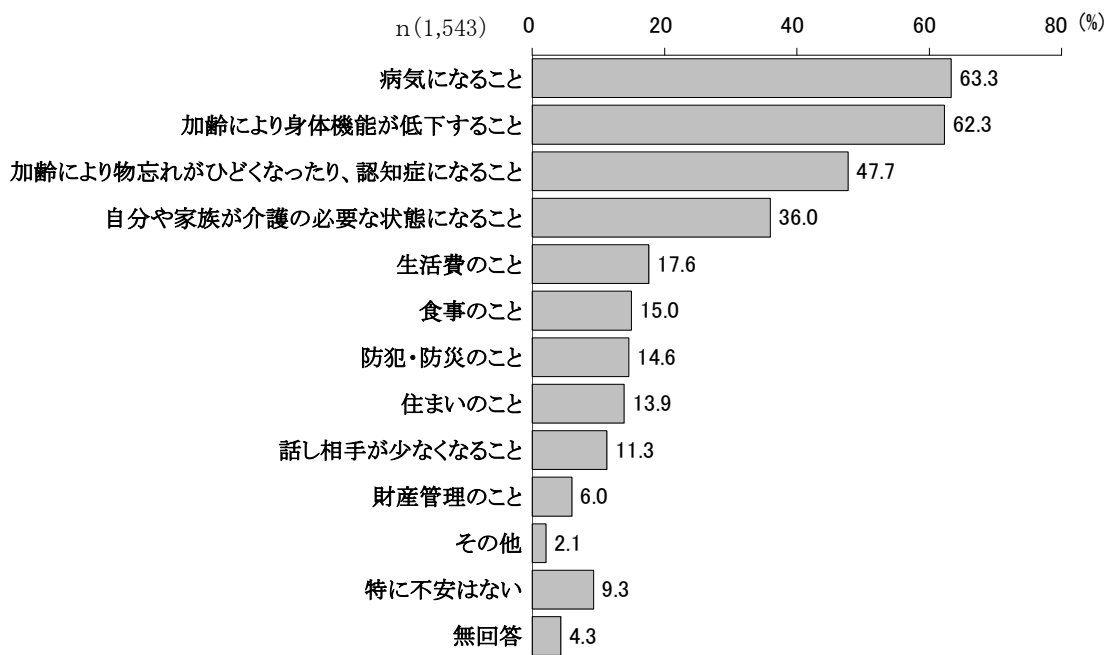


表4-49 性・年代別 将来についての不安

上段：人数/下段：%

	調査数	病気になること	低加齢により身体機能が低下すること	にど加齢により物忘れがひどくなったり、認知症になること	要自分や家族が介護の必要な状態になること	生活費のこと	食事のこと	防犯・防災のこと	住まいのこと	話し相手が少なくなること	財産管理のこと	その他	特に不安はない	無回答
全体	1543	977	961	736	555	271	231	225	215	174	92	33	143	66
	100.0	63.3	62.3	47.7	36.0	17.6	15.0	14.6	13.9	11.3	6.0	2.1	9.3	4.3
問1(1)性別														
男性	386	224	206	138	131	68	69	24	59	29	19	9	47	23
	100.0	58.0	53.4	35.8	33.9	17.6	17.9	6.2	15.3	7.5	4.9	2.3	12.2	6.0
女性	1051	696	697	559	396	181	148	193	138	134	69	23	84	34
	100.0	66.2	66.3	53.2	37.7	17.2	14.1	18.4	13.1	12.7	6.6	2.2	8.0	3.2
問1(2)年齢														
65~69歳	416	281	248	198	157	87	57	51	62	42	36	8	44	13
	100.0	67.5	59.6	47.6	37.7	20.9	13.7	12.3	14.9	10.1	8.7	1.9	10.6	3.1
70~74歳	407	268	261	196	168	88	63	74	71	51	19	11	26	20
	100.0	65.8	64.1	48.2	41.3	21.6	15.5	18.2	17.4	12.5	4.7	2.7	6.4	4.9
75~79歳	324	192	192	140	111	48	49	46	46	30	12	4	40	14
	100.0	59.3	59.3	43.2	34.3	14.8	15.1	14.2	14.2	9.3	3.7	1.2	12.3	4.3
80~84歳	227	140	156	124	74	24	38	31	23	32	16	5	17	9
	100.0	61.7	68.7	54.6	32.6	10.6	16.7	13.7	10.1	14.1	7.0	2.2	7.5	4.0
85歳以上	126	71	82	56	35	14	18	17	8	14	4	3	12	4
	100.0	56.3	65.1	44.4	27.8	11.1	14.3	13.5	6.3	11.1	3.2	2.4	9.5	3.2

問28 あなたは普段、悩みや困ったことがあった場合、相談する人がいますか。(○は1つだけ)

悩みや困ったことを相談できる相手が「いる」は83.3%、「いない」は11.5%となっています。

図4-44 悩みや困ったことを相談する人の有無

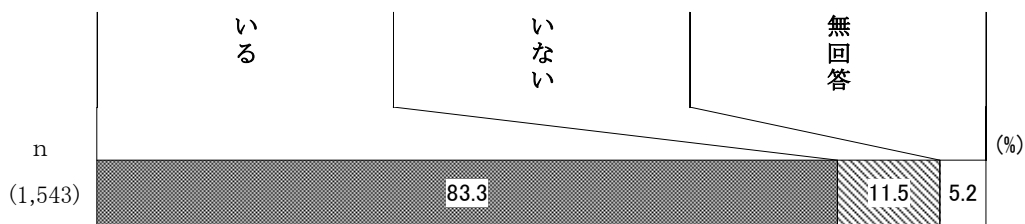


表4-50 性・年代別 悩みや困ったことを相談する人の有無

	調査数	いる	いない	無回答
全体	1543 100.0	1285 83.3	177 11.5	81 5.2
問1(1) 性別				
男性	386 100.0	277 71.8	82 21.2	27 7.0
女性	1051 100.0	929 88.4	78 7.4	44 4.2
問1(2) 年齢				
65～69歳	416 100.0	350 84.1	55 13.2	11 2.6
70～74歳	407 100.0	330 81.1	53 13.0	24 5.9
75～79歳	324 100.0	273 84.3	34 10.5	17 5.2
80～84歳	227 100.0	194 85.5	18 7.9	15 6.6
85歳以上	126 100.0	110 87.3	8 6.3	8 6.3

上段：人数／下段：%

表4-51 経年比較 悩みや困ったことを相談する人の有無

	調査数	いる	いない	無回答
平成19年	929人	71.9	19.7	8.4
平成22年	1,543人	83.3	11.5	5.2

(%)

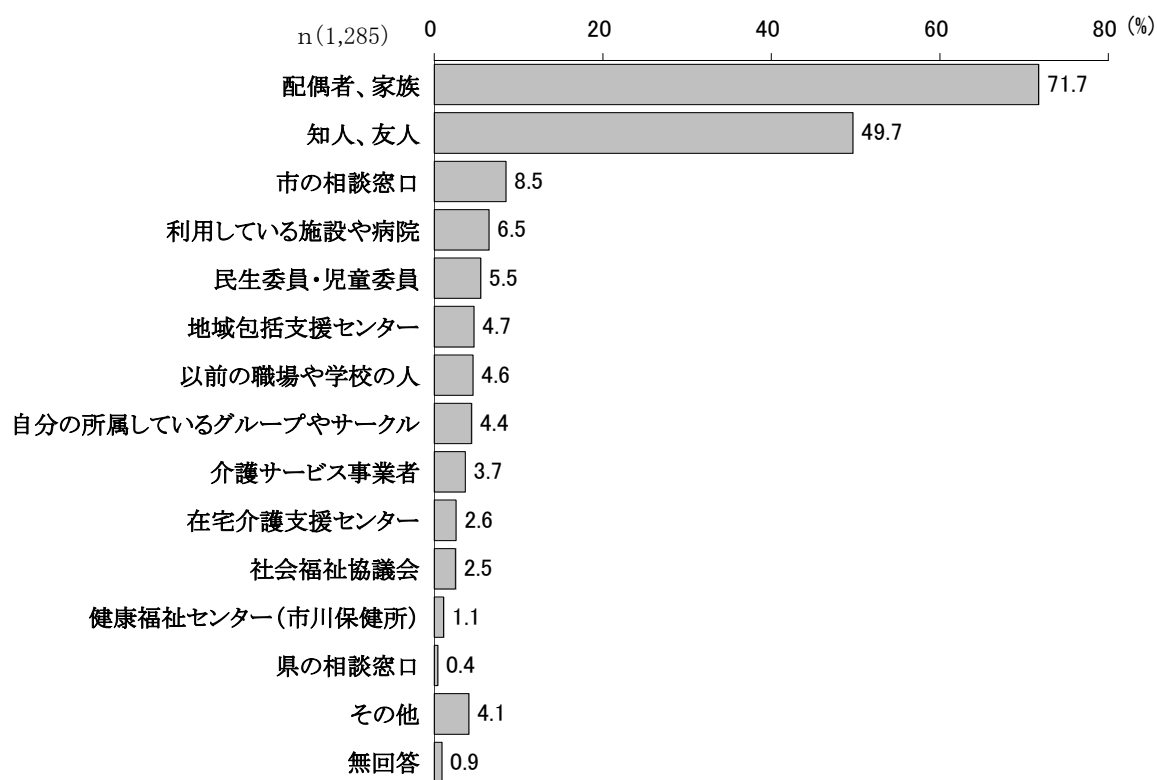
《問28で「1 いる」とお答えの方にお伺いします》

問28-1 あなたは普段、悩みや困ったことをだれ（どこ）に相談しますか。

（あてはまるものすべてに○）

悩みや困ったことを相談できる相手がいる人に、それは誰かきいたところ、「配偶者、家族」が71.7%で最も多く、これに「知人、友人」が49.7%で次いでいます。

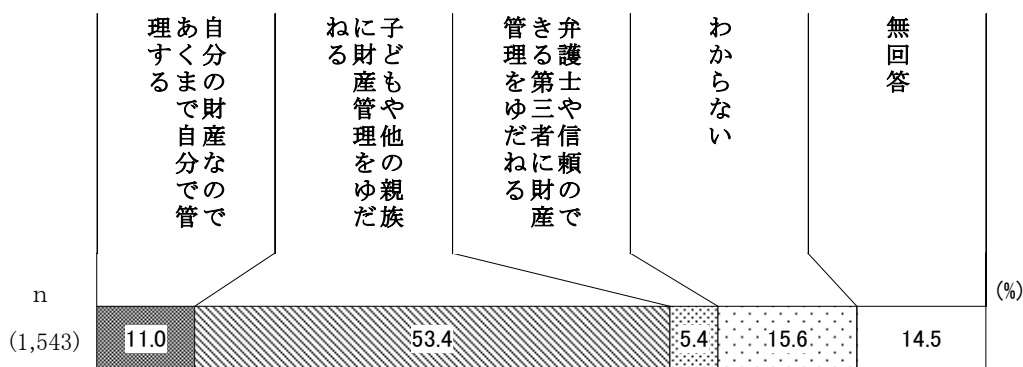
図4-45 悩みや困ったことの相談相手



問29 万一、認知症になるなど、高齢化に伴って財産の適正な管理や活用に不安が生じた場合、あなたはどのようにしたいと思いますか。(〇は1つだけ)

財産の適正な管理や活用に不安が生じた場合、対応としては、「子どもや他の親族に財産管理をゆだねる」が53.4%と5割を超えています。

図4-46 高齢化に伴う財産管理の意向



8. 保健・福祉サービスの利用状況や利用意向について

問30 市では、次のような保健・福祉サービスを行っていますが、あなたはそのサービスをご存知ですか。また現在の利用状況と今後の利用意向についてお伺いします。（各項目〇はそれぞれ1つずつ）

調査票に記載されている保健・福祉サービスの詳しい内容です。

グラフには省略して表記しています。

ア.	健康診査の検査結果などが記録できる健康手帳を無料で交付しています。
イ.	健康維持、生活習慣病の予防のために、糖尿病、高脂血症、骨粗しょう症などの教室（健康教育）やウォーキング等を行っています。
ウ.	身体や心の悩み不安など、保健師・栄養士・歯科衛生士等が相談（健康チェック）や訪問を行っています。
エ.	生活習慣病やがんなどの予防・早期発見のため健康診査（特定健診・がん検診）を行っています。
オ.	介護や介護予防など高齢者の総合的な相談機関として、地域包括支援センターや在宅介護支援センターが設置されています。
カ.	高齢になっても健康でいきいきとした生活をおくるためには、病気の予防だけでなく老化のサインをいち早く発見し、適切な対応を行うことが大切です。そこで65歳以上の方で介護予防の必要性が高い方を早期に発見するために、介護予防健診（基本チェックリスト）を実施しています。
キ.	65歳以上の方で介護予防が必要な方に、保健師等が個人の体力や状態に合わせた介護予防事業を紹介しています。
ク.	幅広い方々に介護予防に関する知識を普及するために、パンフレットの作成や出前講座、講演会を開催しています。
ケ.	60歳以上で、歩行の際に常に杖を必要とする方に、黄色い「交通安全杖」を給付しています。
コ.	65歳以上で、市に登録している、はり・きゅう・マッサージ等の施設を利用する方を対象に施設利用券（1回1,000円を助成）を1か月2枚の割合で、年24枚を限度に交付しています。
サ.	65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯及び家族の外出等で一時的に高齢者だけとなる世帯の方に、室内での急病や事故等の緊急時に、ボタンひとつで通報できる機能を持った装置を貸与しています。
シ.	65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯の方に、地域とのコミュニケーションづくりをサポートするためのメール機能付きの電話機を貸与しています。
ス.	65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯で、前年度非課税世帯の方に、住宅用火災警報器の設置費用の一部を助成しています。（上限15,500円）
セ.	65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯の方で、食事の調理が困難な方を対象に1週間につき7日を限度に自宅に夕食を配達します。（1食につき自己負担400円）
ソ.	65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯の方の自宅へ、見守り支援員が訪問（週1回程度）し、話し相手となるとともに、市政情報や高齢者に関する情報を伝えます。
タ.	70歳以上の方に、年1回東京ベイシティ交通の乗車券（5,600円分）を交付しています。
チ.	本市では、介護保険サービスや在宅福祉サービス及び保健・医療サービスの利用方法の説明などを掲載している「高齢者ガイドブック」を市役所や公民館で配布しています
ツ.	65歳以上で、白内障により視力が低下した方が特殊眼鏡またはコンタクトレンズを購入した際の費用の一部を助成しています。
テ.	65歳以上で、難聴のために補聴器の必要があると医師に証明され、身体障害者手帳（聴覚障がい）の交付を受けていない方が補聴器の購入をした際の費用の一部を助成しています。
ト.	65歳以上で、歩行の際に補助を必要とする方がシルバーカーを購入した際の費用の一部を助成しています。

第4章 ひとり暮らし高齢者に関する調査結果

周知度についてみると、「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」が76.9%で最も多く、以下「健康診査（特定健診・がん検診）」（76.6%）、「健康手帳の無料交付」（74.7%）の順で続いています。

図4-47 サービスの周知状況

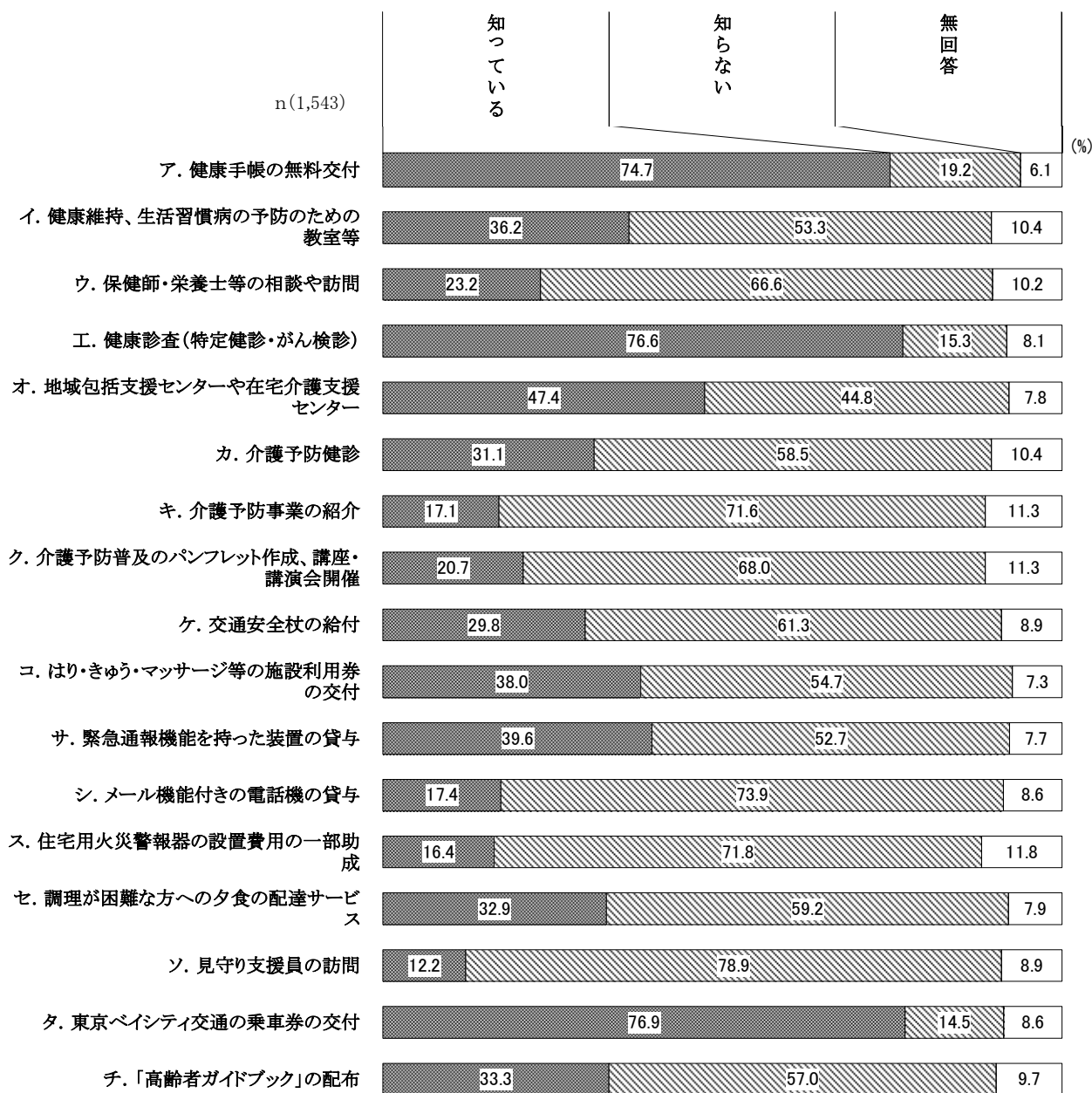
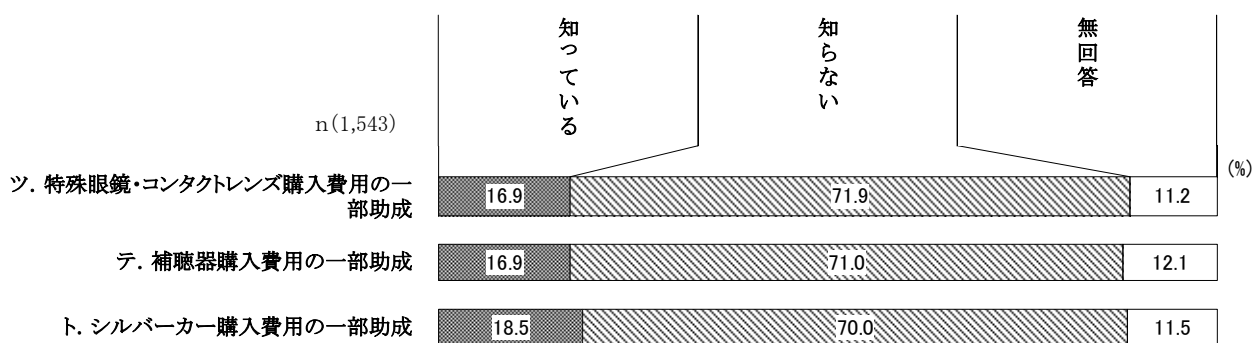


図4-48 サービスの周知状況（1回限りのサービス）



利用状況についてみると、「健康手帳の無料交付」が57.6%で最も高く、以下「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」(56.0%)、「健康診査(特定健診・がん検診)」(44.7%)の順で続いている。

図4-49 サービスの利用状況

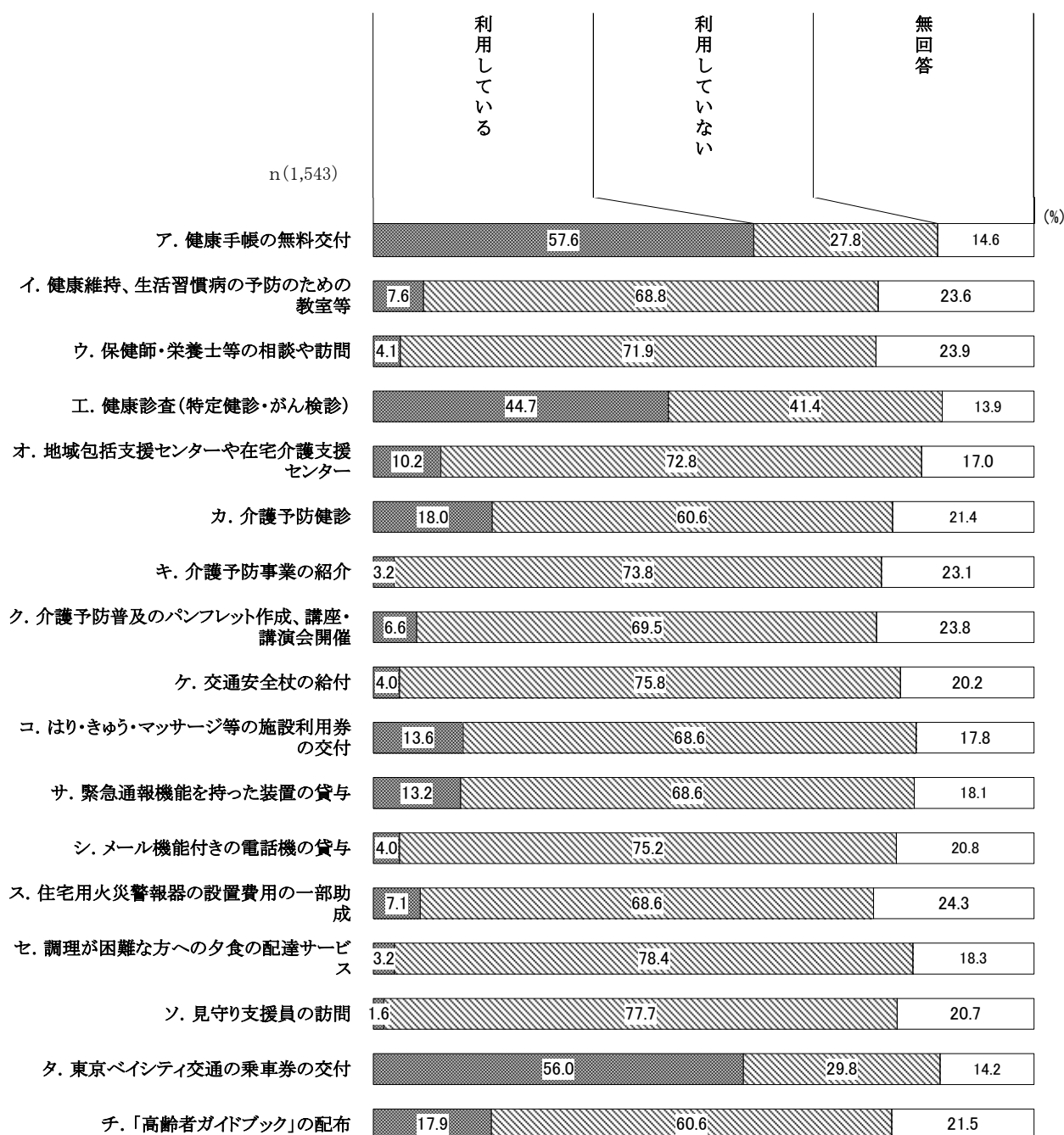
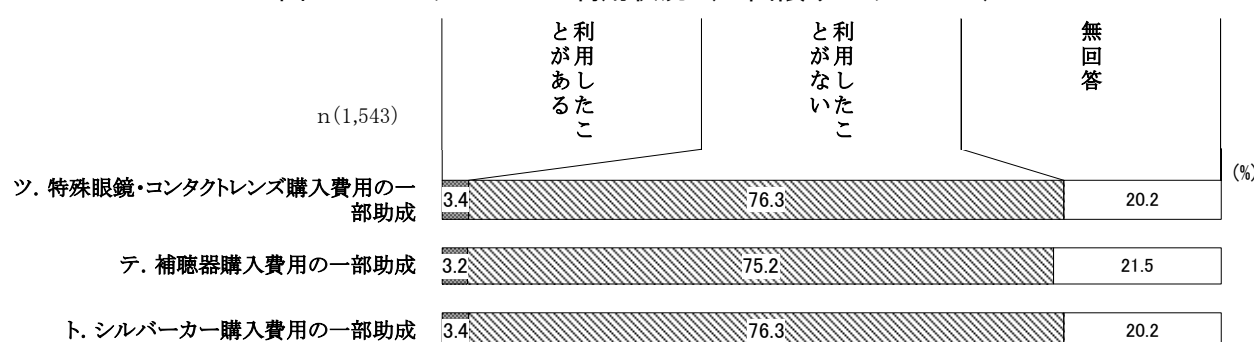


図4-50 サービスの利用状況(1回限りのサービス)



第4章 ひとり暮らし高齢者に関する調査結果

今後の利用意向をみると、「東京ベイシティ交通の乗車券の公布」が62.0%で最も多く、これに「健康手帳の無料交付」が53.8%で次いでおり、周知度や利用度が低いですが、利用意向の高いものも「特殊眼鏡など購入費用の一部助成」と「補聴器購入費用の一部助成」があげられます。

図4-51 サービスの利用意向

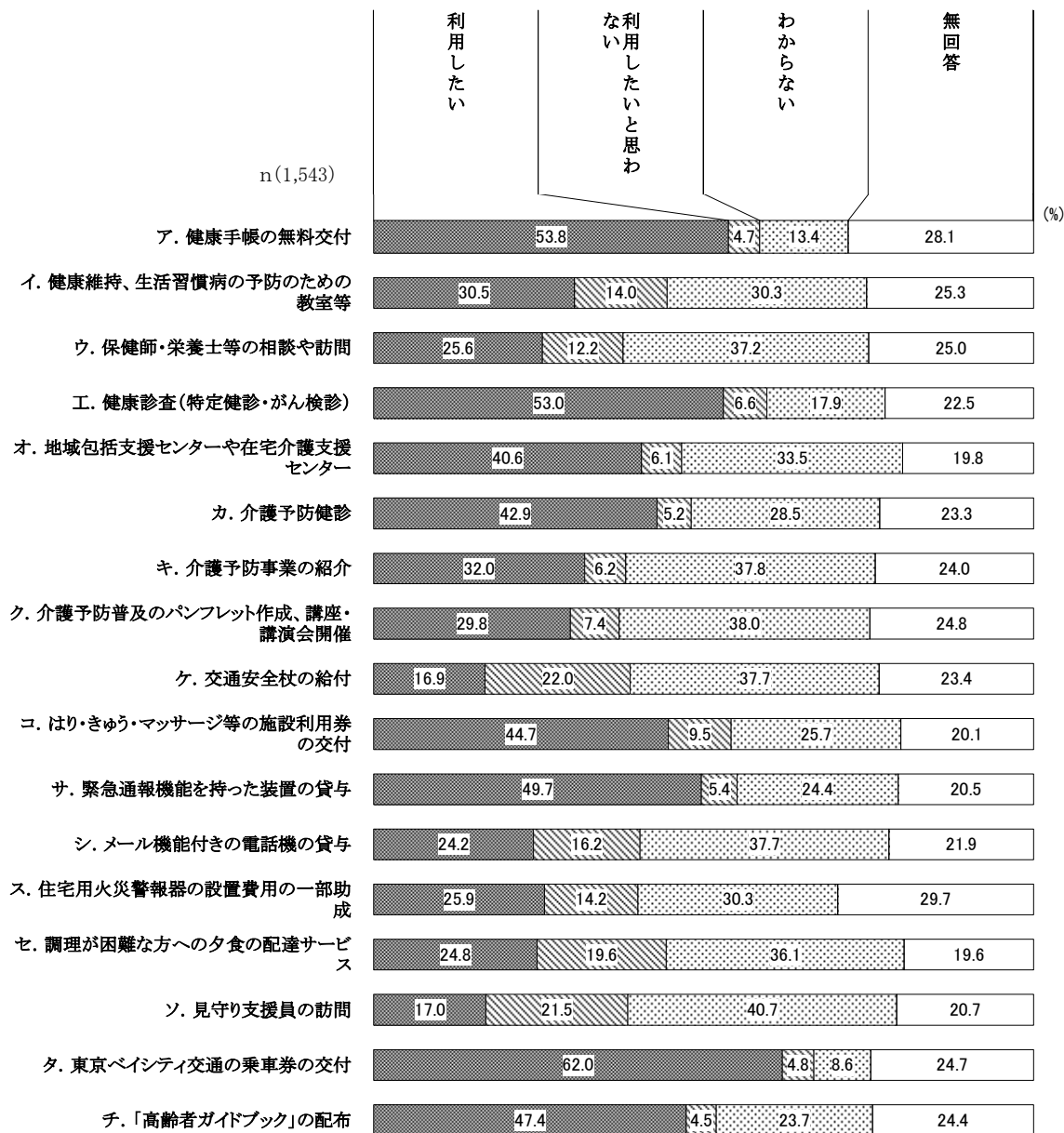


図4-52 サービスの利用意向(1回限りのサービス)

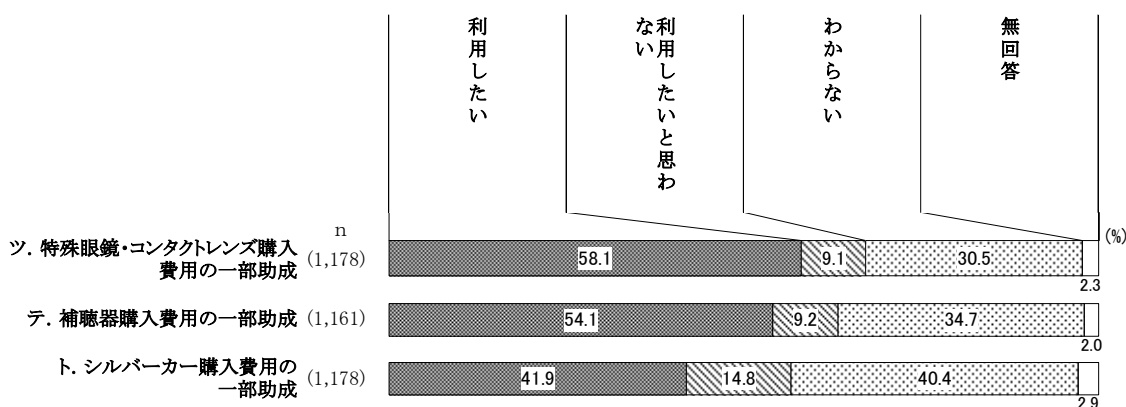


表4-52 経年比較 サービスの利用意向

(%)

	調査数	利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
--	-----	-------	------------	-------	-----

ア. 健康手帳の無料交付

平成19年	929人	49.5	3.2	10.5	36.7
平成22年	1,543人	53.8	4.7	13.4	28.1

イ. 健康維持、生活習慣病の予防のための教室等

平成19年	929人	35.1	7.6	25.1	32.2
平成22年	1,543人	30.5	14.0	30.3	25.3

ウ. 保健師・栄養士等の相談や訪問

平成19年	929人	29.5	7.0	30.4	33.2
平成22年	1,543人	25.6	12.2	37.2	25.0

エ. 健康診査（特定健診・がん検診）

平成19年	929人	49.5	3.7	15.3	31.5
平成22年	1,543人	53.0	6.6	17.9	22.5

ケ. 交通安全杖の給付

平成19年	929人	15.6	18.0	33.2	33.3
平成22年	1,543人	16.9	22.0	37.7	23.4

コ. はり・きゅう・マッサージ等の施設利用券の交付

平成19年	929人	42.5	7.8	21.2	28.5
平成22年	1,543人	44.7	9.5	25.7	20.1

サ. 緊急通報機能を持った装置の貸与

平成19年	929人	47.3	4.7	20.7	27.3
平成22年	1,543人	49.7	5.4	24.4	20.5

	調査数	利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
--	-----	-------	------------	-------	-----

シ. メール機能付きの電話機の貸与

平成19年	929人	23.5	11.8	34.3	30.4
平成22年	1,543人	24.2	16.2	37.7	21.9

ス. 住宅用火災警報器の設置費用の一部助成

平成19年	929人	23.4	9.4	33.3	34.0
平成22年	1,543人	25.9	14.2	30.3	29.7

セ. 調理が困難な方への夕食の配達サービス

平成19年	929人	23.9	15.4	33.3	27.4
平成22年	1,543人	24.8	19.6	36.1	19.6

タ. 東京ベイシティ交通の乗車券の交付

平成19年	929人	61.8	4.1	5.9	28.2
平成22年	1,543人	62.0	4.8	8.6	24.7

ツ. 特殊眼鏡・コンタクトレンズ購入費用の一部助成

平成19年	622人	55.8	8.8	30.4	5.0
平成22年	1,178人	58.1	9.1	30.5	2.3

テ. 補聴器購入費用の一部助成

平成19年	616人	51.0	8.1	36.5	4.4
平成22年	1,161人	54.1	9.2	34.7	2.0

ト. シルバーカー購入費用の一部助成

平成19年	627人	38.6	11.8	45.8	3.8
平成22年	1,178人	41.9	14.8	40.4	2.9

(注) 項目がないものは、前回調査にないもの。

第5章 高齢者世帯に関する調査結果

1. 調査結果の概要

- 「住宅の種類」は、「持ち家（一戸建て）」が46.5%で最も多く、これに「持ち家（共同住宅）」が42.9%で次いでいます。
- 要介護になったときの希望介護形態「在宅で主に配偶者に介護してほしい」が46.8%で最も多くなっています。平成19年調査と比較すると、あまり大きな変化はみられません。
- 現在の介護保険料については、「現在の介護保険料でちょうどよい」（31.0%）が最も多くなっています。
- 「日頃の健康状態について」では、「とても健康だと思う」が8.6%で、これに「まあ健康だと思う」（57.2%）を合わせた【健康だと思う】は65.8%となっています。【健康だと思う】は、平成19年調査の64.5%から今回、微増しています。
- 「健康を維持するために心がけていることがあるか」では、「ある」が91.9%で、平成19年調査（92.1%）とほぼ同様の結果になっています。
- 「健康維持のため心がけていること」は、「運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている」（71.8%）、「定期的に健康診断を受けている」（70.0%）、「歯磨きを励行している」（67.0%）が、いずれも7割前後で多くなっています。
- 「介護予防についての周知」では、「よく知っている」が39.1%で、これに「少しなら知っている」（35.8%）を合わせた【周知度】は74.9%で、平成19年の69.7%より増加しています。
- 「介護予防の講習やトレーニングへの参加意向」では、「現在、参加している」が18.5%、「今後、参加してみたい」が29.3%と、平成19年調査の「現在、参加している」（14.7%）よりやや増加しています。
- 「地域活動の周知度」では、「自治会の活動」が87.0%で最も多く、以下「お祭りや運動会等レクリエーション」（83.4%）、「防災訓練や交通安全運動」（77.8%）、「老人クラブの活動」（68.3%）、「老人福祉センターの利用」（67.6%）の順で続いています。
- 「地域活動の参加状況」をみると、周知度の高いものほど参加状況もよくなる傾向があり、「自治会の活動」は52.3%、「お祭りや運動会などのレクリエーション」は48.7%、「防災訓練や交通安全運動」は39.4%となっています。一方、「老人福祉センターの利用」や「シルバー人材センター事業」は、周知度が高い割には参加率は低くなっています。「参加していない理由」は、「地域でやっている行事や活動に、自分の参加したいものがないから」（25.5%）と「どのような行事や活動があるか知らないから」（17.8%）が多くなっています。

- 「生きがいを感じる事」では、「家族仲良く暮していく事」が73.5%で最も多く、「子どもや孫の成長を見守る事」(64.1%)が次いでいます。

- 将来についての不安を聞いたところ、「自分や家族が介護の必要な状態になる事」が66.2%で最も多く、以下「病気になる事」(64.4%)、「加齢により身体機能が低下すること」(63.3%)の順で続いています。

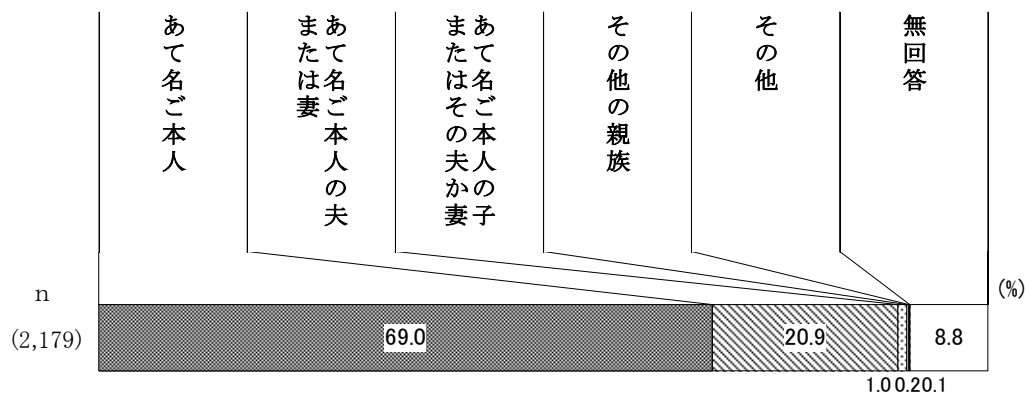
- 保健・医療・福祉サービスの周知度についてみると、「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」が87.4%で最も多く、以下「健康診査(特定健診・がん検診)」(86.4%)、「健康手帳の無料交付」(86.1%)の順で続いています。利用状況についてみると、「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」が79.1%で最も高く、以下「健康手帳の無料交付」(79.0%)、「健康診査(特定健診・がん検診)」(66.9%)の順で続いています。今後の利用意向をみると、「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」が77.3%で最も多く、以下「健康手帳の無料交付」(67.8%)と「健康診査(特定健診・がん検診)」(66.6%)の順で続いており、周知度や利用度が低いながらも「特殊眼鏡など購入費用の一部助成」と「補聴器購入費用の一部助成」があげられます。

2. 基本属性について

※ この調査にお答えいただくのはどなたですか。(1つに〇)

回答記入者は「本人」が69.0%と約7割、「本人の夫または妻」が20.9%となっています。

図5-1 調査の回答者

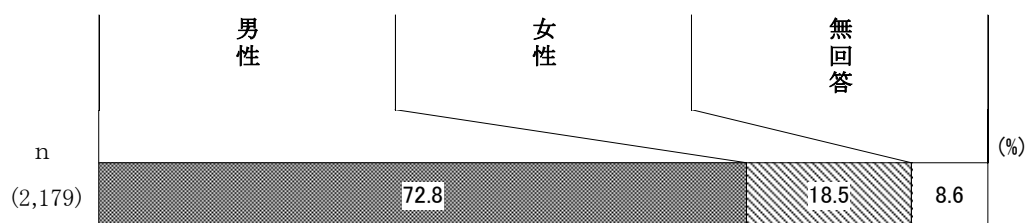


問1 あなた及びあなたと同居している方についてお答えください。
(それぞれあてはまる番号に〇をつけてください)

あなたについて
(1) 性別

性別は、「男性」が72.8%、「女性」が18.5%と男性が多くなっています。

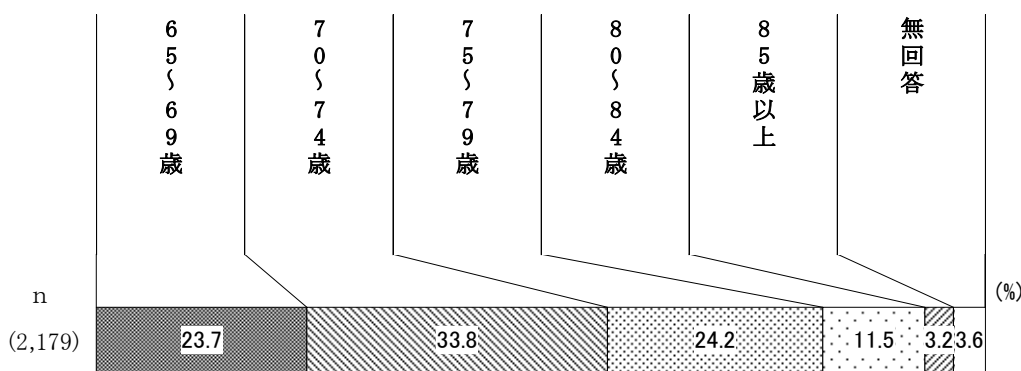
図5-2 性別



あなたについて
(2) 年齢

年齢は、「70～74歳」が33.8%と3割を占め、これに「75～79歳」が24.2%、「65～69歳」が23.7%で次いでいます。

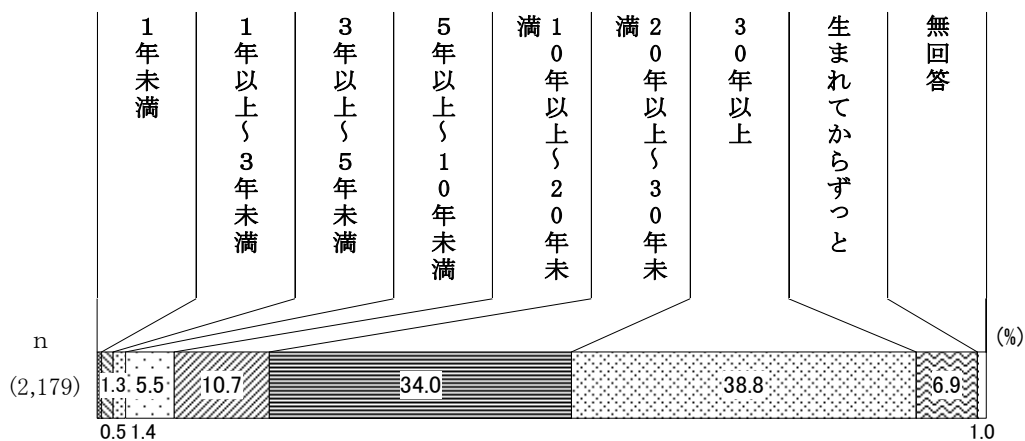
図5-3 年齢



あなたについて
(3) 浦安市の居住期間

居住期間は、「30年以上」(38.8%)、「20年以上～30年未満」(34.0%)が多くなっています。

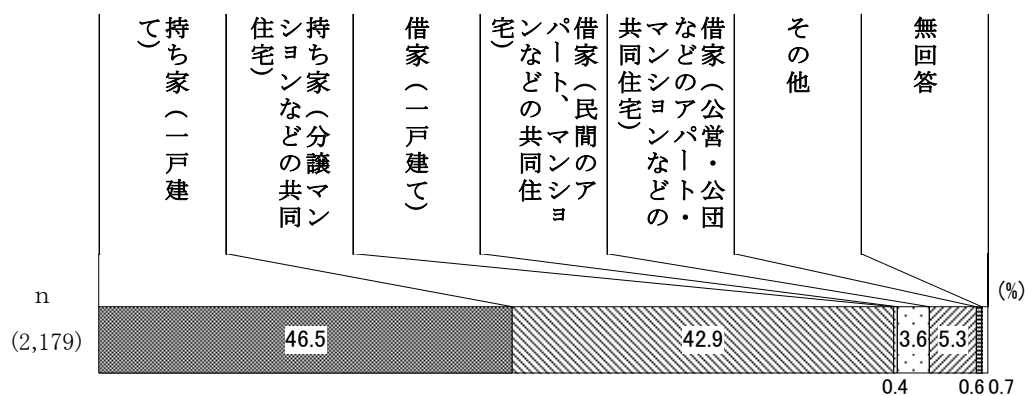
図5-4 居住期間



あなたについて
(4) お住まい

住宅の種類は、「持ち家（一戸建て）」が46.5%で最も多く、これに「持ち家（共同住宅）」が42.9%で次いでいます。

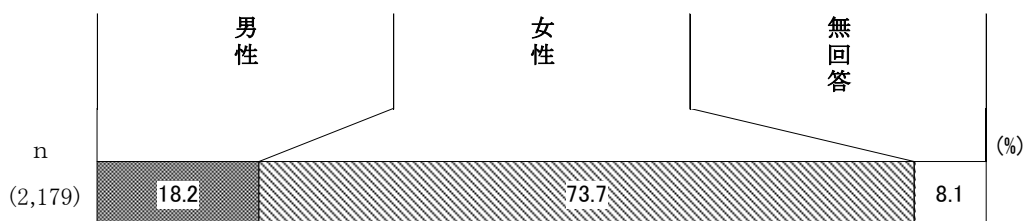
図5-5 住んでいる住宅



あなたと同居している方について
(1) 性別

性別は、「男性」が18.2%、「女性」が73.7%と女性が多くなっています。

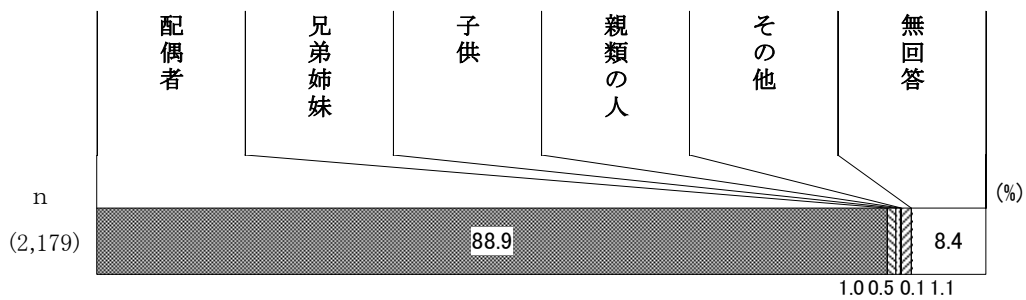
図5-6 同居している性別



あなたと同居している方について
(2) 続柄

同居家族は、「配偶者（夫または妻）」（88.9%）となっています。

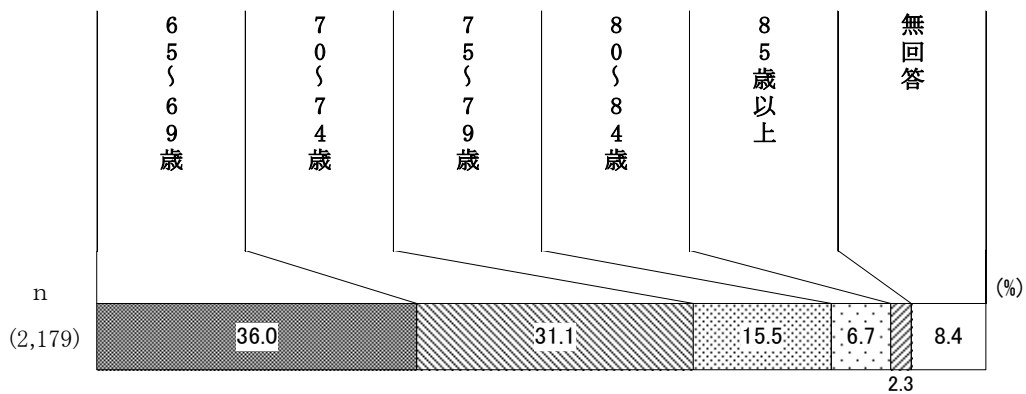
図5-7 同居している方の続柄



あなたと同居している方について
(3) 年齢

同居者の年齢は、「65～69歳」が36.0%で最も多く、「70～74歳」が31.1%で次いでいます。

図5-8 同居している方の年齢



問2 あなたはどちらの地区にお住まいですか。(〇は1つだけ)

居住地区は、「美浜」(14.3%)、「入船」(13.2%)が特に多くなっています。

日常生活圏域別でみると、元町地区が24.7%、中町地区が62.6%、新町地区は12.2%となっています。

図5-9 居住地区

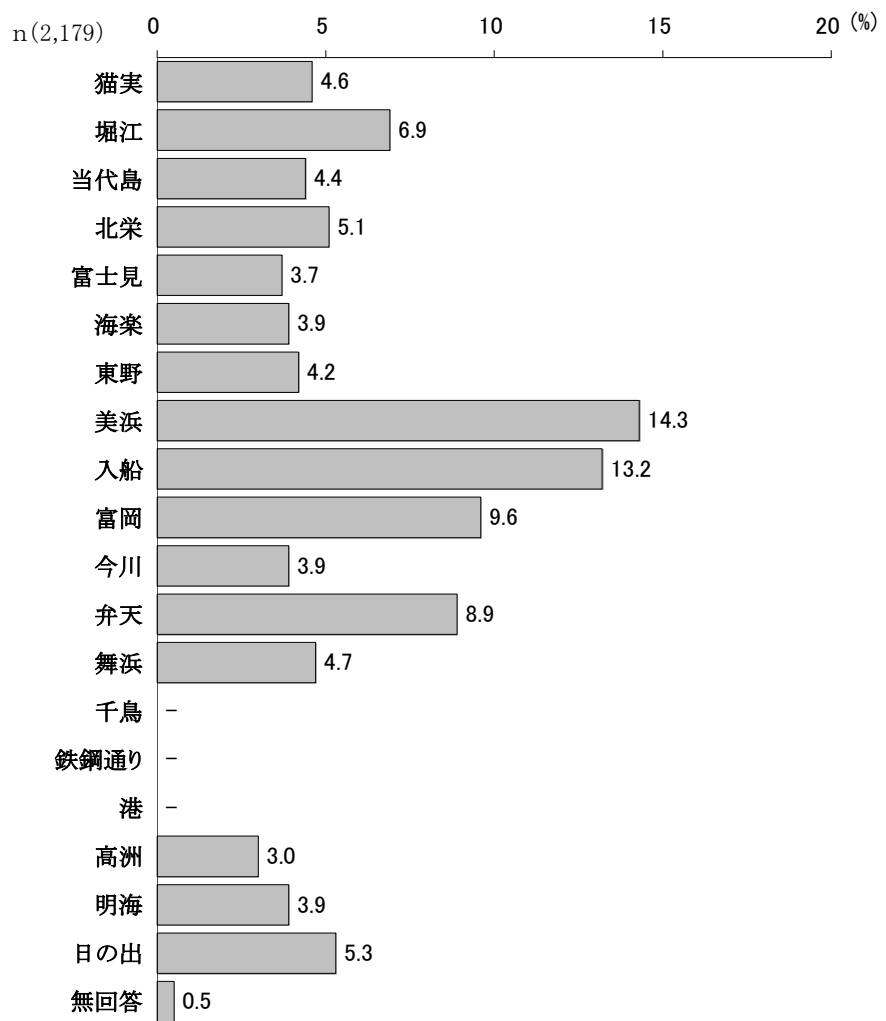
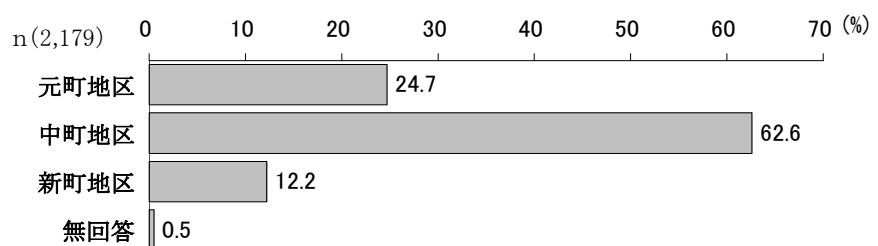


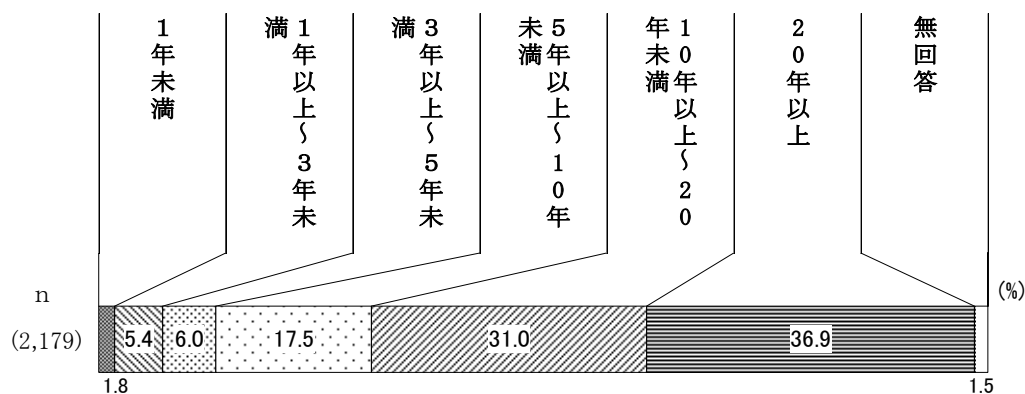
図5-10 居住地区(日常生活圏域別)



問3 あなたは現在の家族構成で暮らすようになってから、何年になりますか。(○は1つだけ)

現在の家族構成になってからの期間では、「20年以上」(36.9%)、「10年以上～20年未満」(31.0%)が多くなっています。

図5-11 現在の家族構成になってからの期間



問4 あなたは、介護が必要になったとき、主にどこで誰に介護してほしいと思いますか。
(○は1つだけ)

「在宅で主に配偶者に介護してほしい」が46.8%で最も多くなっています。

図5-12 介護が必要になったとき希望する介護

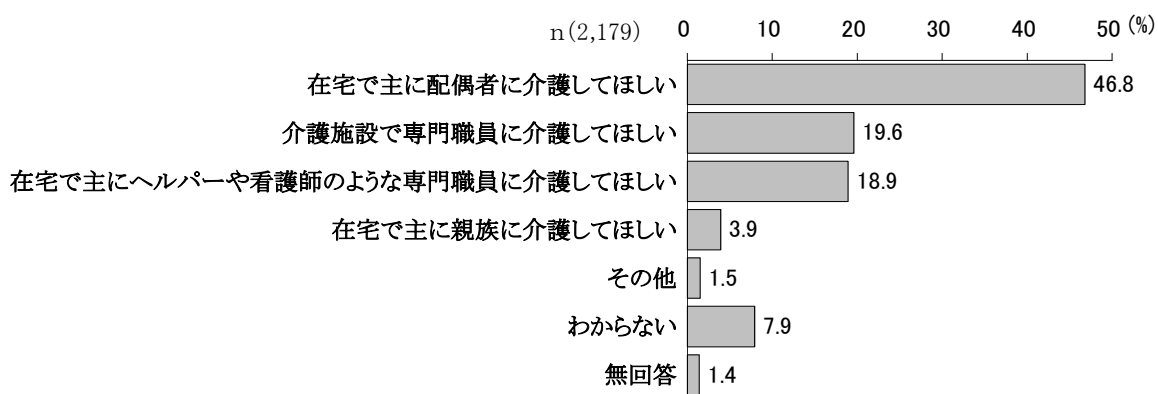


表5-1 経年比較 介護が必要になったとき希望する介護

(%)

	調査数	在宅で主に配偶者に介護してほしい	在宅で主に親族に介護してほしい	在宅で主にヘルパーや看護師のような専門職員に介護してほしい	介護施設で専門職員に介護してほしい	その他	わからない	無回答
平成19年	1,473人	46.8	3.8	18.2	18.1	0.9	7.2	5.0
平成22年	2,179人	46.8	3.9	18.9	19.6	1.5	7.9	1.4

3. 家計について

問5 あなたは、日頃の生活の中で、経済的なゆとりがある方だと思いますか。(○は1つだけ)

経済的なゆとりについては、「十分ある」が8.9%で、これに「ある程度ある」(53.3%)を合わせた【ある】は62.2%となっています。一方、「あまりない」は25.8%、「ほとんどない」は6.8%となっています。

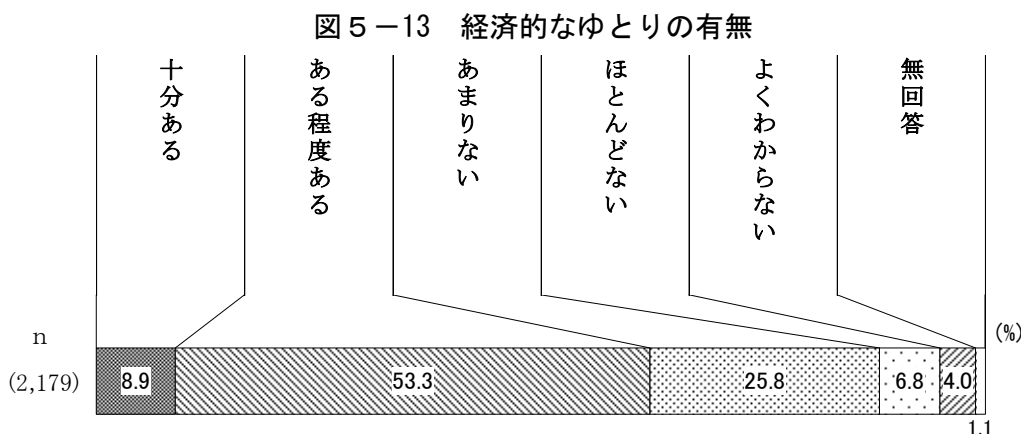


表5-2 性・年代別 経済的なゆとりの有無

上段：人数/下段：%

	調査数	十分ある	ある程度ある	あまりない	ほとんどない	よくわからない	無回答
全体	2179	194	1162	563	148	87	25
	100.0	8.9	53.3	25.8	6.8	4.0	1.1
問1(1) 性別/本人							
男性	1587	135	875	411	100	54	12
	100.0	8.5	55.1	25.9	6.3	3.4	0.8
女性	404	49	202	104	26	18	5
	100.0	12.1	50.0	25.7	6.4	4.5	1.2
問1(3) 年齢/本人							
65~69歳	516	56	269	130	37	22	2
	100.0	10.9	52.1	25.2	7.2	4.3	0.4
70~74歳	737	58	382	210	49	34	4
	100.0	7.9	51.8	28.5	6.6	4.6	0.5
75~79歳	527	48	295	120	46	14	4
	100.0	9.1	56.0	22.8	8.7	2.7	0.8
80~84歳	250	24	137	61	10	11	7
	100.0	9.6	54.8	24.4	4.0	4.4	2.8
85歳以上	70	4	43	18	2	3	-
	100.0	5.7	61.4	25.7	2.9	4.3	-

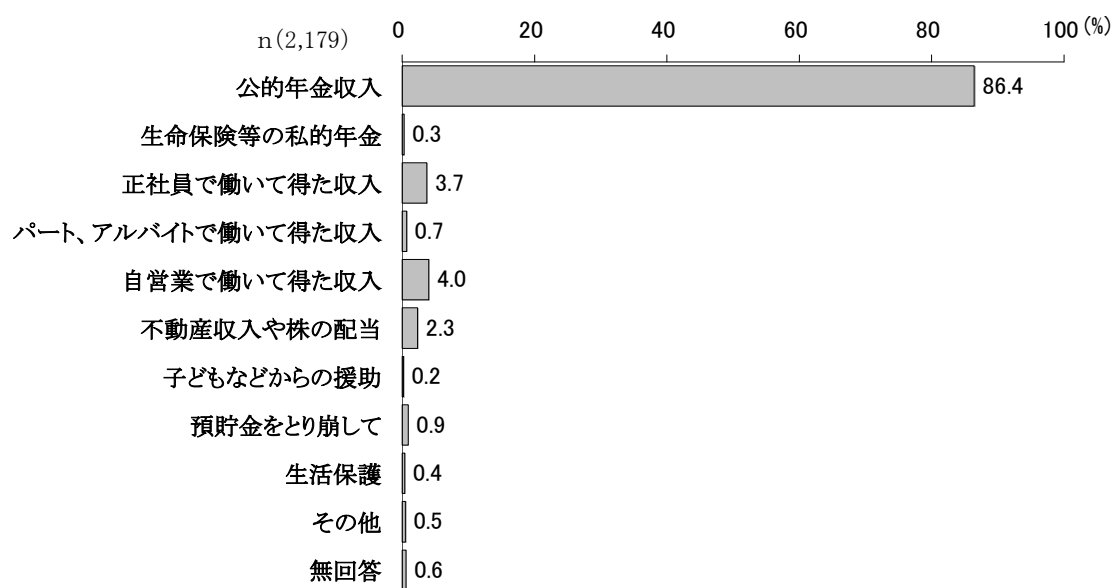
表5-3 経年比較 経済的なゆとりの有無

	調査数	十分ある	ある程度ある	あまりない	ほとんどない	よくわからない	無回答
平成19年	1,473人	8.6	49.8	27.6	6.4	3.9	3.9
平成22年	2,179人	8.9	53.3	25.8	6.8	4.0	1.1

問6 あなた（ご夫婦で暮らしている場合にはご夫婦）の生活を支えている主な収入は何ですか。（〇は1つだけ）

生活を支えている主な収入源としては、「公的年金収入（国民年金、厚生年金、恩給など）」が86.4%と圧倒的に多くなっています。

図5-14 生活を支えている主な収入



4. 介護保険について

問7 あなたは介護保険料を月額いくら納めていますか。(介護保険料所得段階は何段階に該当しますか。)(○は1つだけ)

介護保険料の段階については、「第8段階」が34.6%と最も多くなっています。また、「第7段階」についても1割を超えています。

図5-15 納めている介護保険料

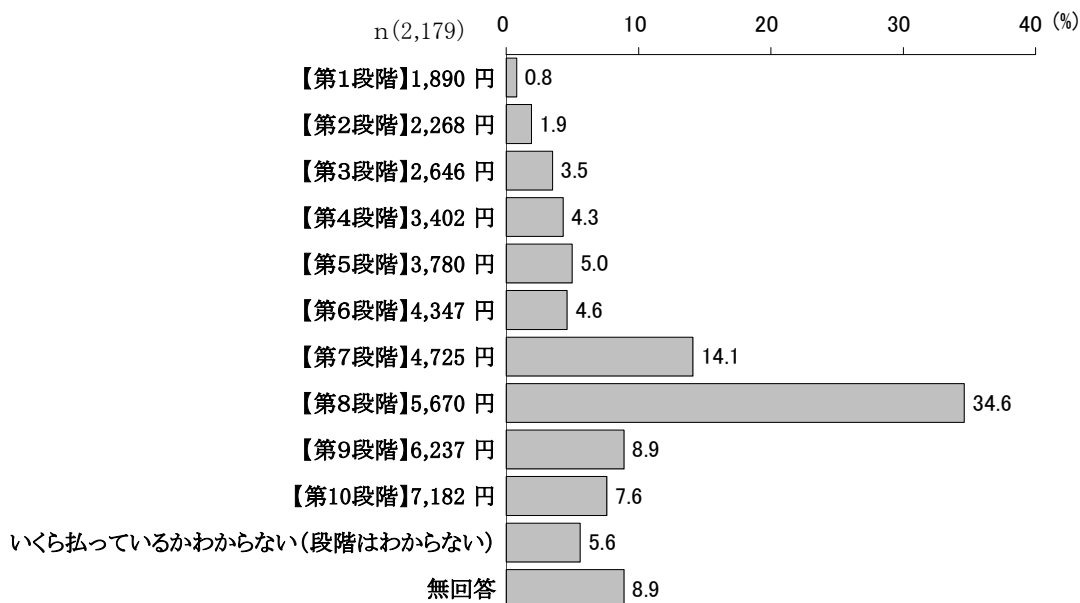


表5-4 性・年代別 納めている介護保険料

上段：人数/下段：%

	調査数	1【第1段階】 1,890円	2【第2段階】 2,268円	3【第3段階】 2,646円	4【第4段階】 3,402円	5【第5段階】 3,780円	6【第6段階】 4,347円	7【第7段階】 4,725円	8【第8段階】 5,670円	9【第9段階】 6,237円	10【第10段階】 7,182円	かわからない (段階はわからない)	無回答
全体	2179 100.0	18 0.8	42 1.9	77 3.5	94 4.3	110 5.0	101 4.6	307 14.1	754 34.6	195 8.9	165 7.6	122 5.6	194 8.9
問1(1) 性別/本人													
男性	1587 100.0	15 0.9	20 1.3	50 3.2	17 1.1	26 1.6	63 4.0	255 16.1	658 41.5	163 10.3	131 8.3	78 4.9	111 7.0
女性	404 100.0	2 0.5	19 4.7	16 4.0	67 16.6	75 18.6	33 8.2	37 9.2	46 11.4	21 5.2	14 3.5	32 7.9	42 10.4
問1(3) 年齢/本人													
65~69歳	516 100.0	3 0.6	12 2.3	14 2.7	42 8.1	42 8.1	31 6.0	69 13.4	138 26.7	57 11.0	53 10.3	24 4.7	31 6.0
70~74歳	737 100.0	3 0.4	13 1.8	24 3.3	24 3.3	37 5.0	36 4.9	115 15.6	262 35.5	76 10.3	55 7.5	36 4.9	56 7.6
75~79歳	527 100.0	7 1.3	8 1.5	22 4.2	15 2.8	15 2.8	22 4.2	82 15.6	206 39.1	38 7.2	26 4.9	32 6.1	54 10.2
80~84歳	250 100.0	2 0.8	6 2.4	9 3.6	6 2.4	10 4.0	9 3.6	32 12.8	94 37.6	14 5.6	23 9.2	22 8.8	23 9.2
85歳以上	70 100.0	2 2.9	2 2.9	7 10.0	4 5.7	2 2.9	2 2.9	4 5.7	29 41.4	6 8.6	2 2.9	2 2.9	8 11.4

問8 現在の介護保険料についてどのように考えますか。(○は1つだけ)

現在の介護保険料については、「現在の介護保険料でちょうどよい」(31.0%)が最も多くなっています。

図5-16 現在の介護保険料についての考え

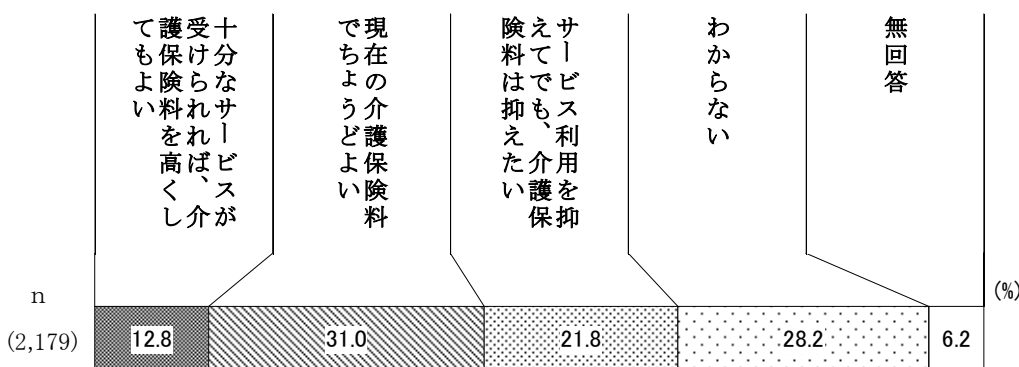


表5-5 性・年代別 現在の介護保険料についての考え

上段：人数／下段：%

	調査数	を高くしてもよい	十分なサービスが受けられない	現在の介護保険料でちょうどよい	サービス利用を抑制しても、介護保険料は抑えたい	わからない	無回答
全体	2179 100.0	280 12.8	675 31.0	474 21.8	614 28.2	136 6.2	
問1(1) 性別／本人							
男性	1587 100.0	216 13.6	485 30.6	356 22.4	430 27.1	100 6.3	
女性	404 100.0	47 11.6	131 32.4	81 20.0	127 31.4	18 4.5	
問1(3) 年齢／本人							
65～69歳	516 100.0	78 15.1	162 31.4	107 20.7	147 28.5	22 4.3	
70～74歳	737 100.0	97 13.2	225 30.5	167 22.7	208 28.2	40 5.4	
75～79歳	527 100.0	64 12.1	161 30.6	126 23.9	144 27.3	32 6.1	
80～84歳	250 100.0	25 10.0	76 30.4	50 20.0	78 31.2	21 8.4	
85歳以上	70 100.0	7 10.0	25 35.7	14 20.0	18 25.7	6 8.6	

表5-6 経年比較 現在の介護保険料についての考え

	調査数	を高くしてもよい	十分なサービスが受けられない	現在の介護保険料でちょうどよい	サービス利用を抑制しても、介護保険料は抑えたい	わからない	無回答 (%)
平成19年	1,473人	10.4	29.8	26.1	25.5	8.2	
平成22年	2,179人	12.8	31.0	21.8	28.2	6.2	

5. 健康について

問9 あなたの日ごろの健康状態についてお伺いします。(○は1つだけ)

日頃の健康状態については、「とても健康だと思う」が8.6%で、これに「まあ健康だと思う」(57.2%)を合わせた【健康だと思う】は65.8%となっています。

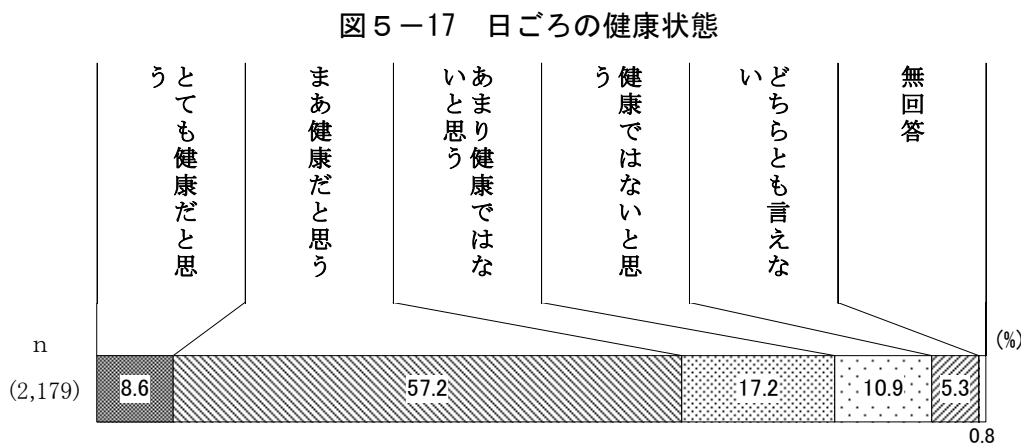


表5-7 性・年代別 日ごろの健康状態

上段：人数/下段：%

	調査数	とても健康だ と思う	まあ健康だ と思う	あまり健康 ではないと 思う	健康で はない	どちらとも 言えない	無 回 答
全 体	2179	188	1246	374	237	116	18
	100.0	8.6	57.2	17.2	10.9	5.3	0.8
問1(1) 性別/本人							
男性	1587	143	929	272	158	70	15
	100.0	9.0	58.5	17.1	10.0	4.4	0.9
女性	404	39	226	68	46	25	-
	100.0	9.7	55.9	16.8	11.4	6.2	-
問1(3) 年齢/本人							
65~69歳	516	61	331	55	36	30	3
	100.0	11.8	64.1	10.7	7.0	5.8	0.6
70~74歳	737	71	460	110	59	32	5
	100.0	9.6	62.4	14.9	8.0	4.3	0.7
75~79歳	527	37	282	104	75	26	3
	100.0	7.0	53.5	19.7	14.2	4.9	0.6
80~84歳	250	13	118	59	39	17	4
	100.0	5.2	47.2	23.6	15.6	6.8	1.6
85歳以上	70	1	22	27	13	6	1
	100.0	1.4	31.4	38.6	18.6	8.6	1.4

表5-8 経年比較 日ごろの健康状態

	調査数	とても健康だ と思う	まあ健康だ と思う	あまり健康 ではないと 思う	健康で はない	どちらとも 言えない	無 回 答
平成19年	1,473人	7.9	56.6	17.0	10.1	5.0	3.5
平成22年	2,179人	8.6	57.2	17.2	10.9	5.3	0.8

問10 次の項目の中で、最近のあなたに当てはまるものがあったら○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

最近の心身や生活の状況としては、「足や腰が痛く歩きにくくなった」が26.9%で最も多く、以下「新しいことにチャレンジしなくなった」(26.8%)、「物忘れがひどくなった」(24.0%)、「外出の回数が減った」(23.2%)、と続いています。

図5-18 最近の状況

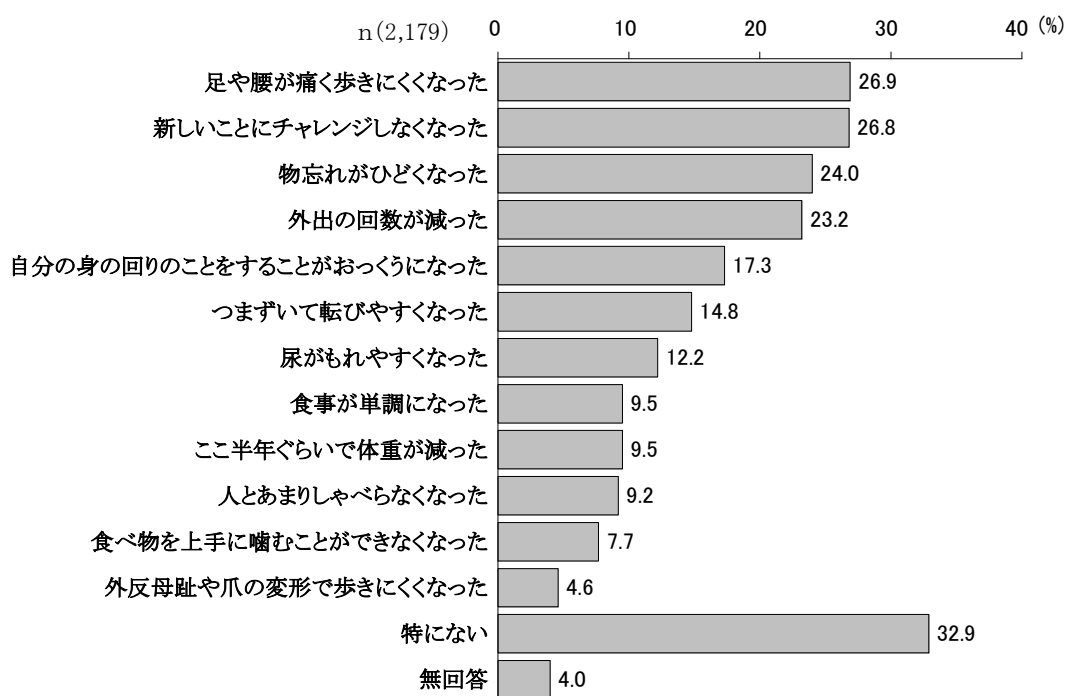


表5-9 性・年代別 最近の状況

上段：人数/下段：%

	調査数	足や腰が痛く歩きにくくなった	新しいことにチャレンジしなくなった	物忘れがひどくなった	外出の回数が減った	自分の身の回りのことをすることがおっくうになった	つまずいて転びやすくなった	尿がもれやすくなった	食事が単調になった	ここ半年ぐらいで体重が減った	人とあまりしゃべらなくなった	食べ物を上手に噛むことができなくなった	外反母趾や爪の変形で歩きにくくなった	特にない	無回答
全体	2179	587	585	522	505	376	323	265	207	206	201	167	100	716	87
	100.0	26.9	26.8	24.0	23.2	17.3	14.8	12.2	9.5	9.5	9.2	7.7	4.6	32.9	4.0
問1(1) 性別/本人															
男性	1587	407	414	377	353	268	221	186	131	150	154	124	52	551	63
	100.0	25.6	26.1	23.8	22.2	16.9	13.9	11.7	8.3	9.5	9.7	7.8	3.3	34.7	4.0
女性	404	106	113	84	93	60	69	47	51	35	29	19	37	125	17
	100.0	26.2	28.0	20.8	23.0	14.9	17.1	11.6	12.6	8.7	7.2	4.7	9.2	30.9	4.2
問1(3) 年齢/本人															
65~69歳	516	88	107	89	88	50	50	32	37	29	33	17	15	228	22
	100.0	17.1	20.7	17.2	17.1	9.7	9.7	6.2	7.2	5.6	6.4	3.3	2.9	44.2	4.3
70~74歳	737	160	173	149	139	102	88	73	58	54	57	56	32	271	40
	100.0	21.7	23.5	20.2	18.9	13.8	11.9	9.9	7.9	7.3	7.7	7.6	4.3	36.8	5.4
75~79歳	527	153	163	154	127	97	89	72	51	55	56	48	28	145	13
	100.0	29.0	30.9	29.2	24.1	18.4	16.9	13.7	9.7	10.4	10.6	9.1	5.3	27.5	2.5
80~84歳	250	111	85	75	84	64	50	44	35	37	29	19	11	53	8
	100.0	44.4	34.0	30.0	33.6	25.6	20.0	17.6	14.0	14.8	11.6	7.6	4.4	21.2	3.2
85歳以上	70	42	34	30	43	35	27	28	19	20	19	16	8	5	1
	100.0	60.0	48.6	42.9	61.4	50.0	38.6	40.0	27.1	28.6	27.1	22.9	11.4	7.1	1.4

問11 健康を維持するためや介護が必要な状態にならないために、あなたが心がけていることはありますか。(○は1つだけ)

健康を維持するために心がけていることは、「ある」が91.9%となっています。

図5-19 健康を維持するために心がけていることの有無

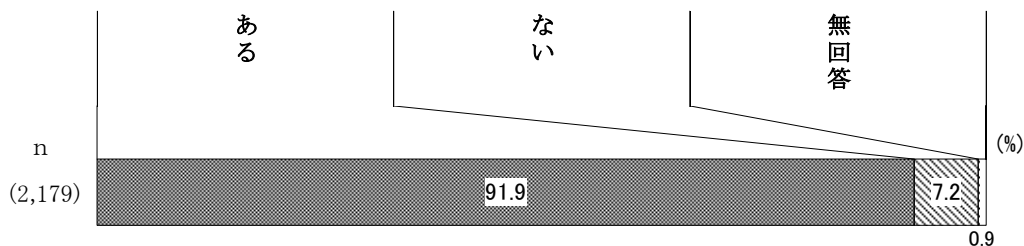


表5-10 性・年代別 健康を維持するために心がけていることの有無

上段：人数/下段：%

	調査数	ある	ない	無回答
全体	2179	2002	157	20
	100.0	91.9	7.2	0.9
問1(1) 性別/本人				
男性	1587	1467	106	14
	100.0	92.4	6.7	0.9
女性	404	370	31	3
	100.0	91.6	7.7	0.7
問1(3) 年齢/本人				
65～69歳	516	475	35	6
	100.0	92.1	6.8	1.2
70～74歳	737	678	54	5
	100.0	92.0	7.3	0.7
75～79歳	527	495	29	3
	100.0	93.9	5.5	0.6
80～84歳	250	223	23	4
	100.0	89.2	9.2	1.6
85歳以上	70	60	9	1
	100.0	85.7	12.9	1.4

表5-11 経年比較 健康を維持するために心がけていることの有無

(%)

	調査数	ある	ない	無回答
平成19年	1,473人	92.1	5.5	2.4
平成22年	2,179人	91.9	7.2	0.9

《問11で「1 ある」とお答えの方に》

問11-1 具体的にはどのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

健康を維持するために具体的に心がけていることは、「運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている」(71.8%)、「定期的に健康診断を受けている」(70.0%)、「歯磨きを励行している」(67.0%)が、いずれも7割前後で多くなっています。

図5-20 具体的に心がけていること

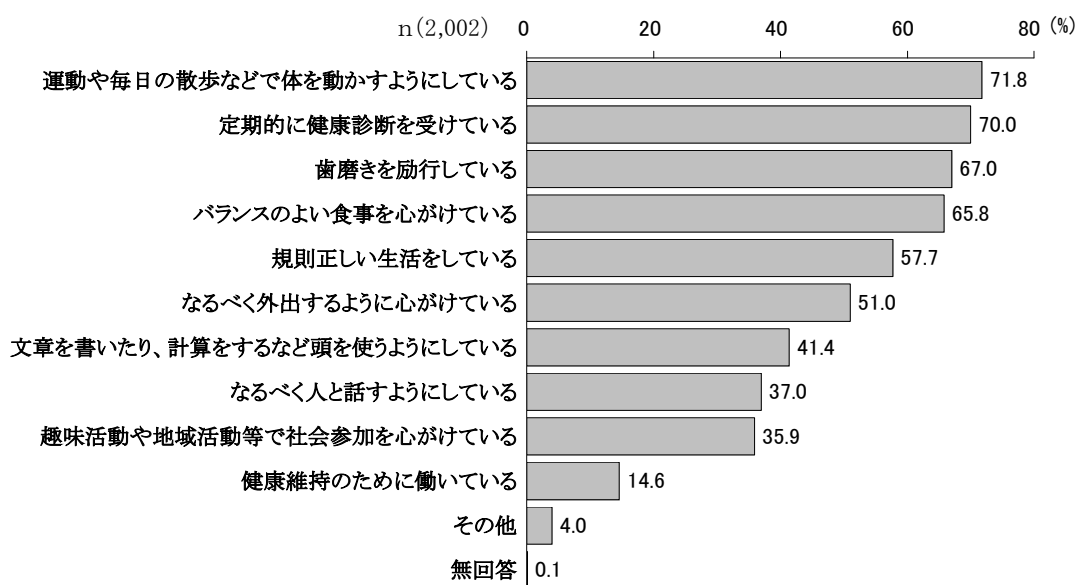


表5-12 性・年代別 具体的に心がけていること

上段：人数/下段：%

	調査数	運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている	定期的に健康診断を受けている	歯磨きを励行している	バランスのよい食事を心がけている	規則正しい生活をしている	なるべく外出するように心がけている	文章を書いたり、計算をするなど頭を使うようにしている	なるべく人と話すようにしている	趣味活動や地域活動等で社会参加を心がけている	健康維持のために働いている	その他	無回答
全体	2002 100.0	1437 71.8	1401 70.0	1341 67.0	1318 65.8	1156 57.7	1021 51.0	828 41.4	740 37.0	719 35.9	292 14.6	80 4.0	2 0.1
問1(1) 性別/本人													
男性	1467 100.0	1101 75.1	1059 72.2	987 67.3	974 66.4	839 57.2	753 51.3	607 41.4	499 34.0	528 36.0	225 15.3	54 3.7	-
女性	370 100.0	240 64.9	238 64.3	262 70.8	254 68.6	231 62.4	194 52.4	172 46.5	181 48.9	155 41.9	41 11.1	18 4.9	-
問1(3) 年齢/本人													
65~69歳	475 100.0	348 73.3	313 65.9	331 69.7	317 66.7	276 58.1	224 47.2	181 38.1	179 37.7	185 38.9	102 21.5	16 3.4	-
70~74歳	678 100.0	505 74.5	482 71.1	462 68.1	446 65.8	399 58.8	360 53.1	295 43.5	267 39.4	267 39.4	118 17.4	31 4.6	-
75~79歳	495 100.0	356 71.9	369 74.5	325 65.7	328 66.3	285 57.6	271 54.7	217 43.8	182 36.8	182 36.8	43 8.7	15 3.0	2 0.4
80~84歳	223 100.0	157 70.4	156 70.0	152 68.2	151 67.7	123 55.2	114 51.1	92 41.3	74 33.2	63 28.3	12 5.4	11 4.9	-
85歳以上	60 100.0	26 43.3	39 65.0	32 53.3	35 58.3	33 55.0	22 36.7	23 38.3	15 25.0	9 15.0	2 3.3	5 8.3	-

表5-13 経年比較 具体的に心がけていること

(%)

	調査数	運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている	定期的に健康診断を受けている	歯磨きを励行している	バランスのよい食事を心がけている	規則正しい生活をしている	なるべく外出するように心がけている	文章を書いたり、計算をするなど頭を使うようにしている	なるべく人と話すようにしている	趣味活動や地域活動等で社会参加を心がけている	健康維持のために働いている	その他	無回答
平成19年	1,356人	72.1	69.5	65.0	65.7	57.3	49.9	40.7	34.4	35.8	17.0	5.0	0.1
平成22年	2,002人	71.8	70.0	67.0	65.8	57.7	51.0	41.4	37.0	35.9	14.6	4.0	0.1

《問11で「2 ない」とお答えの方に》

問11-2 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

健康維持や要介護状態にならないための対策をしていない理由としては、「必要性を感じない」が36.9%で最も多く、以下「一人では長続きしない」(22.9%)、「どのようにすればよいかわからない」(20.4%)の順で続いています。

図5-21 心がけていない理由

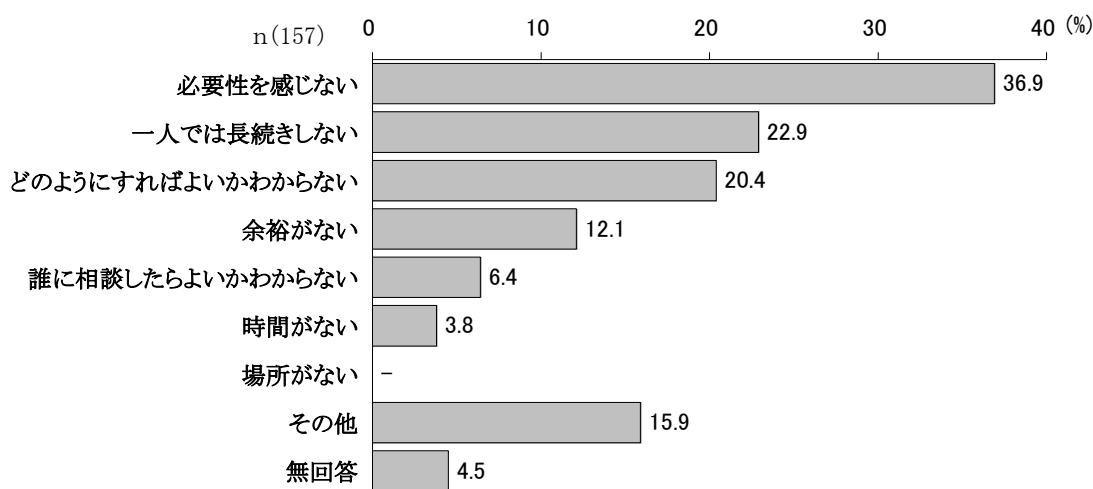


表5-14 性・年代別 心がけていない理由

上段：人数／下段：%

	調査数	必要性を感じない	一人では長続きしない	かどのようには長続きしない どのようにすればよい	余裕がない	誰に相談したらよいか	時間がない	場所がない	その他	無回答
全体	157	58	36	32	19	10	6	-	25	7
	100.0	36.9	22.9	20.4	12.1	6.4	3.8	-	15.9	4.5
問1(1) 性別／本人										
男性	106	46	26	21	11	7	2	-	15	2
	100.0	43.4	24.5	19.8	10.4	6.6	1.9	-	14.2	1.9
女性	31	5	7	8	3	2	3	-	7	4
	100.0	16.1	22.6	25.8	9.7	6.5	9.7	-	22.6	12.9
問1(3) 年齢／本人										
65～69歳	35	13	9	5	6	-	2	-	4	2
	100.0	37.1	25.7	14.3	17.1	-	5.7	-	11.4	5.7
70～74歳	54	20	13	11	6	2	2	-	6	2
	100.0	37.0	24.1	20.4	11.1	3.7	3.7	-	11.1	3.7
75～79歳	29	16	4	6	4	4	1	-	3	-
	100.0	55.2	13.8	20.7	13.8	13.8	3.4	-	10.3	-
80～84歳	23	6	8	8	2	3	-	-	5	2
	100.0	26.1	34.8	34.8	8.7	13.0	-	-	21.7	8.7
85歳以上	9	2	-	1	1	1	-	-	6	-
	100.0	22.2	-	11.1	11.1	11.1	-	-	66.7	-

問12 あなたは、現在、病気やケガで治療を受けていますか。(○は1つだけ)

現在、病気やケガの治療を「受けている」は77.7%、「受けていない」は20.3%となっています。

図5-22 病気やケガの治療を受けている

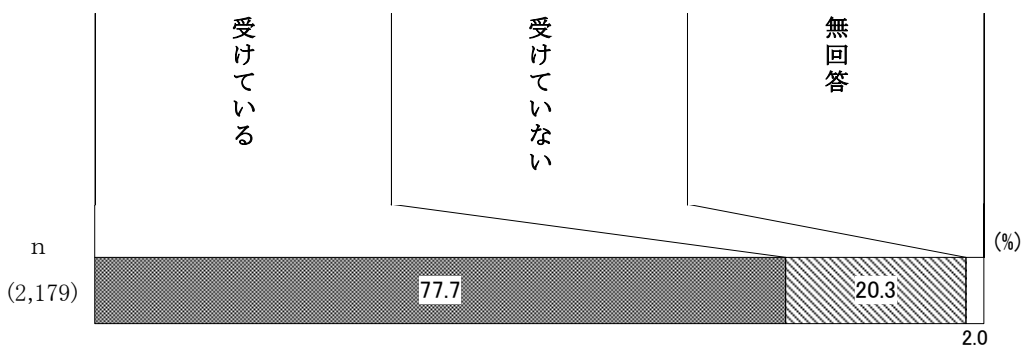


表5-15 性・年代別 病気やケガの治療を受けている

	調査数	受けている	受けていない	無回答
全体	2179	1693	442	44
	100.0	77.7	20.3	2.0
問1(1) 性別/本人				
男性	1587	1255	301	31
	100.0	79.1	19.0	2.0
女性	404	287	113	4
	100.0	71.0	28.0	1.0
問1(3) 年齢/本人				
65~69歳	516	349	156	11
	100.0	67.6	30.2	2.1
70~74歳	737	579	147	11
	100.0	78.6	19.9	1.5
75~79歳	527	426	88	13
	100.0	80.8	16.7	2.5
80~84歳	250	211	35	4
	100.0	84.4	14.0	1.6
85歳以上	70	67	3	-
	100.0	95.7	4.3	-

上段：人数/下段：%

表5-16 経年比較 病気やケガの治療を受けている

	調査数	受けている	受けていない	無回答 (%)
平成19年	1,473人	76.3	19.6	4.1
平成22年	2,179人	77.7	20.3	2.0

「問12で「1 受けている」とお答えの方に」

問12-1 あなたが治療している病名は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

現在、治療している病気としては、「高血圧」が48.8%で最も多く、これに「目の病気」が23.4%で次いでいます。

図5-23 治療している病名

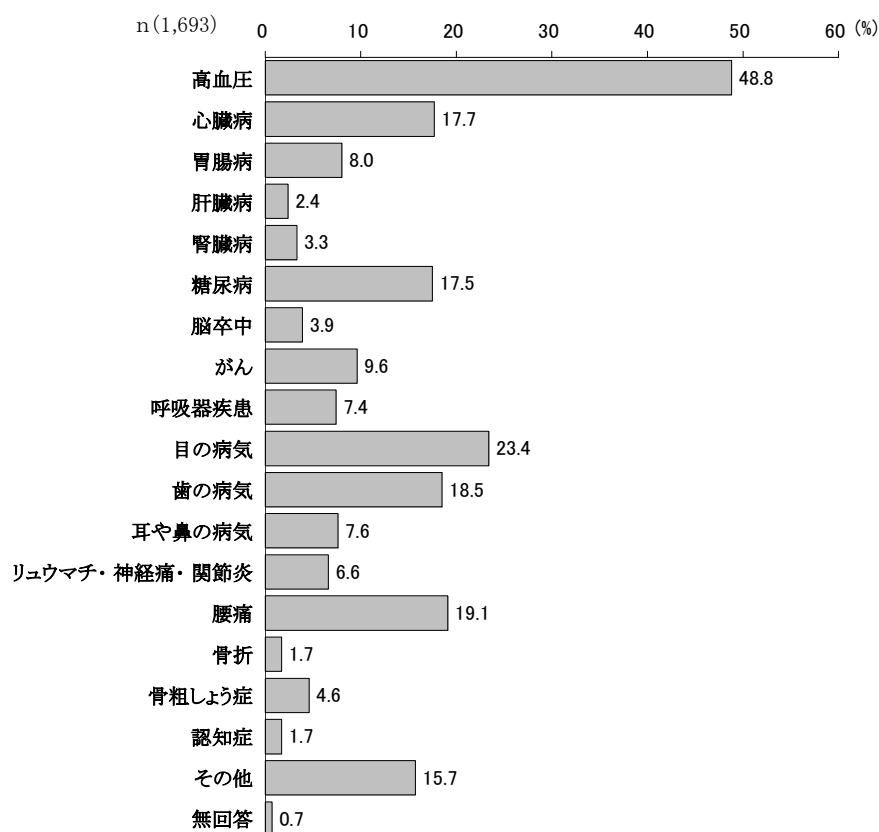


表5-17 経年比較 治療している病名

	調査数	高血圧	心臓病	胃腸病	肝臓病	腎臓病	糖尿病	脳卒中	がん	呼吸器疾患	目の病気
平成19年	1,124人	48.4	17.4	8.9	4.1	2.5	16.8	3.9	10.3	7.3	21.3
平成22年	1,693人	48.8	17.7	8.0	2.4	3.3	17.5	3.9	9.6	7.4	23.4

	調査数	歯の病気	耳や鼻の病気	リュウマチ・神経痛・関節炎	腰痛	骨折	骨粗しょう症	認知症	その他	無回答
平成19年	1,124人	19.0	6.5	8.5	16.7	1.0	3.7	0.8	16.5	0.3
平成22年	1,693人	18.5	7.6	6.6	19.1	1.7	4.6	1.7	15.7	0.7

問13 あなたの生活習慣を振り返って、心配な病名は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

生活習慣を振り返って心配な病名としては、「高血圧」が33.1%で最も多く、以下「がん」(30.4%)、「腰痛」(25.1%)、「脳卒中」(22.9%)の順で続いています。

図5-24 心配な病名

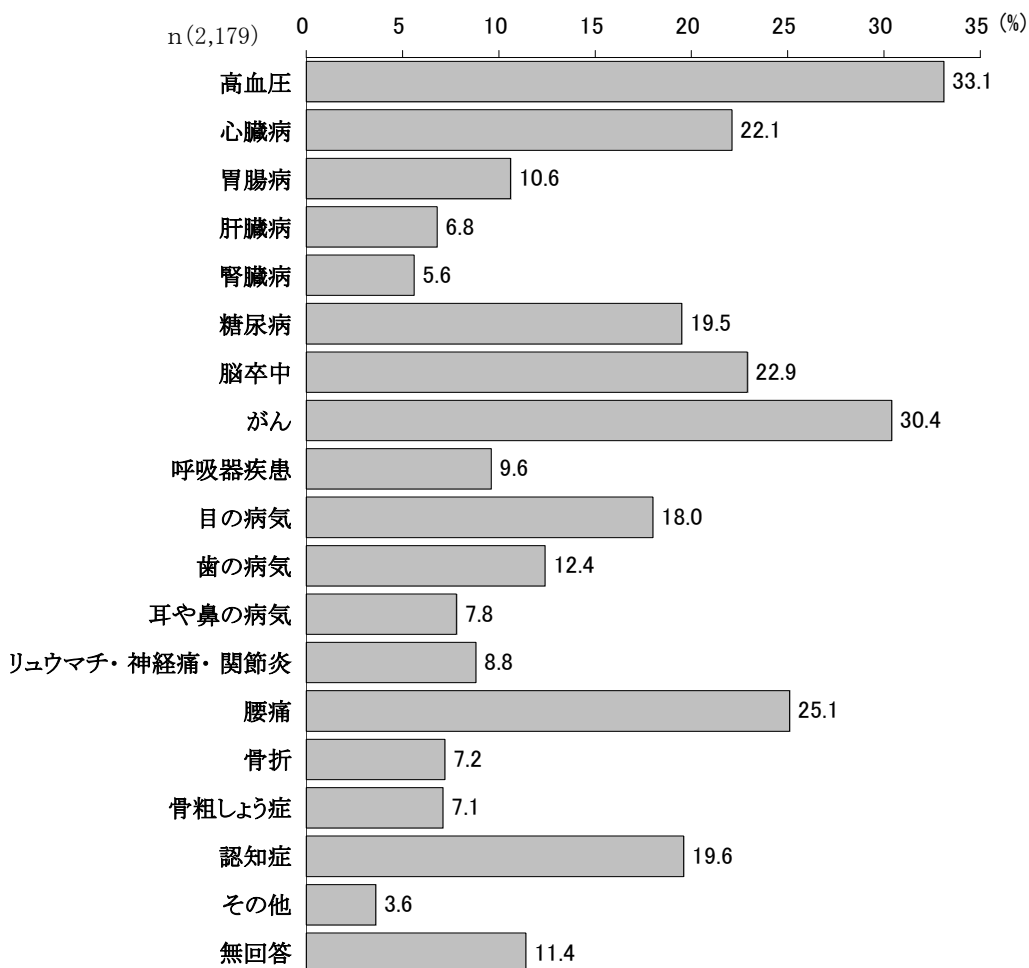


表5-18 性・年代別 心配な病名

上段：人数/下段：%

	調査数	高血圧	がん	腰痛	脳卒中	心臓病	認知症	糖尿病	目の病気	歯の病気	胃腸病	呼吸器疾患	神経痛・リウマチ・関節炎	耳や鼻の病気	骨折	骨粗しょう症	肝臓病	腎臓病	その他	無回答	
全体	2179	722	662	548	499	481	427	424	393	271	231	209	192	171	157	155	148	121	78	249	
問1(1)性別/本人																					
男性	1587	539	502	389	375	369	286	334	274	190	163	154	115	122	92	62	113	89	61	177	
	100.0	34.0	31.6	24.5	23.6	23.3	18.0	21.0	17.3	12.0	10.3	9.7	7.2	7.7	5.8	3.9	7.1	5.6	3.8	11.2	
女性	404	116	103	107	82	72	98	51	91	56	41	28	60	33	43	76	15	17	10	50	
	100.0	28.7	25.5	26.5	20.3	17.8	24.3	12.6	22.5	13.9	10.1	6.9	14.9	8.2	10.6	18.8	3.7	4.2	2.5	12.4	
問1(3)年齢/本人																					
65~69歳	516	158	165	118	111	104	98	93	92	59	49	36	53	34	16	43	42	26	16	59	
	100.0	30.6	32.0	22.9	21.5	20.2	19.0	18.0	17.8	11.4	9.5	7.0	10.3	6.6	3.1	8.3	8.1	5.0	3.1	11.4	
70~74歳	737	251	228	181	165	147	135	145	135	96	70	56	57	57	50	40	66	39	25	93	
	100.0	34.1	30.9	24.6	22.4	19.9	18.3	19.7	18.3	13.0	9.5	7.6	7.7	7.7	6.8	5.4	9.0	5.3	3.4	12.6	
75~79歳	527	184	165	125	131	132	110	112	94	66	61	55	51	40	47	32	25	27	19	53	
	100.0	34.9	31.3	23.7	24.9	25.0	20.9	21.3	17.8	12.5	11.6	10.4	9.7	7.6	8.9	6.1	4.7	5.1	3.6	10.1	
80~84歳	250	90	65	79	60	60	47	49	50	28	32	36	18	30	24	20	9	17	11	24	
	100.0	36.0	26.0	31.6	24.0	24.0	18.8	19.6	20.0	11.2	12.8	14.4	7.2	12.0	9.6	8.0	3.6	6.8	4.4	9.6	
85歳以上	70	17	13	28	17	22	18	11	16	11	11	13	5	6	11	12	1	5	4	8	
	100.0	24.3	18.6	40.0	24.3	31.4	25.7	15.7	22.9	15.7	15.7	18.6	7.1	8.6	15.7	17.1	1.4	7.1	5.7	11.4	

表5-19 経年比較 心配な病名

(%)

	調査数	高血圧	心臓病	胃腸病	肝臓病	腎臓病	糖尿病	脳卒中	がん	呼吸器疾患	目の病気
平成19年	1,473人	33.7	22.7	12.2	7.5	5.3	17.9	22.5	30.0	10.3	18.1
平成22年	2,179人	33.1	22.1	10.6	6.8	5.6	19.5	22.9	30.4	9.6	18.0

	調査数	歯の病気	耳や鼻の病気	関節炎・神経痛・リュウマチ・ウマチ・関	腰痛	骨折	骨粗しょう症	認知症	その他	無回答
平成19年	1,473人	12.4	8.0	9.8	22.7	5.8	5.8	17.2	4.8	10.8
平成22年	2,179人	12.4	7.8	8.8	25.1	7.2	7.1	19.6	3.6	11.4

問14 あなたは、普段から治療を受けているかかりつけの病院・クリニック、かかりつけの歯科医院、かかりつけの薬局がありますか（それぞれ〇は1つ）

かかりつけの医療機関が「ある」と答えた方をみると、「かかりつけの病院・クリニック」が90.3%で最も多く、以下「かかりつけの歯科医院」（73.6%）、「かかりつけの薬局」（60.2%）の順となっています。

図5-25 かかりつけ医療機関の有無

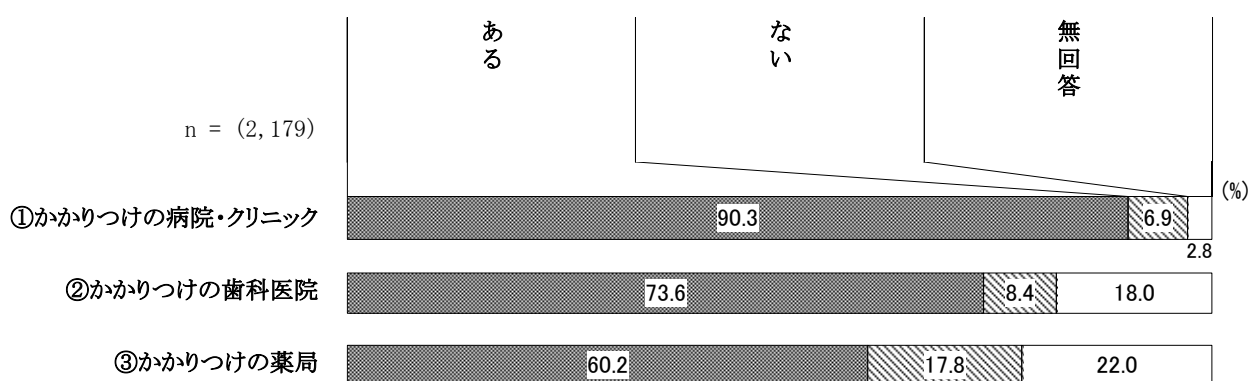


表5-20 性・年代別 かかりつけ医療機関の有無

上段：人数／下段：%

①かかりつけの病院・クリニック

	調査数	ある	ない	無回答
全体	2179	1967	150	62
	100.0	90.3	6.9	2.8

②かかりつけの歯科医院

	調査数	ある	ない	無回答
全体	2179	1603	184	392
	100.0	73.6	8.4	18.0

③かかりつけの薬局

	調査数	ある	ない	無回答
全体	2179	1312	387	480
	100.0	60.2	17.8	22.0

問1(1) 性別／本人

性別	調査数	ある	ない	無回答
男性	1587	1439	109	39
	100.0	90.7	6.9	2.5
女性	404	357	37	10
	100.0	88.4	9.2	2.5

性別	調査数	ある	ない	無回答
男性	1587	1172	135	280
	100.0	73.9	8.5	17.6
女性	404	315	35	54
	100.0	78.0	8.7	13.4

性別	調査数	ある	ない	無回答
男性	1587	958	293	336
	100.0	60.4	18.5	21.2
女性	404	253	75	76
	100.0	62.6	18.6	18.8

問1(3) 年齢／本人

年齢	調査数	ある	ない	無回答
65～69歳	516	447	58	11
	100.0	86.6	11.2	2.1
70～74歳	737	662	54	21
	100.0	89.8	7.3	2.8
75～79歳	527	487	25	15
	100.0	92.4	4.7	2.8
80～84歳	250	230	11	9
	100.0	92.0	4.4	3.6
85歳以上	70	69	1	-
	100.0	98.6	1.4	-

年齢	調査数	ある	ない	無回答
65～69歳	516	382	57	77
	100.0	74.0	11.0	14.9
70～74歳	737	564	58	115
	100.0	76.5	7.9	15.6
75～79歳	527	390	37	100
	100.0	74.0	7.0	19.0
80～84歳	250	171	21	58
	100.0	68.4	8.4	23.2
85歳以上	70	45	9	16
	100.0	64.3	12.9	22.9

年齢	調査数	ある	ない	無回答
65～69歳	516	270	134	112
	100.0	52.3	26.0	21.7
70～74歳	737	435	143	159
	100.0	59.0	19.4	21.6
75～79歳	527	337	76	114
	100.0	63.9	14.4	21.6
80～84歳	250	174	23	53
	100.0	69.6	9.2	21.2
85歳以上	70	47	8	15
	100.0	67.1	11.4	21.4

問15 介護が必要な状態にならないために、あるいは介護が必要であってもこれ以上悪化しないためには、糖尿病や脳卒中、心臓病などの生活習慣病予防のほか、介護予防が必要です。介護予防には、次のようなものがあります。

- ・足などの筋力をつけること
- ・認知症の予防をすること
- ・栄養改善をすること
- ・閉じこもり予防をすること
- ・お口の機能改善をすること
- ・うつ予防をすること

このことについて、あなたはご存知でしたか。(○は1つだけ)

介護予防についての周知では、「よく知っている」が39.1%で、これに「少しなら知っている」(35.8%)を合わせた【周知度】は74.9%となっています。

図5-26 介護予防についての周知

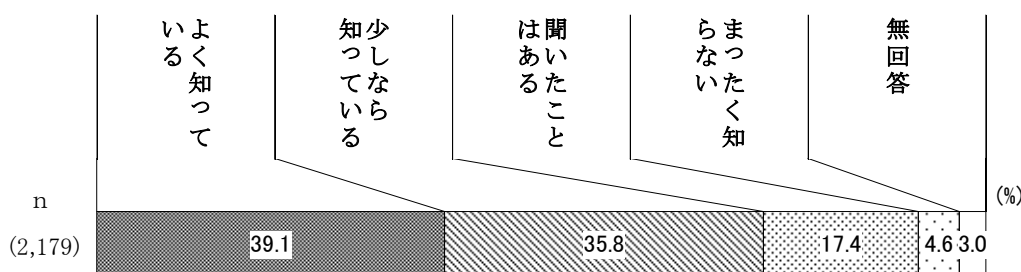


表5-21 性・年代別 介護予防についての周知

	調査数	よく知っている	少しなら知っている	は聞いたこと	らまったく知らない	無回答
全体	2179	853	781	380	100	65
	100.0	39.1	35.8	17.4	4.6	3.0
問1(1) 性別/本人						
男性	1587	595	581	294	82	35
	100.0	37.5	36.6	18.5	5.2	2.2
女性	404	192	127	57	10	18
	100.0	47.5	31.4	14.1	2.5	4.5
問1(3) 年齢/本人						
65~69歳	516	200	182	105	19	10
	100.0	38.8	35.3	20.3	3.7	1.9
70~74歳	737	307	270	114	33	13
	100.0	41.7	36.6	15.5	4.5	1.8
75~79歳	527	197	193	88	28	21
	100.0	37.4	36.6	16.7	5.3	4.0
80~84歳	250	91	85	52	11	11
	100.0	36.4	34.0	20.8	4.4	4.4
85歳以上	70	28	24	10	5	3
	100.0	40.0	34.3	14.3	7.1	4.3

上段：人数/下段：%

表5-22 経年比較 介護予防についての周知

	調査数	よく知っている	少しなら知っている	は聞いたこと	らまったく知らない	無回答
平成19年	1,473人	34.1	35.6	17.3	8.7	4.3
平成22年	2,179人	39.1	35.8	17.4	4.6	3.0

問16 介護予防のためのさまざまな講習やトレーニングに参加してみたいと思いますか。

(○は1つだけ)

介護予防の講習やトレーニングへの参加意向では、「現在、参加している」が18.5%、「今後、参加してみたい」が29.3%となっています。

図5-27 介護予防のための講習やトレーニングへの参加意向

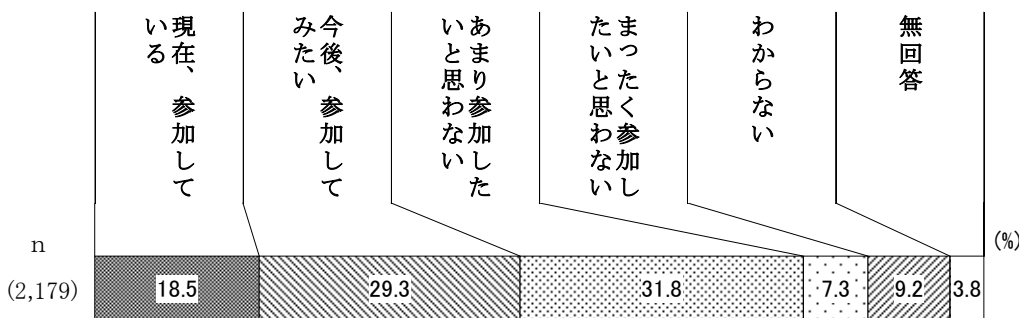


表5-23 性・年代別 介護予防のための講習やトレーニングへの参加意向

	調査数	現在、参加している	今後、参加してみたい	あまり参加したくない	まったく参加したくない	わからない	無回答
全体	2179	404	639	693	160	201	82
	100.0	18.5	29.3	31.8	7.3	9.2	3.8
問1(1) 性別/本人							
男性	1587	275	478	519	114	147	54
	100.0	17.3	30.1	32.7	7.2	9.3	3.4
女性	404	99	120	115	28	31	11
	100.0	24.5	29.7	28.5	6.9	7.7	2.7
問1(3) 年齢/本人							
65~69歳	516	82	177	157	31	52	17
	100.0	15.9	34.3	30.4	6.0	10.1	3.3
70~74歳	737	147	214	239	51	65	21
	100.0	19.9	29.0	32.4	6.9	8.8	2.8
75~79歳	527	111	163	155	36	38	24
	100.0	21.1	30.9	29.4	6.8	7.2	4.6
80~84歳	250	42	57	84	22	33	12
	100.0	16.8	22.8	33.6	8.8	13.2	4.8
85歳以上	70	10	8	33	12	5	2
	100.0	14.3	11.4	47.1	17.1	7.1	2.9

上段：人数/下段：%

表5-24 経年比較 介護予防のための講習やトレーニングへの参加意向

	調査数	現在、参加している	今後、参加してみたい	あまり参加したくない	まったく参加したくない	わからない	無回答
平成19年	1,473人	14.7	32.9	28.2	6.1	10.1	7.9
平成22年	2,179人	18.5	29.3	31.8	7.3	9.2	3.8

《問16で「1 現在、参加している」とお答えの方に》

問16-1 どのような講習やトレーニングに参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

参加している介護予防のための講習やトレーニングとしては、「公民館で開催されている各種教室」が33.9%で最も多く、以下「民間のスポーツクラブ」(27.7%)、「老人福祉センター(Uセンター)で開催されている各種教室」(20.0%)の順で続いています。

図5-28 参加している講習やトレーニング

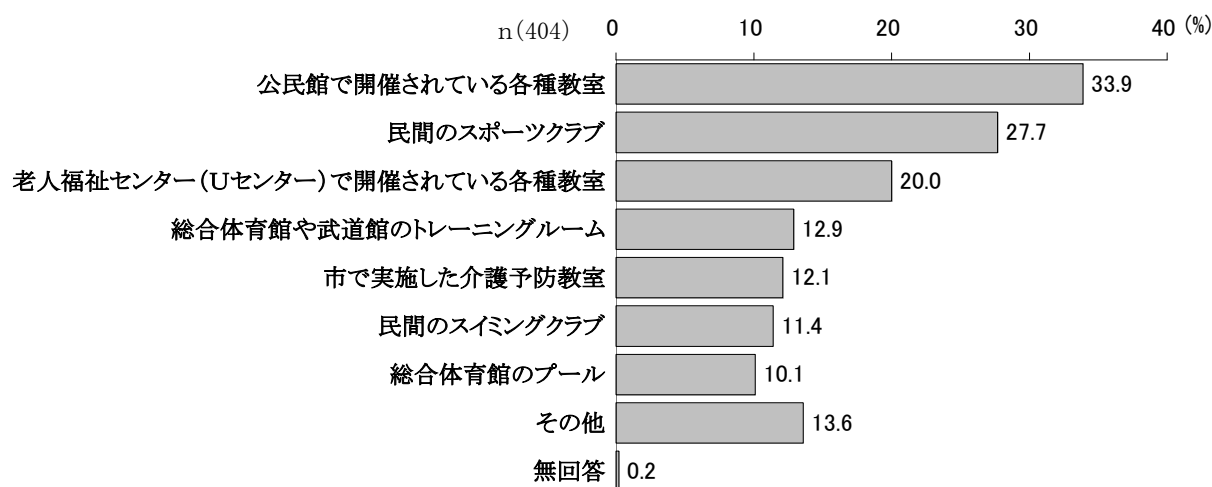


表5-25 性・年代別 参加している講習やトレーニング

上段：人数/下段：%

	調査数	公民館で各種教室を開催されている	民間のスポーツクラブ	老人福祉センター(Uセンター)で開催されている各種教室	総合体育館や武道館のトレーニングルーム	市で実施した介護予防教室	民間のスイミングクラブ	総合体育館のプール	その他	無回答
全体	404 100.0	137 33.9	112 27.7	81 20.0	52 12.9	49 12.1	46 11.4	41 10.1	55 13.6	1 0.2
問1(1) 性別/本人										
男性	275 100.0	81 29.5	82 29.8	51 18.5	42 15.3	31 11.3	29 10.5	32 11.6	43 15.6	1 0.4
女性	99 100.0	46 46.5	24 24.2	22 22.2	8 8.1	17 17.2	15 15.2	4 4.0	9 9.1	-
問1(3) 年齢/本人										
65~69歳	82 100.0	34 41.5	25 30.5	12 14.6	13 15.9	11 13.4	16 19.5	11 13.4	8 9.8	-
70~74歳	147 100.0	42 28.6	46 31.3	28 19.0	23 15.6	8 5.4	12 8.2	17 11.6	18 12.2	-
75~79歳	111 100.0	33 29.7	33 29.7	21 18.9	13 11.7	13 11.7	13 11.7	8 7.2	19 17.1	1 0.9
80~84歳	42 100.0	18 42.9	4 9.5	15 35.7	3 7.1	9 21.4	4 9.5	3 7.1	7 16.7	-
85歳以上	10 100.0	4 40.0	1 10.0	3 30.0	-	5 50.0	-	1 10.0	2 20.0	-

表5-26 経年比較 参加している講習やトレーニング

(%)

	調査数	公民館で開催されている各種教室	民間のスポーツクラブ	老人福祉センター（U）で開催されている各種教室	総合体育館や武道館のトレーニングルーム	民間のスイミングクラブ	総合体育館のプール	その他	無回答
平成19年	217人	26.7	35.9	12.0	23.5	14.7	11.1	12.0	1.4
平成22年	404人	33.9	27.7	20.0	12.9	11.4	10.1	13.6	0.2

(注)「市で実施した介護予防教室」は、前回調査の項目になし。

《問16で「3 あまり参加したいと思わない」「4 まったく参加したいと思わない」とお答えの方に》

問16-2 それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

介護予防のための講習やトレーニングをしていない理由としては、「必要がないと思うから」が33.9%で最も多く、以下「参加したいものがないから」(21.8%)、「どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから」(17.0%)、「健康・体力に自身がないから」(16.8%)の順で続いています。

図5-29 参加したくない理由

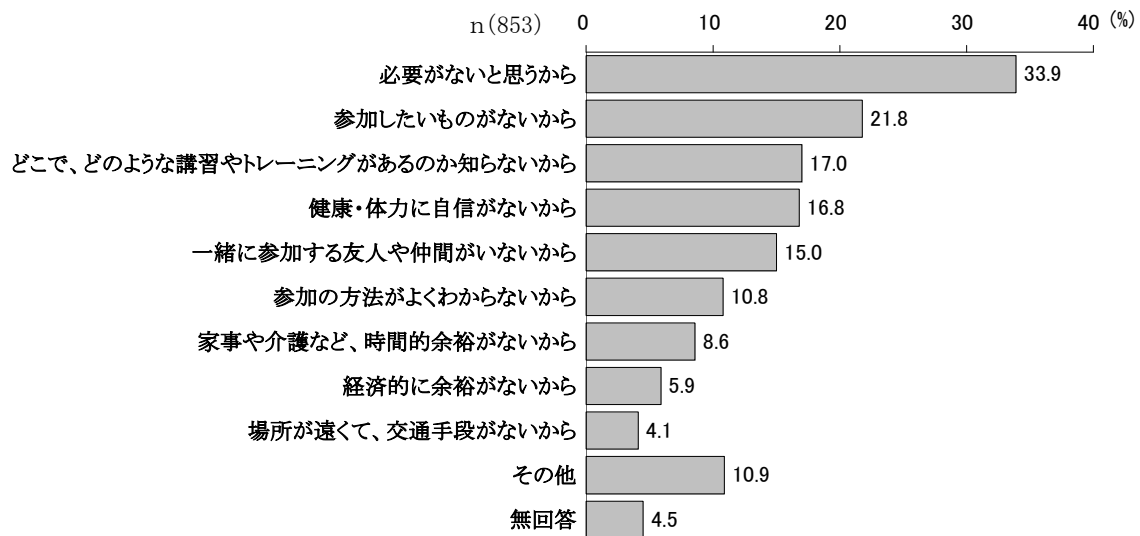


表5-27 性・年代別 参加したくない理由

上段：人数／下段：%

	調査数	必要がないと思うから	参加したいものがないから	どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから	健康・体力に自信がないから	一緒に参加する友人や仲間がないから	参加の方法がよくわからないから	家事や介護など、時間的余裕がないから	経済的に余裕がないから	場所が遠くて、交通手段がないから	その他	無回答
全体	853 100.0	289 33.9	186 21.8	145 17.0	143 16.8	128 15.0	92 10.8	73 8.6	50 5.9	35 4.1	93 10.9	38 4.5
問1(1) 性別／本人												
男性	633 100.0	241 38.1	144 22.7	120 19.0	96 15.2	91 14.4	71 11.2	39 6.2	36 5.7	25 3.9	65 10.3	21 3.3
女性	143 100.0	35 24.5	29 20.3	17 11.9	29 20.3	21 14.7	13 9.1	25 17.5	6 4.2	8 5.6	18 12.6	9 6.3
問1(3) 年齢／本人												
65～69歳	188 100.0	83 44.1	42 22.3	32 17.0	16 8.5	29 15.4	20 10.6	17 9.0	10 5.3	3 1.6	17 9.0	6 3.2
70～74歳	290 100.0	107 36.9	67 23.1	53 18.3	33 11.4	41 14.1	34 11.7	19 6.6	20 6.9	9 3.1	38 13.1	9 3.1
75～79歳	191 100.0	66 34.6	44 23.0	29 15.2	35 18.3	27 14.1	18 9.4	17 8.9	10 5.2	9 4.7	16 8.4	9 4.7
80～84歳	106 100.0	26 24.5	21 19.8	21 19.8	30 28.3	21 19.8	15 14.2	9 8.5	5 4.7	8 7.5	11 10.4	6 5.7
85歳以上	45 100.0	2 4.4	5 11.1	7 15.6	22 48.9	3 6.7	2 4.4	6 13.3	1 2.2	5 11.1	8 17.8	3 6.7

問17 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つだけ)

たばこを「吸う」は12.7%、「以前吸っていたが、やめた」は38.7%となっています。一方、「吸わない」は46.9%と、5割近くを占めています。

図5-30 喫煙習慣について

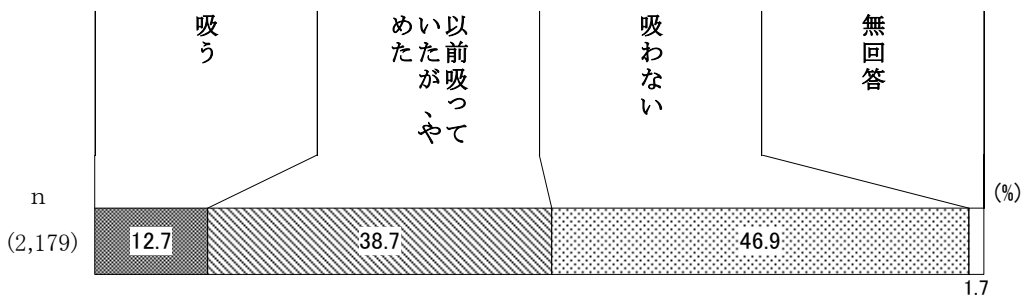


表5-28 性・年代別 喫煙習慣について

	調査数	吸う	以前吸っていたがやめた	吸わない	無回答
全体	2179	276	844	1023	36
	100.0	12.7	38.7	46.9	1.7
問1(1) 性別/本人					
男性	1587	214	764	583	26
	100.0	13.5	48.1	36.7	1.6
女性	404	26	35	338	5
	100.0	6.4	8.7	83.7	1.2
問1(3) 年齢/本人					
65~69歳	516	77	149	283	7
	100.0	14.9	28.9	54.8	1.4
70~74歳	737	104	284	338	11
	100.0	14.1	38.5	45.9	1.5
75~79歳	527	45	254	215	13
	100.0	8.5	48.2	40.8	2.5
80~84歳	250	30	114	104	2
	100.0	12.0	45.6	41.6	0.8
85歳以上	70	3	27	38	2
	100.0	4.3	38.6	54.3	2.9

上段：人数/下段：%

表5-29 経年比較 喫煙習慣について

	調査数	吸う	以前吸っていたがやめた	吸わない	無回答 (%)
平成19年	1,473人	16.8	38.8	39.9	4.5
平成22年	2,179人	12.7	38.7	46.9	1.7

《問17で「1 吸う」とお答えの方に》

問17-1 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。(○は1つだけ)

喫煙者に禁煙の意向をきいたところ、「吸う本数を減らしたい」が40.6%で最も多く、これに「やめたい」が37.3%で次いでいます。一方、「やめたくない」は19.9%となっています。

図5-31 禁煙の意向

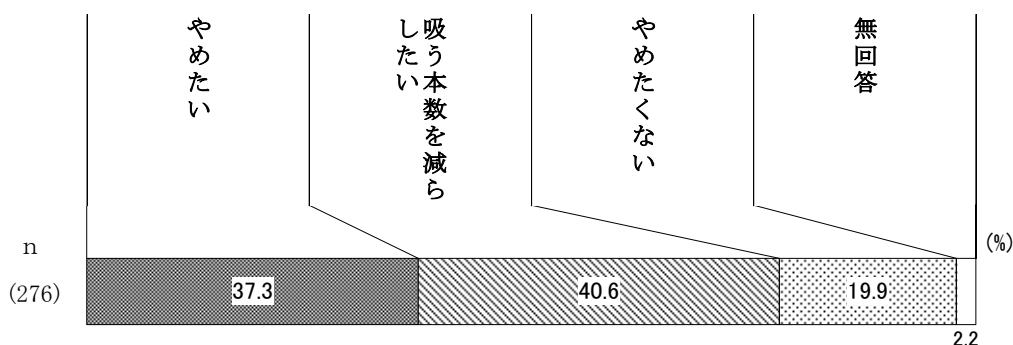


表5-30 性・年代別 禁煙の意向

	調査数	やめたい	吸う本数を減らしたい	やめたくない	無回答
全体	276 100.0	103 37.3	112 40.6	55 19.9	6 2.2
問1(1) 性別/本人					
男性	214 100.0	76 35.5	91 42.5	43 20.1	4 1.9
女性	26 100.0	13 50.0	9 34.6	4 15.4	-
問1(3) 年齢/本人					
65~69歳	77 100.0	34 44.2	27 35.1	16 20.8	-
70~74歳	104 100.0	38 36.5	44 42.3	20 19.2	2 1.9
75~79歳	45 100.0	14 31.1	22 48.9	8 17.8	1 2.2
80~84歳	30 100.0	12 40.0	10 33.3	7 23.3	1 3.3
85歳以上	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	-

上段：人数/下段：%

表5-31 経年比較 禁煙の意向

	調査数	やめたい	吸う本数を減らしたい	やめたくない	無回答
平成19年	247人	30.4	44.5	23.1	2.0
平成22年	276人	37.3	40.6	19.9	2.2

(%)

問18 あなたは、お酒（洋酒、日本酒、ビールなど）をどの程度飲みますか。（○は1つだけ）

飲酒の状況としては、「毎日飲む」が33.5%で最も多く、これに「週に3～5回飲む」（12.8%）が次いでいます。「毎日飲む」～「それ以下」を合わせた【飲酒する】は67.5%となっています。一方、「まったく飲まない」は30.2%となっています。

図5-32 飲酒の程度

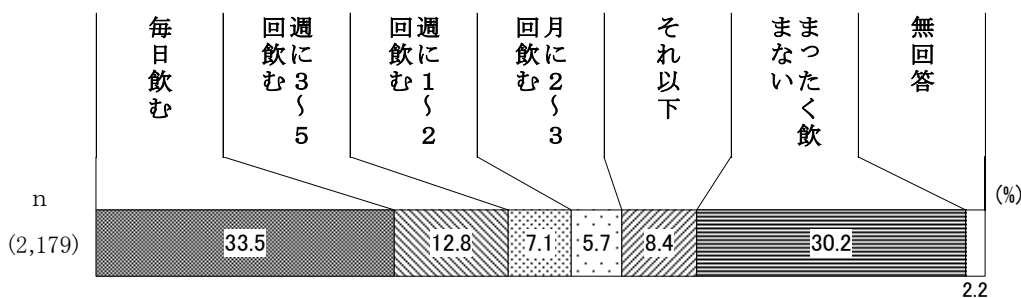


表5-32 性・年代別 飲酒の程度

上段：人数／下段：%

	調査数	毎日飲む	週に3～5回飲む	週に1～2回飲む	月に2～3回飲む	それ以下	まったく飲まない	無回答
全体	2179	731	279	155	125	183	659	47
	100.0	33.5	12.8	7.1	5.7	8.4	30.2	2.2
問1(1) 性別／本人								
男性	1587	625	237	123	92	113	376	21
	100.0	39.4	14.9	7.8	5.8	7.1	23.7	1.3
女性	404	47	29	21	22	58	214	13
	100.0	11.6	7.2	5.2	5.4	14.4	53.0	3.2
問1(3) 年齢／本人								
65～69歳	516	179	66	41	27	48	145	10
	100.0	34.7	12.8	7.9	5.2	9.3	28.1	1.9
70～74歳	737	259	101	43	54	62	204	14
	100.0	35.1	13.7	5.8	7.3	8.4	27.7	1.9
75～79歳	527	180	73	44	25	44	151	10
	100.0	34.2	13.9	8.3	4.7	8.3	28.7	1.9
80～84歳	250	75	27	18	12	17	98	3
	100.0	30.0	10.8	7.2	4.8	6.8	39.2	1.2
85歳以上	70	16	8	3	3	3	35	2
	100.0	22.9	11.4	4.3	4.3	4.3	50.0	2.9

表5-33 経年比較 飲酒の程度

(%)

	調査数	毎日飲む	週に3～5回飲む	週に1～2回飲む	月に2～3回飲む	それ以下	まったく飲まない	無回答
平成19年	1,473人	35.8	11.0	7.9	6.6	7.2	27.2	4.3
平成22年	2,179人	33.5	12.8	7.1	5.7	8.4	30.2	2.2

《問18で1～5とお答えの方に》

問18-1 日本酒に換算して、1回平均どれくらい飲んでいきますか。(〇は1つだけ)

飲酒する人に、その量をきいたところ、「1合未満」が46.1%で最も多く、これに「1合～2合未満」が34.4%で次いでいます。

図5-33 1回の飲酒量

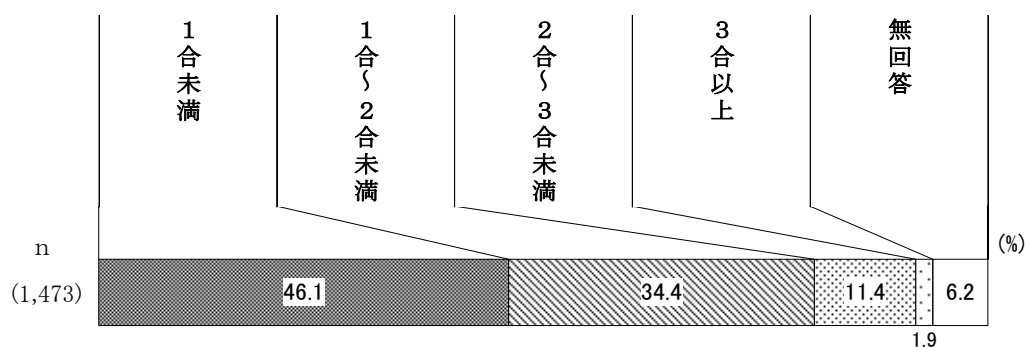


表5-34 性・年代別 1回の飲酒量

	調査数	1合未満	1合～2合未満	2合～3合未満	3合以上	無回答
全体	1473	679	507	168	28	91
	100.0	46.1	34.4	11.4	1.9	6.2
問1(1) 性別/本人						
男性	1190	526	443	149	24	48
	100.0	44.2	37.2	12.5	2.0	4.0
女性	177	123	23	4	2	25
	100.0	69.5	13.0	2.3	1.1	14.1
問1(3) 年齢/本人						
65～69歳	361	165	118	45	9	24
	100.0	45.7	32.7	12.5	2.5	6.6
70～74歳	519	209	197	71	12	30
	100.0	40.3	38.0	13.7	2.3	5.8
75～79歳	366	185	126	32	7	16
	100.0	50.5	34.4	8.7	1.9	4.4
80～84歳	149	80	45	14	-	10
	100.0	53.7	30.2	9.4	-	6.7
85歳以上	33	22	7	2	-	2
	100.0	66.7	21.2	6.1	-	6.1

上段：人数/下段：%

表5-35 経年比較 1回の飲酒量

	調査数	1合未満	1合～2合未満	2合～3合未満	3合以上	無回答
平成19年	1,010人	43.7	36.9	12.1	1.8	5.5
平成22年	1,473人	46.1	34.4	11.4	1.9	6.2

(%)

《問18で1～5とお答えの方に》

問18-2 あなたは、今後、飲酒について、どのようにしたいと思いますか。(〇は1つだけ)

飲酒する人に、今後の飲酒意向をきいたところ、「今のままでよい」が81.3%と圧倒的に多くなっています。一方、「飲む量を減らしたい」は12.9%となっています。

図5-34 今後の飲酒についての意向

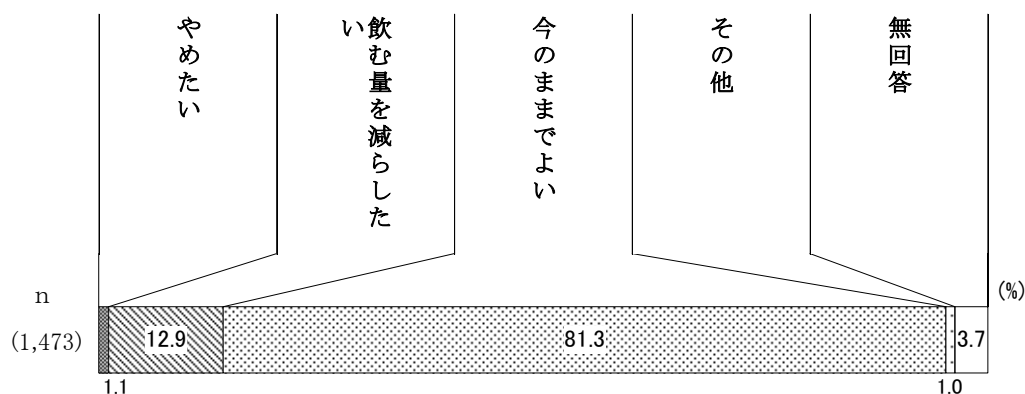


表5-36 経年比較 今後の飲酒についての意向

(%)

	調査数	やめたい	飲む量を減らしたい	今のままでよい	その他	無回答
平成19年	1,010人	2.1	12.7	81.1	1.3	2.9
平成22年	1,473人	1.1	12.9	81.3	1.0	3.7

問19 健康について、特にどのようなことが知りたいですか。(〇は3つまで)

健康について知りたいこととしては、「認知症の予防について」(31.5%)、「がんの予防について」(30.4%)、「ひざ痛・腰痛予防について」(29.6%)が、いずれも3割前後と、特に多くなっています。

図5-35 健康について特に知りたいこと

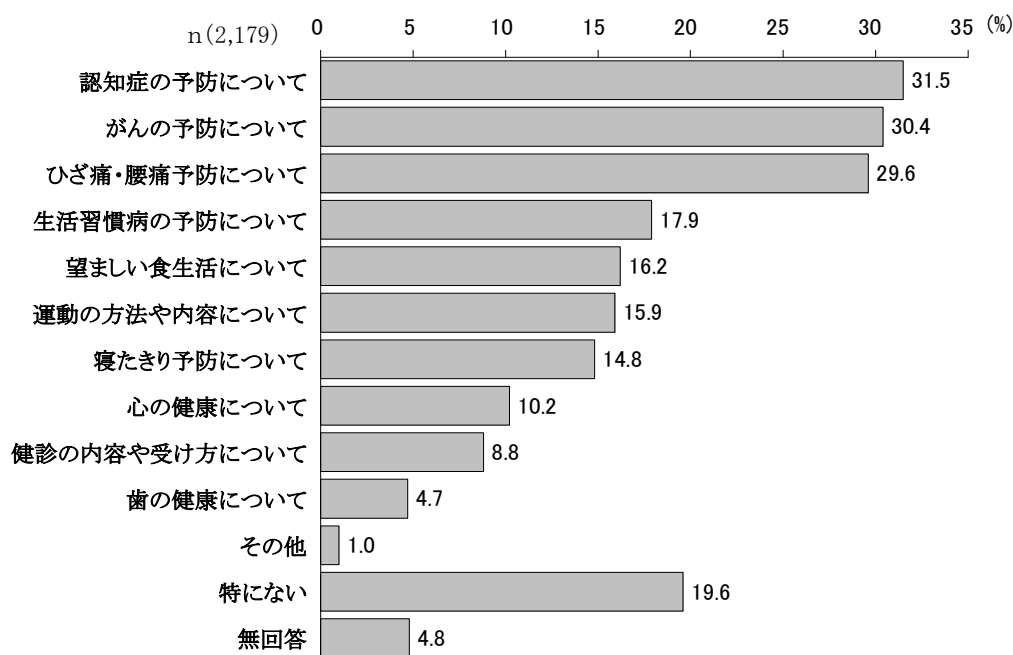


表5-37 性・年代別 健康について特に知りたいこと

上段：人数/下段：%

	調査数	認知症の予防について	がんの予防について	ひざ痛・腰痛予防について	生活習慣病の予防について	望ましい食生活について	運動の方法や内容について	寝たきり予防について	心の健康について	健診の内容や受け方について	歯の健康について	その他	特にない	無回答
全体	2179 100.0	687 31.5	663 30.4	644 29.6	390 17.9	353 16.2	347 15.9	322 14.8	222 10.2	191 8.8	102 4.7	22 1.0	427 19.6	104 4.8
問1(1)性別/本人														
男性	1587 100.0	509 32.1	518 32.6	437 27.5	306 19.3	263 16.6	265 16.7	231 14.6	148 9.3	147 9.3	81 5.1	16 1.0	326 20.5	54 3.4
女性	404 100.0	130 32.2	94 23.3	142 35.1	49 12.1	58 14.4	63 15.6	63 15.6	58 14.4	33 8.2	13 3.2	4 1.0	77 19.1	29 7.2
問1(3)年齢/本人														
65~69歳	516 100.0	160 31.0	157 30.4	138 26.7	94 18.2	69 13.4	86 16.7	53 10.3	51 9.9	41 7.9	24 4.7	2 0.4	125 24.2	23 4.5
70~74歳	737 100.0	227 30.8	248 33.6	206 28.0	147 19.9	121 16.4	133 18.0	100 13.6	92 12.5	77 10.4	40 5.4	7 0.9	138 18.7	19 2.6
75~79歳	527 100.0	181 34.3	160 30.4	158 30.0	102 19.4	89 16.9	82 15.6	84 15.9	50 9.5	41 7.8	23 4.4	8 1.5	95 18.0	29 5.5
80~84歳	250 100.0	76 30.4	63 25.2	81 32.4	31 12.4	43 17.2	32 12.8	51 20.4	20 8.0	25 10.0	10 4.0	4 1.6	48 19.2	18 7.2
85歳以上	70 100.0	21 30.0	18 25.7	30 42.9	8 11.4	16 22.9	4 5.7	22 31.4	2 2.9	5 7.1	2 2.9	1 1.4	10 14.3	6 8.6

6. 社会参加・地域とのふれあいについて

問20 あなたは、ふだん隣近所の人とどの程度の交流がありますか。(○は1つだけ)

隣近所の人との交流については、「顔を合わせたときにあいさつをする程度」が42.2%で最も多く、これに「立ち話や世間話・情報交換をする程度」が30.3%で次いでいます。

図5-36 隣近所の人との交流の程度

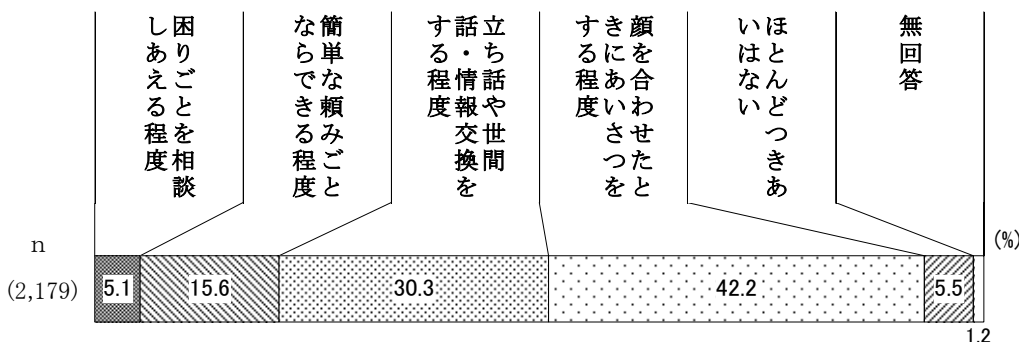


表5-38 性・年代別 隣近所の人との交流の程度

	調査数	しあえる程度を相談	簡単な頼みごと	立ち話や世間話・情報交換をする程度	顔を合わせたときにあいさつをする程度	ほとんどつきあい	無回答
全体	2179	111	340	661	920	120	27
問1(1)性別/本人							
男性	1587	60	228	472	716	96	15
女性	404	43	76	132	137	11	5
問1(3)年齢/本人							
65~69歳	516	36	88	162	205	21	4
70~74歳	737	28	111	234	321	37	6
75~79歳	527	23	84	165	217	31	7
80~84歳	250	13	38	62	111	19	7
85歳以上	70	4	6	15	38	5	2

上段：人数/下段：%

表5-39 経年比較 隣近所の人との交流の程度

	調査数	しあえる程度を相談	簡単な頼みごと	立ち話や世間話・情報交換をする程度	顔を合わせたときにあいさつをする程度	ほとんどつきあい	無回答
平成19年	1,473人	4.1	16.5	28.8	43.4	5.2	2.0
平成22年	2,179人	5.1	15.6	30.3	42.2	5.5	1.2

(%)

問21 隣近所の人との交流について、今後はどのようにしたいですか。(〇は1つだけ)

今後の隣近所の人との交流意向をみると、「今のままでよい」が45.9%で最も多く、これに「立ち話や世間話・情報交換をする程度にしたい」が17.1%で次いでいます。

図5-37 隣近所の人との交流についての今後の意向

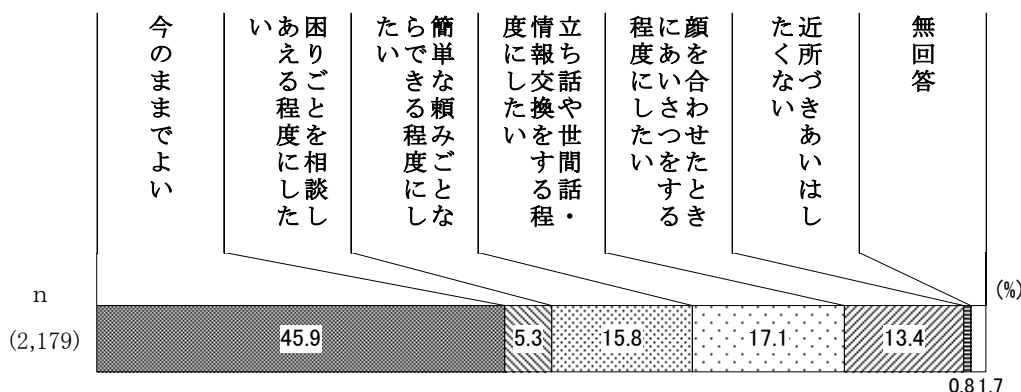


表5-40 性・年代別 隣近所の人との交流についての今後の意向

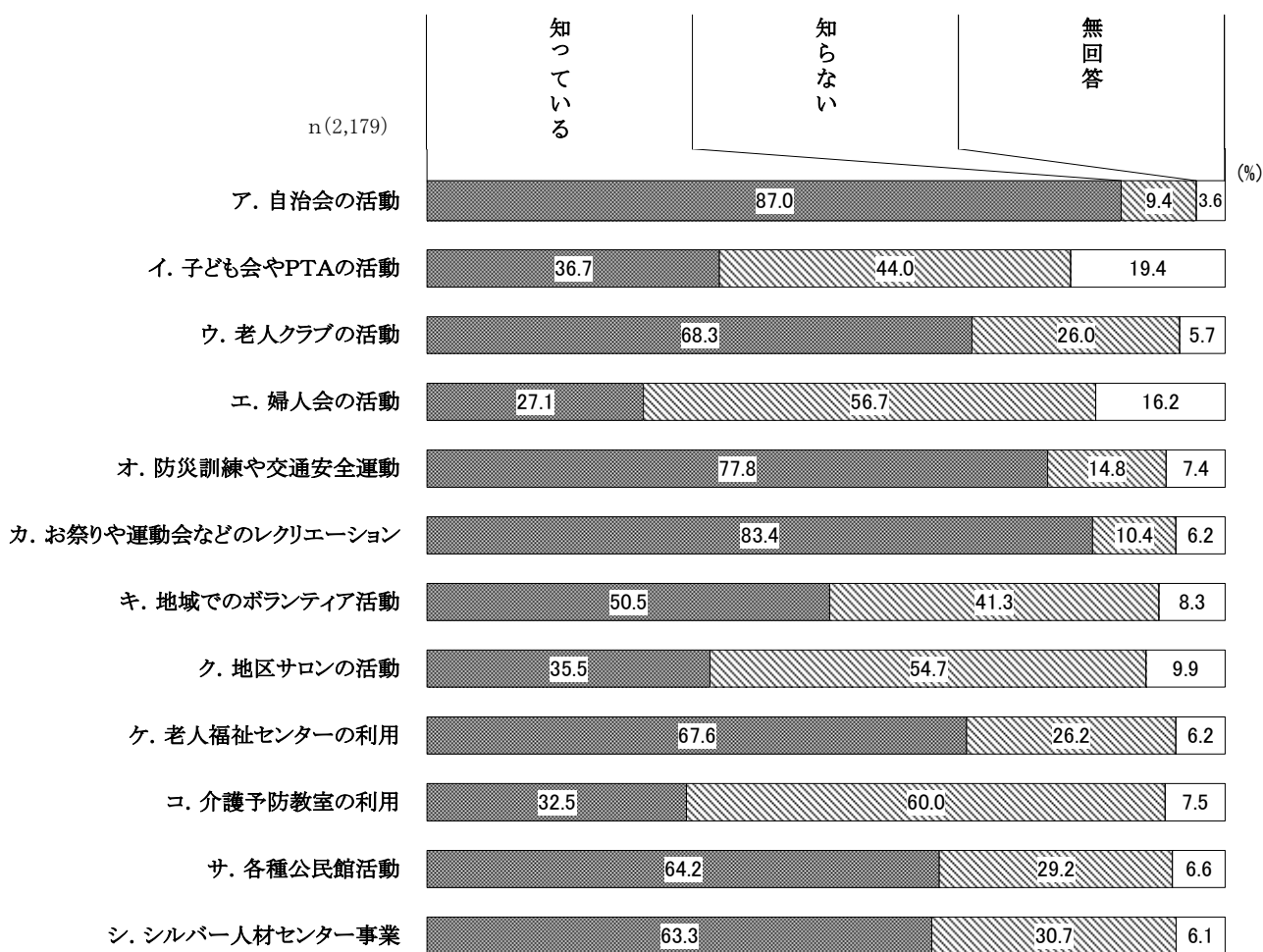
	調査数	今のままでよい	立ち話や世間話・情報交換をする程度にしたい	簡単な頼みごとならできると相談したい	近所づきあいはしたくない	無回答
全体	2179	1000	116	345	292	36
	100.0	45.9	5.3	15.8	13.4	0.8
問1(1) 性別/本人						
男性	1587	724	81	253	278	23
	100.0	45.6	5.1	15.9	17.5	1.4
女性	404	199	22	68	41	7
	100.0	49.3	5.4	16.8	16.1	1.7
問1(3) 年齢/本人						
65~69歳	516	233	22	81	104	9
	100.0	45.2	4.3	15.7	20.2	1.7
70~74歳	737	337	32	126	131	5
	100.0	45.7	4.3	17.1	17.8	0.7
75~79歳	527	250	32	86	76	9
	100.0	47.4	6.1	16.3	14.4	1.7
80~84歳	250	116	17	33	42	8
	100.0	46.4	6.8	13.2	16.8	3.2
85歳以上	70	33	4	9	7	2
	100.0	47.1	5.7	12.9	10.0	2.9

上段：人数/下段：%

問22 あなたは、お住まいの地域のいろいろな行事や活動等を知っていますか。

地域活動の周知度では、「自治会の活動」が87.0%で最も多く、以下「お祭りや運動会等レクリエーション」(83.4%)、「防災訓練や交通安全運動」(77.8%)、「老人クラブの活動」(68.3%)、「老人福祉センターの利用」(67.6%)の順で続いています。

図5-38 地域の行事等の周知状況



地域活動の参加状況を見ると、周知度の高いものほど参加状況もよくなる傾向があり、「自治会の活動」は、「よく参加している」(16.5%)、「時々参加している」(35.8%)を合わせた【参加している】は52.3%、以下【参加している】は、「お祭りや運動会などのレクリエーション」(48.7%)、「防災訓練や交通安全運動」(39.4%)、となっています。一方、「老人福祉センターの利用」や「シルバー人材センター事業」は、周知度が高い割には参加率は低くなっています。

図5-39 地域の行事等の参加状況

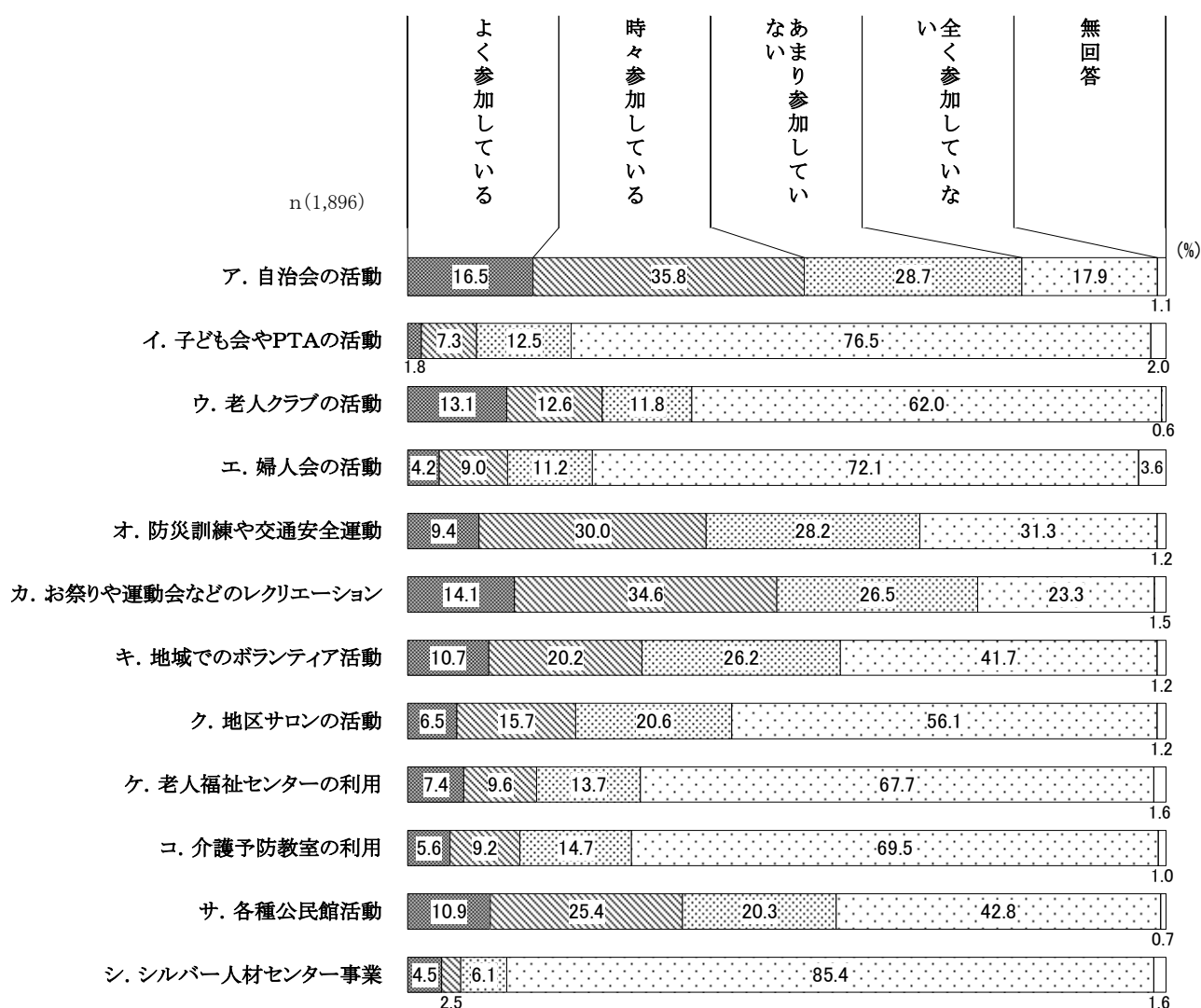


表5-41 経年比較 地域の行事等の周知状況と参加状況

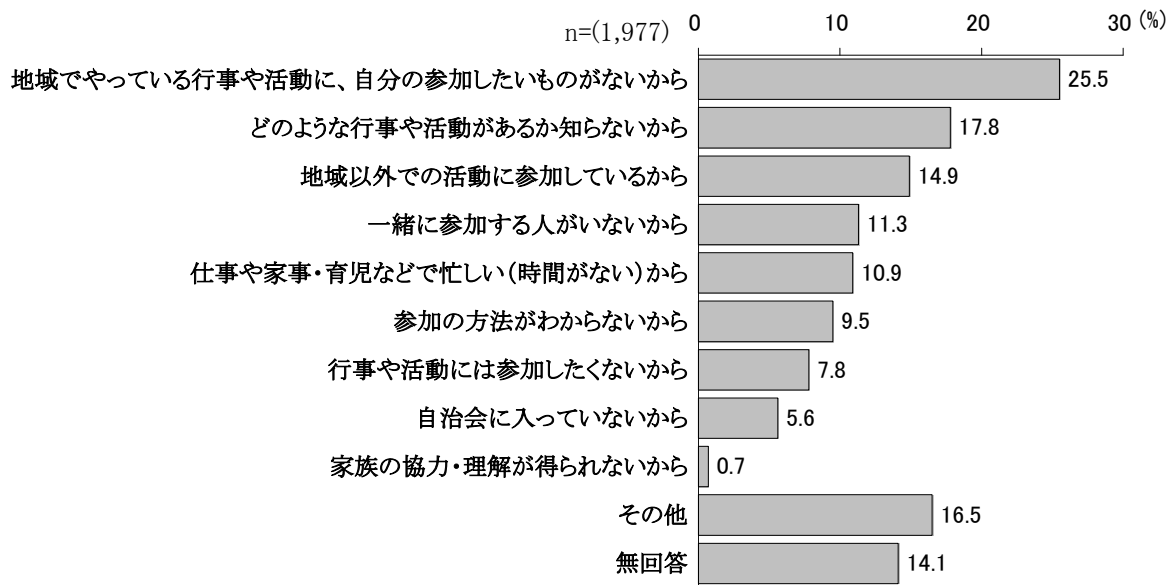
	周知状況				参加状況					
	調査数	知っている	知らない	無回答	調査数	よく参加している	時々参加している	あまり参加していない	全く参加していない	無回答
ア. 自治会の活動										
平成19年	1,473人	85.9	8.8	5.2	1,266人	17.5	37.4	26.0	17.9	1.2
平成22年	2,179人	87.0	9.4	3.6	1,896人	16.5	35.8	28.7	17.9	1.1
イ. 子ども会やPTAの活動										
平成19年	1,473人	39.8	41.1	19.1	586人	1.7	9.2	14.5	72.2	2.4
平成22年	2,179人	36.7	44.0	19.4	799人	1.8	7.3	12.5	76.5	2.0
ウ. 老人クラブの活動										
平成19年	1,473人	65.5	27.5	7.0	965人	14.1	12.2	11.6	61.2	0.8
平成22年	2,179人	68.3	26.0	5.7	1,488人	13.1	12.6	11.8	62.0	0.6
エ. 婦人会の活動										
平成19年	1,473人	26.3	55.6	18.1	388人	6.2	7.5	14.2	67.8	4.4
平成22年	2,179人	27.1	56.7	16.2	591人	4.2	9.0	11.2	72.1	3.6
オ. 防災訓練や交通安全運動										
平成19年	1,473人	78.1	14.8	7.1	1,151人	9.4	28.8	30.8	30.1	1.0
平成22年	2,179人	77.8	14.8	7.4	1,696人	9.4	30.0	28.2	31.3	1.2
カ. お祭りなどのレクリエーション										
平成19年	1,473人	83.9	9.2	6.9	1,236人	15.1	33.7	27.3	23.1	0.7
平成22年	2,179人	83.4	10.4	6.2	1,817人	14.1	34.6	26.5	23.3	1.5
キ. 地域でのボランティア活動										
平成19年	1,473人	51.1	41.1	7.8	753人	14.3	19.7	26.3	38.6	1.1
平成22年	2,179人	50.5	41.3	8.3	1,100人	10.7	20.2	26.2	41.7	1.2
ク. 地区サロンの活動										
平成19年	1,473人	29.5	60.8	9.8	434人	9.0	16.8	23.7	50.0	0.5
平成22年	2,179人	35.5	54.7	9.9	773人	6.5	15.7	20.6	56.1	1.2
ケ. 老人福祉センターの利用										
平成19年	1,473人	66.1	27.6	6.3	974人	6.7	8.4	11.1	73.3	0.5
平成22年	2,179人	67.6	26.2	6.2	1,473人	7.4	9.6	13.7	67.7	1.6
コ. 介護予防教室の利用										
平成19年	1,473人	23.2	68.8	8.1	341人	5.6	8.2	11.4	74.5	0.3
平成22年	2,179人	32.5	60.0	7.5	708人	5.6	9.2	14.7	69.5	1.0
サ. 各種公民館活動										
平成19年	1,473人	65.3	27.6	7.1	962人	11.7	26.0	21.1	40.6	0.5
平成22年	2,179人	64.2	29.2	6.6	1,400人	10.9	25.4	20.3	42.8	0.7
シ. シルバー人材センター事業										
平成19年	1,473人	65.0	28.6	6.4	958人	6.2	3.1	6.2	83.0	1.6
平成22年	2,179人	63.3	30.7	6.1	1,379人	4.5	2.5	6.1	85.4	1.6

《問22のア～シの参加状況で、「3 あまり参加していない」「4 全く参加していない」に1つでも○をつけた方に》

問22-1 参加していない理由をお答えください。(○は3つまで)

参加していない理由は、「地域でやっている行事や活動に、自分の参加したいものがないから」(25.5%)と「どのような行事や活動があるか知らないから」(17.8%)が多くなっています。

図5-40 参加していない理由



問23 一週間のうち外出することはどのくらいありますか。(○は1つだけ)

外出頻度をみると、「ほとんど毎日」が49.4%で最も多く、これに「週に3日、4日」が33.3%で次いでいます。一方、「ほとんど外出しない」は2.8%となっています。

図5-41 外出の頻度

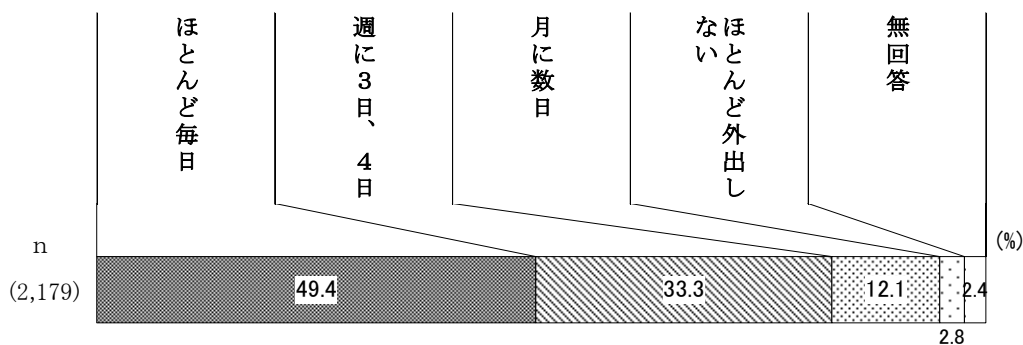


表5-42 性・年代別 外出の頻度

	調査数	ほとんど毎日	週に3日、4日	月に数日	ほとんど外出しない	無回答
全体	2179	1076	726	263	61	53
	100.0	49.4	33.3	12.1	2.8	2.4
問1(1) 性別/本人						
男性	1587	817	502	191	40	37
	100.0	51.5	31.6	12.0	2.5	2.3
女性	404	189	159	41	10	5
	100.0	46.8	39.4	10.1	2.5	1.2
問1(3) 年齢/本人						
65~69歳	516	283	176	46	5	6
	100.0	54.8	34.1	8.9	1.0	1.2
70~74歳	737	398	225	74	23	17
	100.0	54.0	30.5	10.0	3.1	2.3
75~79歳	527	245	190	63	15	14
	100.0	46.5	36.1	12.0	2.8	2.7
80~84歳	250	109	75	48	10	8
	100.0	43.6	30.0	19.2	4.0	3.2
85歳以上	70	16	24	23	4	3
	100.0	22.9	34.3	32.9	5.7	4.3

上段：人数/下段：%

表5-43 経年比較 外出の頻度

	調査数	ほとんど毎日	週に3日、4日	月に数日	ほとんど外出しない	無回答
平成19年	1,473人	48.2	33.5	12.7	2.4	3.2
平成22年	2,179人	49.4	33.3	12.1	2.8	2.4

問24 高齢者が家に閉じこもることは、寝たきりや認知症になりやすいといわれていますが、あなたはこのことをご存知ですか。(〇は1つだけ)

家に閉じこもることは寝たきりや認知症になりやすいということを、「知っている」は91.4%と9割以上に達しています。

図5-42 高齢者の閉じこもりは寝たきり等になりやすい

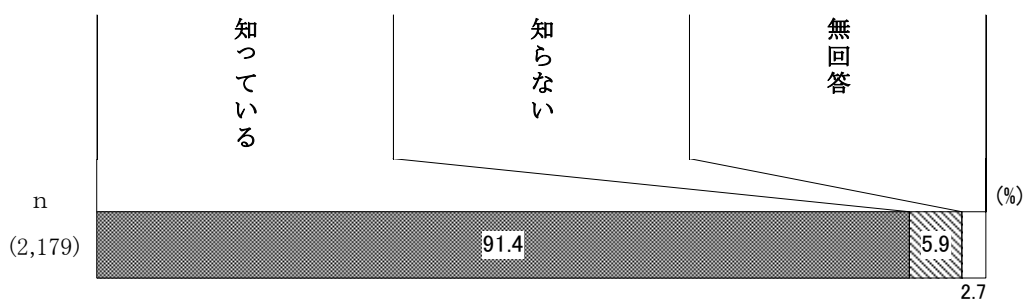


表5-44 性・年代別 高齢者の閉じこもりは寝たきり等になりやすい

	調査数	知っている	知らない	無回答	
全体	2179	1992	128	59	
	100.0	91.4	5.9	2.7	上段：人数／下段：%
問1(1) 性別／本人					
男性	1587	1446	102	39	
	100.0	91.1	6.4	2.5	
女性	404	378	17	9	
	100.0	93.6	4.2	2.2	
問1(3) 年齢／本人					
65～69歳	516	477	31	8	
	100.0	92.4	6.0	1.6	
70～74歳	737	676	44	17	
	100.0	91.7	6.0	2.3	
75～79歳	527	481	30	16	
	100.0	91.3	5.7	3.0	
80～84歳	250	230	12	8	
	100.0	92.0	4.8	3.2	
85歳以上	70	59	7	4	
	100.0	84.3	10.0	5.7	

表5-45 経年比較 高齢者の閉じこもりは寝たきり等になりやすい

	調査数	知っている	知らない	無回答	(%)
平成19年	1,473人	91.3	5.8	2.9	
平成22年	2,179人	91.4	5.9	2.7	

問25 あなたが、現在生きがいを感じることはどんなことですか。また、今後やりたいことはどんなことですか。(ア) 生きがいを感じること (あてはまるものすべてに○) (イ) 今後やりたいこと (あてはまるものすべてに○)

(ア) 生きがいを感じること (あてはまるものすべてに○)

生きがいを感じることは、「家族仲良く暮していくこと」が73.5%で最も多く、「子どもや孫の成長を見守ること」(64.1%)が次いでいます。

図5-43 生きがいを感じること

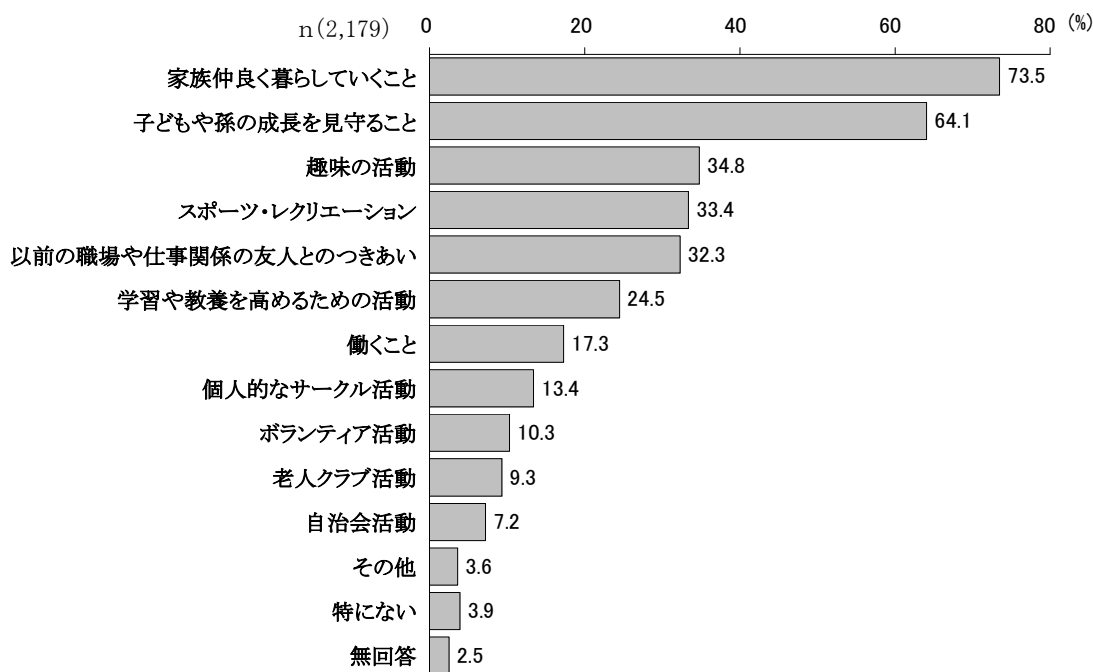


表5-46 性・年代別 生きがいを感じること

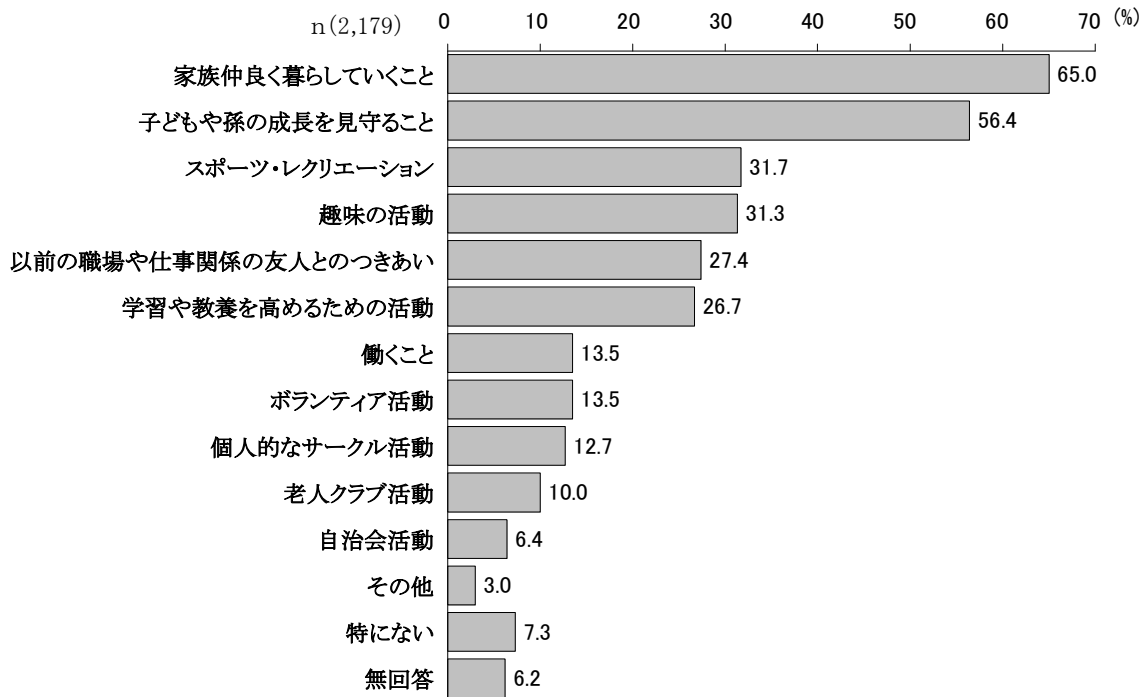
上段：人数／下段：%

	調査数	家族仲良く暮らしていくこと	子どもや孫の成長を見守ること	趣味の活動	スポーツ・レクリエーション	以前の職場や仕事関係の友人とのつきあい	学習や教養を高めるための活動	働くこと	個人的なサークル活動	ボランティア活動	老人クラブ活動	自治会活動	その他	特にない	無回答
全体	2179	1602	1397	759	728	703	533	378	292	225	202	156	78	85	55
	100.0	73.5	64.1	34.8	33.4	32.3	24.5	17.3	13.4	10.3	9.3	7.2	3.6	3.9	2.5
問1(1) 性別／本人															
男性	1587	1196	1034	567	582	573	397	295	190	167	167	131	55	56	39
	100.0	75.4	65.2	35.7	36.7	36.1	25.0	18.6	12.0	10.5	10.5	8.3	3.5	3.5	2.5
女性	404	282	247	144	112	84	113	51	84	46	28	16	15	20	9
	100.0	69.8	61.1	35.6	27.7	20.8	28.0	12.6	20.8	11.4	6.9	4.0	3.7	5.0	2.2
問1(3) 年齢／本人															
65～69歳	516	372	327	199	199	150	138	115	84	67	19	33	10	27	10
	100.0	72.1	63.4	38.6	38.6	29.1	26.7	22.3	16.3	13.0	3.7	6.4	1.9	5.2	1.9
70～74歳	737	546	475	269	295	252	197	155	120	85	76	60	29	16	12
	100.0	74.1	64.5	36.5	40.0	34.2	26.7	21.0	16.3	11.5	10.3	8.1	3.9	2.2	1.6
75～79歳	527	395	359	187	170	194	135	67	59	53	70	41	22	18	17
	100.0	75.0	68.1	35.5	32.3	36.8	25.6	12.7	11.2	10.1	13.3	7.8	4.2	3.4	3.2
80～84歳	250	193	155	71	48	81	42	23	23	17	31	18	10	10	8
	100.0	77.2	62.0	28.4	19.2	32.4	16.8	9.2	9.2	6.8	12.4	7.2	4.0	4.0	3.2
85歳以上	70	48	34	13	5	11	6	3	1	1	4	2	6	10	4
	100.0	68.6	48.6	18.6	7.1	15.7	8.6	4.3	1.4	1.4	5.7	2.9	8.6	14.3	5.7

(イ) 今後やりたいこと (あてはまるものすべてに○)

今後やりたいこととしては、「家族仲良く暮していくこと」が65.0%で最も多く、これに「子どもや孫の成長を見守ること」が56.4%で次いでいます。

図5-44 今後やりたいこと



7. 日常生活で困っていることや将来の不安について

問26 日常生活を送る中で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

日常生活の中で困ることとしては、「自分や家族の健康状態のこと」が32.8%で最も多く、以下「もの忘れなどが多く自分に自信が持てないこと」(8.6%)、「防犯、防災のこと」(7.6%)の順で続いています。

図5-45 日常生活で困っていること

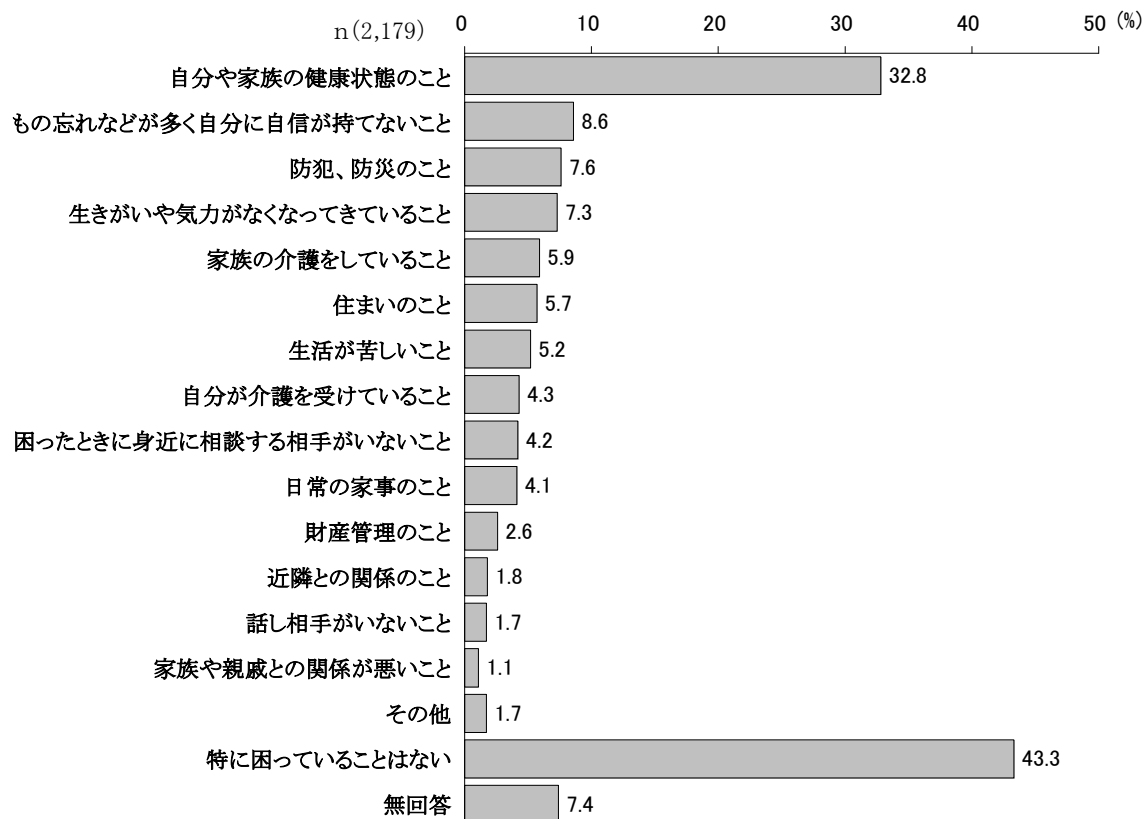


表5-47 性・年代別 日常生活で困っていること

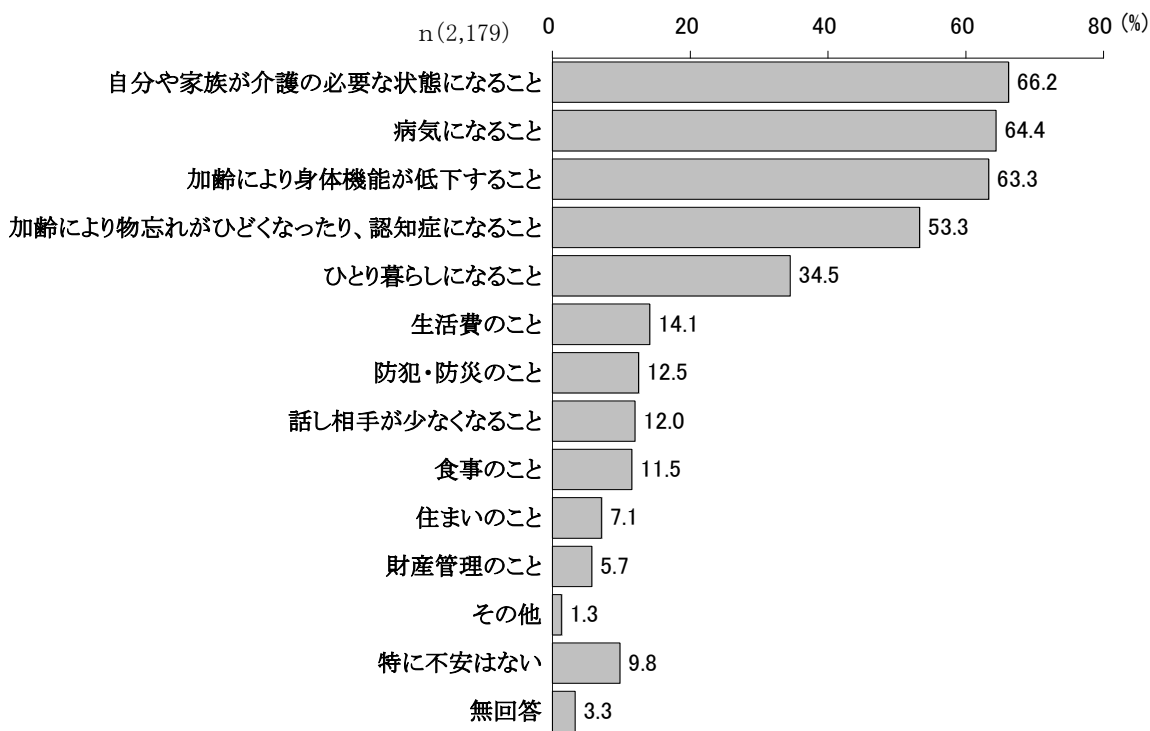
上段：人数/下段：%

	調査数	自分や家族の健康状態のこと	ものに忘れなどが多く自分に自信が持てないこと	防犯、防災のこと	生きがいや気力がなくなっていること	家族の介護をしていること	住まいのこと	生活が苦しいこと	自分が介護を受けていること	困ったときに身近に相談する相手がいないこと	日常の家事のこと	財産管理のこと	近隣との関係のこと	話し相手がいないこと	家族や親戚との関係が悪いこと	その他	特に困っていることはない	無回答
全体	2179	715	188	166	159	128	124	113	93	91	90	57	39	37	23	37	944	161
問1(1) 性別/本人																		
男性	1587	516	135	115	118	71	90	71	68	56	67	40	28	28	12	25	715	111
	100.0	32.5	8.5	7.2	7.4	4.5	5.7	4.5	4.3	3.5	4.2	2.5	1.8	1.8	0.8	1.6	45.1	7.0
女性	404	131	30	33	27	42	16	23	10	22	13	13	3	4	6	6	169	30
	100.0	32.4	7.4	8.2	6.7	10.4	4.0	5.7	2.5	5.4	3.2	3.2	0.7	1.0	1.5	1.5	41.8	7.4
問1(3) 年齢/本人																		
65~69歳	516	147	22	22	25	26	21	26	10	21	4	9	6	4	7	4	259	37
	100.0	28.5	4.3	4.3	4.8	5.0	4.1	5.0	1.9	4.1	0.8	1.7	1.2	0.8	1.4	0.8	50.2	7.2
70~74歳	737	236	54	56	41	31	40	37	23	29	16	21	13	15	7	12	343	49
	100.0	32.0	7.3	7.6	5.6	4.2	5.4	5.0	3.1	3.9	2.2	2.8	1.8	2.0	0.9	1.6	46.5	6.6
75~79歳	527	174	58	47	48	33	34	36	22	27	26	14	8	11	3	9	213	44
	100.0	33.0	11.0	8.9	9.1	6.3	6.5	6.8	4.2	5.1	4.9	2.7	1.5	2.1	0.6	1.7	40.4	8.3
80~84歳	250	93	28	20	26	23	17	6	18	7	26	8	6	4	2	8	89	16
	100.0	37.2	11.2	8.0	10.4	9.2	6.8	2.4	7.2	2.8	10.4	3.2	2.4	1.6	0.8	3.2	35.6	6.4
85歳以上	70	36	15	10	9	5	4	3	14	-	12	3	1	1	1	1	16	5
	100.0	51.4	21.4	14.3	12.9	7.1	5.7	4.3	20.0	-	17.1	4.3	1.4	1.4	1.4	1.4	22.9	7.1

問27 将来について何か不安はありますか。(あてはまるものすべてに○)

将来についての不安は、「自分や家族が介護の必要な状態になること」が66.2%で最も多く、以下「病気になること」(64.4%)、「加齢により身体機能が低下すること」(63.3%)の順で続いています。

図5-46 将来についての不安



上段：人数/下段：%

表5-48 性・年代別 将来についての不安

	調査数	自分や家族が介護の必要な状態になること	病気になること	加齢により身体機能が低下すること	加齢により物忘れがひどくなったり、認知症になること	ひとり暮らしになること	生活費のこと	防犯・防災のこと	話し相手が少なくなること	食事のこと	住まいのこと	財産管理のこと	その他	特に不安はない	無回答
全体	2179 100.0	1443 66.2	1404 64.4	1379 63.3	1161 53.3	752 34.5	308 14.1	272 12.5	262 12.0	250 11.5	154 7.1	125 5.7	29 1.3	214 9.8	72 3.3
問1(1)性別/本人															
男性	1587 100.0	1084 68.3	1038 65.4	1014 63.9	830 52.3	584 36.8	206 13.0	199 12.5	193 12.2	189 11.9	107 6.7	88 5.5	18 1.1	154 9.7	49 3.1
女性	404 100.0	243 60.1	254 62.9	255 63.1	235 58.2	102 25.2	59 14.6	52 12.9	43 10.6	38 9.4	27 6.7	26 6.4	6 1.5	42 10.4	15 3.7
問1(3)年齢/本人															
65~69歳	516 100.0	329 63.8	333 64.5	283 54.8	255 49.4	143 27.7	71 13.8	36 7.0	53 10.3	33 6.4	33 6.4	30 5.8	7 1.4	66 12.8	16 3.1
70~74歳	737 100.0	497 67.4	474 64.3	473 64.2	390 52.9	259 35.1	111 15.1	92 12.5	89 12.1	83 11.3	52 7.1	40 5.4	5 0.7	71 9.6	19 2.6
75~79歳	527 100.0	360 68.3	359 68.1	354 67.2	304 57.7	211 40.0	83 15.7	86 16.3	76 14.4	71 13.5	40 7.6	30 5.7	8 1.5	40 7.6	19 3.6
80~84歳	250 100.0	167 66.8	152 60.8	180 72.0	135 54.0	90 36.0	21 8.4	39 15.6	28 11.2	34 13.6	13 5.2	15 6.0	4 1.6	20 8.0	9 3.6
85歳以上	70 100.0	43 61.4	48 68.6	46 65.7	42 60.0	24 34.3	8 11.4	10 14.3	8 11.4	18 25.7	6 8.6	5 7.1	3 4.3	7 10.0	2 2.9

問28 あなたは普段、悩みや困ったことがあった場合、相談する人がいますか。(○は1つだけ)

悩みや困ったことを相談できる相手が「いる」は90.9%、「いない」は6.3%となっています。

図5-47 悩みや困ったことを相談する人の有無

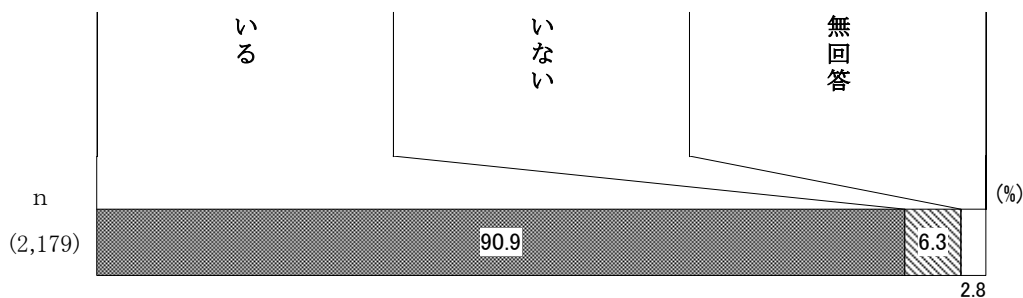


表5-49 性・年代別 悩みや困ったことを相談する人の有無

	調査数	いる	いない	無回答
全体	2179	1981	137	61
	100.0	90.9	6.3	2.8
問1(1)性別/本人				
男性	1587	1438	110	39
	100.0	90.6	6.9	2.5
女性	404	375	18	11
	100.0	92.8	4.5	2.7
問1(3)年齢/本人				
65~69歳	516	474	31	11
	100.0	91.9	6.0	2.1
70~74歳	737	666	51	20
	100.0	90.4	6.9	2.7
75~79歳	527	478	35	14
	100.0	90.7	6.6	2.7
80~84歳	250	231	10	9
	100.0	92.4	4.0	3.6
85歳以上	70	64	3	3
	100.0	91.4	4.3	4.3

上段：人数/下段：%

表5-50 経年比較 悩みや困ったことを相談する人の有無

	調査数	いる	いない	無回答
平成19年	1,473人	75.9	18.4	5.7
平成22年	2,179人	90.9	6.3	2.8

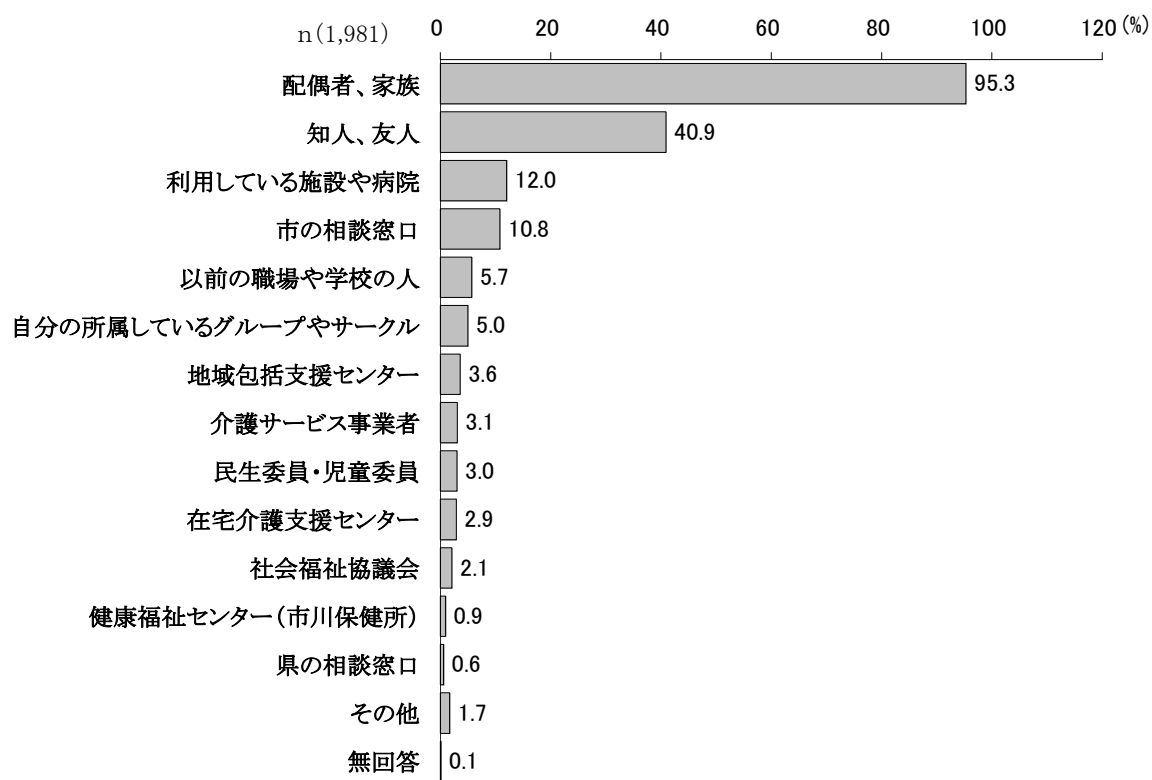
(%)

《問28で「1 いる」とお答えの方に》

問28-1 あなたは普段、悩みや困ったことをだれ（どこ）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

悩みや困ったことを相談できる相手がいる人に、それは誰かきいたところ、「配偶者、家族」が95.3%で最も多く、これに「知人、友人」が40.9%で次いでいます。

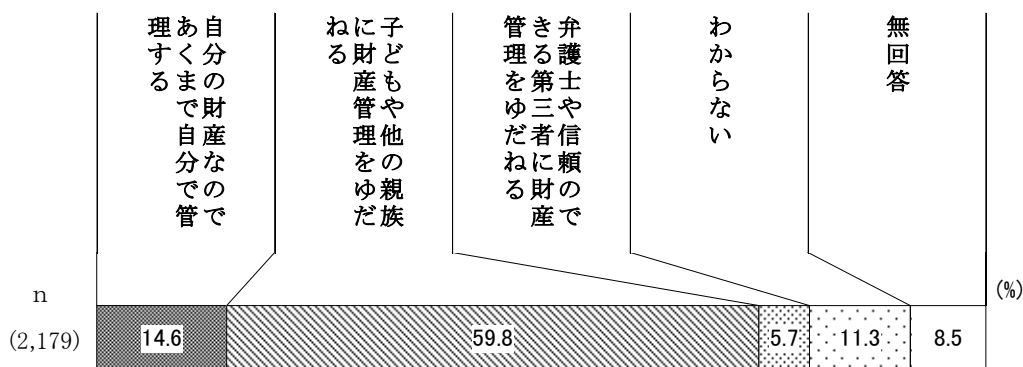
図5-48 悩みや困ったことの相談相手



問29 万一、認知症になるなど、高齢化に伴って財産の適正な管理や活用に不安が生じた場合、あなたはどのようにしたいと思いますか。(〇は1つだけ)

財産の適正な管理や活用に不安が生じた場合、対応としては、「子どもや他の親族に財産管理をゆだねる」が59.8%と、約6割となっています。

図5-49 高齢化に伴う財産管理の意向



8. 保健・福祉サービスの利用状況や利用意向について

問30 市では、次のような保健・福祉サービスを行っていますが、あなたはそのサービスをご存知ですか。また現在の利用状況と今後の利用意向についてお伺いします。(各項目〇はそれぞれ1つずつ)

調査票に記載されている保健・福祉サービスの詳しい内容です。

グラフには省略して表記しています。

ア. 健康診査の検査結果などが記録できる健康手帳を無料で交付しています。
イ. 健康維持、生活習慣病の予防のために、糖尿病、高脂血症、骨粗しょう症などの教室（健康教育）やウォーキング等を行っています。
ウ. 身体や心の悩み不安など、保健師・栄養士・歯科衛生士等が相談（健康チェック）や訪問を行っています。
エ. 生活習慣病やがんなどの予防・早期発見のため健康診査（特定健診・がん検診）を行っています。
オ. 介護や介護予防など高齢者の総合的な相談機関として、地域包括支援センターや在宅介護支援センターが設置されています。
カ. 高齢になっても健康でいきいきとした生活をおくるためには、病気の予防だけでなく老化のサインをいち早く発見し、適切な対応を行うことが大切です。そこで65歳以上の方で介護予防の必要性が高い方を早期に発見するために、介護予防健診（基本チェックリスト）を実施しています。
キ. 65歳以上の方で介護予防が必要な方に、保健師等が個人の体力や状態に合わせた介護予防事業を紹介しています。
ク. 幅広い方々に介護予防に関する知識を普及するために、パンフレットの作成や出前講座、講演会を開催しています。
ケ. 60歳以上で、歩行の際に常に杖を必要とする方に、黄色い「交通安全杖」を給付しています。
コ. 65歳以上で、市に登録している、はり・きゅう・マッサージ等の施設を利用する方を対象に施設利用券（1回1,000円を助成）を1か月2枚の割合で、年24枚を限度に交付しています。
サ. 65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯及び家族の外出等で一時的に高齢者だけとなる世帯の方に、室内での急病や事故等の緊急時に、ボタンひとつで通報できる機能を持った装置を貸与しています。
シ. 65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯の方に、地域とのコミュニケーションづくりをサポートするためのメール機能付きの電話機を貸与しています。
ス. 65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯で、前年度非課税世帯の方に、住宅用火災警報器の設置費用の一部を助成しています。（上限15,500円）
セ. 65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯の方で、食事の調理が困難な方を対象に1週間につき7日を限度に自宅に夕食を配達します。（1食につき自己負担400円）
ソ. 65歳以上で、ひとり暮らしまたは高齢者だけの世帯の方の自宅へ、見守り支援員が訪問（週1回程度）し、話し相手となるとともに、市政情報や高齢者に関する情報を伝えます。
タ. 70歳以上の方に、年1回東京ベイシティ交通の乗車券（5,600円分）を交付しています。
チ. 本市では、介護保険サービスや在宅福祉サービス及び保健・医療サービスの利用方法の説明などを掲載している「高齢者ガイドブック」を市役所や公民館で配布しています。
ツ. 65歳以上で、白内障により視力が低下した方が特殊眼鏡またはコンタクトレンズを購入した際の費用の一部を助成しています。
テ. 65歳以上で、難聴のために補聴器の必要があると医師に証明され、身体障害者手帳（聴覚障がい）の交付を受けていない方が補聴器の購入をした際の費用の一部を助成しています。
ト. 65歳以上で、歩行の際に補助を必要とする方がシルバーカーを購入した際の費用の一部を助成しています。

周知度についてみると、「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」が87.4%で最も多く、以下「健康診査（特定健診・がん検診）」（86.4%）、「健康手帳の無料交付」（86.1%）の順で続いています。

図5-50 サービスの周知状況

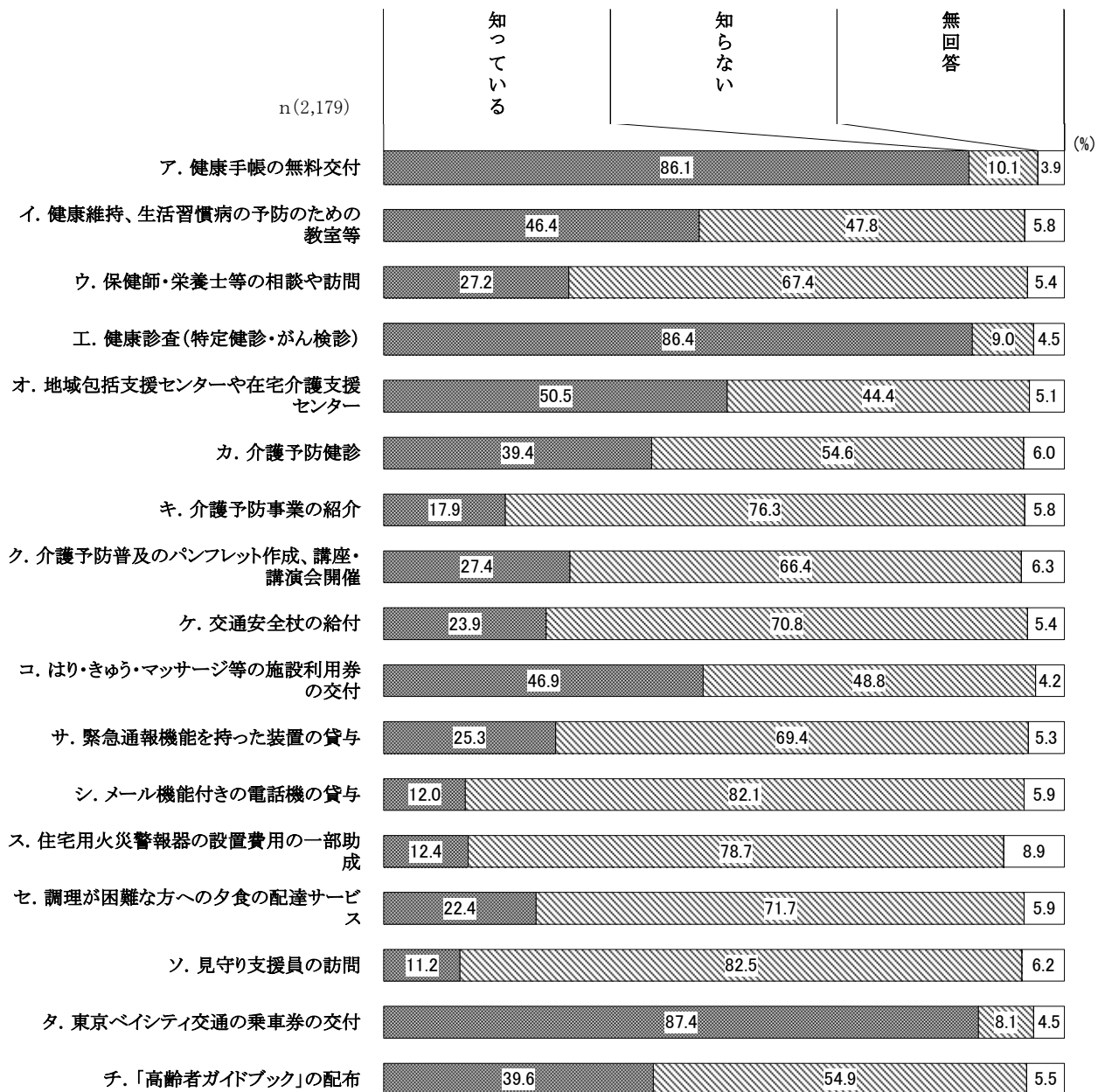
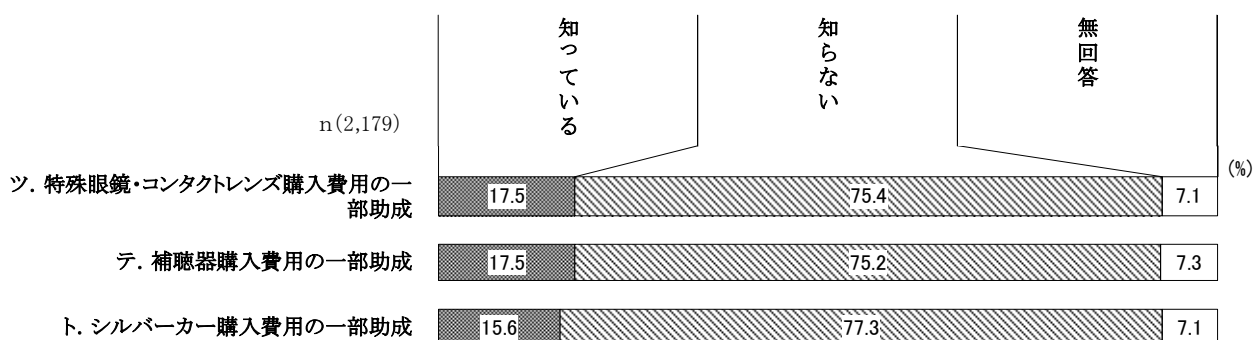


図5-51 サービスの周知状況（1回限りのサービス）



利用状況についてみると、「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」が69.2%で最も高く、以下「健康手帳の無料交付」(68.0%)、「健康診査(特定健診・がん検査)」(57.8%)の順で続いている。

図5-52 サービスの利用状況

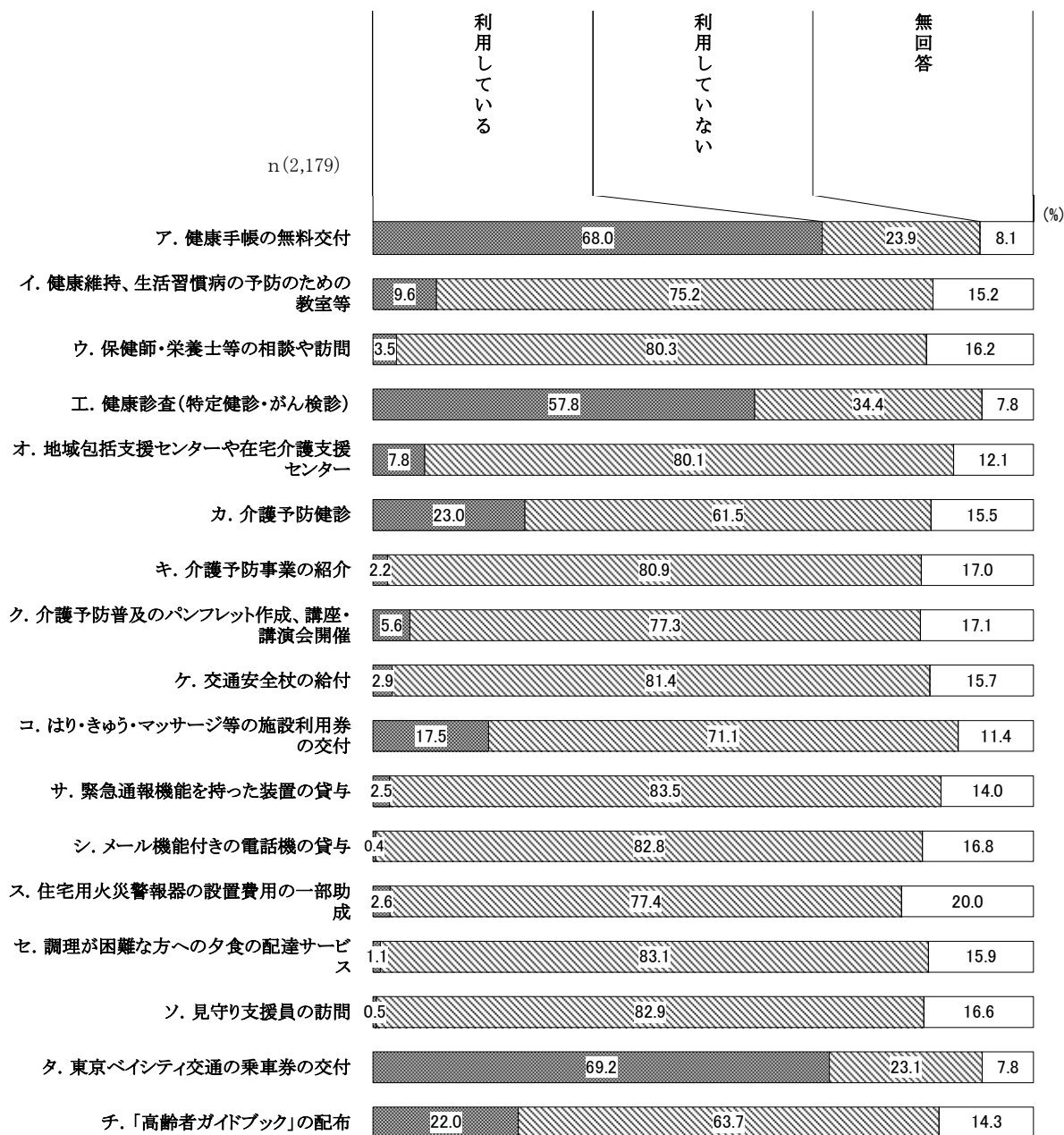
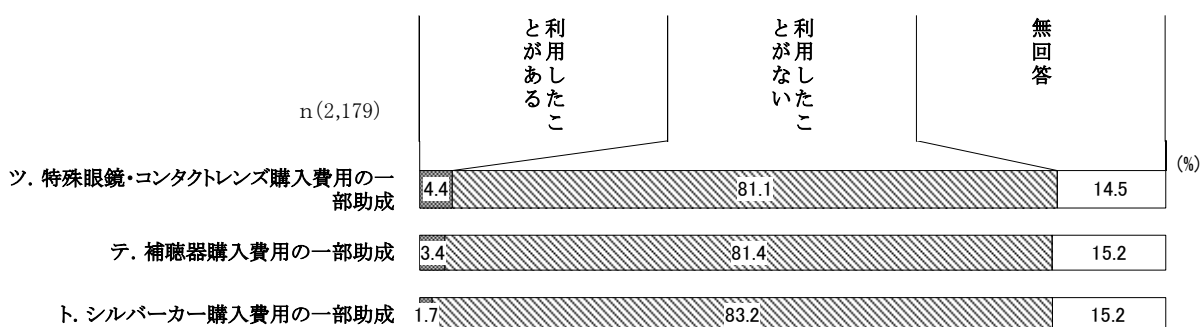


図5-53 サービスの利用状況(1回限りのサービス)



今後の利用意向をみると「東京ベイシティ交通の乗車券の交付」が77.3%で最も多く、以下「健康手帳の無料交付」(67.8%)と「健康診査(特定健診・がん検診)」(66.6%)の順で続いており、周知度や利用度が低いのが、利用意向の高いものも「特殊眼鏡など購入費用の一部助成」と「補聴器購入費用の一部助成」があげられます。

図5-54 サービスの利用意向

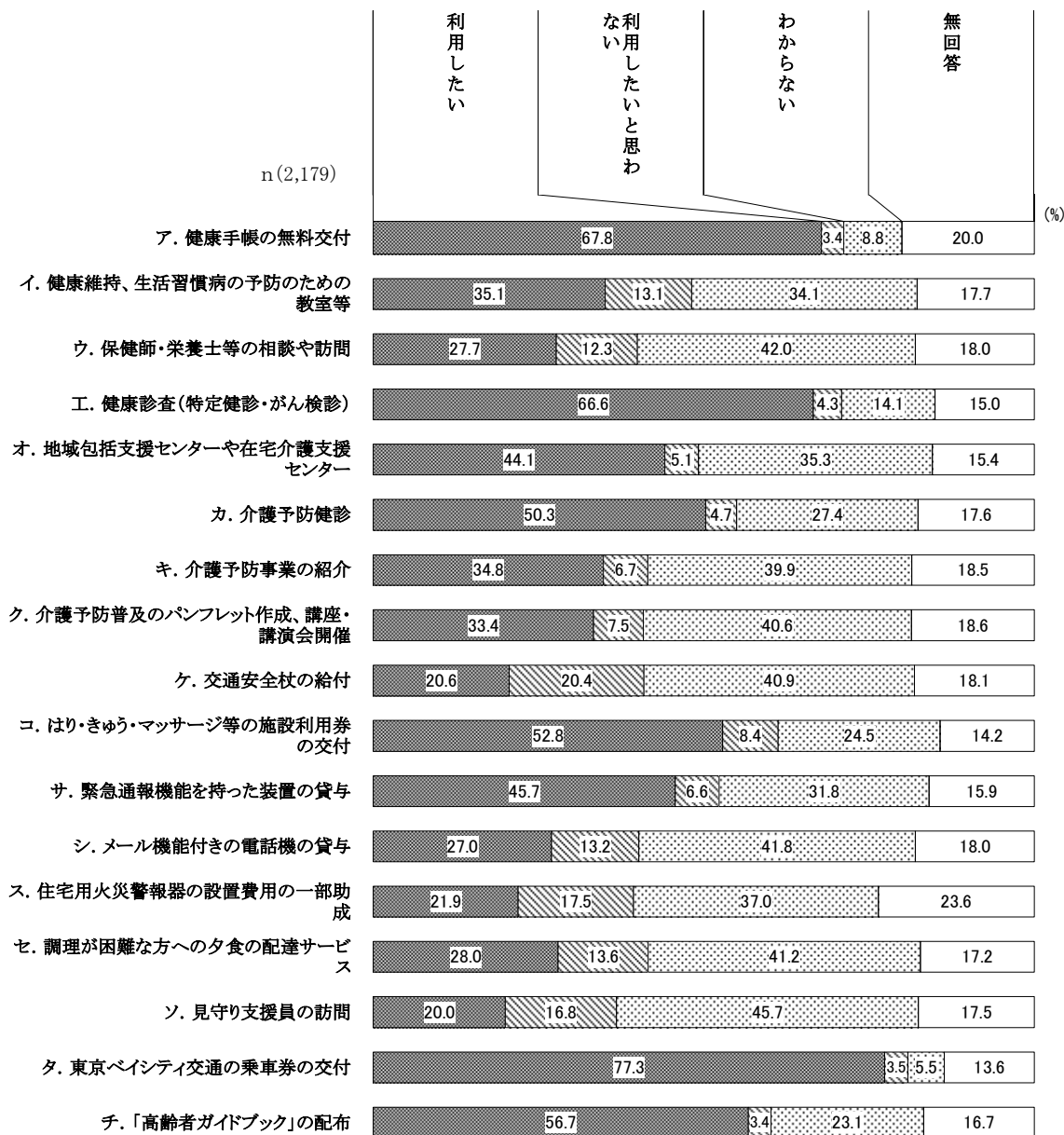


図5-55 サービスの利用意向(1回限りのサービス)

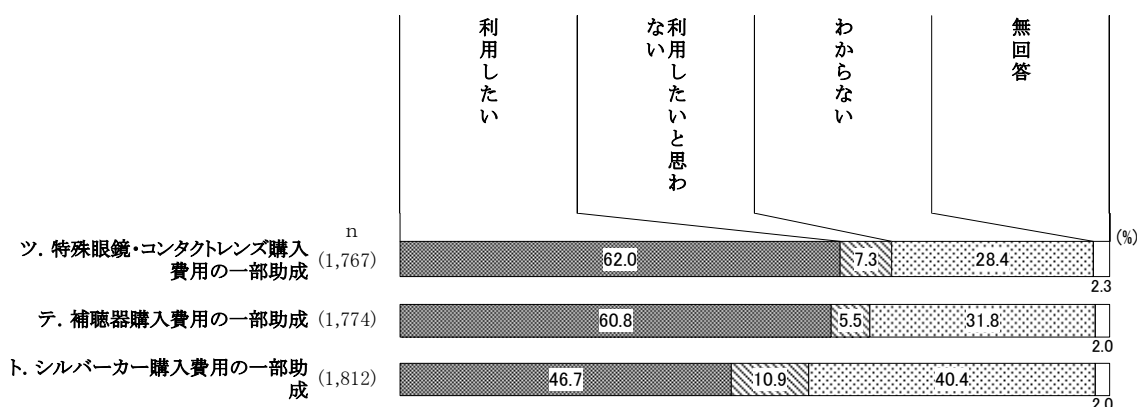


表5-51 経年比較 サービスの利用意向

(%)

	調査数	利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
--	-----	-------	------------	-------	-----

	調査数	利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
--	-----	-------	------------	-------	-----

ア. 健康手帳の無料交付

平成19年	1,473人	66.1	2.1	8.6	23.2
平成22年	2,179人	67.8	3.4	8.8	20.0

シ. メール機能付きの電話機の貸与

平成19年	1,473人	26.7	11.8	38.4	23.1
平成22年	2,179人	27.0	13.2	41.8	18.0

イ. 健康維持、生活習慣病の予防のための教室等

平成19年	1,473人	41.2	9.6	27.2	21.9
平成22年	2,179人	35.1	13.1	34.1	17.7

ス. 住宅用火災警報器の設置費用の一部助成

平成19年	1,473人	21.4	13.4	37.9	27.4
平成22年	2,179人	21.9	17.5	37.0	23.6

ウ. 保健師・栄養士等の相談や訪問

平成19年	1,473人	36.0	9.4	31.6	22.9
平成22年	2,179人	27.7	12.3	42.0	18.0

セ. 調理が困難な方への夕食の配達サービス

平成19年	1,473人	28.8	12.2	37.7	21.3
平成22年	2,179人	28.0	13.6	41.2	17.2

エ. 健康診査（特定健診・がん検診）

平成19年	1,473人	63.0	3.5	13.1	20.4
平成22年	2,179人	66.6	4.3	14.1	15.0

タ. 東京ベイシティ交通の乗車券の交付

平成19年	1,473人	74.1	3.1	4.1	18.6
平成22年	2,179人	77.3	3.5	5.5	13.6

ケ. 交通安全杖の給付

平成19年	1,473人	19.3	18.3	38.9	23.6
平成22年	2,179人	20.6	20.4	40.9	18.1

ツ. 特殊眼鏡・コンタクトレンズ購入費用の一部助成

平成19年	1,109人	58.8	7.5	31.8	1.9
平成22年	1,767人	62.0	7.3	28.4	2.3

コ. はり・きゆう・マッサージ等の施設利用券の交付

平成19年	1,473人	51.3	6.5	22.1	20.1
平成22年	2,179人	52.8	8.4	24.5	14.2

テ. 補聴器購入費用の一部助成

平成19年	1,086人	58.3	6.4	33.3	2.0
平成22年	1,774人	60.8	5.5	31.8	2.0

サ. 緊急通報機能を持った装置の貸与

平成19年	1,473人	44.0	5.7	28.5	21.8
平成22年	2,179人	45.7	6.6	31.8	15.9

ト. シルバーカー購入費用の一部助成

平成19年	1,109人	44.9	9.4	43.2	2.5
平成22年	1,812人	46.7	10.9	40.4	2.0

(注) 項目がないものは、前回調査にないもの。

資料編 / 調査票

浦安市高齢者等実態調査 報告書

平成23年3月

発行：浦安市 健康福祉部 高齢者支援課
浦安市猫実一丁目1番1号
電話 047-351-1111（代表）
実施：(株)サーベイリサーチセンター
荒川区西日暮里二丁目40番10号
電話 03-3802-6711（代表）

この報告書は再生紙を使用しています。